

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読になったあとは大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打切後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

ご不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または別紙(黄色用紙)「ご相談窓口一覧表」の窓口にお問い合わせください。

転居される時

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立家電取扱店をご紹介させていただきます。なお、本機は50Hz(ヘルツ)、60Hz(ヘルツ)の切り換えが自動的に行われますので、切り換えなしでどちらの地域でも使用できます。

修理を依頼される時(出張修理)

本機が正常に動作しないときは、「故障かな…と思ったら」(14)～(15)ページ)に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。なお、ビデオカセットレコーダー本体の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害(録画内容などの補償)の責については、ご容赦ください。保証期間中は、保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをお知らせください。

品名 ビデオカセットレコーダー
 形名 DT-DR5000形
 お買い上げ日 年 月 日
 故障の状況 できるだけ具体的に
 ご住所 付近の目印等も併せてお知らせください
 お名前
 電話番号
 訪問ご希望日

● 修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検 長年ご使用の本機の点検を!

ビデオカセットレコーダーはカラーテレビやビデオカメラからの画面を磁気テープに記録したり、再生したりするため、非常に高い精度を必要とする機械です。特に、ビデオヘッドやビデオテープを動かす機械部分は、お使いになる間に汚れたり、摩耗したりしてきます。性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくためには、おおよそ1000時間を目途に点検(清掃、注油、一部部品交換)されることをおすすめします。くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

愛情点検



● 長年ご使用のビデオの点検をぜひ!

このようなことはありませんか。

- 電源コード、プラグが異常に熱くなる。
- 画像が乱れたり、きれいに映らない。
- その他の異常や故障がある。

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を……。点検・修理のついで費用など詳しいことは販売店にご相談ください。



お客様メモ
 後日のために記入しておいでください。
 サービスを依頼される時に便利です。

ご購入店名 _____ 電話() _____

ご購入年月日 平成 年 月 日

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
 電話 (03)3502-2111



この取扱説明書は、地球環境に優しい再生紙を使用しております。

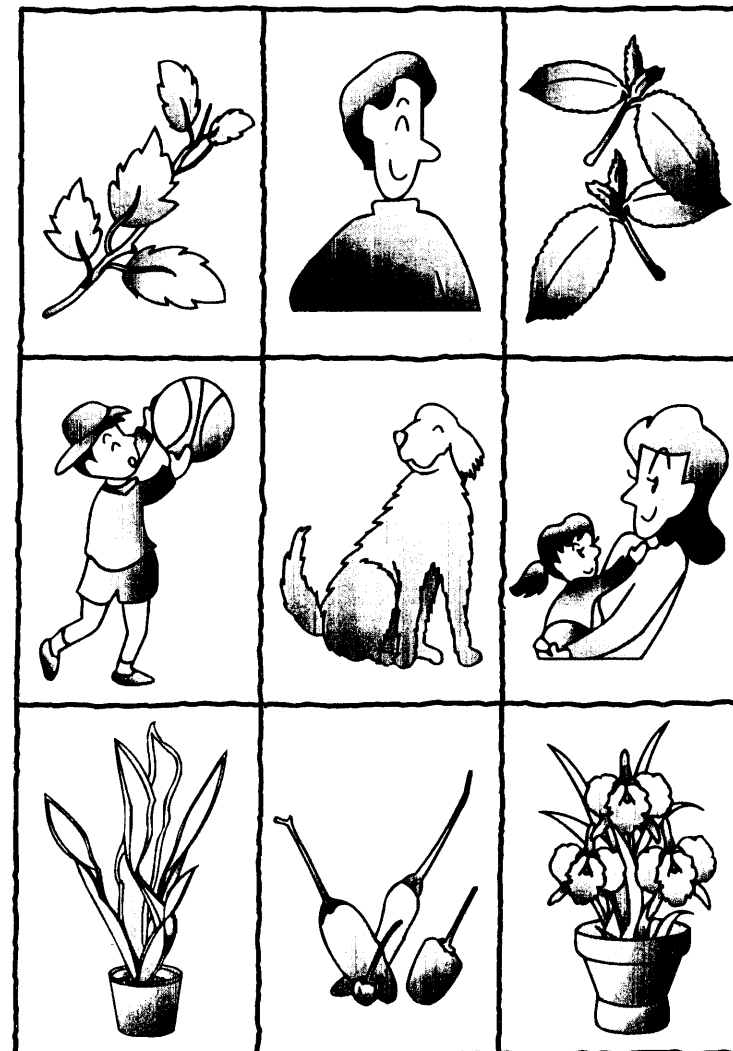
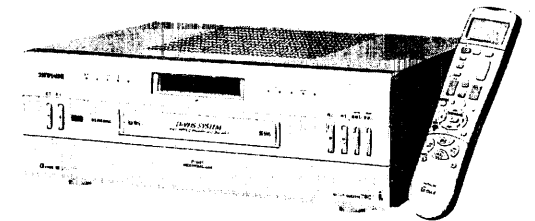
取扱説明書

このたびは、日立ビデオカセットレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。お読みにになったあとは、保証書、ご相談窓口一覧表とともに大切に保存してください。

日立ビデオカセットレコーダー

ハイファイ **Hi-Fi** **VHS** **G-CODE**
i.LINK対応
BSチューナー内蔵

DT-DR5000形



このビデオは、**VHS**方式のビデオです。
VHS、**SVHS**、**VHS** マークのついたビデオテープ以外は使用できません。

Gコードは、ジェムスター社の登録商標です。
 Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

DT-DR5000形 日立ビデオカセットレコーダー 取扱説明書

HITACHI

はじめに

見る
 いろいろな再生

録る
 いろいろな録画

タイマー録画

リンスを使う

便利な使いかた

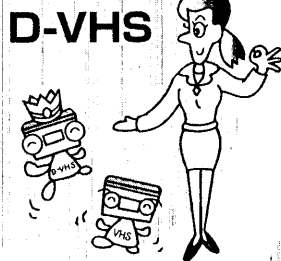
設置・準備

ご参考

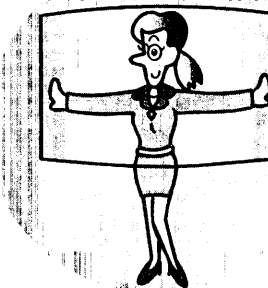
このビデオの特長

MPEG2エンコーダー／デコーダー内蔵

D-VHS (28ページ)
MPEG2エンコーダーによりテレビ放送や外部入力を高画質なデジタル信号に変換し、D-VHSテープにデジタル録画／再生します。D-VHSテープ (DF-300) を使うと、最大5時間録画、再生できます。
*D-VHSは、日本ビクター株式会社の登録商標です。



コンポーネント映像出力



i.LINK* (アイリンク) 対応 (25、76ページ)

i.LINK端子を装備した機器と接続することにより、映像や音声をデジタル信号のまま、相互にやりとりすることができます。
*i.LINKはソニー株式会社の商標です。

コンポーネント映像出力 (30、128ページ)

コンポーネント映像入力端子付き高画質テレビに対応した、コンポーネント映像出力端子を装備しています。

アモルファスヘッド

高画質で定評のあるアモルファスヘッドを、映像用ヘッドだけでなくハイファイ音声兼用のD-VHS録画再生用ヘッドにも採用しました。映像に加え、音声まで高品質になりました。



テープナビ (9ページ)

録画した日にち、開始時刻、チャンネル、録画時間、録画モードなどの情報がビデオに自動的に登録されます。見たい番組の頭出しや時刻を指定しての場面探しが快適にできます。また、番組に合うお好みのタイトル (番組名) も設定できます。



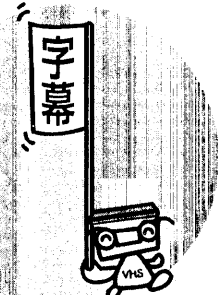
CS簡易予約 (65ページ)

デジタルCSチューナーをつないで番組を予約すると、ビデオ前面のCS予約ボタンを押すだけで、デジタルCS放送がタイマー録画できます。

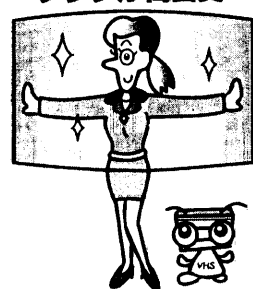


クローズド・キャプション・デコーダ内蔵 (35ページ)

クローズド・キャプション信号入りのテープを再生すると、英語の字幕を表示できます。



デジタル高画質



3次元Y/C分離 3次元デジタルNR デジタルTBC (39ページ)

S-VHS/VHS録画、再生時にも、デジタル処理技術により、高画質の映像を再現します。

S-VHS、S-VHS ET (27、28ページ)

S-VHSに対応しています。S-VHSテープをお使いになると、S-VHS録画、再生ができます。また、S-VHS ETモードにすると、HG (ハイグレード) タイプのVHSテープにS-VHSの画質で録画・再生できます。



Gコード®予約 (56ページ)

Gコードシステム内蔵により、新聞などに掲載されているGコード予約番号 (8桁の数字) を入力するだけで、簡単にタイマー予約できます。

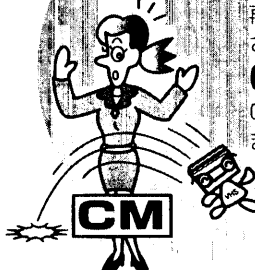


CMとばしワザ (40ページ)

再生中にCMの部分だけ自動的に早送りされます。

CMオートカット (47ページ)

CMを自動的にカットしながら録画できます。



この説明書の見かた

記載されているメニュー画面表示について
実際のメニュー画面には各項目の説明が出ますが、この説明書では記載していません。

..... : この章の説明が次のページに続きます。
.....● : この章の説明がこのページで終わります。

テレビ番組を録画する

このページの概要

テレビで見ていた番組をテープに録画します。

重要
操作の前に必ずお読みください。

重要
• 本機で録画したテープを入れると、ビデオ前面のテープナビ表示ランプが数秒間点滅してから点灯します。点滅している間は録画ボタンや他の操作ボタンを押さないでください。
• S-VHS方式で録画するときは、S-VHSテープを入れたあと、ビデオの表示窓に「S-VHS」が出ていることを確かめてください。出ていないときは28ページをご覧ください。「映像設定」の画面で「S-VHS」を「オート」に合わせてください。

テレビで
• テレビの電源を入れる
• テレビの入力切換を「ビデオ」にする (またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)

操作前の準備

1 「つめ」の折れていないテープを入れる
• 自動的に電源が入ります。
• D-VHS方式で録画するときは、D-VHSテープを入れてください。

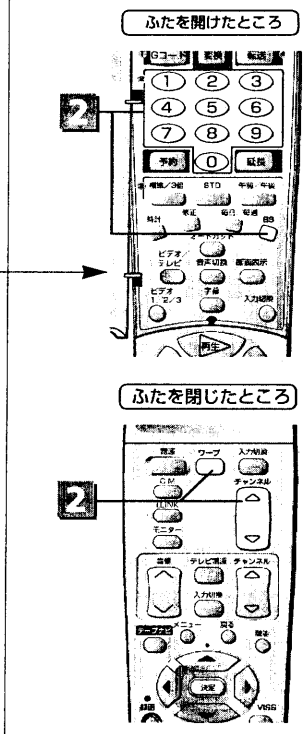
操作手順

インデックス章ごとに位置を変えてあります。ページを繰り返しながら探すとき便利です。

2 録画したいチャンネルを選ぶ
チャンネル ① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
または ⑩
0~9の数字ボタンでひとけたチャンネルを選ぶときは、最初に0ボタンを押してください (たとえば6チャンネルは0、6と押します)。

ボタンを押すことを表します。

リモコン
番号は操作手順と対応しています。ビデオ本体に同じなまのボタンがあるものは、本体のボタンでも同じ操作ができます。



BS放送を選ぶとき
先にワーブボタン、またはBSボタンを押してください。
ワーブ → チャンネル → BS → ① ② ③
④ ⑤ ⑥
⑦ ⑧ ⑨
⑩

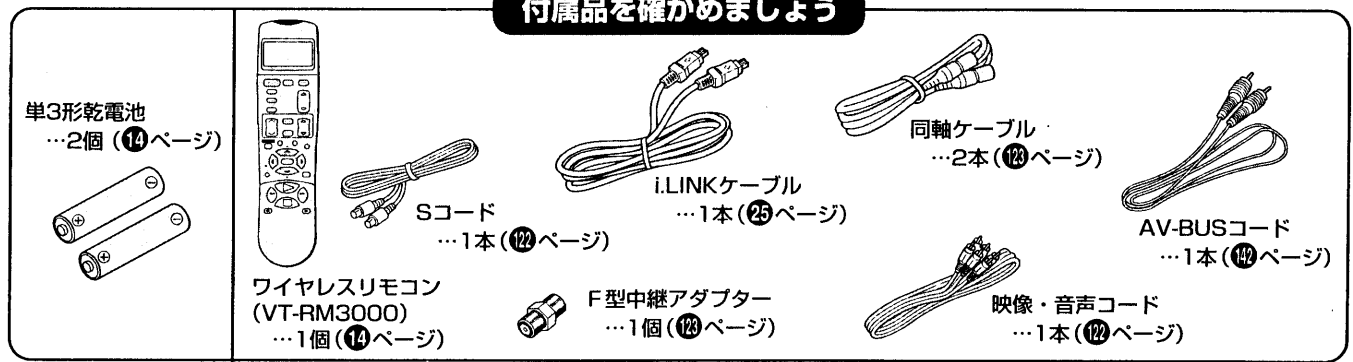
デジタルCS放送を選ぶとき
28ページを参照してください。

おしらせ
コピーガード表示について
録画したいチャンネルを選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されるとD-VHS方式で録画できません。

おしらせ
このページの操作に関連するおしらせです。

43 ページ

付属品を確かめましょう





安全にお使いいただくためのご注意

ご使用になる前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な注意事項を記載しています。







注意事項は、取り扱いを誤った場合に発生が想定される危害や損害の程度を、次のとおり「警告」「注意」の2つに分類しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示について	
	警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される」内容を示しています。
	注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害(※2)を負う可能性が想定される内容および物的損害(※3)のみの発生が想定される」内容を示しています。

※1 重傷 ……失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 傷害 ……治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

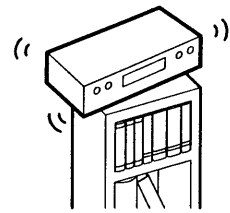
※3 物的損害 ……家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

図記号の意味	
注意(警告を含む)が必要なことを示す記号	
	一般的な注意
	指に注意
してはいけない行為を示す記号	
	禁止
	分解禁止
	風呂、シャワー室での使用禁止
	水ぬれ禁止
	接触禁止
	ぬれ手禁止
必ず実行していただくことを示す記号	
	電源プラグを抜く

警告

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

頭や足の上などにビデオが落下すると、けがの原因となります。

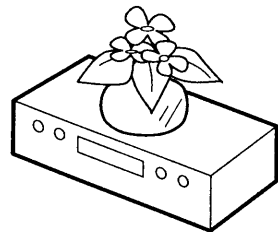


ビデオの上に、花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器、または小さな金属物を置かない

水がこぼれたり金属物が落ちて内部に入ると、火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

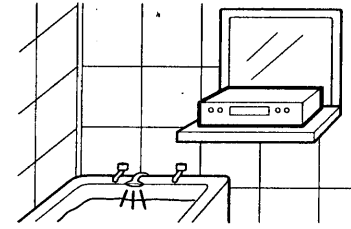


風呂、シャワー室では使用しない

(風呂、シャワー室で使用すると)火災・感電の原因となります。



風呂、シャワー室での使用禁止



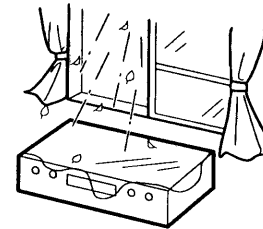
水にぬらさない

内部に水が入ったまま使用すると、火災・感電の原因となります。

● 屋外や窓辺で使用するときは、ビデオをぬらさないようにご注意ください。



水ぬれ禁止



● 内部に水などが入ったときは、使用をやめ、ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



電源プラグを抜く

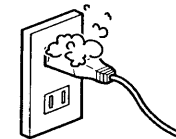
電源プラグや電源プラグの刃にゴミやほこりを付着させない

そのまま使用すると、発熱・火災の原因となります。

● ほこりが付着しているときは、電源プラグを抜いて、ほこりを取り除いてください。



禁止

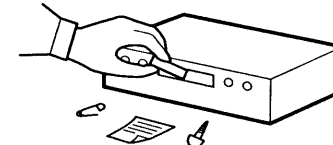


内部に金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしない

ビデオテープ挿入口・ビデオの通風孔などから内部に入ったり、入ったまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止



● 内部に金属物や燃えやすいものが入ったときは、使用をやめ、ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



電源プラグを抜く

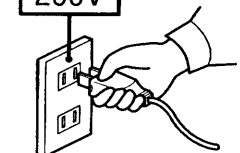
指定(交流100ボルト)以外の電源電圧で使用しない

過電圧により、発熱して、火災・感電の原因となります。



禁止

200V



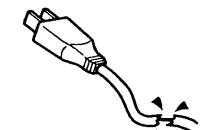
電源コードを破損させない

電源コードの破損につながるため、取り扱いの際は、次の点を守ること

- 傷つけない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 重い物や角が鋭利なものをのせない
- 加熱しない
- 引っ張らない
- 加工しない
- 束ねない
- 敷物などでおおわない



禁止



破損したまま使用すると、火災・感電の原因となります。

● 電源コードの芯線が露出したり、断線したときは、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に交換をご依頼ください。



電源プラグを抜く

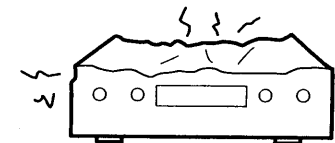
落としたり、キャビネットを破損したときは、電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

● 落としたり、キャビネットを破損したときは、正常に動作しているように見えても、内部に異常がある場合があります。ビデオ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



電源プラグを抜く



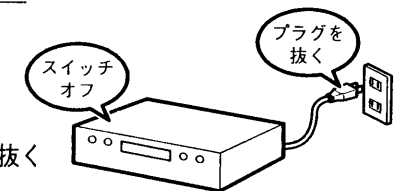
煙が出ている、変なおいがするなど異常なときは、本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

● 煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対おやめください。



電源プラグを抜く



警告

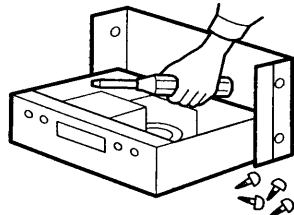
ビデオのカバー、裏ぶたを外さない 分解・修理・改造をしない

分解、修理、改造などで内部の電源部にさわると、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

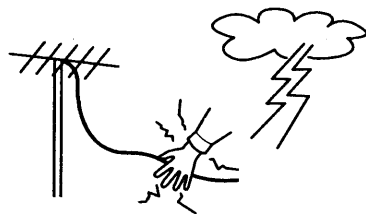


雷が鳴り出したら、アンテナ線や 電源プラグに触れない

アンテナ線や電源プラグに触れると感電の原因となります。



接触禁止



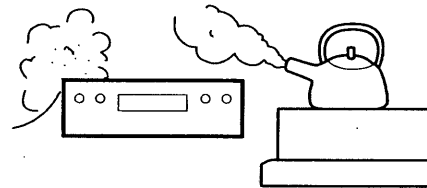
注意

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当 たる場所、振動が激しい場所に置かない

内部にほこりや水分が入ると、火災・感電の原因となることがあります。また振動により、内部部品が破損すると、発熱し、火災・故障の原因となることがあります。



禁止



ビデオの上に、重い物を置かない ビデオの上に乗らない

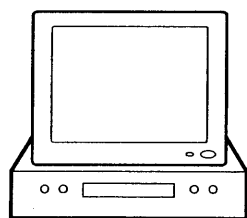
倒れたり、壊れたり、落下などしてけがの原因となることがあります。

また、重みでキャビネットが変形し、内部部品が破損して発熱し、火災・故障の原因となることがあります。

- 特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止



通風孔をふさがない

ビデオ背面のファンモーターの通風孔をふさがないように、設置の際は次の点を守ること

- 横倒し、逆さまにしない
 - 押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まない
 - じゅうたんや布団の上に置かない
 - テーブルクロスを掛けない
 - ビデオの後面を壁に押しつけない
- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

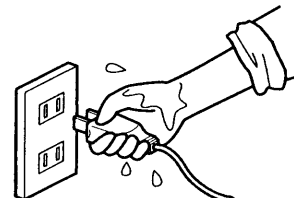


ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれていると、感電する原因となることがあります。



ぬれ手禁止



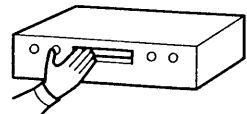
テープ挿入口に手を入れない

内部にふれたり、はさまれたりして、けがの原因となることがあります。

特に小さなお子様にご注意ください。



指に注意

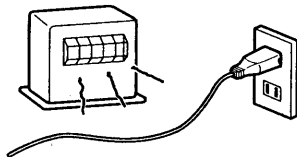


電源コードを熱器具に近づけない

コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



禁止



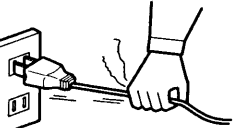
電源コードを持って抜かない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源コードを抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。



禁止



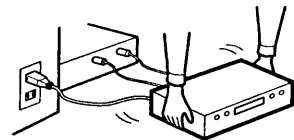
アンテナ線、電源コード、その他のコー ドを接続したまま移動させない

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- テープ保護のため、ビデオテープは取り出しておいてください。



禁止



指定以外の乾電池は使わない

指定されていないもの、種類が異なるもの、新しいものと古いものを混ぜて使用すると、乾電池の発熱・破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。

〈乾電池の液漏れについて〉

- 液漏れしたときは、よくふき取ってから、新しい乾電池を入れてください。
- 液が手や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
- 液が目に入ったときは、失明などの事故の原因となります。こすらずに、すぐきれいな水で洗い流してから、ただちに医師の治療をうけてください。



禁止

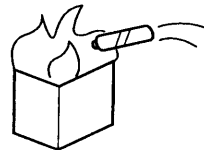


乾電池を取り扱う際は、次の点を守ること

- 火の中に入れない ● 加熱しない
 - 充電・分解しない ● ショートさせない
 - 鍵などの金属物と接触させない
- 発熱・破裂・液漏れなどにより、けがの原因となることがあります。

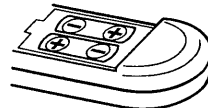


禁止



乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナ ス⊖)の向きに注意し、機器の指示通り 正しく入れる

間違えると、乾電池の発熱・破裂・液漏れなどにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

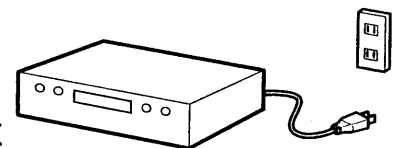


お手入れの際は、安全のため、必ず電源 プラグをコンセントから抜く

電源コードが接続されていると、感電の原因となることがあります。



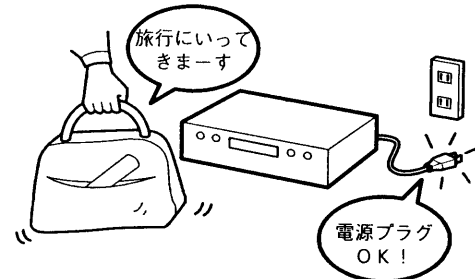
電源プラグを抜く



長期間使わないときは、安全のため、 必ず電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く



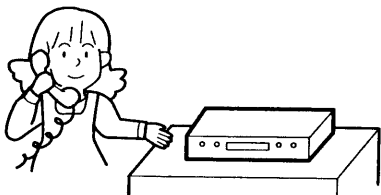
アンテナ工事には、技術が必要です 販売店にご相談ください

アンテナが倒れたり、落下した場合、けがや感電の原因となることがあります。



5年に1度ぐらいは、販売店に点検をご 相談ください

ビデオの内部にほこりがたまったまま使用すると、火災・故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くことをおすすめします。なお、費用については、ご相談の際にお確かめください。



使用上のご注意

D-VHSの録画・再生について

- D-VHS方式で録画したテープは、D-VHS方式に対応していないS-VHSビデオやVHSビデオでは再生できません。
- D-VHS方式で録画・再生した場合、S-VHS、VHS方式で録画・再生した場合よりも、テープのきずや瞬間的に発生するヘッドよごれなどによる画面の乱れが大きくなり、ブロックノイズや灰色の画面が発生したり静止画になることがあります。また、テープの頭の部分のようになりくり返し録画、再生した部分でもこの様な現象が発生しやすくなります。D-VHSテープの取り扱いには十分注意し、テープにきずなどをつけないようにしてください。
- D-VHS方式で録画する場合は、D-VHSテープをお使いください。D-VHSテープ以外のテープをお使いになると、正しく録画できません。再生したときにブロックノイズや灰色の画面が発生したり、静止画になることがあります。

大切な録画をするときは試し録りを!

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し録りし、正常に録画、録音されていることを確認してください。

著作権保護技術について

- この製品には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては、許可を受けています。また、リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

ファンモーターについて

- 本機は、電源を入れるとビデオ本体内の温度を下げるために、ファンモーターの動作音がしますが、故障ではありません。

ヘッド汚れにご注意!

ビデオヘッドが汚れて、画像や音が出なくなることがあります。

●ヘッドの清掃

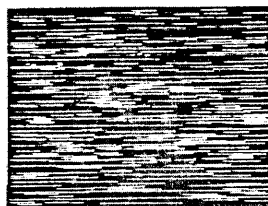
(テレビ番組はきれいに映るのにビデオで再生するとザラザラした画面(S-VHS、VHS再生)、あるいはブロックノイズ、静止画、灰色の画面(D-VHS再生)になる)

S-VHS、VHS再生

初期

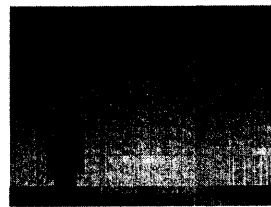


末期



D-VHS再生

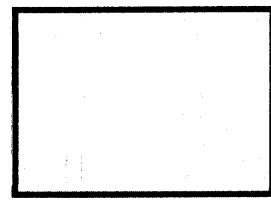
ブロックノイズ



静止画



灰色の画面



ビデオを使っているとこんな症状が出る場合があります。これはビデオヘッドが汚れたためですからビデオヘッドの清掃が必要です。

本機ではおそうじヘッドの採用により、ヘッドが汚れにくくなっております。しかし、汚れた場合は別売りや市販のヘッドクリーニングテープをご使用ください。ヘッドクリーニングテープを使っても汚れがとれないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ヘッドクリーニングテープをお使いになるときは、お使いになるクリーニングテープの説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

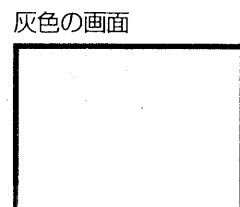
- お使いのビデオにテープナビ機能があり、市販のクリーニングテープをお使いになるときは、誤動作を防ぐため、テープナビ機能を切ってからクリーニングテープを入れてください。

●ヘッドの摩耗

S-VHS、VHS再生



D-VHS再生



ビデオを長い間使用するとビデオヘッドはレコード針と同様に摩耗し、画像が鮮明に映らなかつたり(S-VHS、VHS再生)、灰色の画面が出ます(D-VHS再生)。このような場合ビデオヘッドの交換が必要です。ビデオヘッドの交換はお買い上げの販売店にご相談ください。

アンテナの立てかたについて

- 妨害電波の影響を避けるため、自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所にお立てください。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。また風でブラブラしないようにしっかりと固定してください。
- 金属の多い場所に配線することも避けてください。
- VHFアンテナに同軸ケーブルを使用すると、雑音の少ない良好な画像が得られます。

アンテナの点検について

- アンテナを定期的に点検、交換することが、いつまでも美しい画像をご覧になるための秘けつです。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは寿命が短くなりますので早めに点検してください。

テレビの映りが悪いときは

- ビデオを接続したとき、電波の弱い地域ではテレビの映りが悪くなる場合があります。このときはブースター(別売品)をご使用ください。

ビデオの設置場所について

テレビの近くに置かない

- テレビラックやオーディオラックなどをご使用のときは、ビデオをラックの下の段に設置してご使用になることをおすすめします。(本機をラックの上の段やテレビの上のせてご使用になると、テレビとビデオの位置が近すぎるために、再生中またはテレビ番組を見ているとき、テレビ画面や音声にノイズが入ることがあります。)

ラジオの近くに置かない

- ビデオの近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に“ブー”というハム音が出ることがあります。ビデオから離してご使用ください。

直射日光が当たるところや熱器具の近くに置かない

- キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

強力な磁気のあるところに置かない

- テープが磁気の影響を受けて、大切な記録が損なわれたり、故障の原因となることがあります。

接続機器の取り扱いについて

- ビデオに接続して使用する機器の取扱説明書とその「使用上の注意」もよくご覧ください。

お手入れについて

- 化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。
- キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。

結露にご注意!

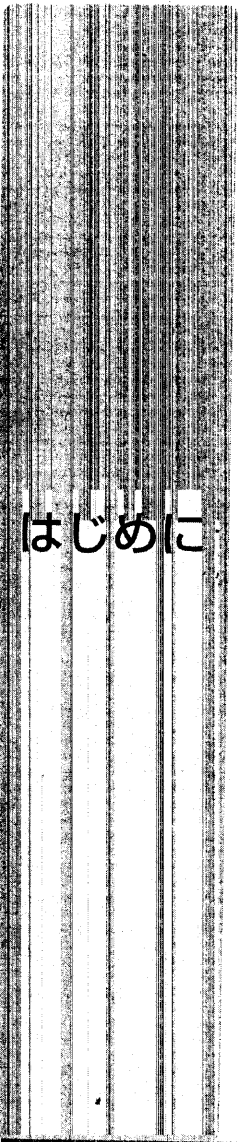
※ビデオの内部に水滴がつくことを結露といいます。

- 結露したまま使用するとテープが切れたり、ビデオヘッドを傷つけることがあります。
- 結露が生じてしまったら、水滴を急激に蒸発させることはできません。電源プラグを差し込んで、約2時間お待ちください。
- 結露は次のようなときにおきやすいのでご注意ください。
 - 寒い場所から急に暖かい場所に移したとき。
 - 暖房をはじめたばかりの部屋や、エアコンなど直接冷風のあたるところ。
 - 夏季に冷房のきいた部屋から急に湿度、温度の高い部屋に移したとき。
 - 湿気の多いところや湯気のたちこめているところ。
- 結露がおこりそうなときは、電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを“入”にしておくと、結露が生じにくくなります。

外国では使わない

- このビデオは日本国内用です。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
- <This video cassette recoder can not be used in foreign countries as designed for Japan only.>

もくじ



はじめて

このビデオの特長	2
この説明書の見かた	3
安全にお使いいただくためのご注意	4
使用上のご注意	8
各部のなまえ	14
リモコン(ふたを閉じたところ)	14
リモコンに乾電池を入れる	14
リモコン(ふたを開けたところ)	15
リモコンの操作範囲	15
ビデオ(正面)	16
ビデオ(後面)	17
ビデオの表示窓	18
テープ走行状態表示	18
表示窓のガイド表示	19
リモコンの使いかた	20
テープを入れる・取り出す	21
入れかた	21
取り出しかた	21
テープの「つめ」について(誤消去防止)	21
メニュー項目を選ぶ	22
D-VHSについて	23
D-VHSのご注意	24
i.LINKについて	25
i.LINKとは	25
i.LINKでの接続について	25
接続についてのご注意	26
本機と接続して動作するi.LINK対応機器	26
必要なi.LINKケーブル	26
LINC(リンク)とは	26
S-VHS、S-VHS ETモードについて	27
DモニターとAモニターについて	29
コンポーネント映像出力について	30
テープを見る準備	31
ビデオの電源を自動的に切る	32

ページ

はじめに

見る

いろいろな再生

録る

いろいろな録画

タイマー録画

i.LINKを使う

便利な使いかた

設置・準備

ご参考

見る
いろいろな
再生

テープを見る(再生)	34
テープを早送りまたは巻き戻したいとき	34
再生画をきれいにする(トラッキング調節)	35
テープを高速(260倍速)で送る	35
聞きたい音声を選ぶ	35
いろいろな再生のしかた	36
ある場面を止めて見る(静止画)	36
画像を見ながら見たい場面を探す(サーチ)	36
ゆっくりした速さで見る(スロー)	36
英語の字幕を見る(Closed Caption)	37
字幕を止めて見るとき	37
録画した番組の頭出しをする(VISS)	38
映像をクッキリさせる	39
CMをとばして見る(CMとばしワザ)	40
CMとばしワザのしくみ	40
CMオートについて	40
ステレオCMスキップについて	40

標準モード専用のビデオでの再生について

●本機の「3倍」モードで録画したテープは「標準」モード専用のビデオでは再生できません。

録画内容の補償について

●ビデオ、ビデオカメラおよびビデオテープを使用中、万一これらの不具合により録画されなかったり、再生できなくなった場合の録画内容の補償についてはご容赦ください。

テープナビ・タイムナビの録画データの保持について

●本機のメモリーが故障して録画データが消えた場合、データを復元することはできません。

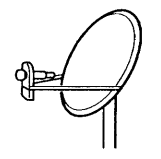
著作権について

●あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上権利者に無断で使用できません。

衛星放送について

衛星放送は、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合には全く受信できなくなることがあります。これは気象条件によるもので、アンテナやBSコンバータの故障ではありません。

衛星放送を受信するには、専用アンテナが必要です。設置場所によっては、受信できない場合がありますので、販売店にご相談ください。アンテナの接続については、105ページの「BSアンテナをつなぐ」をご覧ください。



お知らせ

本機の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052 東京都港区赤坂5丁目3番6号
赤坂メディアビル
社団法人 私的録画補償金管理協会
TEL 03-3560-3107(代)
FAX 03-5570-2560

なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

いろいろな再生

CMオートでCMをとばす	41
CMオートを解除するには	41
次のCMの終わりまでとばすには	41
とばした部分を見たいときは	42
CMオートでCMをとばせないときは	42

録るいろいろな録画

テレビ番組を録画する	43
いろいろな録画のしかた	46
録画しながら別の番組を見る	46
選んだ時間だけ録画する(クイックタイマー)	46
CMをカットしながら録画する(オートカット)	47
ダビングする	50
ビデオカメラや他のビデオから本機へダビングする	50
本機からビデオカメラや他のビデオへダビングする	51
ステレオから音声を録音する(オーディオ録音)	52
BS放送を録画する	53
デジタルCS放送を録画する	55

タイマー録画

Gコード予約する	56
Gコードシステムについて	56
Gコード予約する	56
チャンネル、開始時刻、終了時刻を修正する	59
リモコン予約する	61
予約の確認・取り消しをする	64
予約の確認・取り消しをする	64
予約の実行結果を確認・取り消しする	64
次の日、次の週に同じ予約を設定する	65
予約した番組の設定を変える	66
予約した番組のCMをカットする	66
予約した番組のタイトルを設定する	67
予約した番組のジャンルマークを設定する	69
タイマー予約・録画のご注意	71
タイマー予約実行結果の表示	72

i.LINKを使う

i.LINK対応機器をつなぐ	73
i.LINK対応機器を使うための設定	74
転送速度、映像出力の設定	74
接続設定画面の説明	74
つないだ機器を確認する	75
伝送レートの設定	75
つないだ機器に名前をつける	76
操作したい機器をLINCする	77
i.LINK対応機器を使う	78
LINCした機器から録画する	78
操作パネルの見かた	79
デジタルダビングする	80
オートダビングについて	80
オートダビングする	81
編集ダビングについて	82
編集ダビングする	82
デジタルダビングのご注意	84

便利な使いかた

画面表示を見る	85
残り時間・経過時間を表示する	85
テープの残り時間を表示する	85
経過時間を表示する	85
BS放送の独立音声を聞く	87
ビデオの機能を画面で選ぶ(お好みセレクト)	88
D-VHSの映像を調整する	90
テープナビを使う	91
録画データを登録する	91
テープナビ画面の見かた	92
テープナビ画面の表示方法を切り換える	92
タイムナビ画面の見かた	93
テープの録画データを見る	94
テープナビとタイムナビの設定を切り換える	95
テープナビ設定画面の説明	96
録画データを使って番組の頭出しをする	97
登録内容を取り消す	98
登録内容を確認する	99
登録されている録画データを検索する	101
録画データの検索方法	102
番組タイトル(番組名)を設定する	103
設定したタイトルを登録する	108
登録してあるタイトルから引用する	109
番組のジャンルマークを設定する	110
テープナビのご注意	112
タイムナビで見たい場面を探す	113
指定した時刻の頭出しをする	113
CMの終わるところを探す	115
5分前、5分後のところを探す	116
番組の頭と終わるところを探す	116
リモコンで2台のビデオを操作する	117
リモコンで他社のテレビを操作する	118

設置・準備

ご自分で設置するときにお読みください	120~147
接続のしかたや受信チャンネルの合わせかた、時計の合わせかたが説明してあります。設置・準備編の目次は120ページをご覧ください。	
受信チャンネルを合わせる	138
1. 地域受信チャンネルで受信チャンネルを合わせる	138
2. オートチャンネル設定で受信チャンネルを合わせる	142
時計を合わせる	146

ご参考

故障かな・・・と思ったら	148
仕様	155
別売品のご紹介	155
用語の解説	156
索引	158
漢字変換表	160
保証とアフターサービス	裏表紙

はじめに

見る

いろいろな再生

録る

いろいろな録画

タイマー録画

i.LINKを使う

便利な使いかた

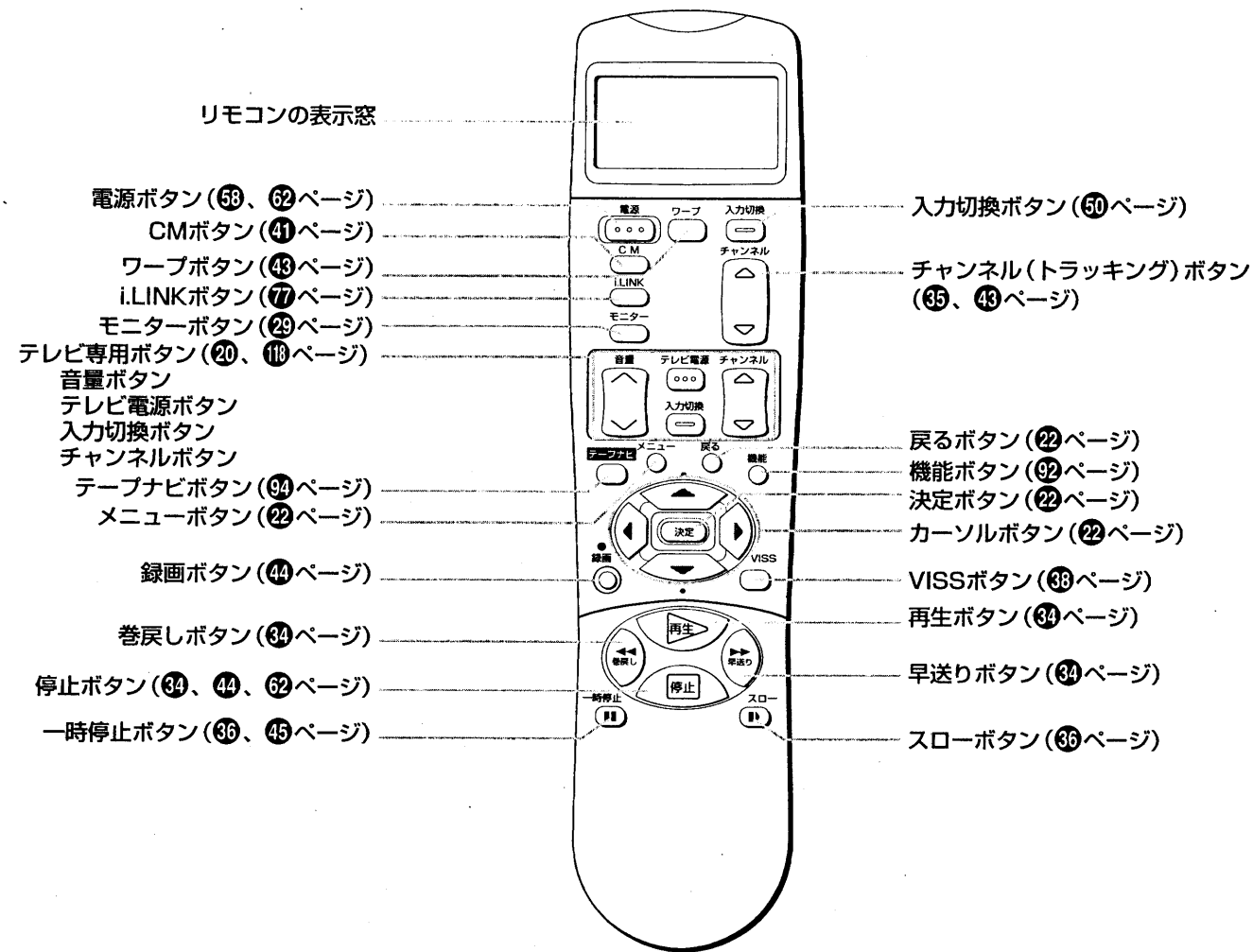
設置・準備

ご参考

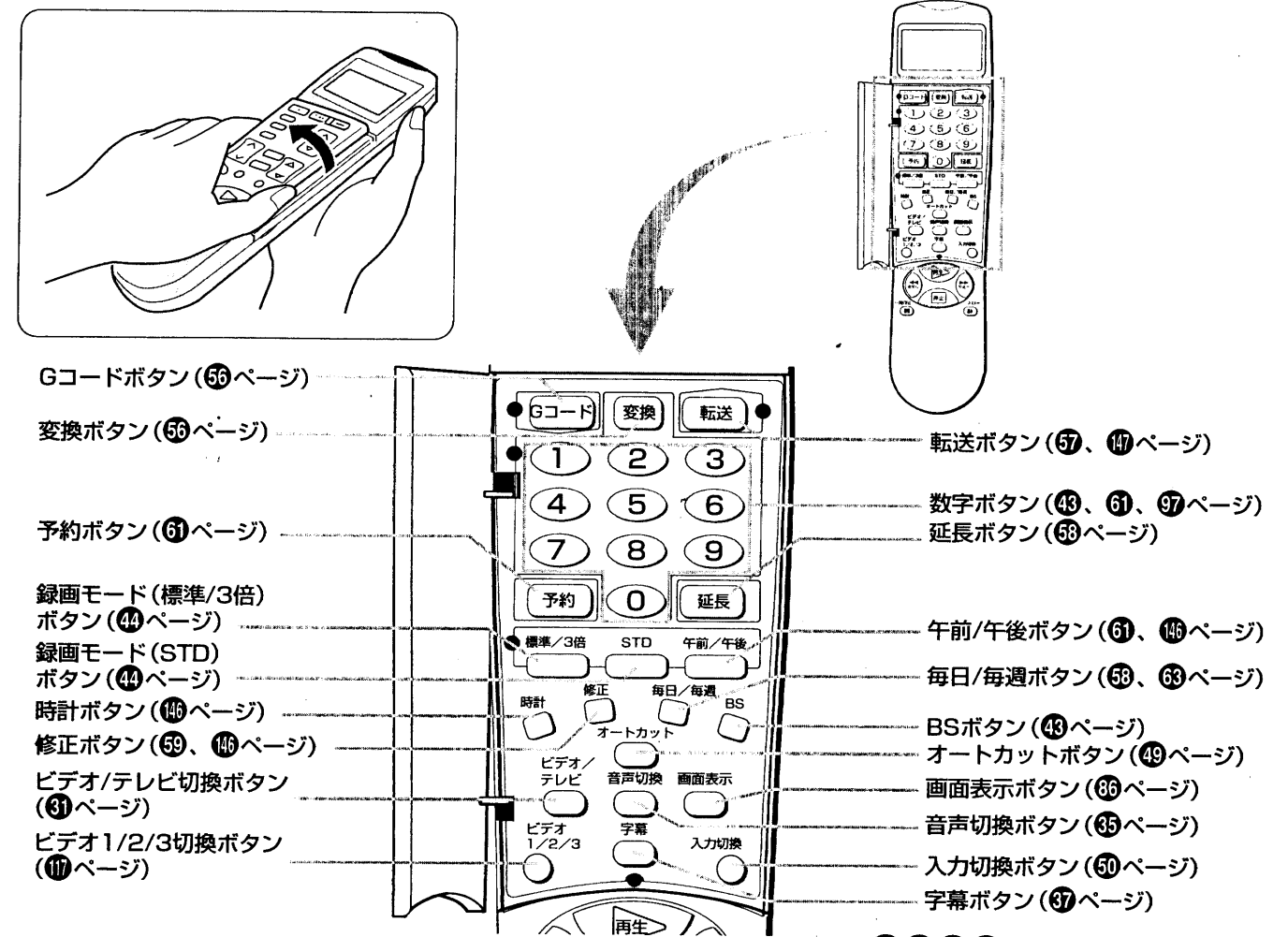
各部のなまえ

()の中のページに詳しい使いかたがあります。

リモコン(ふたを閉じたところ)

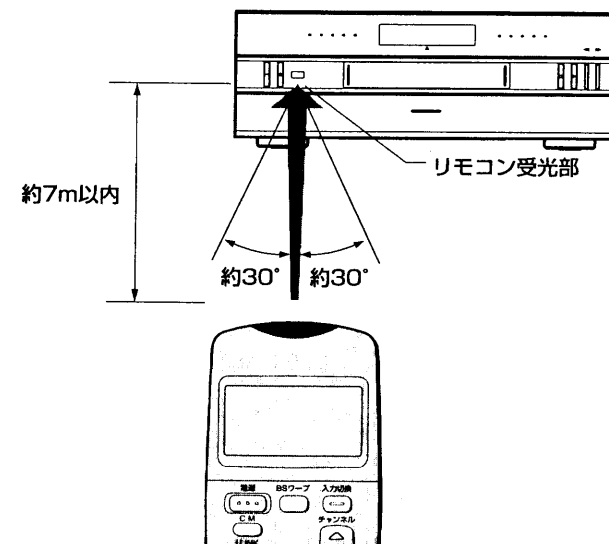


リモコン(ふたを開けたところ)



リモコンの操作範囲

ビデオとリモコンの間に障害物がないときに、次の範囲で操作できます。



おしらせ

乾電池が消耗したとき

①から⑥の症状が出ます。このときは、新しい乾電池に交換してください。

- ① リモコン操作後、表示窓に マークが出る
- ② リモコンの到達距離が短くなったり、リモコンでビデオを操作できない
- ③ 表示窓の時計表示が " --- : --- " になった
- ④ 表示が薄くなったり、異常な表示が出る
- ⑤ 時計が動かない
- ⑥ 表示がすべて消えた

マークについて
乾電池の特質上、一度点灯してもまた消灯する場合があります。

乾電池を交換するとき

古い乾電池を取りはずし、電源ボタンを10秒間押してから、新しい乾電池を入れてください。その後、リモコンの時計を合わせ直してください(リモコンの時計合わせは146ページ参照)。



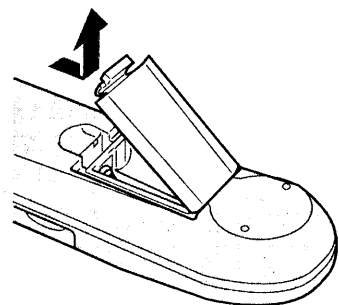
注意

- ・指定以外の乾電池は使わないでください。指定されていないもの、種類が異なるもの、新しいものと古いものを混ぜて使用すると、乾電池の発熱・破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。
- ・乾電池を取り扱う際は、次の点を守ってください。
 - ・火の中に入れない
 - ・加熱しない
 - ・充電・分解しない
 - ・ショートさせない
 - ・鍵などの金属物と接触させない
- これらの点を守らないと発熱・破裂・液漏れなどにより、けがの原因となることがあります。

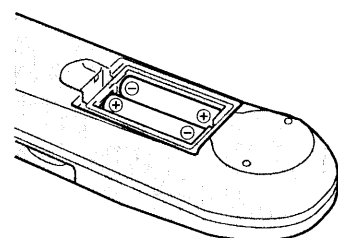
リモコンに乾電池を入れる

ビデオは主にリモコンで操作します。ご使用前に付属の乾電池を入れてください。

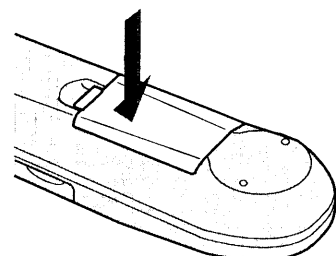
1 つまみを押しながら、ふたを開ける



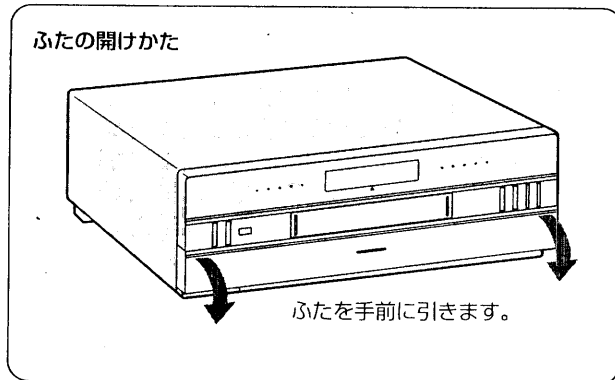
2 乾電池(単3形) 2本の⊕⊖を正しく入れる



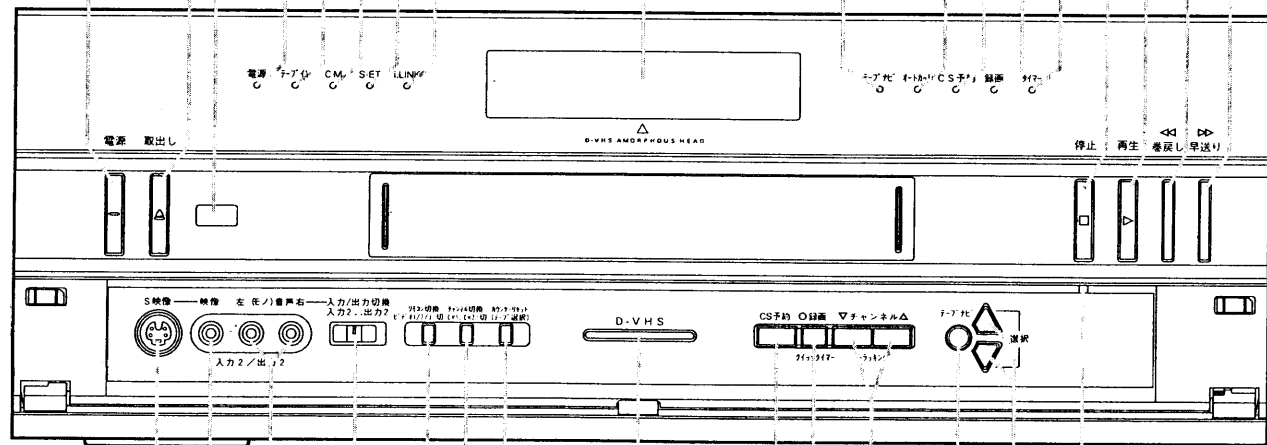
3 ふたを閉じる



ビデオ(正面)



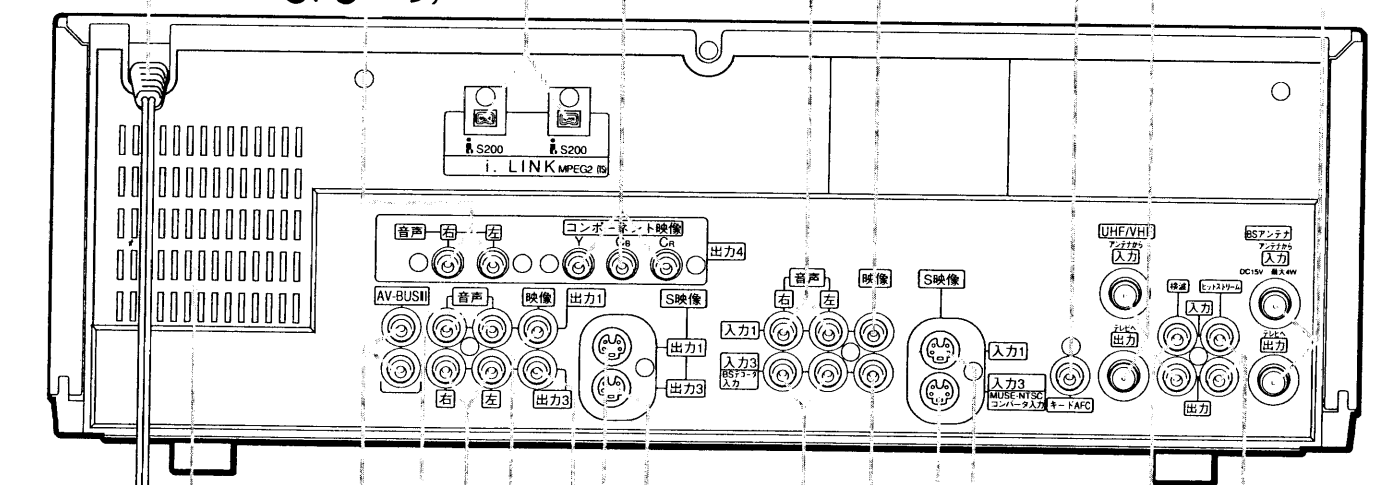
- 電源ボタン(59ページ)
- 取出しボタン(21ページ)
- リモコン受光部(15ページ)
- 電源表示ランプ(21ページ)
- テープイン表示ランプ(21ページ)
- CM表示ランプ(41ページ)
- S-ET表示ランプ(27ページ)
- i.LINK表示ランプ(77ページ)
- ビデオの表示窓(18ページ)
- 早送りボタン(84ページ)
- 巻戻しボタン(84ページ)
- 再生ボタン(84、81ページ)
- 停止ボタン(46、58、82ページ)
- タイマー表示ランプ(58ページ)
- 録画表示ランプ(44ページ)
- CS予約表示ランプ(55ページ)
- オートカット表示ランプ(49ページ)
- テープナビ表示ランプ(91ページ)



- S映像入力2/出力2端子(50、51ページ)
- 映像入力2/出力2端子(50、51ページ)
- 音声入力2/出力2端子(50、51ページ)
- 入力/出力切換スイッチ(50、51ページ)
- リモコン切換ボタン(11ページ)
- チャンネル切換ボタン(17ページ)
- カウンターリセット(テープ選択)ボタン(88、91ページ)
- CS予約ボタン(55ページ)
- リセットスイッチ(16ページ)
- 選択ボタン(87ページ)
- テープナビボタン(84ページ)
- チャンネル(トラッキング)ボタン(45、48ページ)
- 録画/クイックタイマーボタン(46ページ)
- D-VHSインジケータ(28、34、44ページ)

ビデオ(後面)

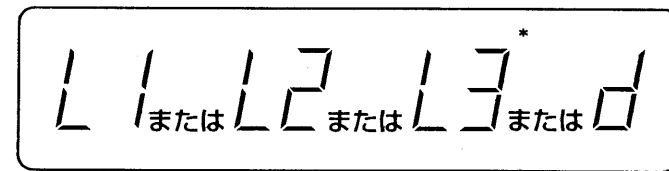
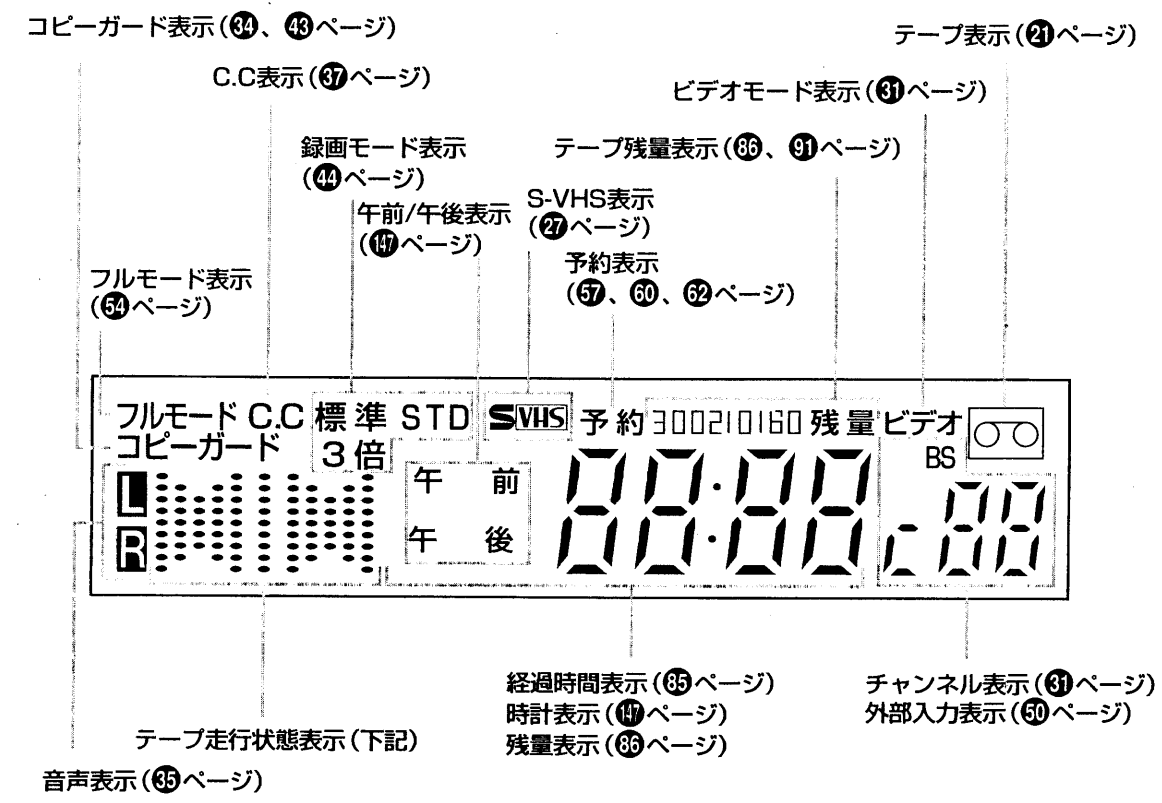
- 電源コード
- 音声出力4端子(30、12、17、18、30ページ)
- 映像入力1端子(10ページ)
- 音声入力1端子(62、18、31ページ)
- コンポーネント映像出力端子(30、12、17、18、30ページ)
- i.LINK端子(78ページ)
- ファンモーター通風孔(6ページ)
- AV-BUSⅢ端子(10ページ)
- 音声出力1端子(52、120ページ)
- 音声出力3端子
- 映像出力1端子(122ページ)
- 映像出力3端子
- S映像出力1端子(120ページ)
- S映像出力3端子
- ビットストリーム入力・出力端子(126、127、128、130ページ)
- 検波入力・出力端子(126、127、128、130ページ)
- S映像入力1端子(126、111ページ)
- S映像入力3 MUSE-NTSCコンバータ入力端子(126、110ページ)
- 映像入力3/BSデコーダ入力端子(126、127、128、130ページ)
- 音声入力3/BSデコーダ入力端子(126、127、128ページ)
- キーD AFC端子(128、130ページ)
- VHF/UHFアンテナ入力・出力端子(122ページ)
- BSアンテナ入力・出力端子(128ページ)



表示窓のガイド表示

ビデオの表示窓に次のような表示が出て、ビデオの状態をお知らせします。

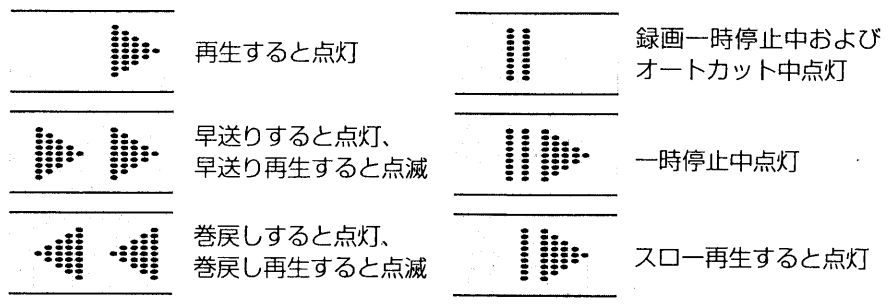
ビデオの表示窓



*「入力3設定」を「入力3」に設定したときだけ切り換わりません。

表示	表示が出る時	意味と処置	参照ページ
(約3秒点滅)	タイマー予約転送時	• ビデオの時計が「—:—」になっています。時計を合わせ直してから転送してください。	146
(約3秒点滅)	タイマー予約転送時	• リモコンをビデオに向けずに転送しています。ビデオに向けてください。	—
(約3秒点滅)	タイマー予約転送時	• すでに8つの番組が予約されています。不要な予約を取り消してから転送してください。	64
(約3秒点滅)	タイマー予約転送時	• 予約を受け付けました。	57 60 62
(約3秒点滅)	再生、録画、早送り、巻戻しボタンを押したとき	• テープが入っていません。テープを入れてください。	—
(約3秒点滅)	録画、ダビング時に録画ボタンを押したとき	• つめの折れたテープが入っています。つめの折れたテープは自動的に出てきます。つめの折れていないテープを入れてください。	44
(または、R-1、R-3、R-OFF) (約3秒点滅)	リモコンのボタンを押したとき	• ビデオのリモコン切換ボタンの設定が、リモコンの表示窓の設定と違っています。ビデオのリモコン切換ボタンを押して、リモコンの表示窓の設定(ビデオ1、ビデオ2、またはビデオ3)と合わせてください。	117
(約3秒点滅)	電源を入れたとき	• ビデオのヘッドが汚れましたので、ヘッドを清掃してください。CL表示を消すには、ヘッド清掃後、電源を切り、ビデオ本体のチャンネル▲ボタンを押してください。なお、CL表示は表示後約5時間録画、再生すると自動的に消えます。	8

テープ走行状態表示



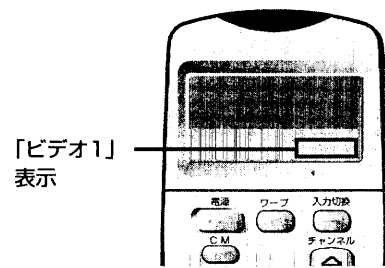
おしらせ

- 電源を切ると、表示窓は暗くなります。
- 表示窓は上記以外にもいろいろなメッセージを表示します (19ページ参照)。

リモコンの使いかた

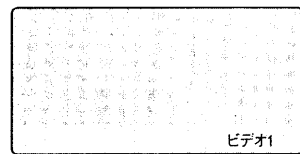
付属のリモコンは、ビデオ(本機)とテレビを操作できます。
1985年以降に発売された日立製ワイヤレスリモコン対応テレビのほとんどを操作できます。
また、日立製以外の9社のテレビも操作できます(詳しくは106ページを参照)。

ビデオを操作する



「ビデオ1」表示

1 リモコンの表示窓に「ビデオ1」が出ていることを確かめる

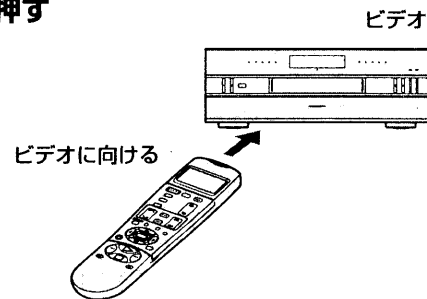


「ビデオ2」や「ビデオ3」が出ているときは、リモコンのふたをあけてビデオ1/2/3ボタンを押してください。

おしらせ

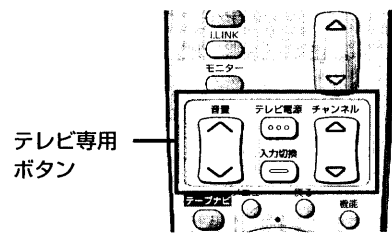
工場出荷時は、リモコンの表示窓に「ビデオ1」が表示されているときビデオの操作ができるよう、設定してあります。設定を変えて使うには、107ページをご覧ください。

2 リモコンをビデオに向けて、ボタンを押す



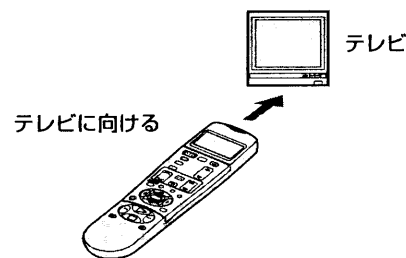
ビデオとリモコンの設定が合っていないと、ビデオの表示窓にビデオのリモコンコードが数秒間点滅します。
このときは、ビデオのリモコン切換ボタンを押して、表示窓に「R-1」を出してください(107ページ参照)。

テレビを操作する



テレビ専用ボタン

リモコンをテレビに向けて、テレビ専用ボタンを押す



テレビ専用ボタン
・テレビ電源ボタン
・入力切換ボタン
・チャンネルボタン
・音量ボタン

おしらせ

日立製以外の9社のテレビも操作できます。106ページを参照してください。

テープを入れる・取り出す

電源コードをコンセントにつないでおけば、電源の入/切に関係なく、テープの出し入れができます。

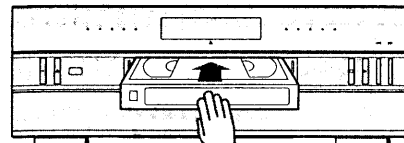


警告

ビデオテープ挿入口から内部に金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

入れかた

テープの中央部を押しながら入れる



- 電源が自動的に入ります。ビデオ前面の電源表示ランプとテープイン表示ランプが点灯します。
- ビデオの表示窓に000が点灯し、経過時間表示になります。
- 「つめ」の折れたテープを入れると自動的に再生を始めます。

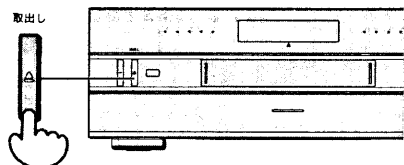
おしらせ

テープを入れると

- ビデオ前面のテープイン表示ランプが点灯します。テープイン表示ランプは、テープが入っていれば電源を切っても点灯します。
- ビデオの表示窓が自動的に経過時間表示になります。時計や残り時間表示にするには、リモコンの画面表示ボタンを押します。

取り出しかた

テープが止まっているとき、取出しボタンを押す



- 電源を入れなくてもテープを取り出せます。
- テープを取り出すと、ビデオの表示窓が自動的に時計表示になります。

おしらせ

取り出し口からテープを引き出せなくなったときは、一度テープを入れてから、もう一度取り出しボタンを押してください。

おしらせ

テープの種類と録画時間

録画モードを「標準」にするとテープの表示と同じ時間、「3倍」にするとその3倍の時間、録画できます。

テープの種類	T-30		T-60		T-90		T-120		T-140		T-160		T-180		T-210	
	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍	標準	3倍
録画時間	30分	1時間30分	1時間	3時間	1時間30分	4時間30分	2時間	6時間	2時間20分	7時間	2時間40分	8時間	3時間	9時間	3時間30分	10時間30分

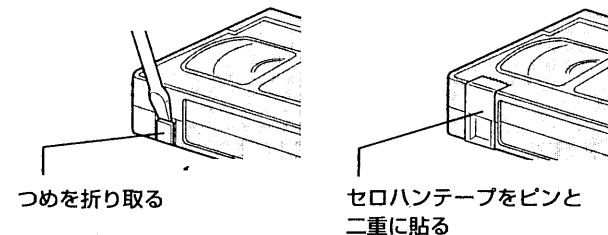
D-VHSテープにD-VHS方式で録画する場合の録画モードは、「STD」だけです。テープの表示と同じ時間録画できます。

テープの種類	DF-300			DF-420			DF-240		
	STD	標準	3倍	STD	標準	3倍	STD	標準	3倍
録画時間	5時間	2時間30分	7時間30分	7時間	3時間30分	10時間30分	4時間	2時間	6時間

上記には、当社で販売していないテープも含まれています。詳しくは「別売品のご紹介」(155ページ)を参照してください。

テープの「つめ」について(誤消去防止)

- 録画を誤って消さないために
- ふたたび録画するときのために



つめを折り取る

セロハンテープをピンと二重に貼る

「つめ」の折れたテープを入れたまま録画ボタンを押したり、タイマー予約後にビデオの電源を切ったりすると、自動的にテープが出てきます。

おしらせ

電源の入・切や再生などの「ビッ」という操作音を消すとき(102ページ参照)

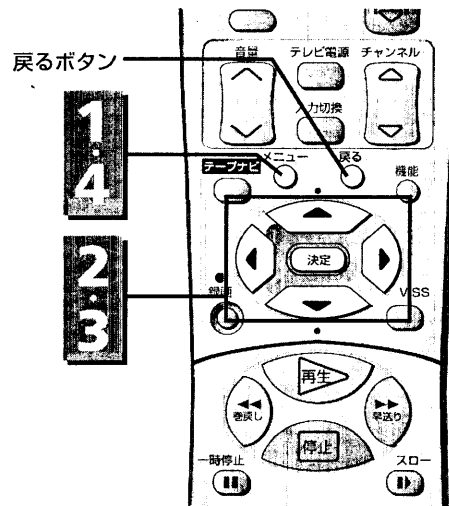
- メニューボタンを押す。
 - 「ビデオ設定」の「機能設定」を選び、決定ボタンを押す。
 - 「操作音」の「切」を選び、決定ボタンを押す。音がなくなります。(ただし、タイマー予約や時刻の転送時は音が出ます。)
- 「操作音」を「入」にすると、音が出るように設定されます。

ファンモーター音について

本機は、電源を入れるとビデオ本体内の温度を下げるために、ファンモーターの動作音がしますが、故障ではありません。

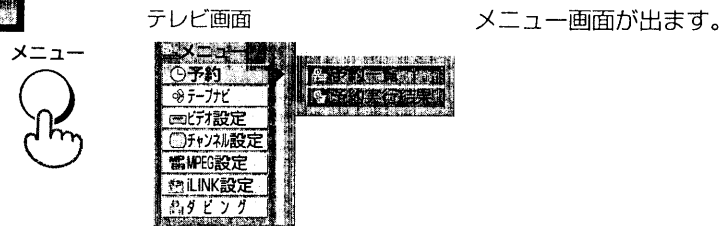
メニュー項目を選ぶ

ビデオの動作や機能をメニュー画面で選ぶことができます。

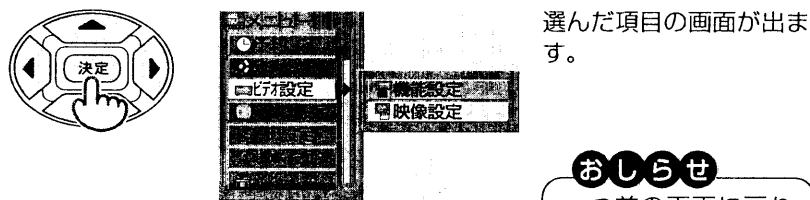


- テレビで
 - テレビの電源を入れる
 - テレビの入力切換を「ビデオ」にする (またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオで
 - ビデオの電源を入れる

1 メニューボタンを押す



2 カーソルボタンを押して項目を選び、決定ボタンを押す



選んだ項目の画面が出来ます。

おしらせ

一つ前の画面に戻りたいときは、リモコンの戻るボタンを押してください。

おしらせ

機能、映像設定画面の詳しい説明は、以下のページを参照してください。

機能設定

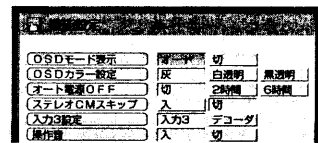
- OSDモード表示 65 ページ
- OSDカラー設定 65 ページ
- オート電源OFF 32 ページ
- ステレオCMスキップ 40 ページ
- 入力3設定 52 ページ
- 操作音 21 ページ

映像設定

- D-VHS 23 ページ
- S-VHS 25 ページ
- 3次元Y/C分離 39 ページ
- 3次元デジタルNR 39 ページ
- デジタルTBC 39 ページ

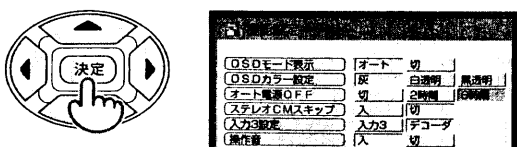
受信している映像によっては、メニュー画面の一部が乱れることがあります。

お使いのワイドテレビによっては、メニュー画面が通常より大きくなり、文字が見えなくなることがあります。このときは「機能設定」の「OSDカラー設定」を「灰」にしてください(65ページ参照)。



(例: 「ビデオ設定」の「機能設定」を選んだ画面)

3 カーソルボタンを押して項目を選び、決定ボタンを押して設定する



(例: 「オート電源OFF」の「6時間」を選んだ画面)

文字が赤く出ている表示が現在の設定を示しています。カーソルボタンで設定を変えて、決定ボタンを押すたびに設定が変わります。

4 メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

D-VHSについて

D-VHS方式は、従来のS-VHS・VHS方式に比べ、より美しく鮮明な画像と音声が楽しめます。D-VHS方式の高解像度、高画質を十分にお楽しみいただくためには、コンポーネント映像入力端子・S映像入力端子やS1映像入力端子付きのテレビと接続することをお勧めします。

重要

- D-VHS方式で録画・再生した場合、S-VHS・VHS方式で録画、再生した場合よりも、テープのきずや瞬間的に発生するヘッドのよごれなどによる画面の乱れが大きく、ブロックノイズや灰色の画面(6ページ参照)が発生したり、静止画になることがあります。また、テープの頭の部分のように、くり返し録画、再生した部分でもこのような現象が発生しやすくなります。D-VHSテープの取り扱いには十分注意し、テープにきずなどをつけないようにしてください。
- D-VHS方式で録画したテープは、S-VHS・VHS方式のビデオでは再生できません。
- D-VHSテープ以外のテープをお使いになると、D-VHS方式で正しく録画できません。再生したときにブロックノイズや灰色の画面が発生したり、静止画になることがあります。

記録方式

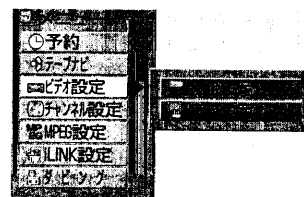
「ビデオ設定」の「映像設定」の画面で「D-VHS」を「オート」に合わせて、D-VHSテープを入れると、録画モードに合った記録方式で録画されます。

メニュー (映像設定)	録画モード	記録方式	ビデオ前面のD-VHSインジケータ
D-VHS	オート	STD	青色
オート	入	標準/3倍	S-VHS 黄色
	切	STD	D-VHS 青色
切	入	標準/3倍	VHS 黄色
	切	標準/3倍	VHS 黄色

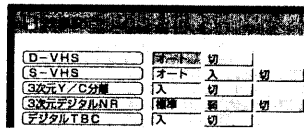
* 工場出荷時は「D-VHS」および「S-VHS」の設定は「オート」になっています。

D-VHSの設定

1 メニューボタンを押し、カーソルボタンで「ビデオ設定」を選ぶ



2 カーソルボタンで「映像設定」を選び、決定ボタンを押す



3 「D-VHS」の設定を録画したい記録方式に切り換えて、決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押す

記録したテープの再生

テープを再生するときは、記録方式を自動的に判別し、記録方式に合わせて再生します。

記録方式	再生できるビデオ
D-VHS	• D-VHSビデオ
S-VHS	• D-VHSビデオ* • S-VHSビデオ • SQPB付きビデオ** • S-VHS ET付きビデオ

* S-VHS、SQPBまたはS-VHS ET対応機種

**SQPBは、S-VHS Quasi Playback (S-VHS簡易再生)の略です。

D-VHS録画の手順

「ビデオ設定」の「映像設定」で「D-VHS」を「オート」に切り換えておく(左段参照)。

1 D-VHSテープを入れる

2 録画したいチャンネルを選ぶ

3 リモコンのふたを開けてSTDボタンを押し、録画モードをSTDに設定する

4 録画ボタンを押す

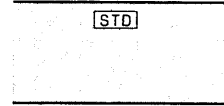
詳しくは「テレビ番組を録画する」(43ページ)を参照してください

D-VHSのご注意

D-VHS録画について

- D-VHS方式で録画するときの録画モードは「STD」だけです。録画したいチャンネルを受信し、D-VHSテープを入れてから、リモコンのSTDボタンで、録画モードを「STD」に設定してください。

ビデオの表示窓



- メニュー画面の「映像設定」で「D-VHS」の「切」が選ばれていると、D-VHSテープにD-VHS方式で録画できません。標準/3倍で録画されます。

D-VHS方式で録画できる映像について

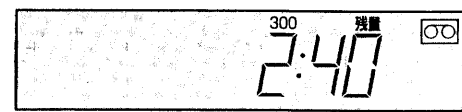
- 本機内蔵のテレビチューナー（ケーブルテレビ、BS放送を含む）で受信した番組はほとんど録画できますが、受信状況が悪い場合（ノイズ、ゴーストが多い）、正しく録画できないことがあります。
- 外部入力に接続した機器からの映像の内容が以下のような場合は、正しく録画できない場合があります。
 - メニュー画面
 - ゲーム機器の映像
 - 特殊再生映像
 - 特殊処理された映像
 - ノイズの多いテープの再生映像
 - 傷のついたテープの再生映像
 - 繰り返し使われたレンタルテープの再生映像
 - 中古販売されているソフトテープの再生映像
 - ダビングされたテープの再生映像
 - CDV（コンパクトディスクビデオ）の映像

これらの映像や画面を録画、再生すると、まったく映像が出なかったり、灰色の画面やブロックノイズ、静止画が出る場合があります。このようなときには、Dモニターに切り換えると、D-VHS方式で録画、再生した場合にどのような映像になるか確認できます（29ページ参照）。

- 新しいD-VHSテープを入れると、テープの種類が自動的にDF-300になります。DF-300以外のD-VHSテープを入れたときは、テープの長さに合わせて表示を選んでください（36ページ参照）。



ビデオの表示窓



- D-VHS方式でタイマー録画すると、はじめの数秒間は、灰色の画面やブロックノイズおよび静止画（8ページの画面参照）が出る場合があります。

D-VHSテープにS-VHS録画するには

S-VHS方式で（標準/3倍）録画したい場合には、メニュー画面の「映像設定」で「S-VHS」の「オート」または「入」を選んでから、リモコンの標準/3倍ボタンを押して、標準か3倍を選んでください（23、28ページ参照）。

D-VHSテープにVHS録画するには

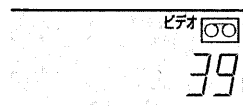
VHS方式で（標準/3倍）録画したい場合には、メニュー画面の「映像設定」で「S-VHS」の「切」を選んでから、リモコンの標準/3倍ボタンを押して、標準か3倍を選んでください（23、28ページ参照）。

D-VHS再生について

- D-VHS方式で録画したD-VHSテープを入れて、再生ボタンを押すと、自動的にD-VHS方式で再生します。
- 再生画面が出た直後に、ブロックノイズが出る場合があります。
- D-VHS再生を始めると画面がきれいになるように自動的に調節します（オートトラッキング）。再生を始めてからしばらくたっても画面がきれいにならないときは、トラッキング（チャンネル▼、▲）ボタンを押して、ビデオ前面の表示窓に出る数値が最大になるように設定してください。

トラッキング中はブロックノイズや静止画、灰色の画面が出る場合があります。

ビデオの表示窓



- つなぎ撮り部分（録画を停止（一時停止）し、再び録画をはじめた部分）では、ブロックノイズや静止画・灰色の画面が出ます（15、17ページ参照）。

ヘッドクリーニングの時期について

D-VHS再生時にビデオ前面のD-VHSインジケータが青色と黄色の交互に点滅し、再生画が出なくなった場合は、ビデオヘッドが汚れているおそれがあります。このときには8ページを参照して、ヘッドクリーニングテープで清掃してください。

D-VHSのいろいろな再生について

- D-VHS再生では、静止画、サーチ、スロー再生は以下ようになります。

押すボタン	画面
一時停止、スロー	静止画*1
早送り	静止画とテープの経過時間*2
巻戻し	静止画とテープの経過時間*2

- *1 静止画が出るとき、はじめの約3秒ほど画像が上下に揺れることがありますが、自動的に止まります。このとき、チャンネル（トラッキング）ボタンで調節はできません。また、画像により、静止画が揺れることがあります。
- *2 サーチ中に、S-VHS/VHS方式で録画した部分からD-VHS方式で録画した部分に移ると、灰色の画面とテープの経過時間が出ます。また、テレビのコンポーネント映像入力に接続した映像を見ているときは、経過時間が表示されません。

- CMとばしワザでCMをとばしてから再生に戻るとき、また静止画、サーチ、スロー再生から再生に戻るときに、一度灰色の画面が出てから、ブロックノイズが出る場合があります。また、切り換わってから1~2回灰色の画面が出る場合があります。

D-VHSテープでのS-VHS、VHS再生について

D-VHSテープにS-VHSやVHSで録画した部分を再生すると、画面が出た直後にノイズが出る場合があります。

i.LINKについて

i.LINK (IEEE1394)の規格や特長について説明します。i.LINKを使って操作する前にお読みください。なお、i.LINKを使った接続や操作には、機器によって異なるものがあります。本機でできる操作については「i.LINKを使う」(70~74ページ)をご覧ください。

重要

- 本機に搭載されているi.LINK端子(MPEG(TS))と、DVカメラやDVビデオデッキに付いているDV端子とは扱うケーブルや端子形状は同じですが、扱うデジタルデータの圧縮方式が異なるため、相互にデジタルデータをやりとりすることやダビングはできません。DV端子を備えた機器はDV圧縮データを、本機を含めD-VHSはMPEG2圧縮TS(トランスポート・ストリーム)データをやりとりします。また、同じMPEG2圧縮データを扱う機器であってもTSデータ以外のデータをやりとりする機器と接続すると、デジタルデータのやりとりやダビングはできません。

i.LINKとは

i.LINKは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。i.LINK対応機器を接続して、さまざまな操作やデータのやりとりができます。また将来、さらに多様な機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。

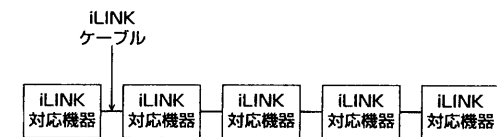
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけではなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。このため、機器を接続する順序を気にする必要はありません。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

おしらせ

- i.LINKは、IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) 1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ「i」はソニー株式会社の商標です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。この技術は、DTLA (The Digital Transmission Licensing Administrator) というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像/音声/データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、i.LINKでデジタルの映像/音声/データのやりとりができない場合があります。

i.LINKでの接続について

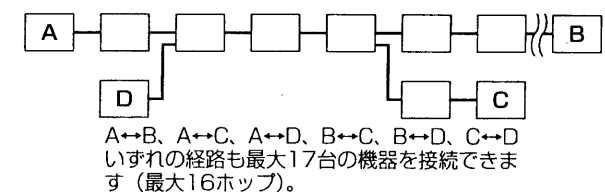
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブルで数珠つなぎにして接続します。



2つの機器の間に他の機器がつかないでも、操作やデータのやりとりを行うことができます。

途中から分岐してつなぐこともできます

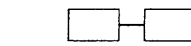
- i.LINK端子を3つ以上持つ機器の場合、途中から分岐してつなぐこともできます。
- i.LINK対応機器は、本機を含めて63台まで接続できます。ただし、一番長い経路の接続は17台までです。(i.LINKケーブルは、一番長い経路に対して連続して16本まで使用することができます。) ひとつの経路に対して使用したi.LINKケーブルの数を「ホップ」と呼びます。例えば、下図のA↔Cの経路は6ホップ、A↔Dの経路は3ホップとなります。



接続が輪にならないようご注意ください

デジタル信号は、接続したすべてのi.LINKケーブルに流れます。信号を出力した機器に同じ信号が戻らないよう、接続が輪にならないようにつないでください。接続が輪(環状)になることを「ループ」と呼びます。ループがあると正しく動作しません。

正しい接続例



ループの接続例



S-VHS、S-VHS ETモードについて

はつめい

接続についてのご注意

- 一部のi.LINK対応機器の中には、電源が切られているとデータの中継しない機器があります。i.LINKでの接続の際は、接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
 - i.LINK対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度がi.LINK端子の周辺に表記されています。i.LINKの最大データ転送速度は、約100/200/400Mbps*が定義されており、それぞれS100、S200、S400と表記されます。最大データ転送速度が異なる機器を接続した場合や、機器の仕様により、実際の転送速度が表記と異なることがあります。
 - 本機とi.LINK対応機器を接続してお使いの場合は、使用していない他の機器のi.LINKケーブルの抜き差しや、電源のオン/オフはできるだけ行わないでください。誤動作の可能性がります。
- * Mbpsとは
[Mega bits per second]の略で、「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。200Mbpsならば、1秒間に200メガビットのデータを送ることができます。

本機と接続して動作するi.LINK対応機器

本機では、下記のi.LINK対応D-VHSビデオデッキと接続したときの動作を確認しています。(平成11年9月現在)

D-VHSビデオデッキ DT-DR5000 (日立製)
HM-DR1 (日本ビクター製)
SLD-DC1 (ソニー製)

下記のデジタルCSチューナーと接続したときの動作については、デジタルCSチューナーの番組を本機で録画できること、またその録画したテープを再生したときにデジタルCSチューナーからもテレビで見ることができることを確認しています。(平成11年9月現在)。ただし、本機からデジタルCSチューナーの電源入/切の操作はできません。詳しくは79ページをご覧ください。

デジタルCSチューナー TU-VCS1 (日本ビクター製)
DST-MS9 (ソニー製)

本機とi.LINK対応機器との接続については「i.LINK対応機器をつなぐ」(73ページ)をご覧ください。

おしらせ

上記以外のi.LINK対応機器(デジタルビデオデッキ、デジタルビデオカメラ、パソコン、MDデッキなど)をつないで操作することはできません。(平成11年9月現在)

必要なi.LINKケーブル

i.LINK対応機器との接続には、付属のi.LINKケーブル、または市販のi.LINKケーブルをお使いください。市販のDVケーブルは、お使いになれません。

LINC(リンク)とは

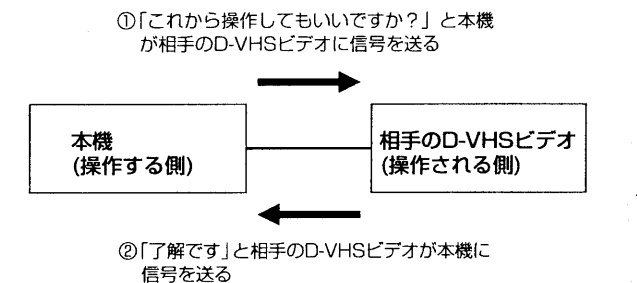
「LINCする」とは、相手の機器を1台選ぶことを意味します。本機は、ケーブルで接続しただけではi.LINK対応機器からの映像や音声を見たり録画したりすることができません。操作する前に、必ず見たり、録画したい相手の機器をLINCしてください。

重要

- i.LINK対応機器の録画中に、i.LINKで接続している他の機器の電源を切ったり、別の機器をi.LINKで接続したりしないでください。録画中のデータが途切れることがあります。
- LINCしている機器が録画中のときは、LINCする機器を変更できません。

本機(i.LINK対応機器を操作する側)は、i.LINKケーブルで接続されている機器のうち1台だけからの映像や音声を見たり録画したりすることができます。本機と相手の機器との間で次のようなやりとりが行われます。

例) D-VHSビデオをLINCするとき



この呼びかけ・返答のやりとりが行われ、i.LINK対応機器のLINCが完了して、初めてi.LINK対応機器を操作することができます。詳しくは「操作したい機器をLINCする」(77ページ)をご覧ください。

おしらせ

- 本機では、他の機器を一度LINCすると、LINCの設定を変えない限りその機器をいつも自動的にLINCします。他の機器をLINCして電源を切っても、もう一度電源を入れるとその機器をLINCした状態になっています。
 - 本機と機器AをLINCしているときに、i.LINKで接続されている他の機器Bと機器AをLINCさせたいときには、先に本機と機器AとのLINCを解除してください。
- ①LINCを解除 機器A ②LINCさせる 機器B
- LINCとは、Logical Interface Connection(ロジカル・インターフェース・コネクション:「論理的な接続を行う」の意)の略です。

おしらせ

i.LINKケーブル経由では、i.LINKで接続している機器からのメニュー画面などは送られません。相手の機器のメニュー画面などを見る場合は、テレビの入力切替を相手の機器に切り換えてください。

S-VHS方式は、従来のVHS方式に比べ、より美しく鮮明な画像が楽しめます。S-VHS方式の高解像度、高画質を十分にお楽しみいただくためには、S映像入力端子やS1映像入力端子付きのテレビと接続することをお勧めします。S-VHSテープをお使いになると、良い画質で録画・再生できます。また、長期間保存するためには、S-VHSテープをお使いください。また、このビデオはS-VHS ETモードで録画・再生できます。S-VHS ETモードは、VHSテープにS-VHSの画質(解像度400本以上)で録画・再生する機能です。S-VHS ETモードの高画質を十分にお楽しみいただくためには、「HG(ハイグレード)」のテープをお使いになることをおすすめします。

重要

タイマー予約時に「STD」を設定しても、「D-VHS」を「切」に合わせていたり、VHSテープを入れていたり、標準/3倍モードで録画されます。STDモードでタイマー予約したいときには「D-VHS」を「オート」に合わせてD-VHSテープを入れてください。(29ページ参照)

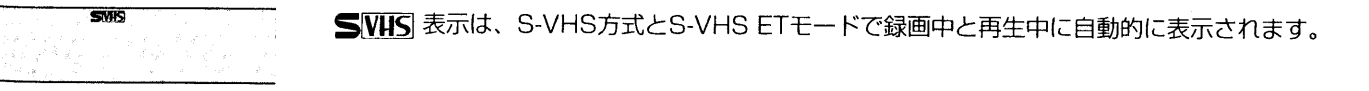
使用するテープと記録方式

「ビデオ設定」の「映像設定」の画面で「S-VHS」を「オート」に合わせていると、使用するテープの種類に合った記録方式で録画されます。「切」に合わせていると、テープの種類に関係なくVHS方式で録画されます。S-VHS ETモードで録画するには、VHSテープ(「HG」グレードのテープをおすすめします)を入れて、「ビデオ設定」の「映像設定」で「S-VHS」を「入」に合わせてください。

メニュー(映像設定)		使用するテープ	録画モード	記録方式	点灯する表示ランプ
D-VHS	S-VHS				
オート	オート	S-VHS	標準/3倍	S-VHS	SVHS表示
		VHS	標準/3倍	VHS	点灯しない
	入	S-VHS	標準/3倍	S-VHS	SVHS表示
切	入	VHS	標準/3倍	S-VHS ET	SVHS表示 S-ET表示ランプ
		S-VHS	標準/3倍	VHS	点灯しない
	切	D-VHS	標準/3倍	S-VHS	SVHS表示
切	オート	S-VHS	標準/3倍	VHS	点灯しない
		VHS	標準/3倍	VHS	点灯しない
	入	D-VHS	標準/3倍	S-VHS	SVHS表示
切	入	S-VHS	標準/3倍	S-VHS ET	SVHS表示 S-ET表示ランプ
		VHS	標準/3倍	VHS	点灯しない

* ビデオ前面のD-VHSインジケータは、黄色に点灯します。

ビデオの表示窓



おしらせ

- VHSテープの何も録画されていない部分を再生したとき SVHS表示およびS-ET表示ランプを表示することがあります。
- 「映像設定」の「S-VHS」を「オート」に合わせていると、テープを取り出しても「SVHS」が表示されつづける場合があります。ビデオの電源を切ると SVHS表示は消えます。

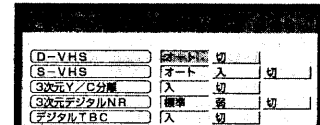
DモニターとAモニターについて……

本機に内蔵のテレビチューナー(ケーブルテレビ、BS放送を含む)や外部入力の映像、標準/3倍モードで録画されたテープの再生映像をテレビに映すときに、そのままの映像・音声(Aモニター)と本機でデジタル処理した映像・音声(Dモニター)のどちらかを選ぶことができます。コンポーネント映像出力からは常にデジタル処理された映像と音声が出力されます。D-VHS方式で録画(STDモード)されたテープを再生すると、デジタル処理された映像が出力されます。

Dモニター	D-VHS方式で録画、再生した場合にどのような映像になるか確認できます。通常は「Dモニター」に設定してください。
Aモニター	サーチ、スロー再生時になめらかな映像を見ることができます。

* 工場出荷時はDモニターに設定されています。

「S-VHS」の切り換え



- 1 「D-VHSの設定」1、2 (23ページ参照) の操作で「映像設定」画面を出す
- 2 「S-VHS」の設定を録画したい記録方式に切り換えて、決定ボタンを押す
- 3 メニューボタンを押す

記録したテープの再生

テープを再生するときは、記録方式を自動的に判別し、記録方式に合わせて再生します。

記録方式	再生できるビデオ
S-VHS	<ul style="list-style-type: none"> • D-VHSビデオ* • S-VHSビデオ • S-VHS ET付きビデオ
S-VHS ET	<ul style="list-style-type: none"> • SQPB**付きビデオ
VHS	<ul style="list-style-type: none"> • D-VHSビデオ • S-VHSビデオ • S-VHS ET付きビデオ • S-VHS ET無しビデオ • SQPB**付きビデオ • SQPB無しビデオ

* S-VHS、SQPBまたはS-VHS ET対応機種

**SQPBは、S-VHS Quasi Playback (S-VHS簡易再生)の略です。

S-VHS ETモードについて

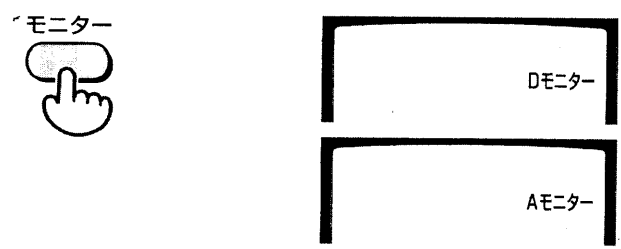
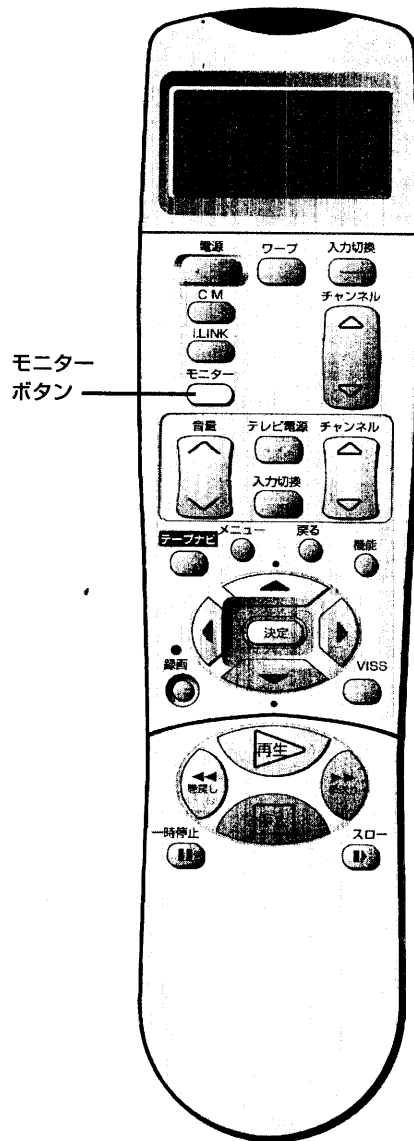
- このビデオのS-VHS ETモードで録画したテープは、本機または、S-VHS ETモード付きビデオでの再生をおすすめします。
- VHSテープの種類によっては十分な画質が得られない場合がありますので、初めて使う場合は、あらかじめ試し録りをして画質を確認してください。
- S-VHS ETモードで録画したテープは、他のS-VHS ETモード付きビデオ、S-VHSビデオ、SQPB付きビデオで再生できますが、ごく一部のS-VHSビデオとSQPB無しビデオでは再生できませんのでご注意ください。

再生できない日立製S-VHSビデオ：VT-Z50
VT-Z70
VT-S610
VT-BS2
7B-DF100

- より高画質を望まれる場合や、他のビデオでの再生、長期間の保存を目的とした録画では、S-VHS記録方式をお勧めします。
- 特殊再生(静止画再生やスロー再生)を行うと、画面にノイズが出たり、画質が悪化することがあります。これらの操作の多用は、避けてください。
- S-VHS ETモードで録画するVHS「HG」テープには、同梱の「Super VHS ET」シールをカセットラベルに貼っていただくと、わかりやすく便利です。(シールがなくなったときには、カセットラベルに記入してください。)

DモニターとAモニターを切り換える

リモコンのモニターボタンを押す



- テレビの映像がAモニターに切り換わります。テレビ画面に「Aモニター」と出ます。
- もう一度モニターボタンを押すと、テレビの映像がDモニターに切り換わります。テレビ画面に「Dモニター」と出ます。

おしらせ

- DモニターとAモニターを切り換えたとき、一瞬画面が乱れたり、音声が途切れたりします。
- Aモニターのとときに、メニュー画面などを表示したり消したりすると、一瞬画面が乱れたり、音声が途切れたりします。

おしらせ

外部入力端子に接続した機器から以下のような映像をDモニターで見たり、S-VHS、VHS方式で以下のような映像を録画したテープを再生してDモニターで見ると、灰色の画面やブロックノイズ、静止画が出ることがあります。

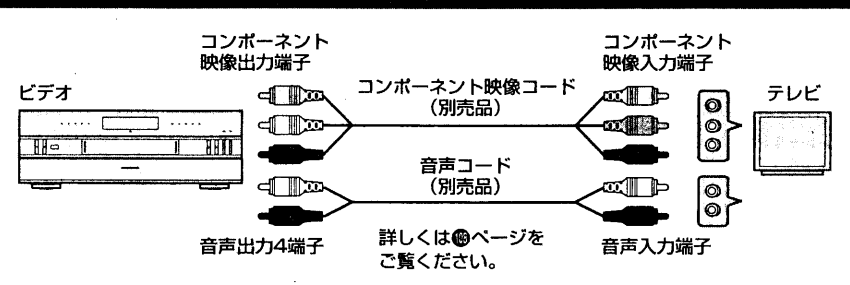
- メニュー画面
- ゲーム機器の映像
- 特殊再生映像
- 特殊処理された映像
- ノイズの多いテープの再生映像
- 傷のついたテープの再生映像
- 繰り返し使われたレンタルテープの再生映像
- 中古販売されているソフトテープの再生映像
- ダビングされたテープの再生映像
- CDV (コンパクトディスクビデオ) の映像

このような画面や映像を見るときには、Aモニターにしてください。

コンポーネント映像出力について……

コンポーネント映像出力端子からは、輝度信号(Y)と青系の色差信号(CB)と赤系の色差信号(CR)の3種類の信号が、独立して出力されます。テレビがコンポーネント映像入力端子(Y、CB、CR)を持っている場合、本機のコンポーネント映像出力端子と接続することにより、クロスカラーや色にじみの少ない高画質映像を楽しむことができます。本機のD-VHS方式は、コンポーネント映像信号に対応したデジタル映像信号を録画再生していますので、コンポーネント映像出力端子と接続することにより、D-VHS再生をより高画質で楽しむことができます。

コンポーネント映像入力端子つきテレビとつなぐとき

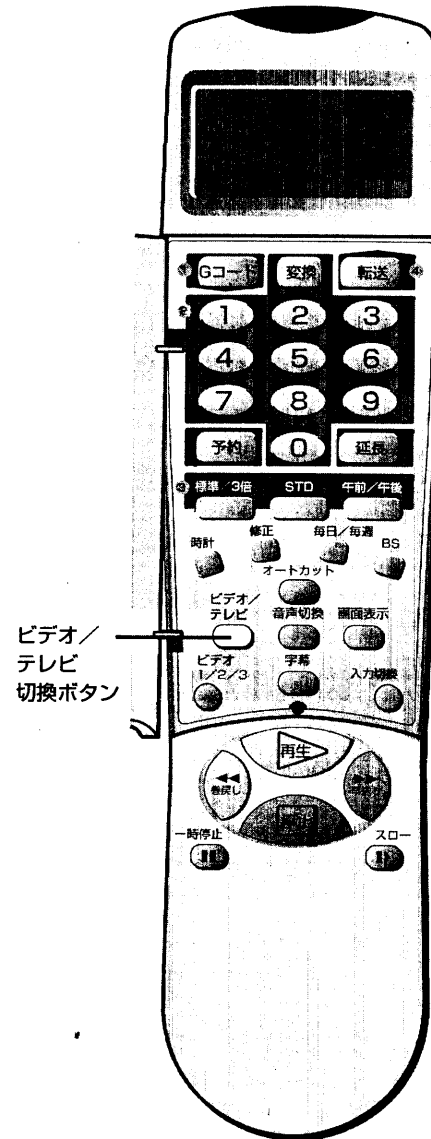


コンポーネント映像出力のご注意

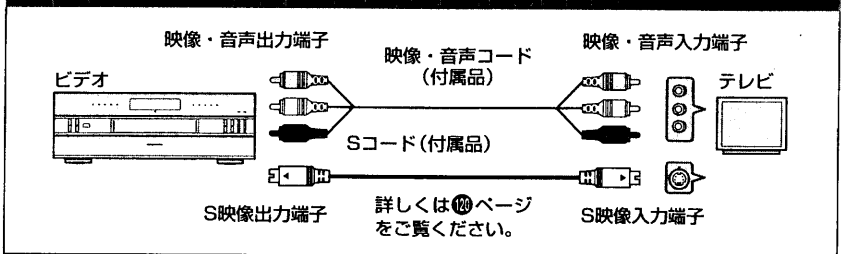
- コンポーネント映像出力端子からは映像信号のみ出力されます。音声信号の接続も忘れずに行ってください。(122ページ参照)
- コンポーネント映像出力端子からは、リモコンのモニターボタンでDモニターとAモニターを切り換えても、常にデジタル映像信号(Dモニターの映像)を出力しています。
- コンポーネント映像出力端子からは、チャンネルやビデオの動作状態を示す画面表示、テープの経過時間を示す表示、オートカット機能に関連した画面表示の一部が出力されません。ビデオの表示窓やランプの表示を参考にしてください。メニュー画面やテープナビ画面などは表示されます。
- アナログ記録テープやレンタルテープの再生時に、ノイズが強調されたり画質が劣化して見える場合があります。このようなときにはテレビをS入力やビデオ入りに切り換えてご覧ください。
- 画像の明るさ、色の濃さ、色相等はテレビで調整してください。
- コンポーネント接続用の映像および音声ケーブルは市販のものをご利用ください。
- 接続するテレビの取扱説明書もよくお読みください。
- テレビによってはY、PB、PRと表示されている端子に接続しても映る場合があります。テレビの取扱説明書をよくお読みください。

テープを見る準備……………

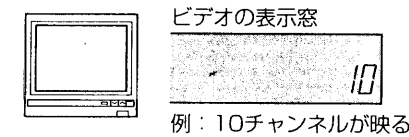
ビデオテープの再生画や録画中の番組をテレビで見するには、テレビの準備が必要です。テレビとビデオの接続を確かめてから、次のように設定してください。



映像・音声入力端子つきテレビにつないでいるとき

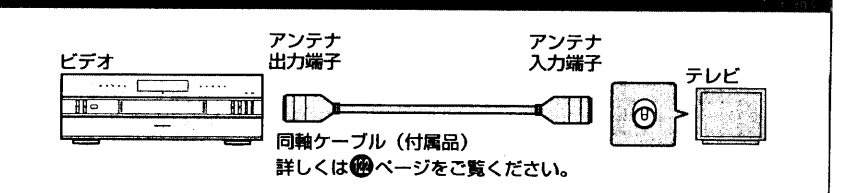


テレビの電源を入れ、テレビの入力切替を「ビデオ」にする

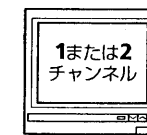


テレビには、ビデオの表示窓に表示されているチャンネルの番組が映ります。

アンテナ端子だけのテレビにつないでいるとき

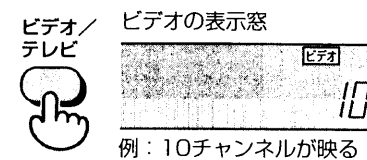


1 テレビの電源を入れ、テレビをビデオチャンネル(1または2)に合わせる



137ページで選んだビデオ専用チャンネルに合わせてください。

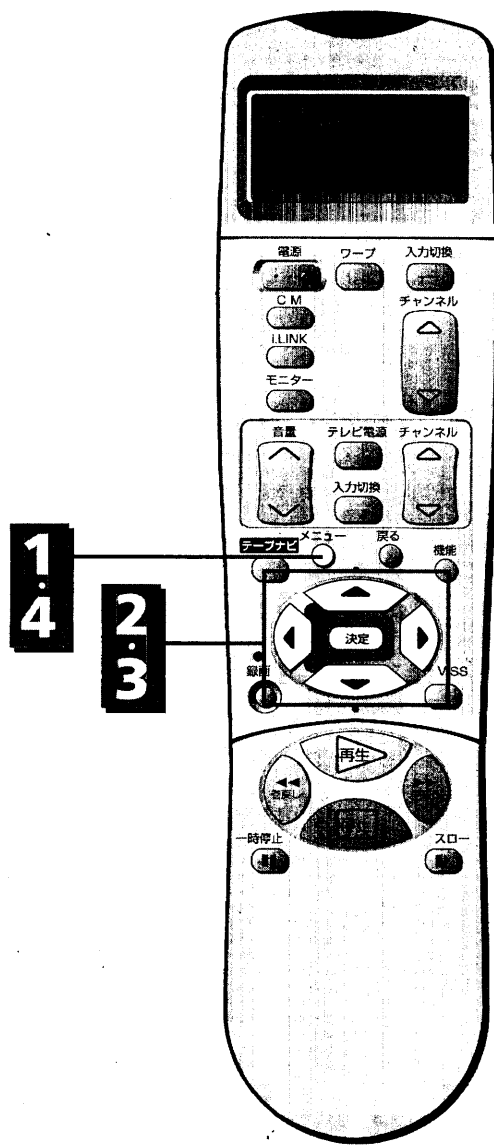
2 ビデオ/テレビ切替ボタンを押す



- ビデオの表示窓に「ビデオ」を出します。
- テレビには、ビデオの表示窓に表示されているチャンネルの番組が映ります。

ビデオの電源を自動的に切る

このビデオは、何も操作しないと指定した時間で自動的に電源を切ることができます。この機能をオート電源オフといいます。次のように設定してください。

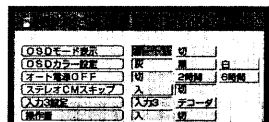
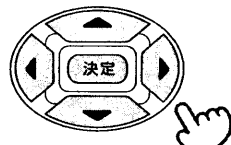


ビデオの電源を自動的に切る(オート電源オフ)

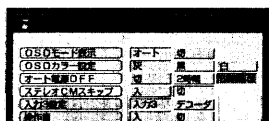
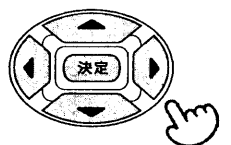
1 メニューボタンを押す



2 「ビデオ設定」の「機能設定」を選び、決定ボタンを押す



3 カーソルボタンで「オート電源OFF」の電源を切るまでの時間を選び、決定ボタンを押す



- 「2時間」を選ぶと2時間後、「6時間」を選ぶと6時間後に自動的に電源が切れます。
- 「切」を選ぶとオート電源オフ機能は動きません。(69ページ参照)

4 メニューボタンを押す



おしらせ

- オート電源オフを設定していて、録画・再生中に他の操作をしないと
- 3分後にビデオの表示窓が自動的に暗くなります。
- 表示窓が暗くなっているときにビデオを操作すると、表示窓が点灯します。
- オート電源オフを設定してタイマー録画すると、録画のはじめから表示窓が暗くなります。



操作編

見る
いろいろな再生

録る
いろいろな録画

タイマー録画

メニューを使う

便利な使いかた

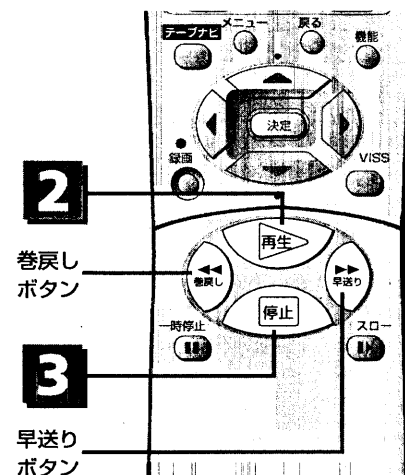
テープを見る(再生)

録画したテープを見ることを、「再生」といいます。

重要

冬など寒い時期は、テープを十分に部屋の温度になじませてから再生してください。テープが冷えたまま再生すると、テープが結露し、テープが切れたりビデオヘッドを傷つけることがあります。

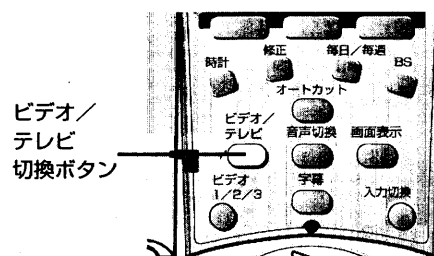
ふたを閉じたところ



2 巻戻しボタン

3 早送りボタン

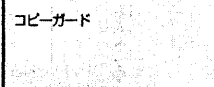
ふたを開けたところ



ビデオ/テレビ 切換ボタン

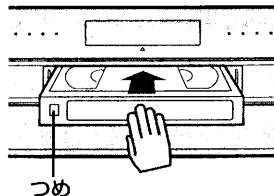
おしらせ

コピーガード表示について
コピーガード処理されたテープを再生すると、ビデオの表示窓に「コピーガード」と出ます。



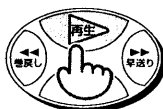
- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする (またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)

1 録画したテープを入れる



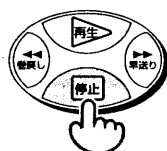
- 自動的に電源が入ります。
- レンタルテープなど「つめ」の折り取られているテープを入れると、自動的に再生を始め、テレビ画面に「再生」が数秒間出ます。

2 再生ボタンを押す



- D-VHS方式で録画したテープを再生すると、ビデオ前面のD-VHSインジケータが青色に点灯します。
- S-VHSまたはVHS方式で録画したテープを再生すると、D-VHSインジケータが黄色に点灯します。
- D-VHSの再生については、24ページを参照してください。

3 再生を止めたいときは、停止ボタンを押す

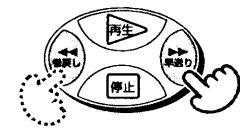


おしらせ

ビデオの電源を入れたまま、テレビのチャンネルボタンでチャンネルを選ぶには
• ビデオ/テレビ切換ボタンを押して、ビデオの表示窓の「ビデオ」表示を消してください。

テープを早送りまたは巻戻ししたいとき

停止ボタンを押したあと、早送りまたは巻戻しボタンを押す



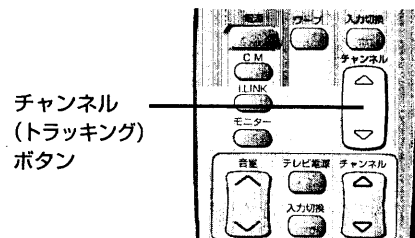
または

おしらせ

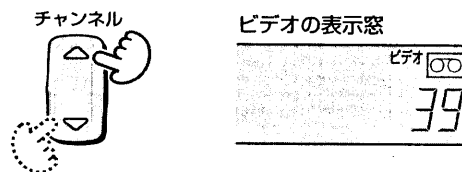
こんな機能があります！
• テープを最後まで再生すると、テープの最初まで自動的に巻戻します。(オートリワインド)
• テープを巻戻し中に電源を切ると、テープを最初まで巻戻したあと、自動的に電源が切れます。(オートリワインドシャットオフ)

再生画をきれいにする(トラッキング調節)

再生を始めると画面がきれいになるように自動的に調節します(オートトラッキング)。再生中にリモコンの再生ボタンを押しても、オートトラッキングが働きます。再生を始めてからしばらくたって画面がきれいにならないときは、下記の方法で調節してください。



再生中にチャンネル(トラッキング)ボタンを押す



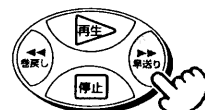
- 画面がもっともきれいになるところに調整してください。
- ビデオのチャンネル/トラッキングボタンでも調整できます。
- D-VHS方式の再生では、ビデオの表示窓の数値が最大になるように調整してください。

おしらせ

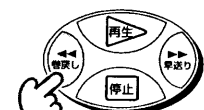
- テープによっては、再生を始めてオートトラッキングが働いたとき、一時的に画像や音質が悪くなる(ノイズが入る)ことがあります。
- D-VHS方式で録画したテープの場合は、ブロックノイズ、静止画、灰色の画面になることがあります。次のようなテープでは、再生を始めても正常に自動調節できないことがあります。
• 傷がついたテープ • 録画状態の悪いテープ
• このビデオ以外で録画したテープ

テープを高速(260倍速)で送る

早送りするとき
早送りボタンを
2回押す



巻戻すとき
巻戻しボタンを
2回押す

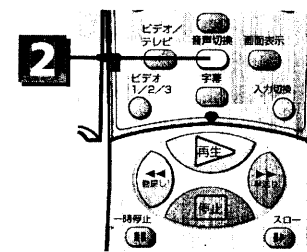


- 高速の早送りまたは巻戻し中、早送りまたは巻戻しボタンを押すと、ふつうの速さに戻ります。

おしらせ

高速で早送りや巻戻しをしているときは、テープ保護のため停止ボタンを押してからテープが止まるまでに約5秒かかります。早く止めたいときは、ふつうの早送り/巻戻しの速さに戻してから停止ボタンを押してください。

聞きたい音声を選ぶ



1 テープを再生する、またはテレビ番組を見る



- テレビ画面に音声表示がしばらく出ます。
- D-VHS再生時は、上の表示が出ません。

2 音声切換ボタンを押して音声を選ぶ



ボタンを押すたびに、ビデオの表示窓の [L] [R] の表示が変わります。

表示	聞きたい音声	
	二重音声番組	ステレオ番組
[L] [R]	主音声と副音声 (例: 「こんにちは」と「Hello」)	ステレオ
[L]	主音声だけ (例: 「こんにちは」だけ)	左の音声 (Lチャンネル)
[R]	副音声だけ (例: 「Hello」だけ)	右の音声 (Rチャンネル)
表示なし	主音声だけ (例: 「こんにちは」だけ)	モノラル (ノーマルサウンド)

*D-VHSインジケータが青色に点灯しているときは、音声切換で「表示なし」を選ばません。

おしらせ

• 映像・音声入力端子のないテレビとつないで二重音声番組を見るときは、[L] [R] のどちらかを選んでください。[L] [R] を出すと左右の音声が混じって聞こえます。

再生オートについて

- 一度音声を選ぶと、次に選び直すまでは前に選んだ音声が聞こえます。日立製の再生オート機能付きビデオで録画したテープを再生すると機能します。
- D-VHS方式で録画したテープでは、再生オートは機能しません。

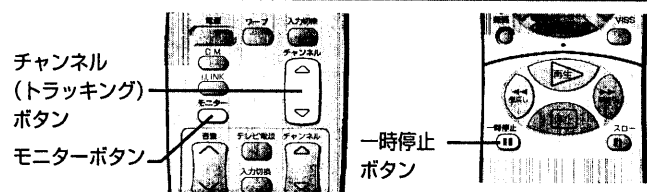
いろいろな再生のしかた

テープに録画した場面を止めて見たり、速く見たり、ゆっくり見たりすることができます。
D-VHSのいろいろな再生については、「D-VHSのいろいろな再生について」(24ページ)を参照してください。

重要

- 静止画、サーチ、CMとばしワザ、スロー再生中は音声が出ません。
- スロー再生や静止画再生中にノイズを調節してもノイズが消えないことがあります。また、静止画、サーチ、スロー再生の切り換わる部分では、画像に乱れやノイズが出たまま消えないことがあります。故障ではありません。
- スロー再生中、テープの録画モード(標準/3倍)が切り換わるころでは、一時的に画像が乱れます。
- 静止画、サーチ、スロー再生中はノイズや乱れが出ることがありますが、故障ではありません。

ある場面を止めて見る(静止画)



再生中に、一時停止ボタンを押す



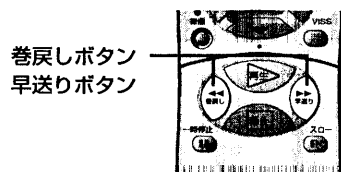
- 一時停止ボタンまたは再生ボタンを押すと再生に戻ります。
- 静止画が約1分間つづくと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止します。

おしらせ

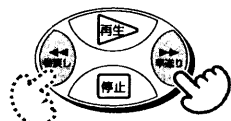
静止画が上下に揺れるとき

- チャンネル(トラッキング)ボタンを押して、揺れを最小にするように調節してください。
- テレビとの組合せによっては、揺れを抑えられないことがあります。

画像を見ながら見たい場面を探す(サーチ)



再生中に、早送りまたは巻戻しボタンを押す

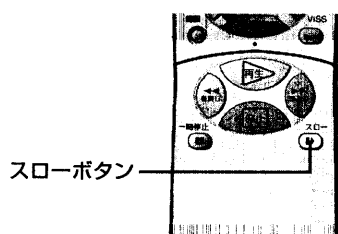


- 見たい場面が出たら、再生ボタンを押します。
- サーチ再生中は、画面に数本のノイズが出ます。
- CMとばしワザを設定していると、CM部分の終わりで再生に戻ります(40ページ参照)。

おしらせ

Dモニターで見ているときは、サーチ再生中に映像が間欠的に変化しますが、故障ではありません。
リモコンのモニターボタンを押してAモニターに切り換える(ビデオ前面のモニター表示ランプが消灯)と、なめらかなサーチ映像を見ることができます。

ゆっくりした速さで見る(スロー)



再生中に、スローボタンを押す



- 再生ボタンを押すと再生に戻ります。
- スロー再生が約1分間つづくと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止します。

おしらせ

スロー再生中や静止画再生中にノイズが出るときは

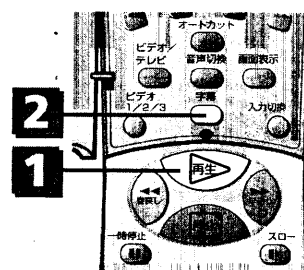
- スロー再生にしてから、チャンネル(トラッキング)ボタンでノイズが少なくなるように調節してください。スロー再生時のノイズを少なくすると静止画再生時のノイズも少なくなります。

重要

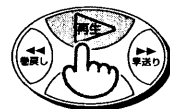
- 字幕を表示できるのは、*または マークの付いたテープなどのクローズド・キャプション信号の入ったテープだけです。これ以外のテープでは表示できません。
* はナショナル・キャプション・インスティテュート・インク社のサービスマークおよび商標です。
- 本機でクローズド・キャプション信号の入ったD-VHS方式で録画したテープを他のD-VHSビデオで再生すると、正しく字幕が表示されないことがあります。
- 他のD-VHSビデオでクローズド・キャプション信号の入ったD-VHS方式で録画したテープを本機で再生すると、正しく字幕が表示されないことがあります。

英語の字幕を見る(Closed Caption)

クローズド・キャプション信号の入ったビデオテープを再生したとき、英語の字幕を表示させることができます。



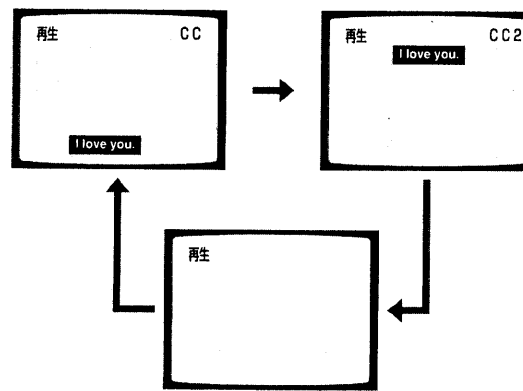
1 クローズド・キャプション信号の入ったテープを再生する



2 字幕ボタンを押す

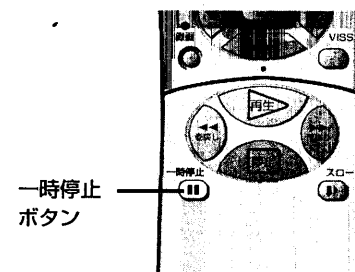


ボタンを押すたびに、下のように字幕表示が切り換わります。



字幕表示が「CC」「CC2」のとき、ビデオの表示窓に「C.C」と表示されます。

字幕を止めて見るとき



一時停止ボタンを押す



一時停止ボタンまたは再生ボタンを押すと、再生に戻ります。

おしらせ

字幕が出ないとき

- 早送り再生、巻戻し再生、スロー再生中は字幕が消えます。
- テープに傷がついていたり、録画状態の悪いテープでは字幕を正しく表示できないことがあります。

字幕が上下に揺れるとき

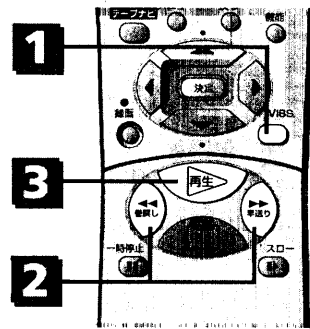
- チャンネル(トラッキング)ボタンで字幕と画像の揺れを最小に調節してください。
- テレビとの組み合わせによっては揺れを抑えられないことがあります。

または マークの付いたテープ以外で字幕表示ができるもの

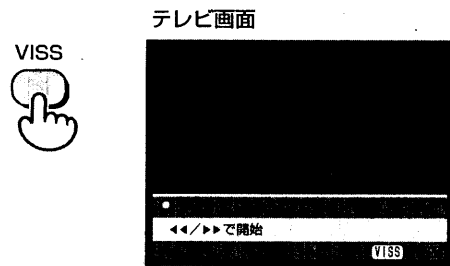
- クローズド・キャプション信号の入ったテープをダビングしたテープ
- 外部入力につないだ、クローズド・キャプション信号の入ったレーザーディスクなど(ただし、デジタルメモリー機能付きのレーザーディスクプレーヤーをお使いのときは字幕表示ができないことがあります)。

録画した番組の頭出しをする(VISS)

テープに記録されている頭出し信号(VISS信号)を使って、見たい番組の頭出しができます。

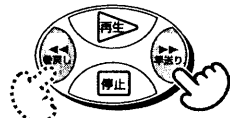


1 停止状態のとき、VISSボタンを押す



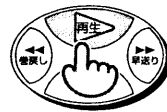
VISS画面が出ます。

2 1の画面が出ている間に、早送りまたは巻戻しボタンを押す



- 番組の頭(VISS信号の部分)まで早送り、または巻戻されたあと、自動的に約15秒間(D-VHS再生では約25秒間)再生します。
- 番組ごとに、早送り(または巻戻し)と15秒間(D-VHS再生では約25秒間)の再生を繰り返します。

3 見たい番組になったら、再生ボタンを押す



- 再生になります。
- D-VHS方式で録画したテープは、再生画面が出るまで数秒かかることがあります。

お知らせ

VISS*(頭出し)信号について

- 本機は、録画するたびに、自動的に頭の部分にVISS信号を記録します。
- VISS信号は、録画ボタンを押すと記録されますが、録画一時停止から録画に戻したときは記録されません。ただし音声だけ録音するときやチャンネルを変えたときは、記録されます。

次のような場合、VISS信号が検知されず、頭出しができないことがあります。

- 録画時間が10分以内の番組
- VISS信号が記録されている付近で操作したとき
- 本機以外のVISS機能のないビデオで録画したテープ

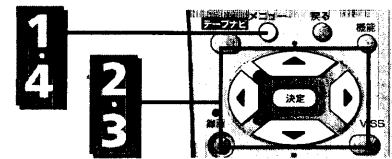
*VISSはVHS Index Search Systemの略です。

重要

- 3次元デジタルNRを「標準」または「弱」にして再生を始めたとき、3次元デジタルNRが働くため画面がガタつくことがあります。故障ではありません。
- テープをダビングするときは、3次元デジタルNRを「切」にしてください(61ページ参照)。
- 3次元デジタルNRとデジタルTBCは、D-VHS再生では機能しません。

映像をクッキリさせる

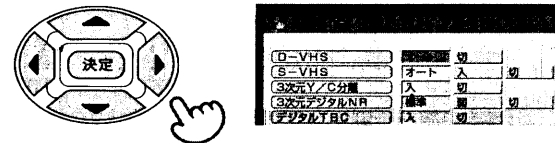
このビデオには高画質な録画、再生映像をお楽しみいただくために、以下の機能があります。次のように設定してください。



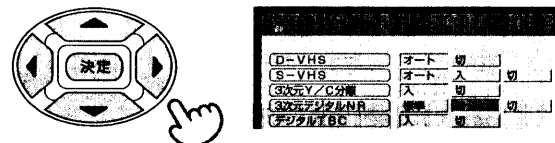
1 メニューボタンを押す



2 「ビデオ設定」の「映像設定」を選び、決定ボタンを押す



3 カーソルボタンで設定したい項目を選び、決定ボタンを押して設定を切り換える



例：「3次元デジタルNR」を「弱」に切り換えたとき

3次元Y/C分離^{フィッシュ}入または切

入	3次元Y/C分離回路が、放送局から送られてくる輝度信号(Y)と色信号(C)を分離し、両信号の混じり合いによって起こるクロスカラーやドット妨害を大幅に改善します。ふつうは入に合わせます。
切	電波の状況や接続したテレビによって、動きの速い場面で残像が出るとき3次元Y/C分離回路を切ると、残像が軽減されます。

3次元デジタルNR* 標準または弱または切

標準	テープの再生時、3次元デジタルNR(YNR, CNR)が働き、映像を劣化させる輝度ノイズと色ノイズを取り除きます。ふつうは標準に合わせます。
弱	動きの速い場面で残像が出たり、輪郭がぼやけるときの弱にすると症状が軽減されます。
切	3次元デジタルNRはよりきれいな映像をお楽しみいただくための映像処理を行っています。そのためダビングなどを行うとき、またはテレビの組み合わせによっては画質が落ちてしまう場合があります。このようなときは切にしてください。なお、切にすると、TBCは動かなくなります。

*NRはNoise Reductionの略です。

デジタルTBC(タイム・ベース・コレクタ)入または切

入	他のビデオで録画したテープを再生する場合やダビングを繰り返し行った場合などに起こるテープの伸びや走行ムラを原因とする画像の揺れや歪みを抑えます。記録状態によっては、揺れや歪みを抑えられない場合があります。ふつうは入に合わせます。
切	お使いになるカセットによっては、再生画像が縦方向に揺れる場合があります。このようなときは切にしてください。

4 メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

CMをとばして見る (CMとばしワザ)

再生中、CM (コマーシャル) だけを早送り再生でとばして見るができます。

重要

BS、CS放送番組中のCMや、外部入力につないだ機器から録画した番組中のCMは、とばすことができません。

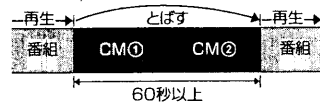
CMとばしワザのしくみ

CMとばしワザは、CMオートとステレオCMスキップの2つの方法でCM (コマーシャル) をとばす機能です。テレビ放送は、ふつう、番組と番組の間に複数のCMが続きます。CMオートは、録画するときに番組とCMの切り換わる点を検出し、再生時にCM部分をとばします。ステレオCMスキップは、ステレオ放送とモノラル/二重音声の違いを検出し、ステレオ放送の部分のみをとばします。CMはほとんどの場合ステレオ放送なので、とばすことができます。

CMオートについて

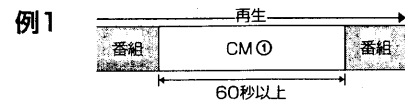
CMオートは、複数のCMが集まった合計60秒以上の部分を「CM部分」と判断してとばします。CMオートでCMをとばせるのは、このビデオでテープナビを「入」に設定して録画した番組だけです。

CMオートで正しくとばされる例

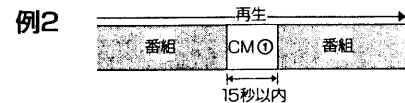


- CMが2本、合わせて60秒以上続くと正しくとばされます。

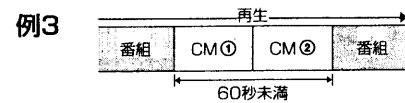
CMオートで正しくとばされない例



- 1本が60秒以上のCMはとばされません。(テレビショッピングなど)



- 1本が15秒以内のCMはとばされません。



- 2本以上続いて60秒未満のCM部分はとばされません。

おしらせ

以下の場合には、CMオートでCMをとばせません。このようときには、ステレオCMスキップをお使いください。

- 本機以外のビデオで録画したとき
- テープナビ「切」で再生しているとき
- テープナビ「切」で録画したとき

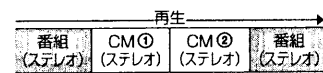
ステレオCMスキップについて

ステレオCMスキップは、ステレオ放送部分を「CM部分」と判断してとばします。他の日立製のステレオ (オート) CMスキップ機能付きビデオで録画したテープでも使えますが、CMの前後の本番組がステレオ放送のときはCM部分がとばされません (42ページ参照)。

ステレオCMスキップで正しくとばされる例



ステレオCMスキップでとばされない例



ステレオCMスキップで正しくとばされない例



おしらせ

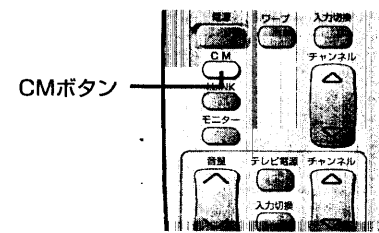
D-VHS再生時のCMとばしワザについて

- D-VHS再生では、CMオートでCM部分をとばすことはできませんが、ステレオCMスキップでステレオ放送部分 (CM部分) をとばすことはできません。
- CM部分をとばしているときは、静止画とビデオの表示窓の経過時間表示になります。

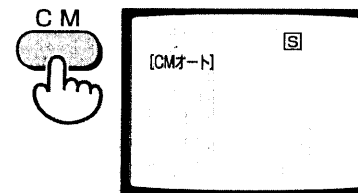
重要

- CMオートでCMをとばせるのは、このビデオや日立製のCMとばしワザ機能付きビデオでテープナビを「入」にして録画した番組だけです。CMオートでCMをとばすには、録画前にテープナビが「入」に設定されていることを確認してください (95ページ参照)。また、再生時にビデオ前面のテープナビ表示ランプが点灯していることを確認してください。

CMオートでCMをとばす



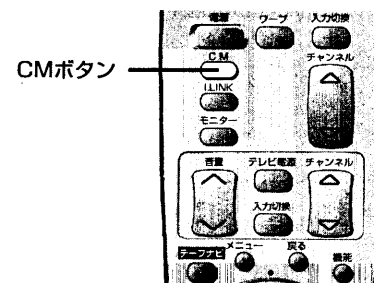
停止中にリモコンのCMボタンを押す



例 CMオートでCMをとばすとき

- CMオートでCMをとばすときは、テレビ画面に数秒間 [CMオート] が出ます。
- ビデオ前面のCM表示ランプが点灯します。
- CMが始まると、スキップ (早送り再生) されて、そのCM部分が終わると再生に戻ります。

CMオートを解除するには

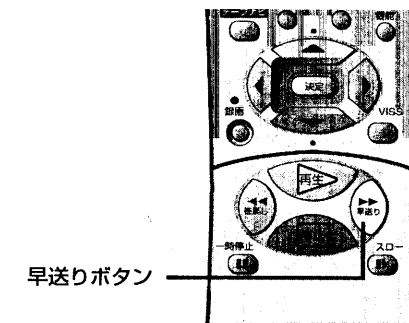


リモコンのCMボタンを押してビデオ前面のCM表示ランプを消す

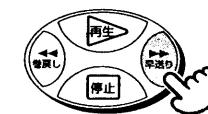


次のCMの終わりまでとばすには

ビデオ前面のCM表示ランプが点灯しているときは、番組の途中から次のCM部分の終わりまで、またCMの途中からそのCM部分の終わりまでをとばすことができます。



再生中に早送りボタンを押す



- 早送り再生が始まります。
- CM部分の終わりまでとばすと再生に戻ります。

早送り再生

テレビ番組を録画する

テレビで見ている番組をテープに録画します。

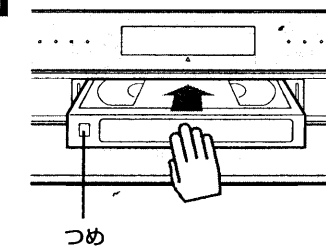
重要

- 本機で録画したテープを入れると、ビデオ前面のテープナビ表示ランプが数秒間点滅してから点灯します。点滅している間は録画ボタンや他の操作ボタンを押さないでください。
- S-VHS方式で録画するときは、S-VHSテープを入れたあと、ビデオの表示窓に「S-VHS」が出ていないときは②ページをご覧ください。「映像設定」の画面で「S-VHS」を「オート」に合わせてください。



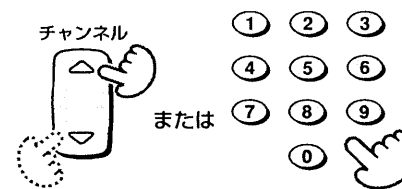
- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする (またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)

1 「つめ」の折れていないテープを入れる



- 自動的に電源が入ります。
- D-VHS方式で録画するときは、D-VHSテープを入れてください。

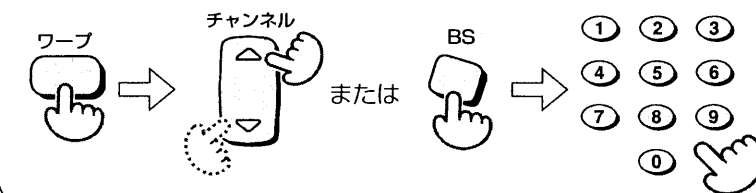
2 録画したいチャンネルを選ぶ



0~9の数字ボタンでひとけたのチャンネルを選ぶときは、最初に0ボタンを押してください (たとえば6チャンネルは0、6と押します)。

BS放送を選ぶとき

先にワープボタン、またはBSボタンを押してください。



デジタルCS放送を選ぶとき

⑤ページを参照してください。

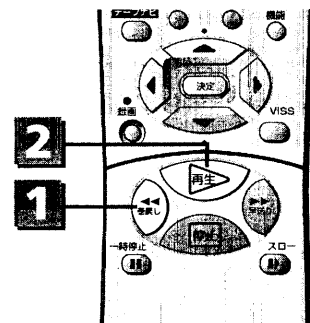
おしらせ

コピーガード表示について
録画したいチャンネルを選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されるとD-VHS方式で録画できません。

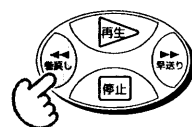
コピーガード

とばした部分を見たいときは

CMオートでCMをとばしたときは、とばした部分に戻って再生できます。

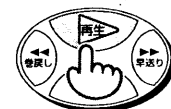


1 巻戻しボタンを押す



巻戻し再生でとばした部分の頭まで巻戻します。

2 再生ボタンを押す



おしらせ

CMオートのご注意

- 録画開始部分や終了部分では、正しくとばせないことがあります。
- 番組によっては、CMオートが正しく動作しないことがあります。特にD-VHS録画したテープでは、番組内容によりCMオートが正しく動作しないことがあります。
- CMによっては、CMの途中からとばしたり、CMの途中で再生に戻ることがあります。
- 番組予告がとばされることがあります。
- 番組および電波の状態によっては、番組の一部がとばされることがあります。
- 録画中に電源コードが抜かれたり、停電が起きたりすると、CMオートは正しく動作しません。

CMオートでCMをとばせないときは

1 メニュー画面で「ビデオ設定」の「機能設定」を選び、決定ボタンを押す

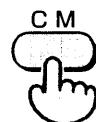
2 「ステレオCMスキップ」の「入」を選び、決定ボタンを押す



3 メニューボタンを押す



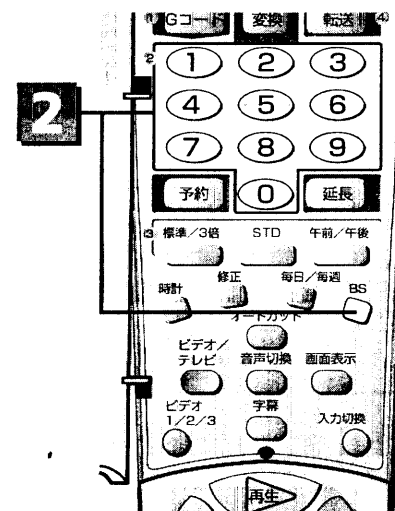
4 停止中にリモコンのCMボタンを押して、ビデオ前面のCM表示ランプを点灯させる



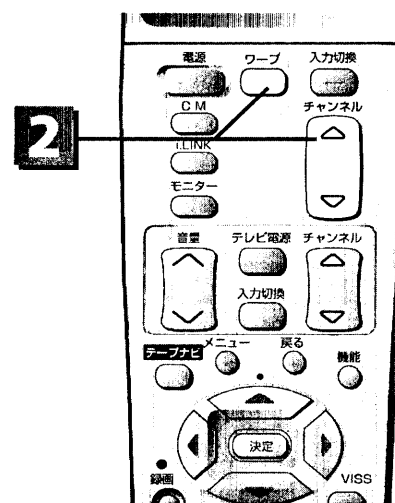
おしらせ

「ステレオCMスキップ」を「入」に設定しても、D-VHS再生ではステレオCMスキップ機能は動きません。

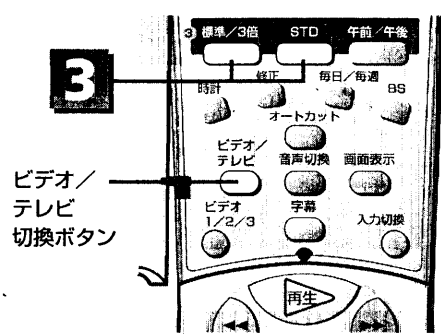
ふたを開けたところ



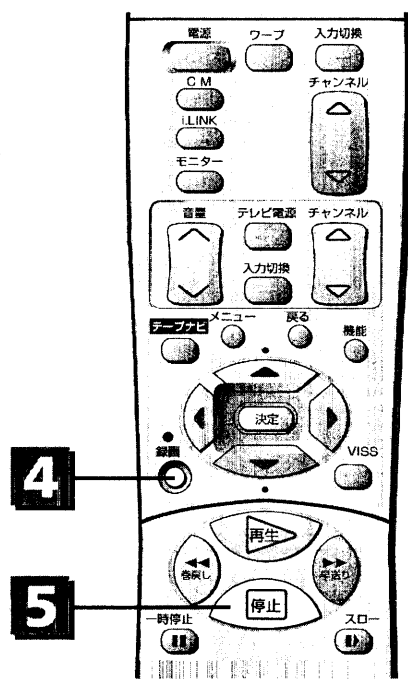
ふたを閉じたところ



ふたを開けたところ

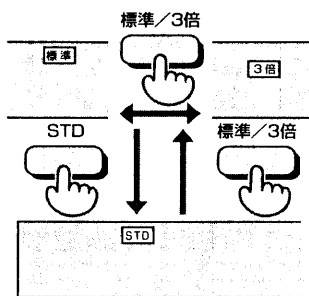


ふたを閉じたところ



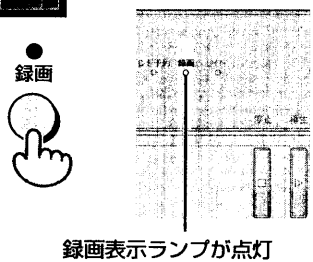
3 リモコンのふたを開け、録画モードを選ぶ

ビデオの表示窓
 (「映像設定」の「D-VHS」:
 「オート」のとき)



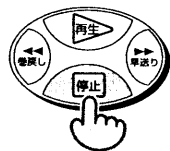
- VHS、S-VHS方式で録画するときには、標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選んでください。
- D-VHS方式で録画するときには、STDボタンを押して、ビデオの表示窓に「STD」を出してください。VHS、S-VHS方式の録画に切り換えるには、標準/3倍ボタンを押してください。
- STDにするとビデオ前面のD-VHSインジケータが青色に点灯します。標準/3倍にすると、黄色に点灯します。
- 画質や音質を重視するときは、D-VHSテープでは「STD」、S-VHS、VHSテープでは「標準」がおすすめです。
- D-VHS方式で録画するときの録画モードは、「STD」だけです。他の録画モードを選ぶと、S-VHS、VHS方式で録画されます。

4 録画ボタンを押す



- ビデオ前面の録画表示ランプが点灯し、テープを少し巻戻してから録画が始まります。
- 「つめ」の折れたテープが入っていると、ビデオの表示窓に「TAb」が点滅し、自動的にテープが出てきます。
- テレビを見ないときは、テレビの電源を切っても録画されます。

5 録画をやめるときは、停止ボタンを押す

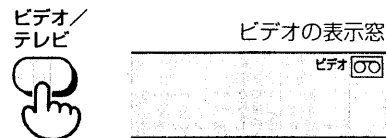


録画した内容を見るときは、巻戻しボタンを押してテープを巻戻してから、再生ボタンを押してください。

おしらせ

テレビチャンネル1または2を選んでるとき

- 録画したいチャンネルがテレビに出ないときは、ビデオ/テレビ切換ボタンを押してビデオの表示窓に「ビデオ」を表示させてください。



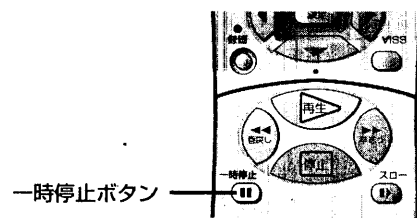
オート機能について

- テープの最後まで録画すると自動的に巻戻されます(オートリワインド)。

音声について

- ステレオ放送はステレオで、二重音声放送は主音声(日本語)と副音声(英語など)が自動的に録音されます。
 - 録音中は、録音される音声には影響なく、音声切換ボタンで聞きたい音声を選ぶことができます(35ページ参照)。
- オートカット機能について
- CMをカットしながら番組を録画することができます(47ページ参照)。

録画中に不要な場面をとばすには



1 録画中に一時停止ボタンを押す



テープ走行が一時止まります。

おしらせ

録画一時停止を約5分間続けるとテープとヘッド保護のため、自動的に停止します。

2 録画したい場面になったら、もう1回一時停止ボタンを押す

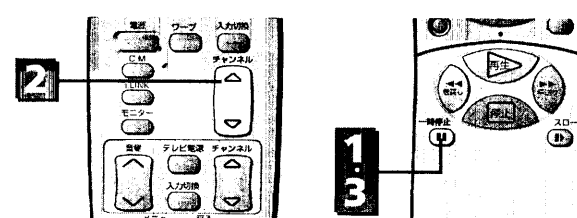


録画が再開します。

おしらせ

D-VHS方式で録画しているときにつなぎ撮り部分(録画を一時停止し、再び録画をはじめた部分)では、ブロックノイズや静止画・灰色の画面が出ます。(24ページ参照)。

録画中に別の番組に切り換えるには



1 録画中に一時停止ボタンを押す



テープ走行が一時止まります。

2 チャンネルボタンを押してチャンネルを選ぶ



3 一時停止ボタンをもう1回押す

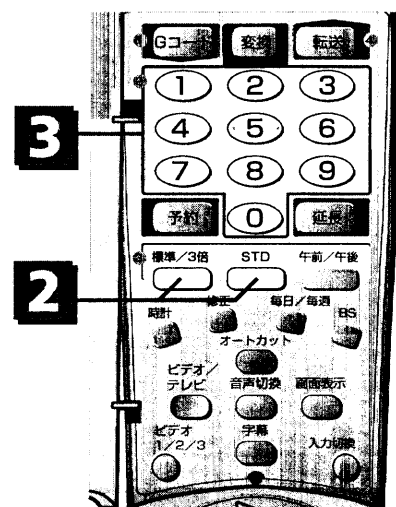


録画が再開します。

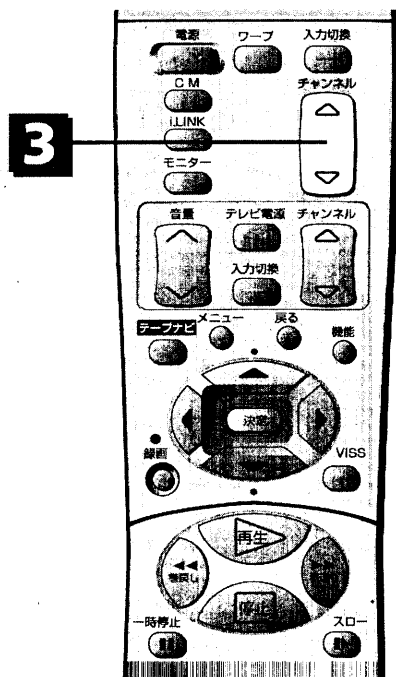
重要

- オートカット機能を使って録画しているときは、一時停止ボタンを押しても録画一時停止にはできません。
- オートカット機能でCMをカットした部分には、わずかにCMが録画されることがあります。
- CMカット「一時停止」の状態が6分以上続くと、ビデオ内部でテープ保護動作が働くため、録画を再開した部分の画が少し乱れることがあります。

ふたを開けたところ



ふたを閉じたところ



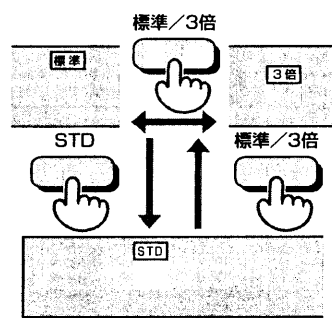
テレビで
 • テレビの電源を入れる
 • テレビの入力切換を「ビデオ」にする (またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)

1 「つめ」の折れていないテープを入れる



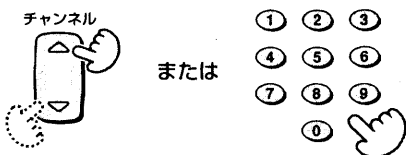
2 リモコンのふたを開け、録画モードを選ぶ

ビデオの表示窓
 (「映像設定」の「D-VHS」:
 「オート」のとき)



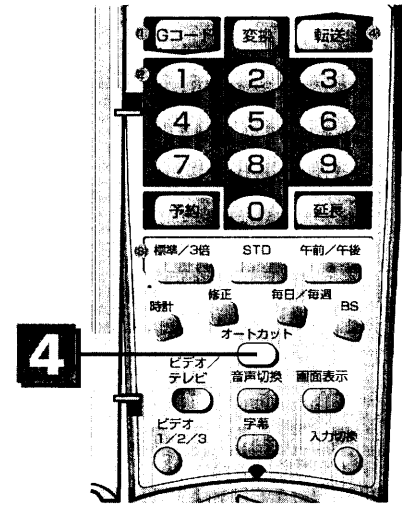
- VHS、S-VHS方式で録画するときは、標準/3倍ボタンを押して、録画モードを選んでください。
- D-VHSモードで録画するときは、STDボタンを押して、ビデオの表示窓に「STD」を出してください。VHS、S-VHSの録画に切り換えるには、標準/3倍ボタンを押してください。
- STDにするとビデオ前面のD-VHSインジケータが青色に点灯します。標準/3倍にすると、黄色に点灯します。
- 画質や音質を重視するときは、D-VHSテープでは「STD」、S-VHS、VHSテープでは「標準」がおすすめです。
- D-VHS方式で録画するときの録画モードは、「STD」のみです。他の録画モードを選ぶと、S-VHS、VHS方式で録画されます。

3 録画したいチャンネルを選ぶ

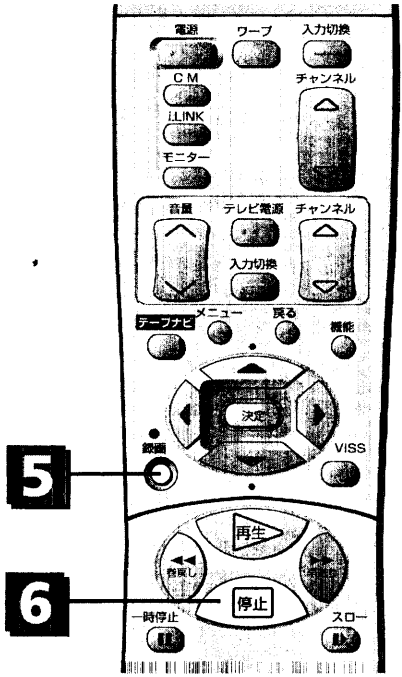


0~9の数字ボタンでひとけたのチャンネルを選ぶときは、最初に0ボタンを押してください (たとえば6チャンネルは0、6と押します)。

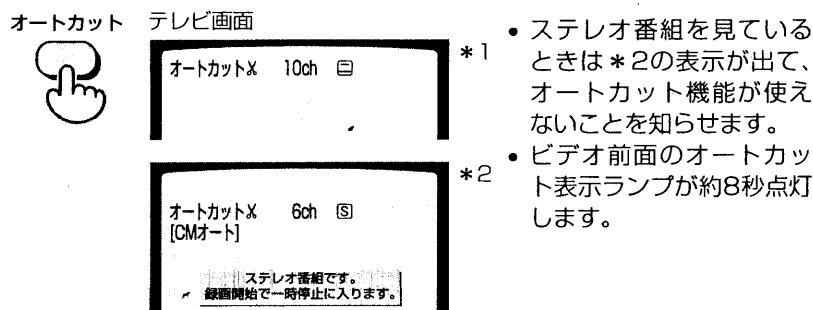
ふたを開けたところ



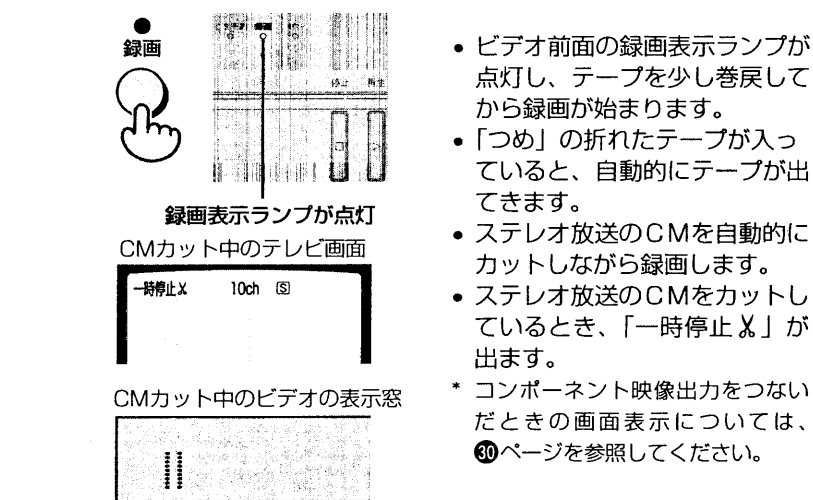
ふたを閉じたところ



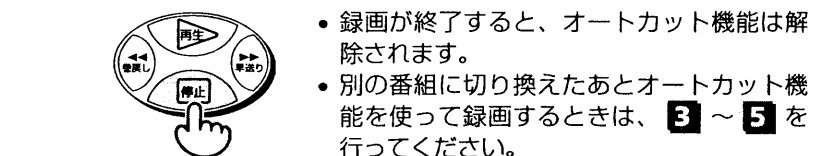
4 オートカットボタンを押して「オートカット」を出す



5 「オートカット」表示中 (8秒以内) に録画ボタンを押す



6 録画をやめるときや、別の番組に切り換えるときは停止ボタンを押す



おしらせ
 オートカット機能を解除するとき
 • 停止ボタンを押してください。録画が終了し、オートカット機能が解除されます。
 • CMカット中に「一時停止」が表示されているときは、一時停止ボタンを押すとオートカット機能を解除できます。

いろいろな録画

ダビングする

このビデオと他のビデオ(またはビデオカメラ)を接続して、テープを複製することができます。

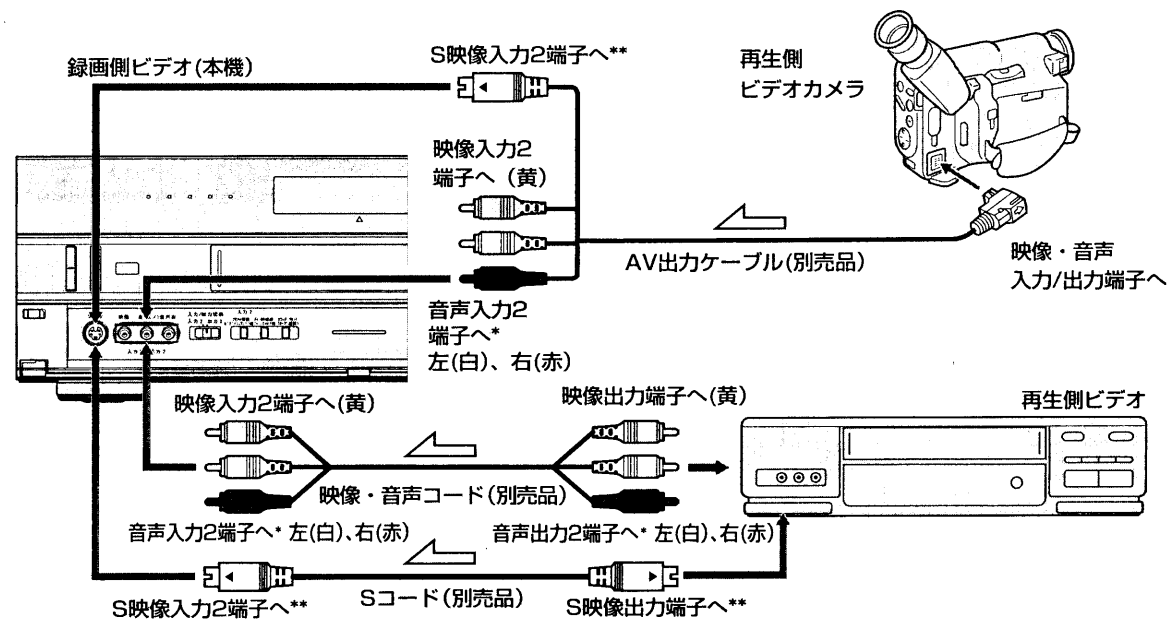
重要

- 再生側のビデオに画面表示機能がある場合は、画面表示を消してください。消していないと、画面表示まで録画されます。
- 外部入力「L1」、「L2」、「L3*」、「d」を飛ばして設定していると、チャンネルボタンを押しても「L1」、「L2」、「L3*」、「d」を表示できません。④5ページの「チャンネルを飛ばす/元に戻す」をご覧ください。「L1」、「L2」、「L3*」、「d」を元に戻してください。

*「機能設定」の「入力3設定」を「入力3」設定したときだけ切り換わります。

ビデオカメラや他のビデオから本機へダビングする

接続

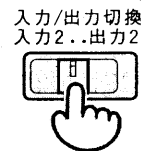


は信号の流れを表します

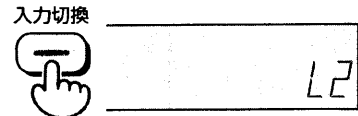
*再生側ビデオがモノラルのときは、左(白)のみ、接続してください。
**再生側の機器にS映像端子があるとき接続してください。

ダビングする

- (本機で)ビデオ前面のふたを開け、入力/出力切換スイッチを「入力2」に切り換える



- (本機で)リモコンの入力切換ボタンを押して「L2」を表示させる



ボタンを押すごとにチャンネル番号→L1→L2→L3*→d→チャンネル番号と切り換わります。
*「入力3設定」を「入力3」に設定したときだけ切り換わります。

- (再生側で)再生を始める
- (本機で)録画/クイックタイマーボタンを押す



おしらせ

- 画質を重視するときは、本機の録画モードをD-VHSテープの場合「STD」に、その他のテープでは「標準」にすることをおすすめします。
- 本機にテレビをつなぐと、ダビングの画像を確認することができます。
- 再生側ビデオは本機の後面の入力1端子につなぐこともできます。このときは入力切換ボタンで「L1」を選びます。
- Sコードを接続したときは、S映像入力が映像入力より優先します。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

入力3設定について

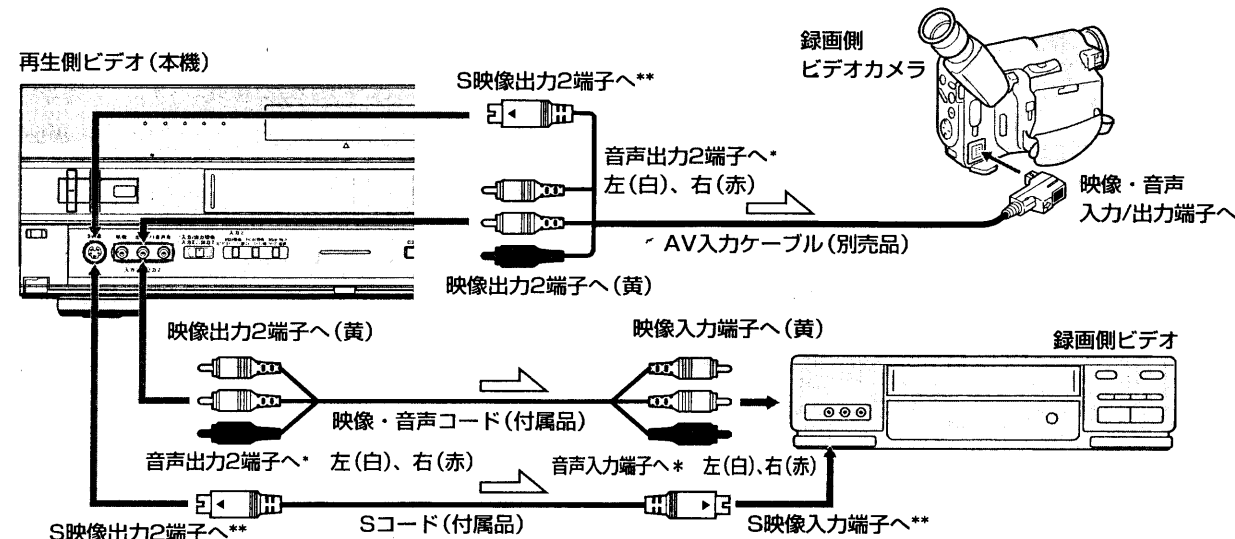
- 工場出荷時は「デコーダ」に設定されています。L3に他の機器をつないでダビングするときには、「機能設定」の「入力3設定」を「入力3」にしてください(④2ページ参照)。

重要

本機を再生側ビデオにしてダビングするときは、3次元デジタルNRを「切」にしてください(④9ページ参照)。3次元デジタルNRを「切」にしないでお使いになると、接続する機器によっては、画面が乱れたり色が抜けることがあります。

本機からビデオカメラや他のビデオへダビングする

接続



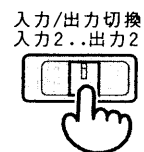
は信号の流れを表します

*録画側ビデオがモノラルのときは、左(白)のみ、接続してください。
**録画側の機器にS映像端子があるとき接続してください。

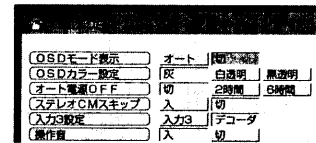
ダビングする

- (録画側で)入力切換で「外部入力」を選ぶ

- (本機で)ビデオ前面のふたを開け、入力/出力切換スイッチを「出力2」に切り換える



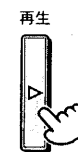
- (本機で)OSDモード表示を「切」にする



設定のしかたは、④5ページ「画面表示を入/切する」をご覧ください。

- (本機で)3次元デジタルNRを「切」にする
設定のしかたは、④9ページ「映像をクッキリさせる」をご覧ください。

- (本機で)再生ボタンを押す



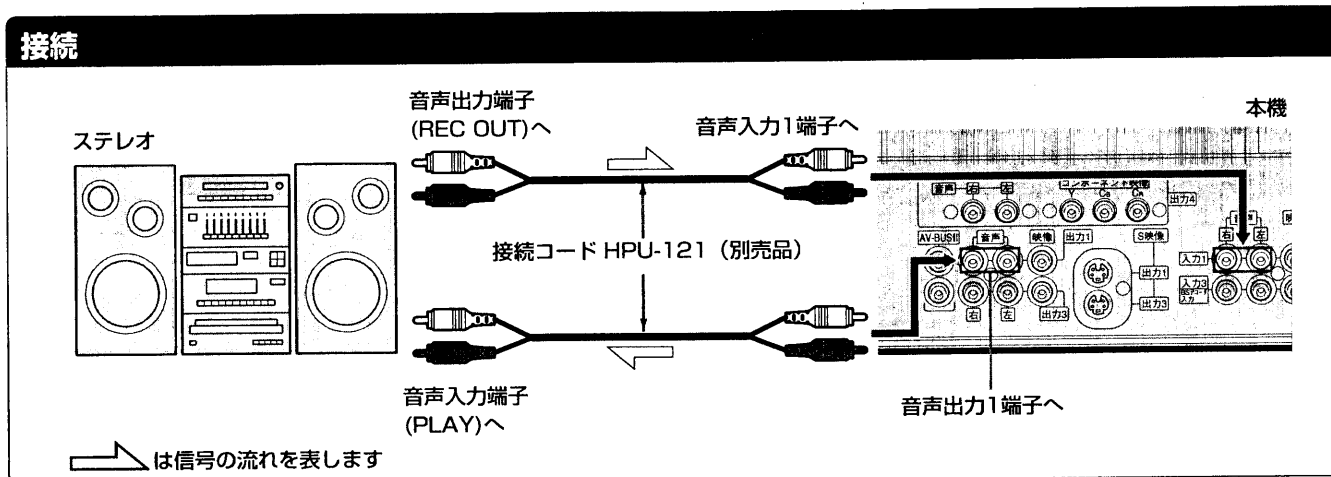
- (録画側で)録画を始める

おしらせ

- 画質を重視するときは、録画側ビデオの録画モードをD-VHSビデオの場合「STD」に、S-VHS、VHSビデオでは「標準」にすることをおすすめします。
- 録画側ビデオにテレビをつなぐと、ダビングの画像を確認することができます。
- 本機で記録したテープを他のビデオでダビングすると、テープナビのデータも同時に記録されます。このため、これらのテープでテープナビ操作をすると、記録されている内容とテープナビ画面の表示が一致しないことがあります。

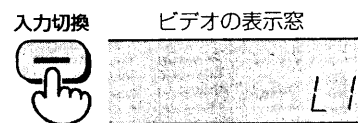
ステレオから音声を録音する (オーディオ録音) ……

ビデオをステレオのテープデッキの代わりに使って、音声を録音することができます。



オーディオ録音する

- 1 (本機で) リモコンの入力切換ボタンを押して「L1」を表示させる



ボタンを押すごとにチャンネル番号→L1→L2→L3*→d→チャンネル番号と切り換わります。

*「入力3設定」を「入力3」に設定したときだけ切り換わります。

- 2 (本機で) 録画/クイックタイマーボタンを押す



録音が始まります。
Hi-Fi サウンドとノーマルサウンドの両方が録音されます。

おしらせ

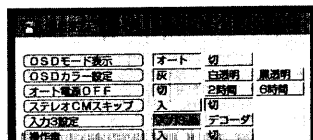
- 録音した音声を聞くと
- ステレオの入力切換を「音声入力」にして、テープを再生します。
 - リモコンの音声切換ボタンでHi-Fiサウンドとノーマルサウンドを選ぶことができます(65ページ参照)。
 - 音声だけを録音するときは、テープナビ機能は動きません。

音声出力2端子について

- 音声出力2端子から出力される音声は、音声出力1端子から出力される音声と同じです。

入力3設定について

工場出荷時は「デコーダ」に設定されています。L3にステレオをつないで録音するときには、「機能設定」の「入力3設定」を「入力3」にしてください。BSデコーダとつなぐときには、「デコーダ」にしてください。



設定の切り換えかた

1. メニューボタンを押す
2. 「ビデオ設定」の「機能設定」を選び、決定ボタンを押す
3. 「入力3設定」の「入力3」が「デコーダ」を◀、▶ボタンで選び、決定ボタンを押す
4. メニューボタンを押して終了する

BS放送を録画する ……

BS放送を録画する前に、BSチューナー、BSデコーダやMUSE-NTSCコンバータなどとの接続と設定を確認してください(接続は125～130ページ、設定は135～136ページを参照)。

重要

「機能設定」の「入力3設定」が「デコーダ」になっていることを確認してください(62ページ参照)。

WOWOW (BS5チャンネル) を見る・録画する

- 1 ビデオの電源を入れ、BS5チャンネルを選ぶ



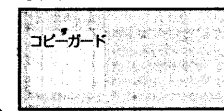
- 2 BSデコーダの電源を入れる
BS5チャンネルが映ります。

- 3 録画するときはビデオの録画ボタンを押す



おしらせ

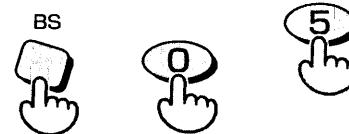
コピーガード表示について
録画したいチャンネルを選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されるとD-VHS方式で録画できません。



セントキカ St.GIGAを聞く

St.GIGAは、SDAB(衛星デジタル音楽放送(株))の有料独立音声放送です。St.GIGAを聞くにはSDABとの受信契約が必要です。

- 1 BS5チャンネルを選ぶ



- 2 BSデコーダの電源を入れる

- 3 BSデコーダの音声選択ボタンで「独立音声」を選ぶ

BS5チャンネルをタイマー録画する

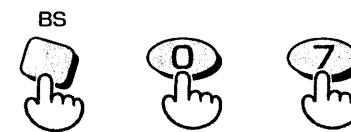
- 1 66～69ページの操作でBS5チャンネルをタイマー予約する

- 2 BSデコーダの電源を入れたままにする

BS放送を録画しながらWOWOW (BS5チャンネル) を見る

たとえば…BS7チャンネルを録画しながら、WOWOW (BS5チャンネル) を見る (BSチューナー内蔵テレビをお使いの方のみ)

- 1 BS7チャンネルを選ぶ



- 2 ビデオの録画ボタンを押す

- 3 BSデコーダの電源を入れる

- 4 BSチューナー内蔵テレビでBS5チャンネルを選ぶ
BS5チャンネルが映ります。

おしらせ

ビデオの電源を入れずにBS5チャンネルをご覧になるときは、3、4の操作をしてください。

おしらせ

BSデコーダの取扱説明書もよくお読みください。

53

デジタルCS放送を録画する

デジタルCSチューナーをつなぐと、デジタルCS放送を録画することができます。デジタルCS放送を録画する前に、デジタルCSチューナーとの接続を確認してください(61ページ参照)。i.LINK対応のデジタルCSチューナーをi.LINKケーブルでつないで録画する場合は、「i.LINKを使う」(79~84ページ)をご覧ください。

重要


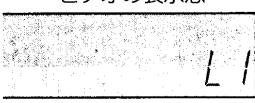

- デジタルCSチューナーを外部入力1「L1」に接続しておいてください。
- タイマー録画するときは、つめの折れていないテープを入れてください。

重要

「機能設定」の「入力3設定」が「デコーダ」になっていることを確認してください(62ページ参照)。

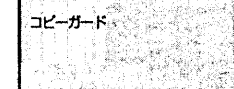
ハイビジョン放送を見る・録画する

MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビをお使いのとき

- 1 テレビでBS9チャンネルを選ぶ
- 2 テレビの入力切換を「ビデオ」にする
(またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- 3 ビデオで外部入力1を選ぶ


 - ハイビジョン放送の画面がテレビに出ます。
 - ビデオの表示窓に「L1」表示が出ます。
- 4 録画するときは、録画ボタンを押す

 - MUSE-NTSCコンバータの取扱説明書もよくお読みください。




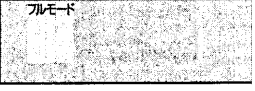

おしらせ

コピーガード表示について
録画したいチャンネルを選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されるとD-VHS方式で録画できません。



ハイビジョン放送を見る・録画する


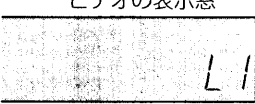

MUSE-NTSCコンバータをお使いのとき

- 1 テレビの入力切換を「ビデオ」にする
(またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- 2 ビデオでBS9チャンネルを選ぶ



- 3 MUSE-NTSCコンバータで画面モードを選ぶ(64ページ参照)

 - フルモード画面を選んだときやその画像を記録したテープを再生すると、自動的にワイドテレビの画面(16:9)に引き延ばされた画像が映ります。
 - このときビデオの表示窓に「フルモード」表示が出ます。
- 4 録画するときは、録画ボタンを押す

 - テープに記録される画像はMUSE-NTSCコンバータで選んだ画面となります。
 - MUSE-NTSCコンバータの取扱説明書もよくお読みください。

おしらせ

D-VHS再生のときは、この機能が働きます。テレビで画面モードを切り換えてください。

デジタルCS放送を見る・録画する

- 1 ビデオの電源を入れ、入力切換ボタンを押して「L1」を表示させる


- 2 デジタルCSチューナーの電源を入れ、チャンネルを選ぶ
デジタルCS放送のチャンネルが映ります。
- 3 録画するときはビデオの録画ボタンを押す


おしらせ


コピーガード表示について
録画したいチャンネルを選んだとき、ビデオの表示窓に「コピーガード」と表示されるとD-VHS方式で録画できません。




おしらせ

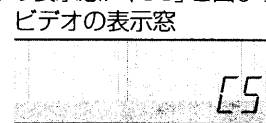
- ビデオをデジタルCS放送の予約の待機状態にしているときには、デジタルCSチューナーの電源を入れないでください。デジタルCSチューナーの電源を入れると、自動的にビデオの録画が始まってしまいます。もし誤ってデジタルCSチューナーの電源を入れてしまった場合は、ビデオの電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください(64ページ参照)。
- デジタルCS放送の予約を解除したいときはビデオ本体前面のCS予約ボタンを約2秒間押ししてください。または、テープを取り出してもデジタルCS放送タイマー予約が解除されます。
- デジタルCS放送の予約と他の予約が重なったときは先の予約が優先して録画されます。
- デジタルCSチューナーの電源の入るタイミングにより、ビデオの録画開始が遅れて、番組の最初の部分が録画されません。
- デジタルCSチューナーの取扱説明書もよくお読みください。
- お使いのデジタルCSチューナーにより、デジタルCS放送をタイマー録画できないことがあります。

デジタルCS放送をタイマー録画する

- 1 デジタルCSチューナーでタイマー予約の設定をして、予約の待機状態にする
- 2 ビデオの電源を入れ、ビデオ本体前面のふたを開け、CS予約ボタンを約2秒間押し


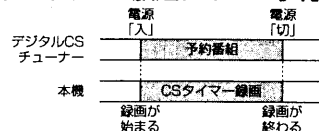
ビデオ前面のCS予約表示ランプが点灯します。
- 3 ビデオの電源を切る


- ビデオ前面のタイマー表示ランプが点灯します。
- 開始時刻になると、デジタルCSチューナーが予約していた番組を受信し、ビデオの電源が入り、録画が始まります。
- ビデオの表示窓に出ている録画モードで、録画されます。
- ビデオの表示窓に「CS」と出ます。



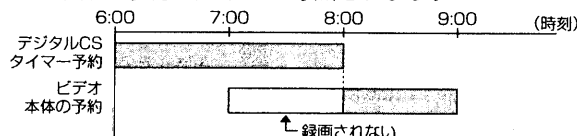
終了時刻になると、デジタルCSチューナーの電源が切れて、ビデオの録画が停止し、電源が切れます。

(デジタルCS放送タイマー予約のしくみ)

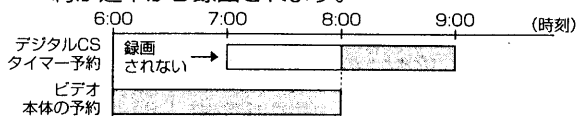


(予約の優先順位)

例1: デジタルCSタイマー予約が優先されます。デジタルCSタイマー予約が最後まで録画されたあと、ビデオ本体の予約が途中から録画されます。



例2: ビデオ本体の予約が優先されます。ビデオ本体の予約が最後まで録画されたあと、デジタルCSタイマー予約が途中から録画されます。



いろいろな録画

Gコード予約する

タイマー録画予約をしておくと、指定した時刻に自動的に録画が始まり、自動的に終了します。タイマー予約のしかたは「Gコード予約」と「リモコン予約」の2通りあります。

Gコード予約は、新聞や雑誌などのテレビ欄に掲載されているGコード予約番号をリモコンに入力するだけで、簡単に録画予約ができます。現在より1カ月先までの番組を予約することができます。

Gコード予約番号がわからない場合などは、リモコン予約をしてください(66ページ参照)。

重要

- ビデオとリモコンの時計が正しく合っていないと正しく録画されません。予約の前に時計が正しく合っているか確認してください(時計の合わせかたは66ページ参照)。
- 操作を約1分中断すると時計表示に戻ります。Gコードボタンを押してやり直してください。

おしらせ

付属のリモコンは当社製ビデオ専用です。当社製以外のGコード対応の機器には使えません。

Gコードシステムについて

- このビデオは、現在掲載されているGコード予約番号、および将来このコードを応用したサービス(Gコード・インフォ)にも対応しています。
- Gコードシステムはジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

Gコード予約番号の掲載例

4	00	昼下がりのサスペンス 「乱心」再	458182
	55	楽しいクッキング	83521
5	00	ぼくの旅日記 前	サン
	30	ゴの海から 前	347
		鉄腕アトム 再	80057

Gコード予約番号

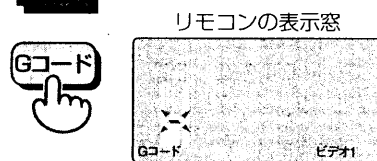
80057

ビデオで「つめ」の折れていないテープを入れる

Gコード予約する

1 Gコードボタンを押す

表示窓で「-」が点滅します。



2 Gコード予約番号を入力する

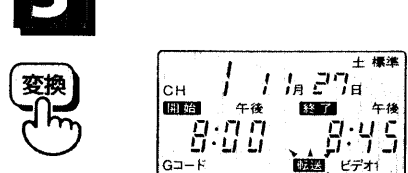
例えば、Gコード予約番号「62466」を入力します。

6 2 4 6 6

数字を間違えたときは、修正ボタンを繰り返し押し、間違えたところまで数字を消して、入れ直してください。



3 変換ボタンを押す

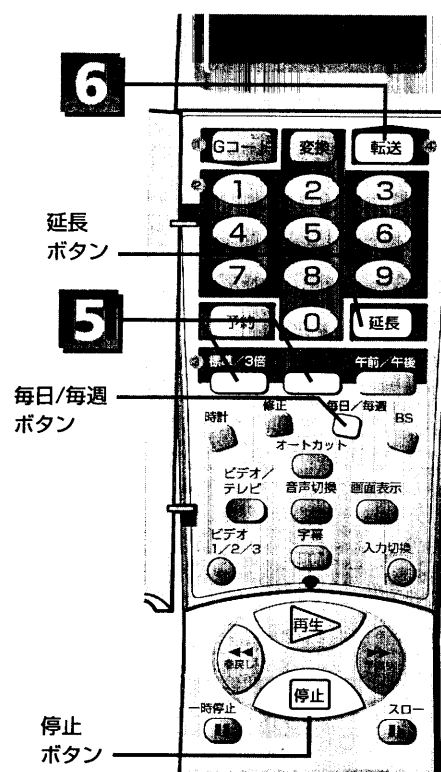


- リモコンの表示窓に予約内容が出ます。
- 「Error」が出たら、テレビ欄などのGコード予約番号をもう一度確かめて、やり直してください。

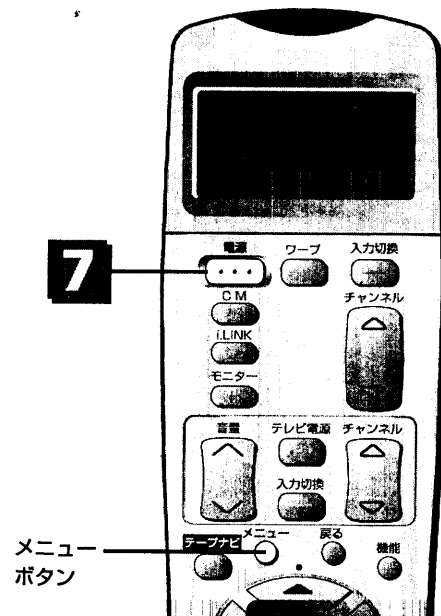
重要

タイマー録画の開始時刻になってもビデオの電源が入っていると、タイマー録画されません。電源を切ってください。

ふたを開けたところ

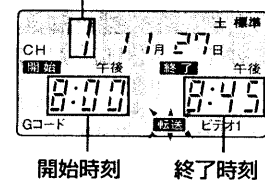


ふたを閉じたところ



4 表示窓の予約内容を確認する

チャンネル



次のようなときは68、69ページを見て、予約内容を修正してください。

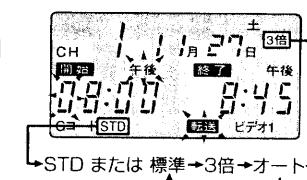
- 録画したいチャンネル、開始時刻、終了時刻が違っているとき→69ページ
- 終了時刻を延長したいとき→68ページ
- 毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画したいとき→68ページ

5 録画モードを合わせる

STD



または



- ボタンを押すたびに左のように切り換わります。
- D-VHS方式で録画するときは、STDボタンを押してください。
- 「オート」にすると、テープの残りに応じて録画モードが切り換わります(71ページ「録画モードをオートに合わせたとき」参照)。

おしらせ

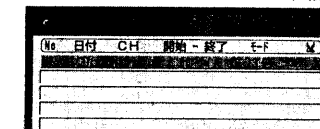
- 「STD」で予約を設定しても、以下の場合は、D-VHS方式で録画されません。
- VHSテープが入っているとき
- 映像設定メニューの「D-VHS」が「切」のとき

6 転送ボタンを押す

ビデオの表示窓



テレビ画面

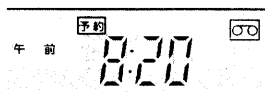


- 「ピッ」と音がして、ビデオの表示窓に「予約」と「PRG」が出ます。
- テレビ画面に予約内容が出ます。青色に表示されている予約が、今回転送した予約内容です。
- 予約内容の表示画面を消すには、メニューボタンを押してください。
- 続けて別の番組を予約するときは、1～6を繰り返してください。

おしらせ

- 途中でGコード予約をやめるとき
- Gコードボタンを押してください。
- 予約内容について
- 番組により、録画時間が実際より長め、または短めに設定されることがあります。
- 放送が終了した番組のGコード予約番号を入力すると、まったく違った予約内容か、または「Error」が表示されます。

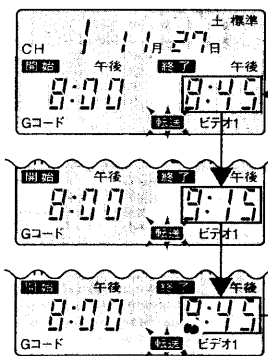
7 ビデオの電源を切る



開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

終了時刻を延長するには

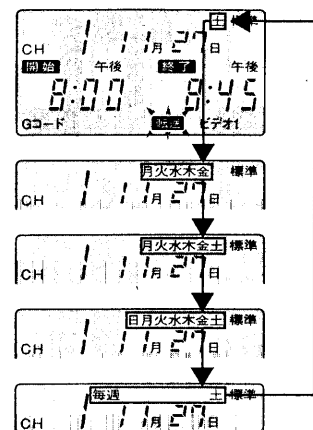
57ページの手順4のあとで、延長ボタンを押して希望の終了時刻を選ぶ



- ボタンを押すたびに、終了時刻が30分、60分と延長されます。
- 希望の終了時刻を選んだら、57ページの5へ進んでください。

毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画するには

57ページの手順4のあとで、毎日/毎週ボタンを押して希望の曜日を選ぶ



- ボタンを押すたびに、左のように切り換わります。
- 希望の終了曜日を選んだら、57ページの5へ進んでください。
- 曜日表示の見かた
土……この日だけの1回録画
月～金…月曜日から金曜日
月～土 月曜日から土曜日
日～土 日曜日から土曜日まで毎日同じ時間に録画
毎週土…毎週同じ曜日のこの時間に録画

おしらせ

タイマー録画予約をしたあと、ビデオを使いたいとき

- ビデオの電源を入ると、再生や録画をすることができます。
- 使い終わったあとは、ビデオの電源を切ってください。

「つめ」の折れたテープを入れたとき

- ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。
- 「つめ」の折れていないテープを入れてから、もう一度電源を切ってください。

オートカット機能について

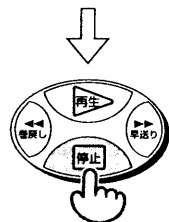
- CMをカットしながら番組を録画することができます(66ページ参照)。

タイマー録画を途中でやめるとき

- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。



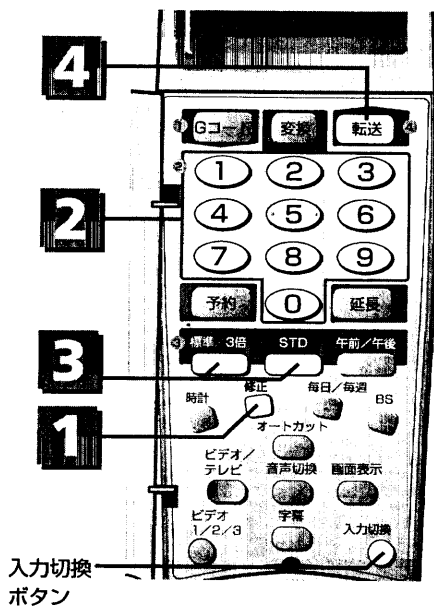
10秒以内に



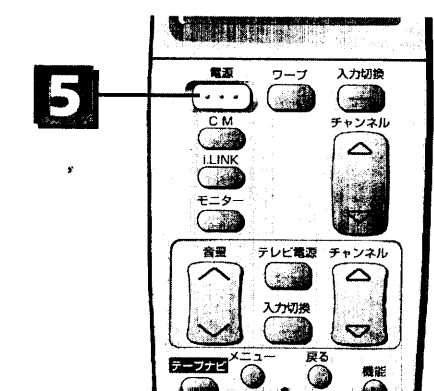
毎日、または毎週予約を転送して、ビデオの表示窓にエラーが出たときは

- 63ページを参照して修正してください。

ふたを開けたところ



ふたを閉じたところ



おしらせ

- 「0」で始まるGコード予約番号(Gコード・インフォ)の場合、修正できる内容はチャンネルと録画モードだけです。開始時刻や終了時刻は修正できません。

チャンネル、開始時刻、終了時刻を修正する

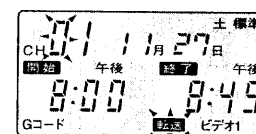
Gコード予約番号を入力して変換ボタンを押したとき、リモコンの表示窓に出る予約内容のチャンネルが違っていることがあります。これは、各地のテレビ局の番組編成によるものです(たとえば26チャンネルの番組をGコード予約したら、1チャンネルが表示されたなど)。また、一部の地域では、異なる放送局の番組に同じGコード予約番号が掲載されている場合があります(たとえば、静岡県の一部の地域で、テレビ静岡と中京テレビの番組が同じGコード予約番号で掲載されることがあります)。

57ページの4で、26チャンネルを予約したはずなのに1チャンネルが表示されたとき(1チャンネルから26チャンネルに修正したい)

1 修正ボタンを繰り返し押し、修正部分を点滅させる



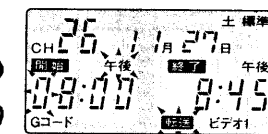
リモコンの表示窓



開始時刻や終了時刻を修正したいときも、同様に修正する部分を点滅させます。

例：チャンネルの10桁の0を点滅させる

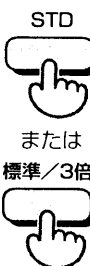
2 0~9ボタンを押してチャンネルを修正する



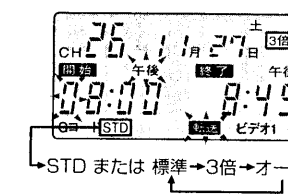
例：チャンネルを26に修正

- 修正したチャンネルはリモコンに記憶されます。予約のたびにチャンネルを合わせ直す必要はありません。
- 外部機器からタイマー録画するとき、入力切換ボタンを押して、チャンネル番号の代わりに「L1」、「L2」、「L3」を出してください。
- LINCしたi.LINK対応機器からタイマー録画するとき、入力切換ボタンを押して「d」を出してください。

3 録画モードを合わせる

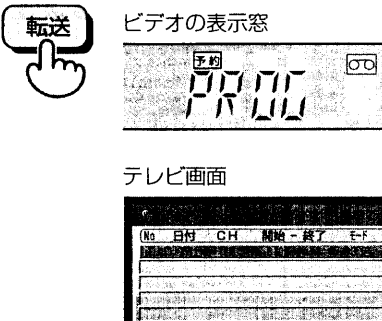


または標準/3倍



- ボタンを押すたびに左のように切り換わります。
- D-VHS方式で録画するとき、STDボタンを押してください。
- 「オート」にすると、テープの残りに応じて録画モードが切り換わります(詳しくは71ページ「録画モードを「オート」に合わせたとき」)。

4 転送ボタンを押す



- 「ピッ」と音がして、ビデオの表示窓に「予約」と「PROG」が出ます。
- テレビ画面に予約内容が出ます。青色に表示されている予約が、今回転送した予約です。
- 予約内容の表示画面を消すには、メニューボタンを押してください。
- 続けて別の番組を予約するときは、56、57ページの1～6を繰り返してください。

5 ビデオの電源を切る



- ビデオ前面のタイマー表示ランプが点灯し、ビデオの表示窓に「予約」が出ます。
- テープが入っていないと、タイマー表示ランプが点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

おしらせ

タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき

- ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。使い終わったあとは、ビデオの電源を切ってください。

「つめ」の折れたテープを入れたとき

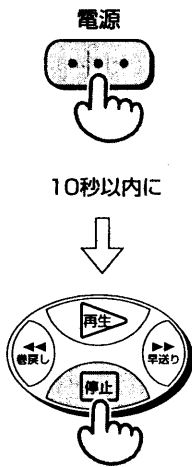
- ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。「つめ」の折れていないテープを入れてから、もう一度電源を切ってください。

オートカット機能について

- CMをカットしながら番組を録画することができます(56ページ参照)。

タイマー録画を途中でやめるとき

- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。

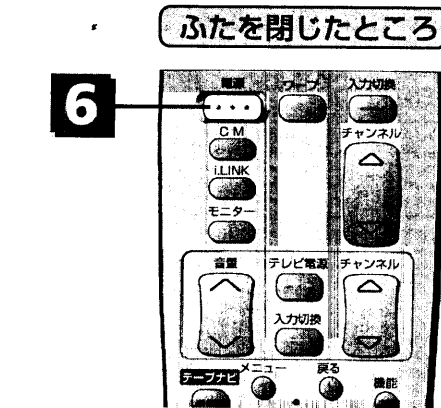
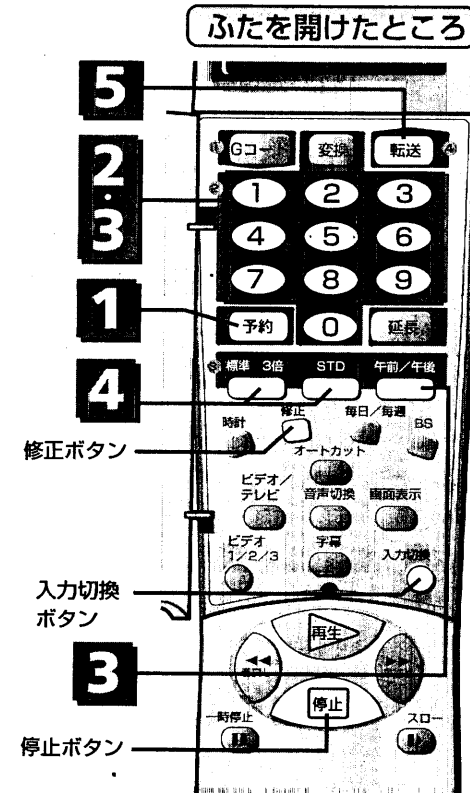


リモコン予約する

録画したいチャンネル、開始・終了時刻、開始日などをリモコンで予約します。Gコード予約番号がわからない場合などにご利用ください。現在より1年先までの番組を予約することができます。

重要

- ビデオとリモコンの時計が正しく合っていないと正しく録画されません。予約の前に時計が正しく合っているか確認してください(時計の合わせかたは149ページ参照)。
- 操作を約1分中断すると時計表示に戻ります。予約ボタンを押してやり直してください。
- デジタルCS放送のタイマー録画については、55ページを参照してください。



おしらせ

予約している途中で修正するとき

- 修正ボタンを繰り返し押して、修正したいところまで点滅を戻して行ってください。

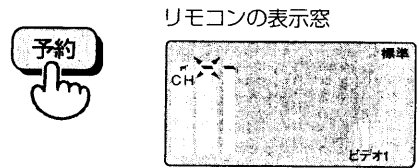
途中で予約をやめるとき

- 予約ボタンを押してください。

4チャンネルを、午後9時00分から午後10時55分まで、11月6日に、3倍モードで録画するとき

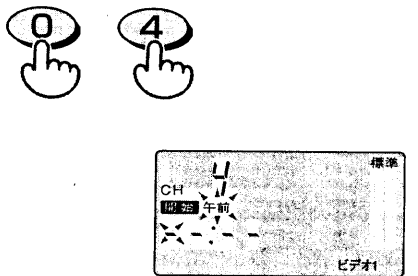
ビデオで「つめ」の折れていないテープを入れる

1 予約ボタンを押す



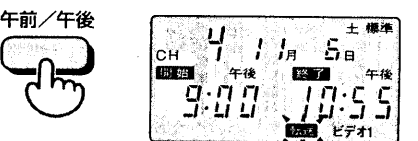
表示窓で「-」が点滅します。

2 録画したいチャンネルを合わせる

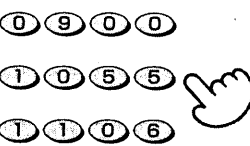


- ひとつのチャンネルを合わせるときは、初めに0ボタンを押してください。
- BS放送を選ぶときは初めにBSボタンを押してください(たとえばBS7チャンネルはBS、0、7と押します)。
- 外部機器からタイマー録画するときは、入力切換ボタンを押してチャンネル番号の代わりに「L1」、「L2」、「L3」を表示させてください。
- LINCしたi.LINK対応機器からタイマー録画するときは、入力切換ボタンを押して「d」を出してください。

3 開始時刻、終了時刻、日にちの順に合わせる



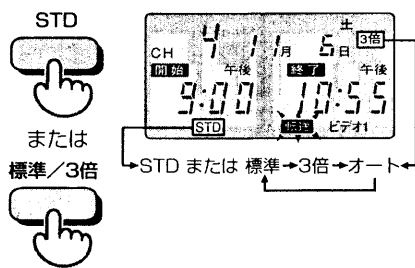
- 先に開始時刻の午前か午後を選びます。終了時刻の午前/午後は、終了時刻を合わせると自動的に選択されます。
- 昼の12時は「午後00:00」、夜の12時は「午前00:00」に合わせてください。
- 日にちを合わせると曜日は自動的に表示されます。



重要

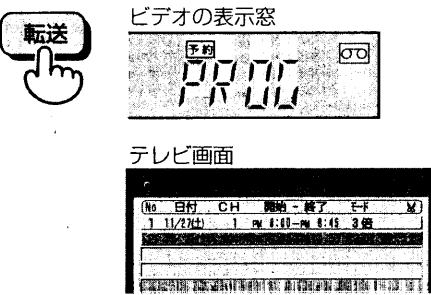
タイマー録画の開始時刻になってもビデオの電源が入っていると、タイマー録画されません。電源を切ってください。

4 録画モードを合わせる



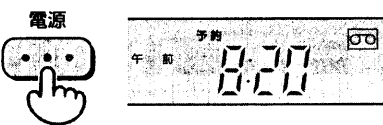
- ボタンを押すたびに左のように切り換わります。
- D-VHS方式で録画するときは、STDボタンを押してください。
- 「オート」にすると、テープの残りに応じて録画モードが自動的に切り換わります(7ページ「録画モードを「オート」に合わせたとき」参照)。

5 リモコンをビデオに向けて転送ボタンを押す



- 「ピッ」と音がして、ビデオの表示窓に「予約」と「PROG」が出ます。
- テレビ画面に予約内容が出ます。青色に表示されている予約が、今回転送した予約です。
- 予約内容の表示画面を消すには、メニューボタンを押してください。
- 続けて別の番組を予約するときは、1～5を繰り返してください。

6 ビデオの電源を切る



- ビデオ前面のタイマー表示ランプが点灯し、ビデオの表示窓に「予約」が出ます。
- テープが入っていないと、タイマー表示ランプが点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

おしらせ

タイマー録画予約したあと、ビデオを使いたいとき

- ビデオの電源を入れると、再生や録画をすることができます。
- 使い終わったあとは、ビデオの電源を切ってください。

「つめ」の折れたテープを入れたとき

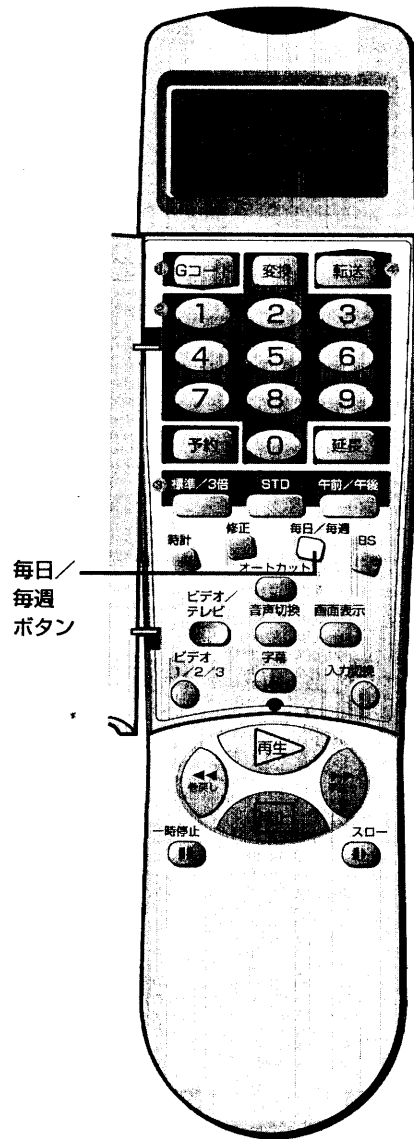
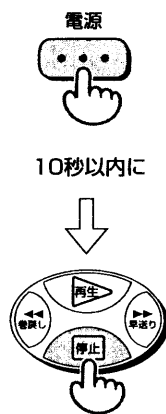
- ビデオの電源を切ると「つめ」の折れたテープは自動的に出てきます。
- 「つめ」の折れていないテープを入れてから、もう一度電源を切ってください。

オートカット機能について

- CMをカットしながら番組を録画することができます(66ページ参照)。

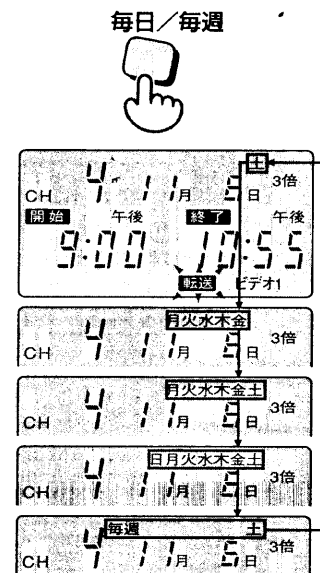
タイマー録画を途中でやめるとき

- 電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。



毎日、または毎週同じ時刻の番組を録画するには

61ページの手順3のあとで、毎日/毎週ボタンを押して希望の曜日を選ぶ



- ボタンを押すごとに左のように切り換わります。
- 曜日表示の見かた
土……この日だけの1回録画
月～金…月曜日から金曜日
月～土…月曜日から土曜日
日～土…日曜日から土曜日まで
毎日同じ時間に録画
毎週土…毎週同じ曜日のこの時間に録画
- リモコンに表示されている曜日以外の毎週同じ曜日に録画するには、61ページの手順3で希望の曜日になるように、日にちを合わせてください。
- 希望の曜日を選んだら4へ進んでください。

毎日、または毎週予約するときのご注意

現在の時刻より前の時刻の番組を予約する場合は、61ページの手順3の日にちを合わせるときに、日にちを次に録画される曜日の日にちに合わせてから、毎日/毎週ボタンを押してください。

例えば、11月5日(金)の午前11時に翌週月～金の午前9:00～10:00の番組を予約するには、手順3で日にちを11月8日(月)に合わせてから、毎日/毎週ボタンを押してください。

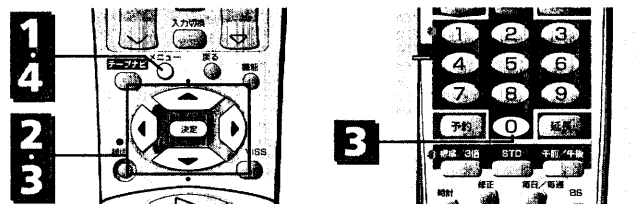
予約の確認・取り消しをする

Gコード予約した内容もリモコン予約した内容も、次の方法で確かめたり、取り消したりできます。
また、予約録画の実行結果を確認・取り消したり、予約実行結果一覧画面の実行結果と同じ予約(同じチャンネル、時間、録画モード)を次の日、または次の週に予約できます。

- テレビで
 - テレビの電源を入れる
 - テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオで
 - ビデオの電源を入れる

予約の確認・取り消しをする

ふたを閉じたところ ふたを開けたところ



1 メニューボタンを押す

メニュー

- メニュー
- チャンネル設定
- チャンネル設定
- チャンネル設定
- チャンネル設定
- チャンネル設定
- チャンネル設定
- チャンネル設定

2 「予約」の「予約一覧」を選び、決定ボタンを押す

決定

日付	CH	開始-終了	モード
11/27(土)	4	PM 3:00-PM 11:55	3倍

- 予約内容が一覧表示されます。
- 予約の合計時間は、STD、3倍予約のときでも標準に換算して表示されます。

3 予約を取り消したいときは、▼、▲ボタンで取り消したい内容を選び、0ボタンを押す

決定

- 予約内容が消えます。
- 続けて別の予約も取り消したいときは、3を繰り返してください。

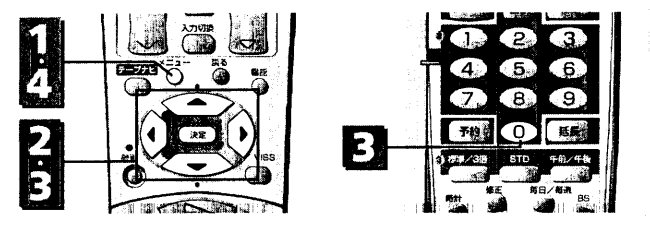
4 確認・取り消しが終わったら、メニューボタンを押す

メニュー

元の画面に戻ります。

予約の実行結果を確認・取り消しする

ふたを閉じたところ ふたを開けたところ



1 メニューボタンを押す

メニュー

2 「予約」の「予約実行結果」を選び、決定ボタンを押す

決定

日付	CH	開始時刻	実行結果
11/27(土)	1	PM 8:00	予約取消
11/27(土)	10	PM 5:00	録画完了
11/27(土)	24	PM 8:00	録画完了
11/28(日)	4	PM 3:00	録画完了
11/28(日)	4	PM 3:00	録画完了
11/28(日)	4	PM 3:00	録画完了
11/28(日)	887	PM 11:55	録画完了

予約実行結果が一覧表示されます。詳しくは72ページを参照してください。

おしらせ

- 実行結果は8つまで表示されます。9つ以上になると古い順に消去されます。

3 実行結果を取り消したいときは、▼、▲ボタンで取り消したい内容を選び、0ボタンを押す

決定

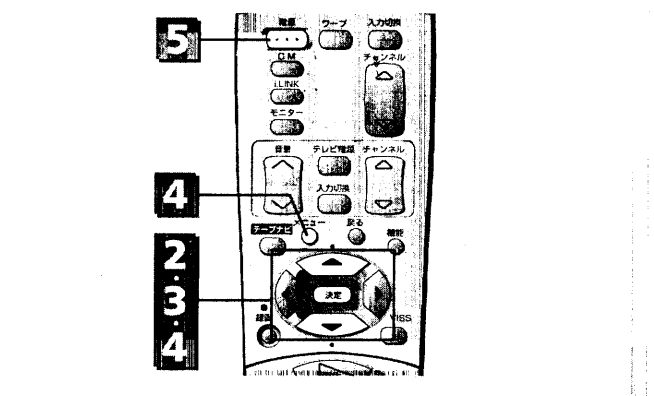
- 実行結果が消えます。
- 続けて別の実行結果も取り消したいときは、3を繰り返してください。

4 確認が終わったら、メニューボタンを押す

メニュー

元の画面に戻ります。

次の日、次の週に同じ予約を設定する



1 予約実行結果一覧画面を出す

左段1、2の操作をしてください。

2 次の日、次の週に同じ予約を設定したい実行結果を▼、▲ボタンで選び、決定ボタンを押す

決定

予約機能設定画面が出ます。

3 ▼、▲ボタンで次の日か次の週を選ぶ

決定

4 決定ボタンを押す

決定

- 予約が設定されました。
- 確認したら、メニューボタンを押してください。

メニュー

5 ビデオの電源を切る

電源

- ビデオ前面のタイマー表示ランプが点灯し、ビデオの表示窓に「予約」が出ます。
- テープが入っていないと、タイマー表示ランプが点滅してお知らせします。

開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

おしらせ

- 次の日、次の週予約が設定できるのは、1回予約の実行結果から決定ボタンを押したときだけです。3種類の毎日予約(月~金、月~土、日~土)や毎週予約の実行結果からは設定できません。
- 次の日予約が設定できるのは、予約実行結果の日に次の日の、予約実行結果の予約終了時間までです。予約終了時間を過ぎると、「予約時刻を過ぎているので、登録できません。」と表示が出ます。
- 次の週予約が設定できるのは、予約実行結果の日に次の週の同じ曜日の、予約実行結果の予約終了時間までです。予約終了時間を過ぎると、「予約時間を過ぎているので、登録できません。」と表示が出ます。

予約した番組の設定を変える

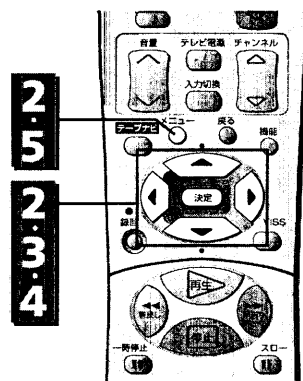
予約した番組にオートカットを設定したり、テープナビのタイトル(番組名)、ジャンルマークを設定したりすることができます。

重要

予約した番組がステレオ放送のときは、番組もCMもカットされ何も録画されません。ステレオ放送の番組を予約するときは、オートカット機能を使わないでください。

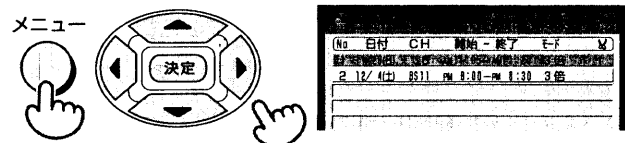
- テレビで
 - テレビの電源を入れる
 - テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオで
 - ビデオの電源を入れる

予約した番組のCMをカットする



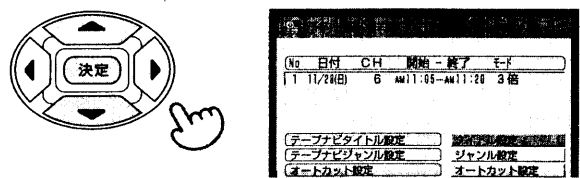
1 タイマー録画予約する
56～62ページの操作をしてタイマー録画予約をしてください。

2 メニュー画面を出し「予約」の「予約一覧」を選び、決定ボタンを押す



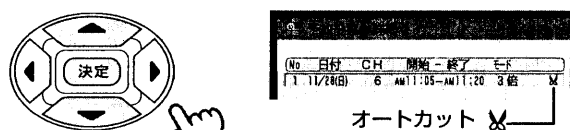
予約内容が一覧表示されます。

3 ▼、▲ボタンでCMをカットしたい予約番組を選び、決定ボタンを押す



予約機能設定画面が出ます。

4 ▼、▲ボタンで「オートカット設定」を選び決定ボタンを押す



続けて別の番組もCMカットして録画したいときは、戻るボタンを押してから**3**、**4**を繰り返してください。

おしらせ

• オートカット機能を解除するには、**3**で解除したい内容を選び決定ボタンを押してから、**4**で「オートカット解除」を選び決定ボタンを押してください。

5 メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

おしらせ

録画が始まってから、オートカット機能を解除することはできません。タイマー録画を途中で止めて(62ページ参照)、再度録画を始めてください(中断しているときの映像は録画されません)。

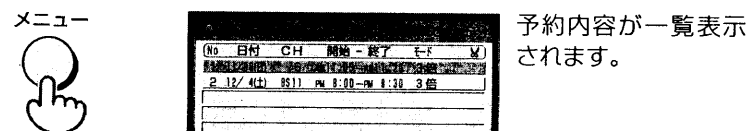
予約した番組にあらかじめタイトルを設定できます。設定したタイトルは、予約実行後テープナビに登録されます。

- テレビで
 - テレビの電源を入れる
 - テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオで
 - ビデオの電源を入れる

予約した番組のタイトルを設定する

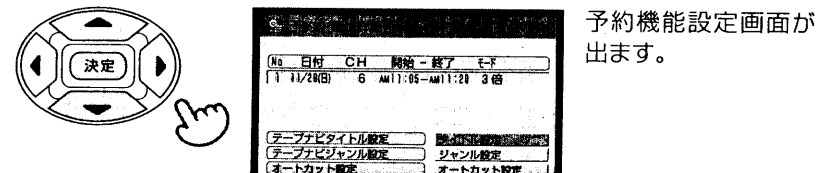
1 タイマー録画予約する
56～62ページの操作をしてタイマー録画予約をしてください。

2 メニュー画面を出し「予約」の「予約一覧」を選び、決定ボタンを押す



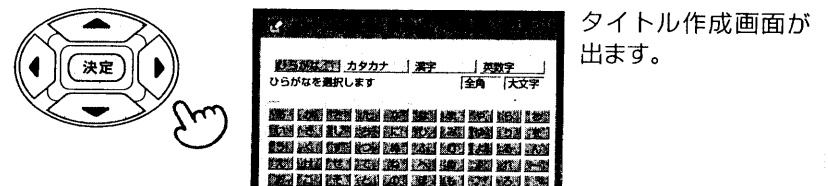
予約内容が一覧表示されます。

3 ▼、▲ボタンでタイトルを設定したい予約番組を選び、決定ボタンを押す

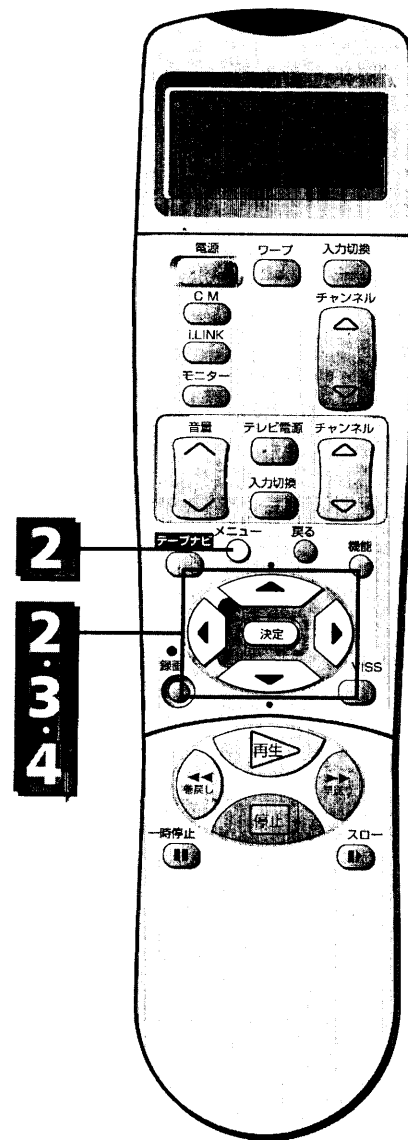


予約機能設定画面が出ます。

4 「タイトル設定」が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す



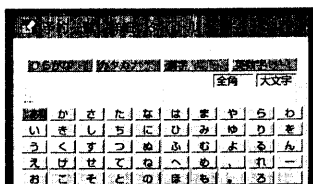
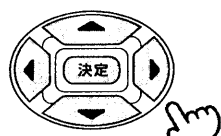
タイトル作成画面が出ます。



タイマー録画

予約した番組にあらかじめジャンルマークを設定できます。設定したジャンルマークは、予約実行後、テープナビに登録されます。

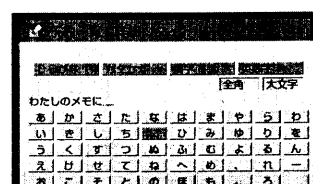
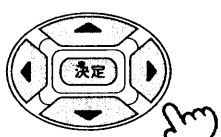
5 カーソルボタンで文字の種類を選び、決定ボタンを押す



例：「ひらがな」を選んだ画面

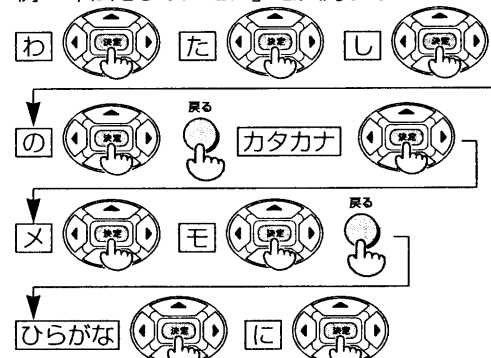
- ひらがな、カタカナ、漢字、英数字が選べます。
- 決定ボタンを押すと入力画面が出ます。

6 カーソルボタンで文字を選び、決定ボタンを押す



おしらせ

例：「わたしのメモに」と入力するには



の順に選んで押してください。
文字を選ぶときには、カーソルボタンを押してください。

- 1文字づつ選び、決定ボタンを押します。
- 漢字、英数字の選びかたとひらがな、カタカナの詳しい選びかたについては、105～107ページを参照してください。
- 途中で文字の種類を変えたいときは、戻るボタンを押してから、5の操作で切り換えてください。
- 設定した文字を途中で消したいときは、0ボタンを押してください。

7 すべての文字の選択が終わったら、3の画面が出るまで戻るボタンを繰り返し押す

設定したタイトルが画面に出ます。

8 メニューボタンを押す

メニュー



元の画面に戻ります。



- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル]または2を選ぶ)



- ビデオの電源を入れる

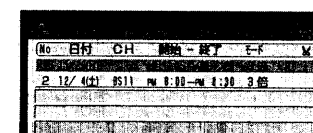
予約した番組のジャンルマークを設定する

1 タイマー録画予約する

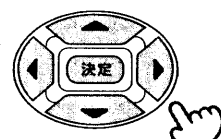
56～62ページの操作をしてタイマー録画予約をしてください。

2 メニュー画面を出し「予約」の「予約一覧」を選び、決定ボタンを押す

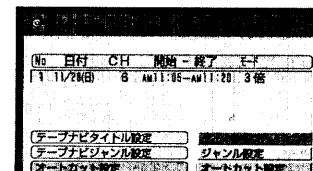
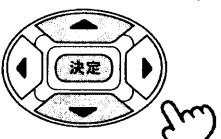
メニュー



予約内容が一覧表示されます。



3 ▼、▲ボタンでジャンルマークを設定したい予約番組を選び、決定ボタンを押す



予約機能設定画面が出ます。

タイマー予約・録画のご注意

Gコード予約とリモコン予約に共通の内容です。

重要

タイマー予約した番組がコピーガード処理されている場合は、予約設定できてもD-VHS方式で録画されません。

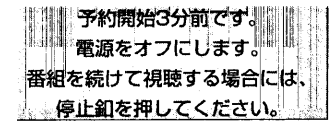
■ 予約を転送したとき、ビデオの表示窓に「--:--」や「Err」、「FULL」が出たら

「--:--」：ビデオの時計が「--:--」になっていない(約3秒点滅) ず。時計を合わせてから予約してください。

「Err」：リモコンとビデオの間に障害物があるか、リモコンをビデオに向けずに転送しています。ビデオのリモコン受光部に向けて転送してください。

「FULL」：すでに8つの番組が予約されていますので、予約を追加できません。不要な予約を取り消してから、もう一度予約を転送してください(64ページ参照)。

■ タイマー録画予約後、電源を切り忘れたとき



電源が「入」になっていると、タイマー録画開始3分前にテレビ画面に上の警告表示が現れ、ビデオの電源が自動的に切れます。テレビ番組を続けて見る場合は、停止ボタンを押してください。

■ 録画モードを「オート」に合わせたとき

テープの残り時間に応じて自動的に録画モードが切り換わります。

- 「標準」で録画を始めて、途中でテープがなくなりそうになると録画モードを自動的に「3倍」に切り換えます。
- 最初から「3倍」で録画を始めても、テープの残り時間が足りないときは、最後まで録画されません。
- 録画モードの切り換わった部分を再生すると、画像が乱れます。
- 2つ以上の番組を「オート」でタイマー録画予約すると、テープの残り時間と番組の録画時間によっては、2つ目以降の番組が録画されないことがあります。たとえば、T-120のテープの巻始めから、1つ目の2時間番組を「オート」でタイマー録画予約すると「標準」で2時間(最後の約5分は「3倍」)録画されます。このため、2つ目以降の番組は録画されません。
- 「オート」を選んだときには、D-VHS方式でのタイマー予約はできません。

■ BS放送をタイマー録画するとき

BS放送のTV(テレビ)/独立音声の切り換えは、必ずタイマー録画が始まる前に番組に合わせて切り換えておいてください(67ページ参照)。

■ ケーブルテレビのBS放送番組をGコード予約するとき

リモコンの表示窓に「BS」表示が自動的に出ます。このときは、修正ボタンを押してチャンネルの10の位を点滅させたあと、BSボタンを押して「BS」表示を消してからケーブルチャンネルに合わせてください。

■ ケーブルテレビを使用しながらUHF放送をタイマー録画するとき

「CATV」の設定が「入」になっているとき、UHF放送の番組をタイマー録画するときは、UHF放送のチャンネルを変更し、その変更したチャンネル番号を予約してください(144ページ参照)。

■ タイマー録画中のボタン操作

一時停止や、録画モードの変更などのボタン操作はできません。

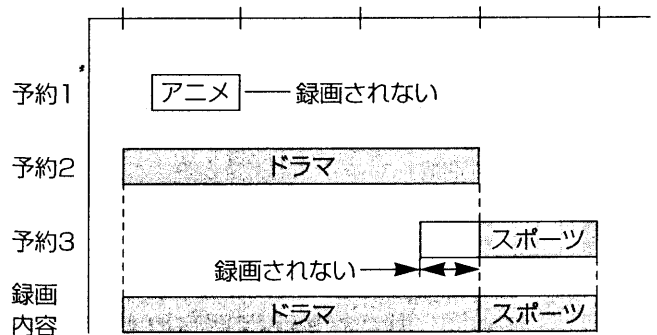
■ 60分以上の停電があったとき

ビデオの表示窓が「--:--」に変わり、時計と予約内容が消えてしまいます。時計合わせと予約をやり直してください(時計合わせは65ページ、予約は66~67ページ参照)。

■ 予約内容が重なったとき

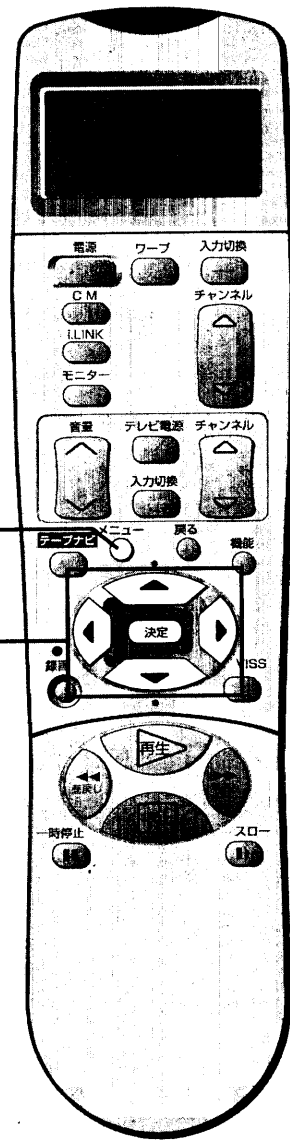
先に始まった番組が最後まで録画されたあと、次の番組が途中から録画されます。

(時刻) 6:00 7:00 8:00 9:00 10:00

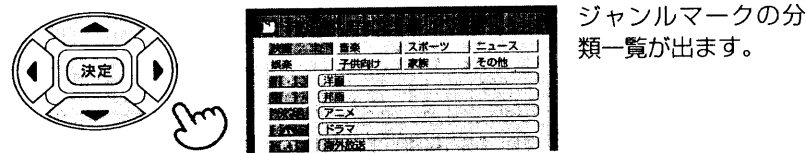


■ タイマー録画中にテープがなくなったとき
自動的にビデオの電源が切れ、テープがビデオから出てきます。

■ 日立製の他のビデオのリモコンを使うとき
時計表示窓付きリモコンは、リモコンの予約内容をそのまま本機に転送することができます。

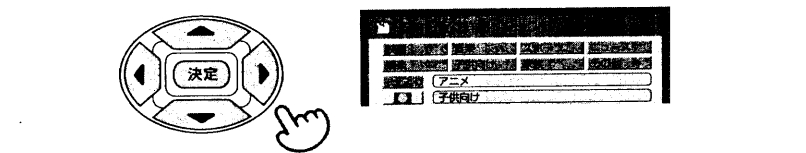


4 ▼、▲ボタンで「ジャンル設定」を選び、決定ボタンを押す

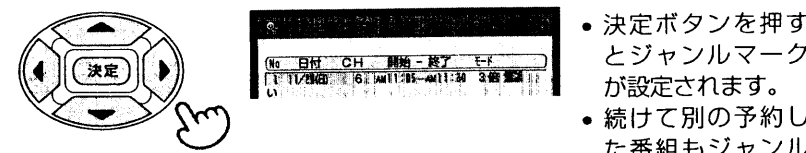


ジャンルマークの分類一覧が出ます。

5 カーソルボタンでジャンルマークの分類を選び、決定ボタンを押す



6 ▼、▲ボタンで設定したいジャンルマークを選び、決定ボタンを押す



- 決定ボタンを押すとジャンルマークが設定されます。
- 続けて別の予約した番組もジャンルマークを設定したいときは、3~6を繰り返してください。

7 メニューボタンを押す



タイマー予約実行結果の表示

予約録画が正しく実行されたことのほかに、タイマー予約に関する情報を次のようにお知らせします。

表示	実行結果	お知らせ
録画完了	予約どおり、録画されました。	—
録画モード自動切替実行	予約どおり、録画されました。テープの残り時間に合わせて録画モードが切り替わっています。	録画モードが「オート」で予約されていたので、途中でテープがなくならないように、録画モードが「標準」から「3倍」に切り替わっている場合があります。(71ページ参照)
CMオートカット実行	CMを自動的にカットしながら、録画されました。	CMオートカット設定されていたので、CMがカットされています。ただし、番組がステレオ放送の場合は、番組もカットされています。(66ページ参照)
録画途中強制終了	テープの残量がなくなったため、録画が途中で終了しました。	事前にテープの残量を確認することができます。(66ページ参照) タイマー録画を途中で止めたときも、この表示が出ます。(63ページ参照)
電源入りで途中実行	開始時刻になっても電源が入っていたので、電源を切ったところから録画されています。	開始時刻にビデオの電源が入っていると、予約が実行されません。開始時刻前にビデオの電源を切っておいてください。
予約重複で途中実行	別の予約録画が終了した時点から録画されています。	開始時刻が早い予約から先に実行されます。(71ページ参照)
コピーガード処理実行	コピーガード処理された番組だったので、録画されませんでした。	コピーガード処理されている番組は、予約できませんが録画できません。
電源入りで未実行	開始時刻になっても電源が入っていたので、録画されませんでした。	開始時刻にビデオの電源が入っていると、予約が実行されません。開始時刻前にビデオの電源を切っておいてください。
テープなしで未実行	テープが入っていないだったので、録画されませんでした。	開始時刻にビデオテープが入っていないと録画されません。開始時刻前にビデオテープを入れて、ビデオの電源を切っておいてください。 また先に実行された予約録画でテープの残量がなくなると、テープがビデオから出てきます。
予約重複で未実行	別の予約録画が実行されていたので、録画されませんでした。	開始時刻が早い予約から先に実行されます。(71ページ参照)
予約取消	開始時刻前に、予約が取消されました。	—
予約エラー	何らかの理由で予約データに異常が発生したので、録画されていません。	再度時計設定と予約設定をしても同じ表示が出る場合は、故障の可能性がありますので、お買上げの販売店にご連絡ください。

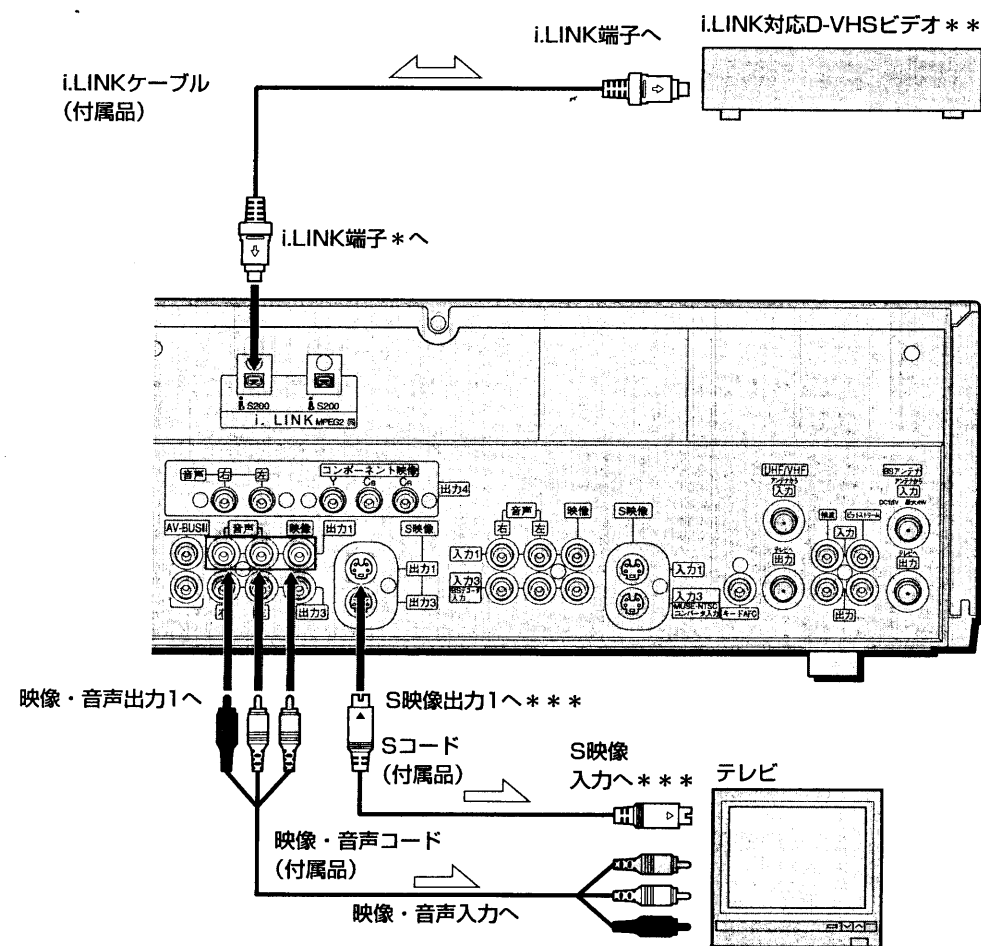
複数の実行結果内容が重なって発生した場合は、いずれか1つの実行結果しか表示されません。

i.LINK対応機器をつなぐ

本機背面のi.LINK端子とi.LINK対応機器のi.LINK端子を、i.LINKケーブルでつなぎます。i.LINK対応機器をつなぐと、i.LINK対応機器からの映像や音声を録画したり、本機の映像や音声をi.LINK対応機器で録画することができます。本機を含めて最大63台までの機器をつなぐことができます。

重要

- i.LINK対応機器をつなぐ前に、「i.LINKでの接続について」(25ページ)を必ずお読みください。
- i.LINKの端子には向きがあります。端子とケーブルの向きを合わせて、正しく奥まで差し込んでください。正しく接続されていないと、映像や音声のデータをやりとりすることができません。
- i.LINKケーブルおよびi.LINK端子は精密にできておりますので、強い力を加えないようにしてください。
- i.LINKケーブルは、できる限り200Mbps以上に対応したものをお使いください。100Mbps対応のケーブルをお使いになる場合は、転送速度設定を100Mbpsに切り換えてください。(74ページ参照)
- 市販のDVケーブルは、お使いになれません。



は信号の流れを表します。

- * 2個のi.LINK端子のどちらにつないでもかまいません。
- ** i.LINK対応機器にはD-VHSビデオの他に、デジタルCSチューナーなどもあります。
- *** テレビにS映像入力端子があるときだけつなぎます。

i.LINK対応機器を使うための設定

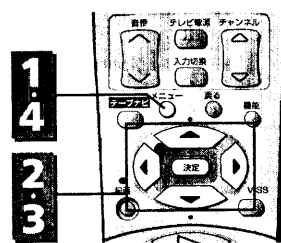
i.LINKケーブルでつないだi.LINK対応機器と本機の間で映像や音声をやりとりする前に、i.LINK接続のための設定を行ってください。

重要

i.LINK対応機器がi.LINKケーブルで正しく接続されているか確かめてください。

- テレビで
 - テレビの電源を入れる
 - テレビの入力切換を「ビデオ」にする(またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオで
 - ビデオの電源を入れる

転送速度、映像出力の設定

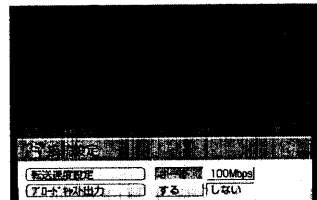
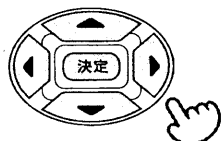


1 メニューボタンを押す

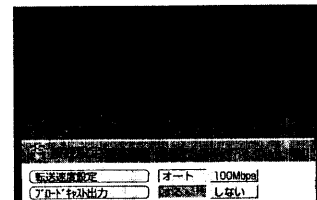
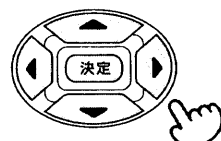
メニュー



2 カーソルボタンで「i.LINK設定」の「接続設定」を選び、決定ボタンを押す



3 ▼、▲ボタンで合わせたい項目を選び、◀、▶ボタンで設定を変えて、決定ボタンを押す



4 メニューボタンを押す

メニュー



元の画面に戻ります。

接続設定画面の説明

転送速度設定 **オート** または **100Mbps**

オート	画像情報の通信速度を自動で設定します。(通常はこちらで使います。)
100Mbps	画像情報の通信速度を100Mbpsにします。(100Mbps対応のケーブルを使っているときは、こちらに設定してください。)

ブロードキャスト出力 **する** または **しない**

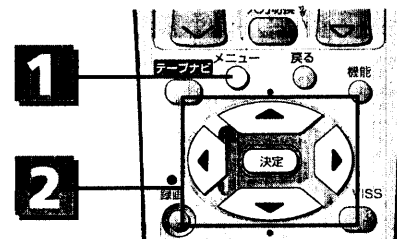
する	ブロードキャスト出力します。(ブロードキャスト出力したいときは、こちらに設定します。)
しない	ブロードキャスト出力しません。(通常はこちらを使います。)

おしらせ

ブロードキャスト出力とは
ブロードキャスト出力とは、特に出力先の相手を決めずにi.LINKケーブル上に映像や音声のデータを送り出すことです。本機の場合ブロードキャスト出力を**する**に設定すると、選んだチャンネルの番組や再生映像をi.LINK端子から出力します。(ただし、入力切換で「d」入力を選んだときや、本機が他の機器からLINCされているときには出力されません。)ブロードキャスト出力しているときは、i.LINK接続している複数の機器が同時にその映像や音声を見たり、録画したりすることができます。しかし、ブロードキャスト出力をしているとi.LINKケーブル上に常にデータが流れていることになるので、通常はブロードキャスト出力を**しない**に設定します。

ブロードキャスト出力を**しない**に設定すると、i.LINK接続している他の機器から要求があったとき(LINCされているとき)に、映像や音声のデータを出力します。

つないだ機器を確認する

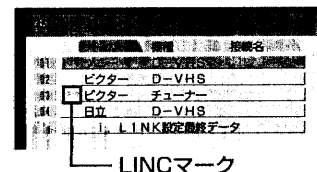
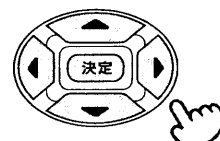


1 メニューボタンを押す

メニュー

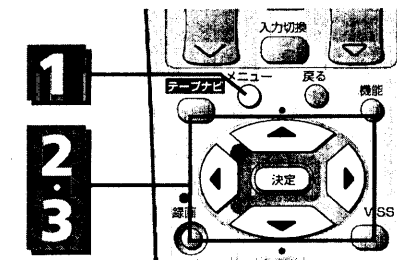


2 「i.LINK設定」の「機器名称設定」を選び、決定ボタンを押す



- つながれた機器が認証順に表示されます。(相手の機器によっては、メーカー名や機種名などが表示されない場合があります。)
- ⑨ LINCマークはLINCしている機器を示します。(他の機器からLINCされたときは表示されません。)
- 最大62台まで表示されます。
- メニューボタンを押すと、元の画面に戻ります。

伝送レートの設定

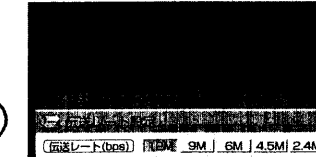
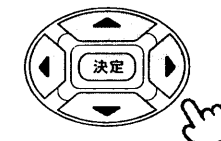


1 メニューボタンを押す

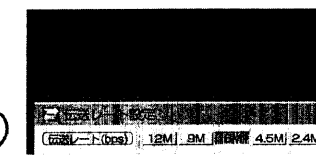
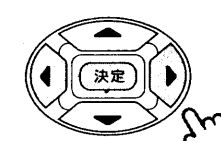
メニュー



2 「MPEG設定」の「伝送レート設定」を選び、決定ボタンを押す



3 ◀、▶ボタンで設定を変えて、決定ボタンを押す



- 伝送レートを選びます。通常は12Mbpsに設定します。(本機でD-VHS録画するときは必ず12Mbpsに設定してください。他の伝送レートに設定すると、良好な画質が得られません。)
- 本機のi.LINK端子からの出力信号を、i.LINK接続した機器で録画する場合に、その機器の記録レートに応じて伝送レートを切り換えてください。
- メニューボタンを押すと、元の画面に戻ります。

おしらせ

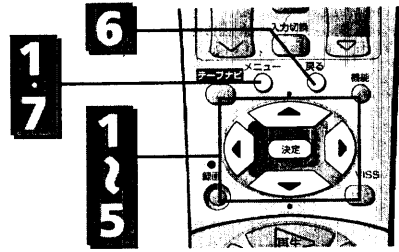
伝送レートとは
VHSやS-VHS、S-VHS ETで録画したテープを再生した映像・音声や本機内蔵のチューナー、L1、L2、L3入力の映像・音声をデジタル処理した映像・音声のデータに変換したときのデータ量を表す数値です。数値が大きいほど良好な画質が得られ、数値が小さいと特に動きのある場面でMPEG2方式特有の違和感のある映像になります。

設定のご注意

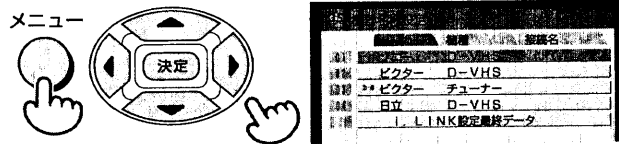
- i.LINK接続した他のビデオで本機の映像・音声を録画する場合、相手のビデオによっては、12Mbpsより小さい記録レートに設定して録画できる場合があります。このようなときには本機の伝送レートを、相手のビデオで設定した記録レートより小さい数値に設定してください。
 - i.LINK接続した機器からの映像や音声を録画する場合は、「伝送レート設定」で設定した伝送レートに関係なく、送られてくる映像や音声の伝送レートで録画されます。(送られてくる映像や音声の伝送レートが14.1Mbpsを超える場合は、本機で録画できません。)
 - 画面表示ボタンを押したときや録画を開始したとき*などに、画面に伝送レートが表示されます。(⑨ページ参照)
- *入力切換を「d」にして録画したときは、表示されません。

i.LINKを使う

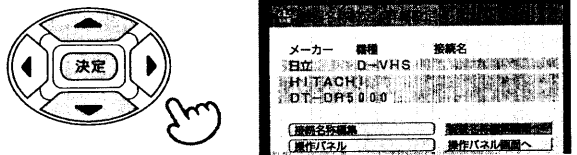
つないだ機器に名前をつける



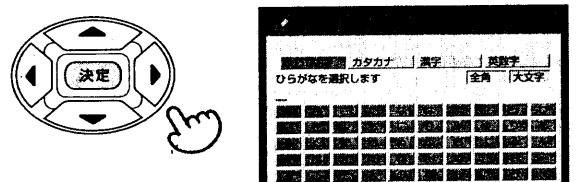
1 メニュー画面を出し「i.LINK設定」の「機器名称設定」を選び、決定ボタンを押す



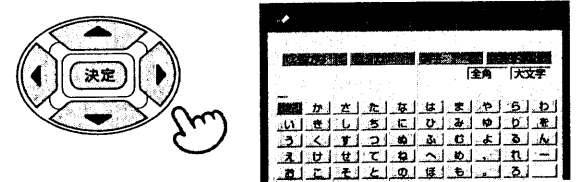
2 ▼、▲ボタンで名前をつけたい機器を選び、決定ボタンを押す



3 「接続名称編集画面へ」が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す



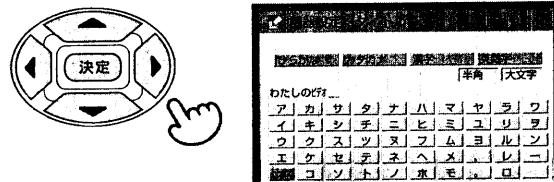
4 カーソルボタンで文字の種類を選び、決定ボタンを押す



例：「ひらがな」を選んだ画面

- ひらがな、カタカナ、漢字、英数字が選べます。
- 決定ボタンを押すと入力画面が出ます。

5 カーソルボタンで文字を選び、決定ボタンを押す



- 1文字づつ選び、決定ボタンを押します。
- 漢字、英数字の選びかたとひらがな、カタカナの詳しい選びかたについては、105～107ページを参照してください。
- 途中で文字の種類を変えたいときは、戻るボタンを押してから、4の操作で切り換えてください。
- 設定した文字を途中で消したいときは、0ボタンを押してください。
- 登録できる名前の長さは、全角10文字までです。

6 すべての文字の選択が終わったら、2の画面が出るまで戻るボタンを繰り返し押す。

登録された名前が画面に出ます。

7 メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

おしらせ

- i.LINK接続した機器によっては、メーカー名や機種名が表示されない場合があります。

機器名称設定画面では、以下のことができます。

- ◀、▶ボタンでタグを切り換えられます。
- 接続した機器の順番は、以下の3種類に変えられます。

メーカー
メーカー順に集めて並べ替えます。

機種
機種順に集めて並べ替えます。

接続名
機器の名前の順に並べ替えます。

- 機能ボタンを押すと画面の下に「前ページ」「次ページ」が出ます。

前ページ：前のページに移ります。

次ページ：次のページに移ります。

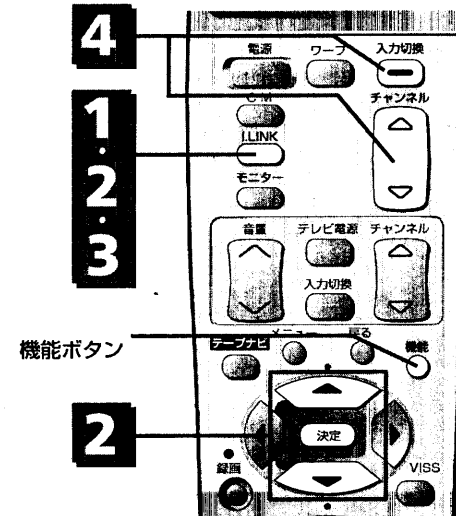
- ◀、▶ボタンで切り換えたい項目を選び、決定ボタンを押してください。

重要

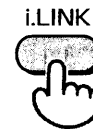
LINCする前に、「LINC(リンク)とは」(26ページ)を必ずお読みください。

操作したい機器をLINCする

i.LINKケーブルでつないだi.LINK対応機器を本機で操作したり、映像や音声をやりとりするには、必ず操作したい機器をLINCしてください。

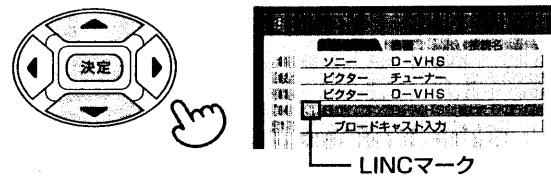


1 i.LINKボタンを押す



- LINCしている機器には LINCマークがついています。どの機器をLINCしているか確認できます。
- つながれた機器が認証順に表示されます。

2 ▼、▲ボタンでLINCしたい機器を選び、決定ボタンを押す



- LINCマークがつかえます。
- もう一度決定ボタンを押すとLINCマークが消えて、LINCが解除されます。

おしらせ

機器を6台以上つないでいるときは、機能ボタンを押すと、画面の下に「前ページ」「次ページ」が出ます。

前ページ：前のページに移ります。

次ページ：次のページに移ります。

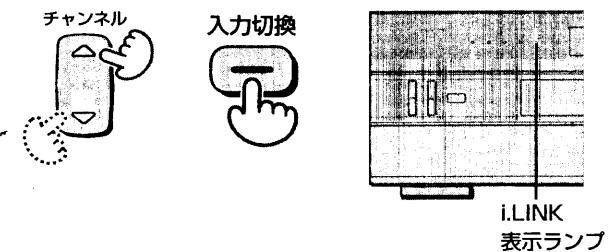
- ◀、▶ボタンで切り換えたい項目を選び、決定ボタンを押してください。

3 i.LINKボタンを押す



元の画面に戻ります。

4 チャンネルボタンまたは入力切替ボタンを押して「d」を表示させる



ビデオの表示窓

テレビ画面

- テレビの映像がLINCした機器からの映像に切り換わります。
- テレビ画面に「D」と出て、ビデオ前面のi.LINK表示ランプが青色に点灯します。

おしらせ

ブロードキャスト入力とは
i.LINK接続している機器の中に映像や音声のデータをブロードキャスト出力している機器があるときに「ブロードキャスト入力」を選ぶと、その機器からの映像や音声を見たり、録画したりすることができます。

i.LINKを使う

LINK対応機器を使う

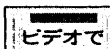
本機の操作パネルを使って、i.LINKケーブルでつないだi.LINK対応機器を操作できます。

重要

- 録画する前に、相手のi.LINK対応機器をLINCしていることを確認してください。(77ページ参照)
- コピーガードがかかっている映像や音声は、D-VHS方式では録画できません。(48ページ参照)



- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)



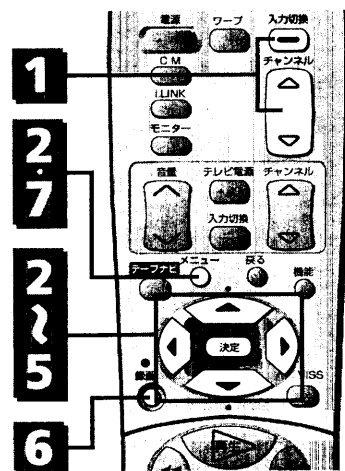
- ビデオの電源を入れる
- 「つめ」の折れていないテープを入れる

おしらせ

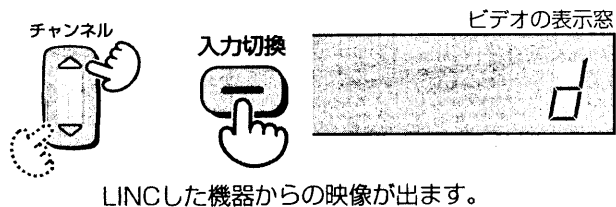
- 本機が相手のビデオをLINCしていれば、本機の操作パネルからだけでなく、相手のビデオのボタンを直接操作しても相手のビデオからの映像を本機で見たり、録画したりすることができます。

LINCした機器から録画する

- i.LINK接続した相手のビデオを本機の操作パネルで再生させて、本機で録画するとき

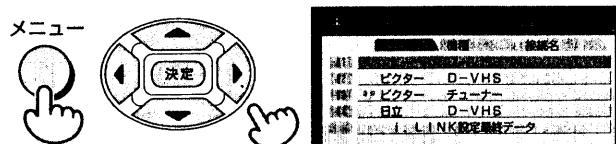


1 チャンネルボタンまたは入力切換ボタンを押して「d」を表示させる

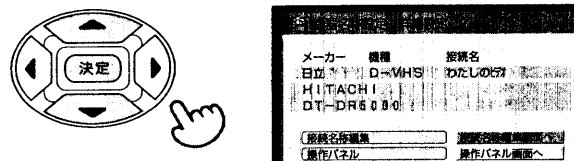


LINCした機器からの映像が出ます。

2 メニュー画面を出し「i.LINK設定」の「機器名称設定」を選び、決定ボタンを押す

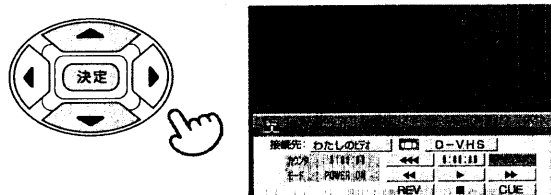


3 ▼、▲ボタンで操作したい機器を選び、決定ボタンを押す



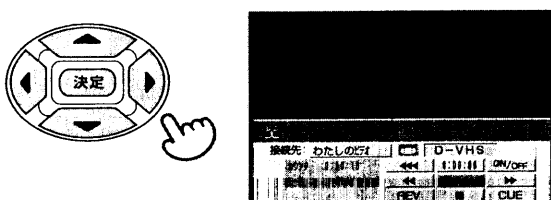
- のついたLINCしているビデオを選んでください。

4 ▼、▲ボタンで「操作パネル画面へ」を選び、決定ボタンを押す



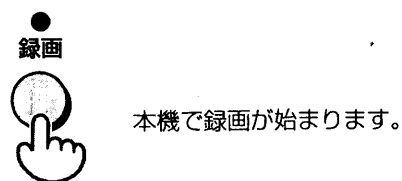
操作パネルが出ます。

5 カーソルボタンで操作パネルの「▶」を選び、決定ボタンを押す



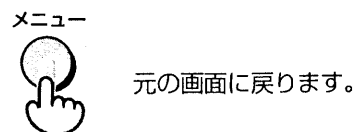
- 相手のビデオで再生が始まります。
- 操作パネルの見かたは79ページをご覧ください。

6 録画するときは、録画ボタンを押す



本機で録画が始まります。

7 メニューボタンを押す

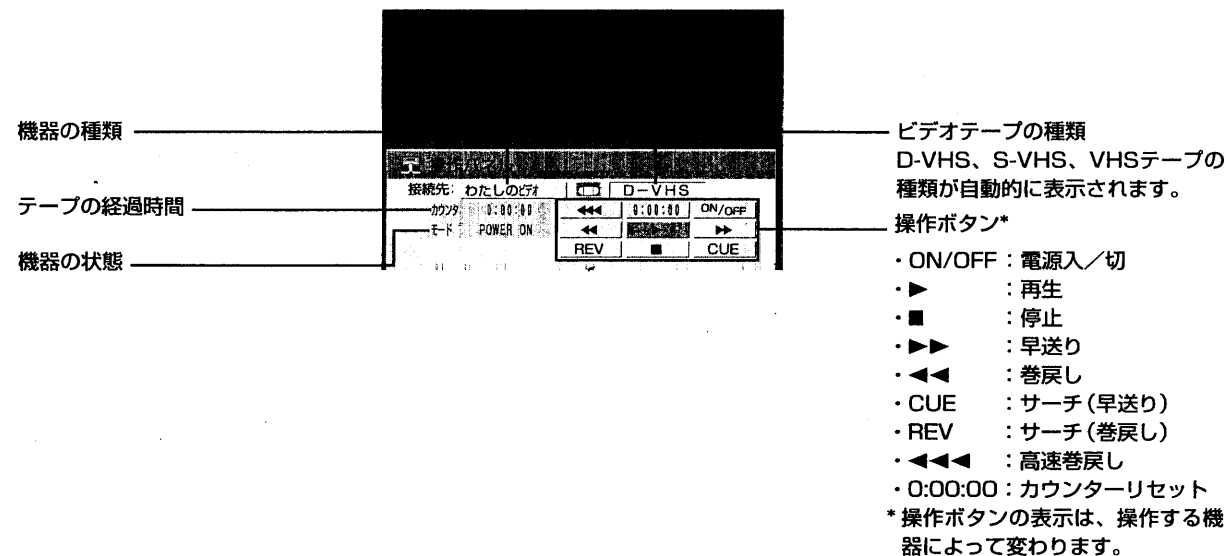


元の画面に戻ります。

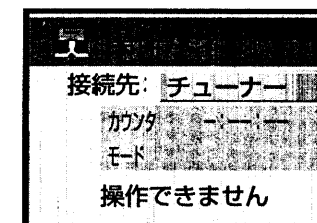
操作パネルの見かた

操作ボタンはリモコンのカーソルキーで選び決定ボタンを押すと、操作が始まります。

- 操作する機器がビデオの場合



- 操作できない機器の場合は、操作ボタンを選んだときに操作パネル左下部に「操作できません」と表示が出ます。(デジタルCSチューナーの例)



LINKを使う

デジタルダビングする

i.LINKケーブルでi.LINK対応D-VHSビデオをつなぐと、デジタルダビング(D-VHS録画)できます。デジタルダビングには、テープ1本すべてを自動的にダビングするオートダビングと、テープナビのデータを利用して番組単位で順番を並べ替えてダビングする編集ダビングの2通りあります。i.LINK接続したD-VHSビデオが日立製テープナビ機能付きビデオの場合、テープナビのデータも記録されます。どちらも本機で再生して、相手のD-VHSビデオで録画します。

重要

- i.LINK対応機器がi.LINKケーブルで正しく接続されているか確かめてください。
- ダビング中はi.LINKケーブルを抜かないでください。

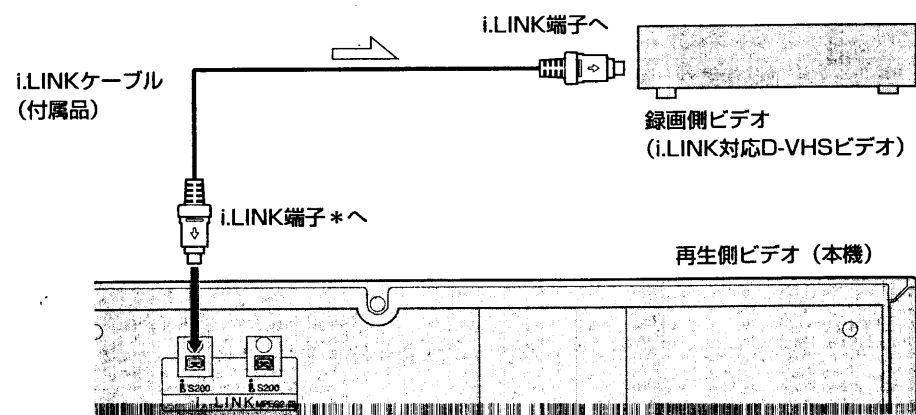
オートダビングについて

テープ1巻まるごとダビングする場合に便利な機能です。本機（再生側）からオートダビングメニューを操作するだけで、以下の順番で自動的にダビングします。

- ①相手機（録画側）をデジタル入力に切り換える
- ②本機（再生側）の再生を開始する
- ③相手機（録画側）の録画を②に合わせて開始する
- ④テープの再生が終わると、ダビングが終了する

本機からi.LINK対応D-VHSビデオへオートダビングする

接続

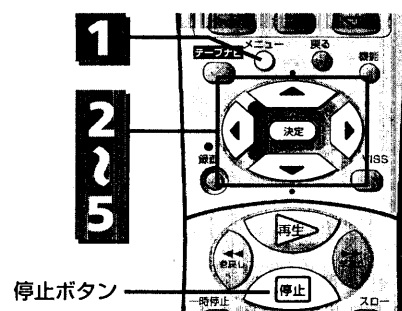


は信号の流れを表します。

- * 2個のi.LINK端子のどちらにつないでもかまいません。
- ** テレビなどとの接続は、⑩ページからの設置・準備編をご覧ください。

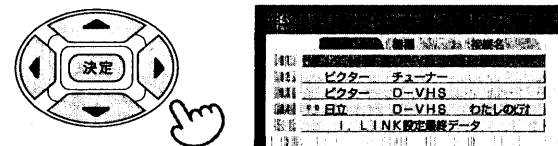
- テレビで
 - 相手のテレビの電源を入れる
 - テレビの入力切換を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- 相手のビデオで
 - ビデオの電源を入れる
 - 「つめ」の折れていないテープを入れる
 - 録画モードを選ぶ

オートダビングする



- 1 **メニューボタンを押す**
メニュー

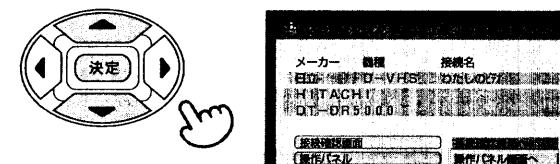
- 2 **カーソルボタンで「ダビング」の「オートダビング」を選び、決定ボタンを押す**



おしらせ

ダビングを途中でやめるときは、⑨ページをご覧ください。

- 3 **▼、▲ボタンで相手のビデオを選び、決定ボタンを押す**

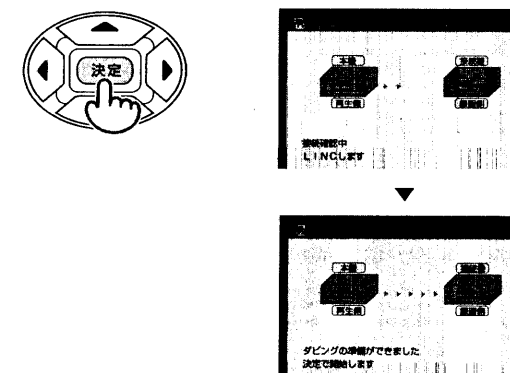


おしらせ

機能ボタンを押して前のページ、次のページに移すこともできます(⑦ページ参照)。

「操作パネル画面へ」を選ぶと相手のビデオを操作できる操作パネルが出ます(⑩ページ参照)。

- 4 **「接続確認画面へ」が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す**



決定ボタンを押すと機器の認証が始まります。

- 5 **オートダビングの準備ができれば、決定ボタンを押す**



- オートダビングが始まります。
- 相手のビデオの電源が切れていても、自動的に電源を入れて、ダビングを始めます。

i.LINKを使う

重要

- i.LINK対応機器がi.LINKケーブルで正しく接続されているか確かめてください。
- ダビング中はi.LINKケーブルを抜かないでください。
- 編集ダビングするときは、本機で録画したテープを入れてください。また、本機のテープナビを「入」にしてください。
- 編集ダビングは、テープナビ画面が出るテープでのみ操作できます。

編集ダビングについて

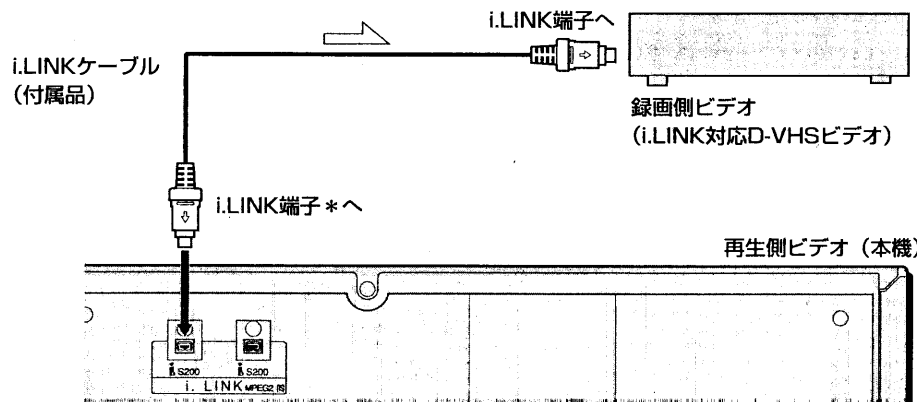
本機で録画したテープのテープナビに登録されている番組から必要な番組を選び出したり、番組の順番を入れ換えたりしてダビングできます。

本機（再生側）の編集ダビングメニューの中で表示される番組一覧からお好みの番組を選んでダビングを始めると、以下の順番で自動的に編集してダビングします。

- ①相手機（録画側）をデジタル入力に切り換える
- ②本機（再生側）が、選ばれた番組を頭出し再生する
- ③相手機（録画側）の録画／録画一時停止をコントロールして、選ばれた番組を録画する
- ④上の②③を繰り返す
- ⑤選ばれた番組すべてを録画すると、ダビングが終了する

本機からi.LINK対応D-VHSビデオへ編集ダビングする

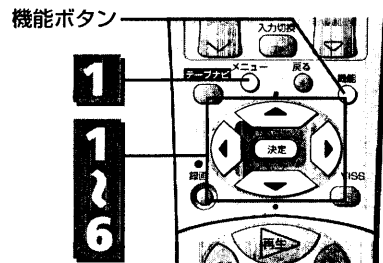
接続



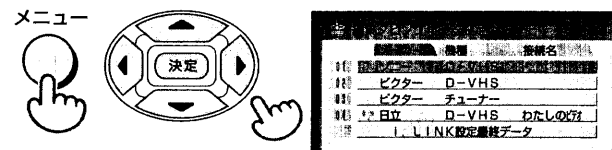
は信号の流れを表します。
 * 2個のi.LINK端子のどちらにつないでもかまいません。
 ** テレビなどの接続は、⓪ページからの設置・準備編をご覧ください。

- テレビで**
- 相手のテレビの電源を入れる
 - テレビの入力切換を「ビデオ」にする（または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ）
- 相手のビデオで**
- ビデオの電源を入れる
 - 「つめ」の折れていないテープを入れる
 - 録画モードを選ぶ

編集ダビングする



1 メニュー画面を出し、「ダビング」の「編集ダビング」を選び、決定ボタンを押す

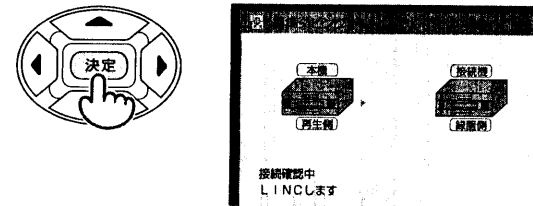


2 ▼、▲ボタンで相手のビデオを選び、決定ボタンを押す



おしらせ
 機能ボタンを押して前のページ、次のページに移すこともできます(17ページ参照)。

3 「接続確認画面へ」が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す

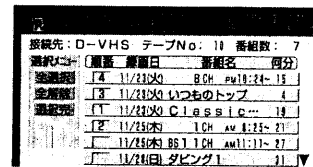


- 決定ボタンを押すと機器の認証が始まります。
- 接続が確認されると、本機に入っているテープのテープナビデータが表示されます。

4 ダビングしたい番組を選ぶ

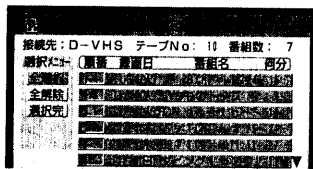
番組を選んで順番を並べ換える

- ▶ ボタンを押す
- ▼、▲ボタンで並び換えたい順に番組を選び、決定ボタンを押す
決定ボタンを押した順に、番組に番号が付けられます。



- おしらせ**
- 順番を変えるには「順番」の一番最後の番号が付けられた番組を選び、決定ボタンを押してください。順番の数字が消えます。
 - コピーガードされた番組には「」が付き、選択できません。

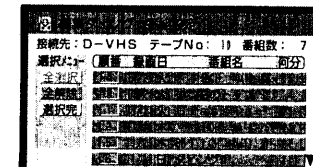
3 ◀ボタンを押す
 選択メニューに戻ります。



- おしらせ**
- テープナビ「切」で録画したテープや他のビデオで録画したテープをダビングするときは、オートダビング(⓪ページ参照)または、「i.LINK対応機器を使う」(78ページ参照)の方法で録画してください。

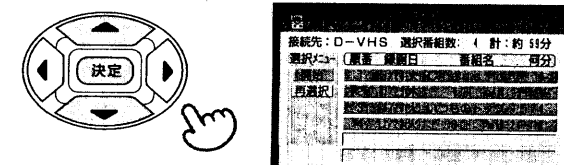
すべての番組を選ぶ

全選択を選び、決定ボタンを押す
 すべての番組が選ばれ、テープに録画された順に順番が付けられます。



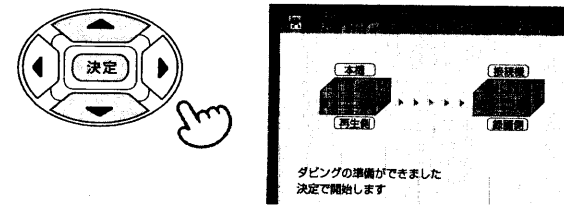
- おしらせ**
- 全解除**を選び、決定ボタンを押すと、すべての番組の選択が解除されて、順番の数字が消えます。

5 ▼、▲ボタンで選択メニューの**選択完了**を選び、決定ボタンを押す



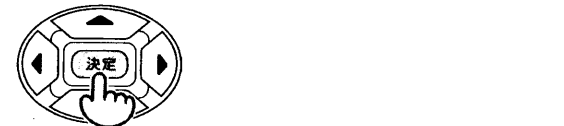
選択した番組の一覧が出ます。

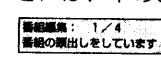
6 ▼、▲ボタンで**開始**を選び、決定ボタンを押す



- おしらせ**
- 番組を選び直したいときは、**再選択**を選び、決定ボタンを押してください。

7 編集ダビングの準備ができたら、決定ボタンを押す



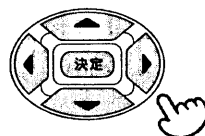
- 編集ダビングが始まります。
- ダビングの途中で番組の頭出しをしているときには、下のような表示が出ます。

- ダビングが終わると「ダビング完了しました」と出ます。

デジタルダビングのご注意

■ダビングしたテープの開始、終了部分が途切れる場合があります。途切れないようにダビングするには、「i.LINK対応機器を使う」(78ページ参照)の方法で録画してください。

■ダビングを途中で止めるには

停止ボタンを押すと下の画面が出ます。「はい」を選んで決定ボタンを押してください。



■テープナビデータについて

日立製テープナビ機能付きD-VHSビデオを接続してダビングしたときは、テープナビデータも同時に記録されます。

テープナビ機能付きビデオでは、ダビングしたテープのテープナビデータを使って操作できます。

■ダビング中の録画モードは、録画側のビデオで設定されている録画モードになります。

■ダビングが終了すると、LINCは解除されます。

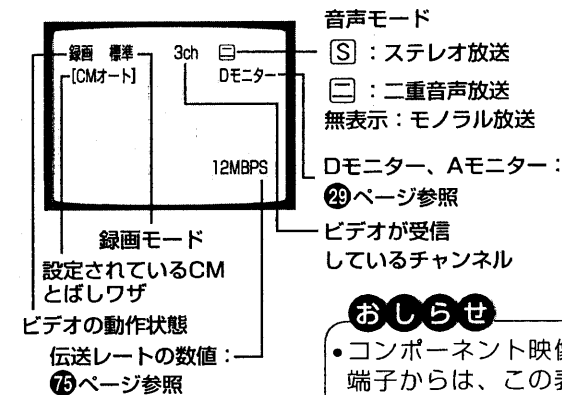
■オートダビング中にコピーガード信号を検出すると、相手のビデオによってはオートダビングが中断したり、ビデオの映像・音声入力端子からの録画に切り換わり、i.LINK端子からの映像や音声は録画されな

画面表示を見る

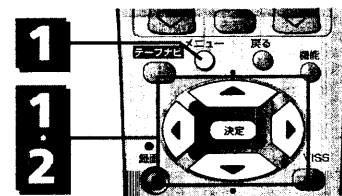
テレビ画面にビデオの動作状態や、チャンネル、時計、テープの走行経過時間などを表示することができます。

テレビ画面表示

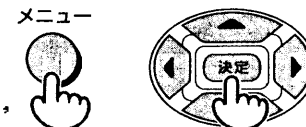
「機能設定」で「OSDモード表示」を「オート」に設定していると、ビデオを操作するたびに、下の表示がテレビの画面に約8秒間出ます。



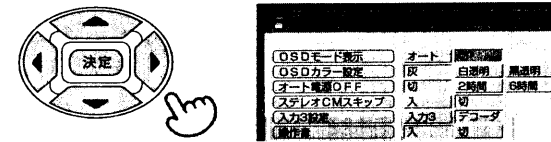
画面表示を入/切する



1 メニュー画面を出し「ビデオ設定」の「機能設定」を選び、決定ボタンを押す



2 カーソルボタンで「OSDモード表示」の「オート」または「切」を選んで決定ボタンを押す

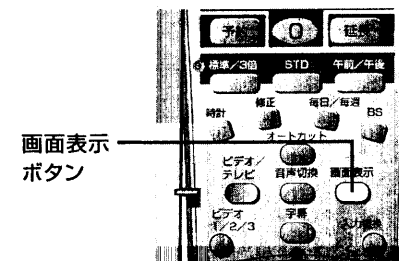


「切」にするとビデオを操作しても、テレビ画面に動作表示などは出ません。ただし、画面表示ボタンやメニューボタンを押したときまたはテープナビ機能やオートカット機能などをお使いのときは、表示が出ます。

おしらせ

OSDの画面の色を変えることができます。「機能設定」の「OSDカラー設定」で切り換えてください。「黒透明」または「白透明」を選ぶと画面が半透明になります。操作方法については22ページをご覧ください。

時計、経過時間、テープの残り時間を切り換える

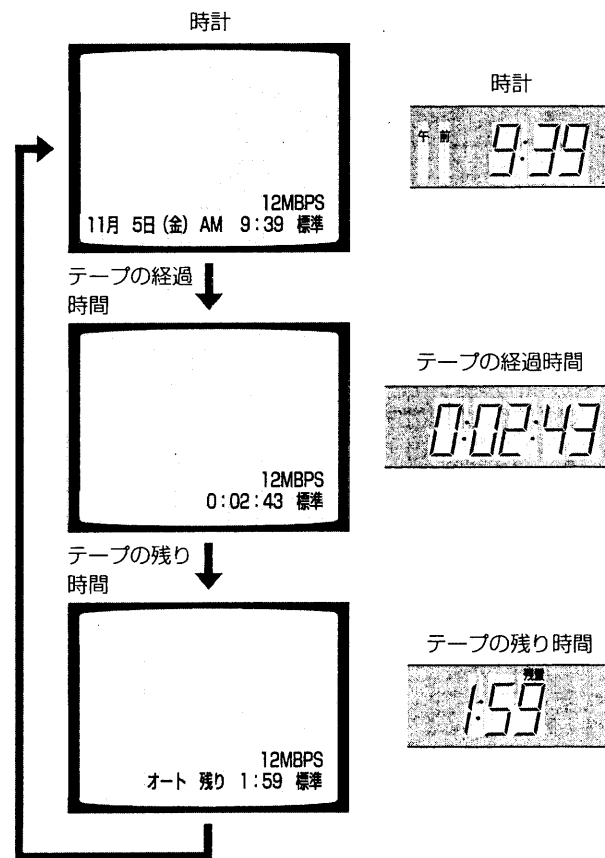


画面表示ボタンを押す



画面表示が出ている間にボタンを押すと、ビデオの表示窓も同時に切り換わります。

テレビ画面 ビデオの表示窓



おしらせ

時計が表示されているときにテープを再生すると、自動的にテープの経過時間に切り換わります。時計またはテープの残り時間に切り換えるときは、画面表示ボタンを押してください。コンポーネント映像出力端子からは、この表示は出ません。

便利な使いかた

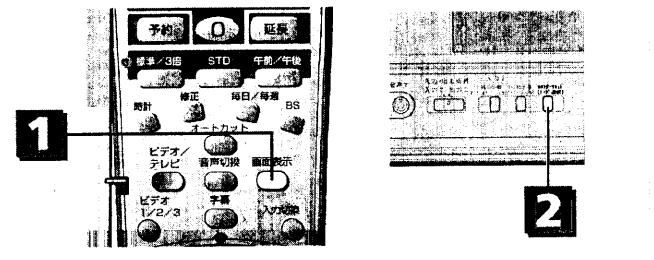
残り時間・経過時間を表示する……

テープの走行中、テープの残り時間を「時・分」で表示できます。また、走行の経過時間を「時・分・秒」で表示することもできます。

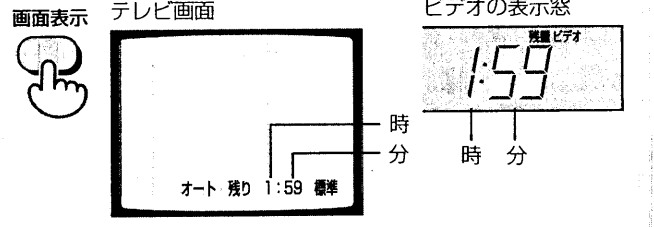
重要

テープの残り時間は、録画や再生を始めて約2分後に表示されます。テープが動き始めてしばらくは、「— : —」の表示が出ます。

テープの残り時間を表示する



1 画面表示ボタンを押して、残り時間を出す



テープを入れたばかりのときは、「— : —」が表示されます。再生または録画を始めると、約2分後に残り時間が表示されます。

2 カウンターリセット(テープ選択)ボタンを押して、テープの長さを選ぶ

テープの長さ	画面表示
DF-240*, DF-180*, T-120以下	オート
T-160, T-140	T-160
DF-360*, T-180	T-180
DF-420, T-210	T-210
DF-300	DF-300

* DF-180, 240, 360は平成11年9月現在発売されていません。

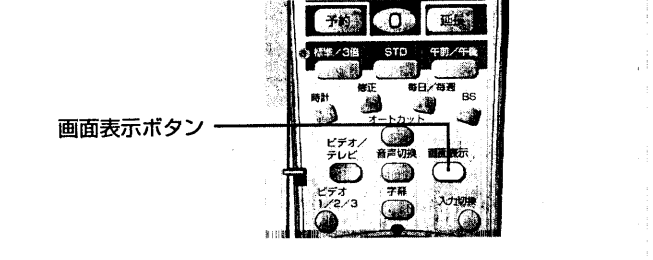
- テープの長さに合わせて表示を選んでください。これで正しい残り時間が表示されます。
- 画面表示が「オート」のときは、ビデオの表示窓にテープの長さが出ません。

おしらせ

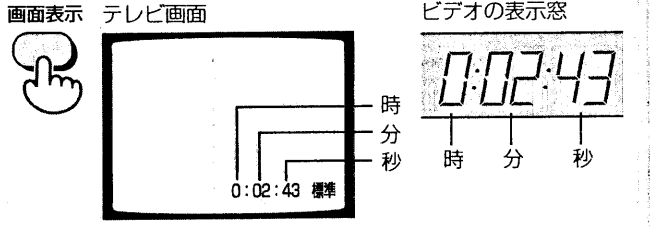
テープの残り時間の表示について

- 何も録画していないテープやT-30/60/90/120/140/160/180/210/DF-180/240/300/360/420以外のテープでは、残り時間が正しく表示されません。
- 早送りや巻戻しのときは、テレビ画面に正しく表示が出ません。

経過時間を表示する



画面表示ボタンを押して、テープの走行経過時間を表示する



おしらせ

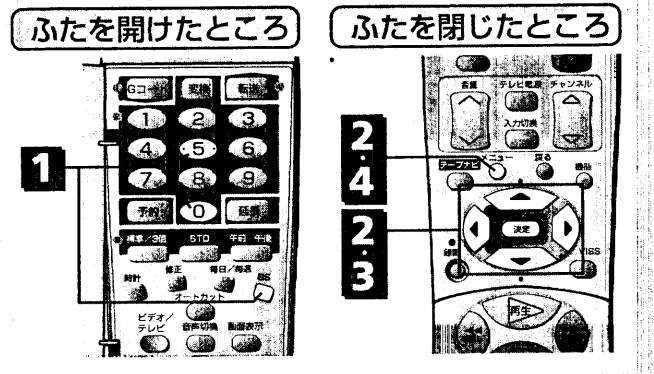
経過時間の表示について

- テープを取り出すと、自動的に「0:00:00」に戻ります。
- テープに何も録画されていない部分では、経過時間の数字は変わりません。
- 録画または再生中に、ビデオのカウンターリセット(テープ選択)ボタンを押すと、経過時間が「0:00:00」になります。録画や再生が終わってから、見たい場面を探すとき便利です。
- 早送り、巻戻しのときは、経過時間が間欠的に表示されます。

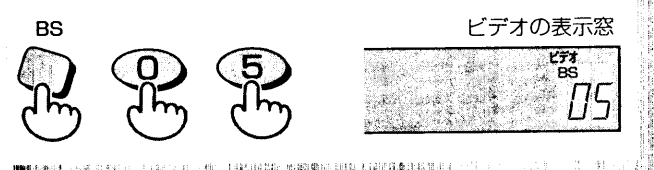
BS放送の独立音声を聞く……

BS放送では、同じチャンネルにテレビ音声と同時に独立音声とよばれる別の音声を放送しているチャンネルがあります。平成11年9月現在、独立音声放送が行われているのは、BS5チャンネルのSt.GIGA放送だけです。St.GIGAを聞くには受信契約が必要です(83ページ参照)。

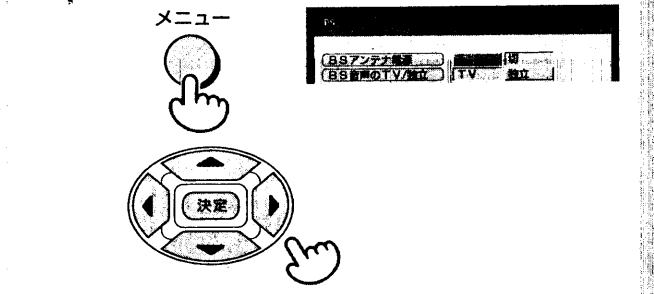
- テレビで
 - テレビの電源を入れる
 - テレビの入力切替を「ビデオ」にする(または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオで
 - ビデオの電源を入れる



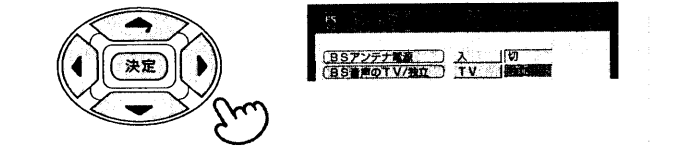
1 BS5チャンネルを選ぶ



2 メニュー画面を出し、「チャンネル設定」の「BS設定」を選び、決定ボタンを押す



3 カーソルボタンで「BS音声のTV/独立」の「独立」を選び、決定ボタンを押す



- BS放送を選ぶと、テレビ画面に「独立」と出て、独立音声に切り換わります。
- ザーツという音しか聞こえないときはスクランブルがかかっています。スクランブルを解除するにはデコーダが必要です(82ページ参照)。

4 メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

おしらせ

BS放送の音声について

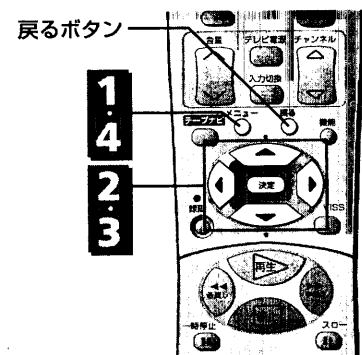
- BS放送の音声にはAモードとBモードがあります。Aモードはテレビ音声と独立音声が一緒に送られてきます。Bモードはテレビ音声のみが送られてきます。AモードとBモードは、自動的に切り換わります。Bモードのときはテレビ画面に「Bモード」と出ます。
- St.GIGAを聞くには
 - BS5チャンネルのSt.GIGA放送を聞くには、BSデコーダの音声選択ボタンで「独立音声」を選んでください。

便利な使いかた

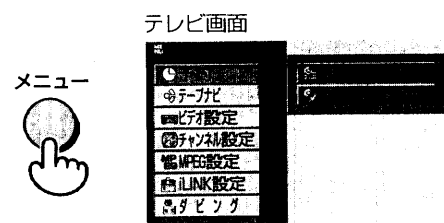
ビデオの機能を画面で選ぶ (お好みセレクト)

ビデオの動作や機能を、お好みに合わせて選ぶことができます。

- テレビで
 - テレビの電源を入れる
 - テレビの入力切換を「ビデオ」にする (または、ビデオチャンネル1または2を選ぶ)
- ビデオで
 - ビデオの電源を入れる

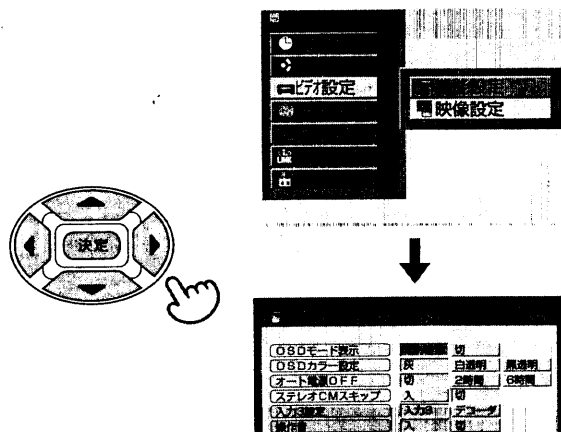


1 メニューボタンを押す



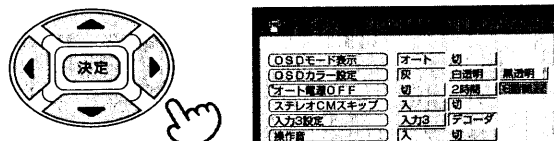
メニュー画面が出ます。

2 カーソルボタンを押して「ビデオ設定」の「機能設定」を選び、決定ボタンを押す



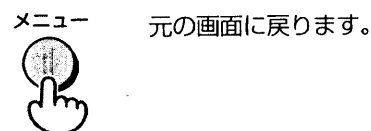
- お好みセレクト (機能設定) の画面が出ます。
- 各項目の説明は、次のページをご覧ください。

3 ▼、▲ボタンで合わせたい項目を選び、◀、▶ボタンで設定を変えて、決定ボタンを押す



文字が赤く出ている表示が現在の設定を示しています。カーソルボタンで設定を変えて決定ボタンを押すたびに設定が変わります。

4 メニューボタンを押す



メニュー元の画面に戻ります。

おしらせ

- リモコンの戻るボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

「機能設定」画面の説明

OSDモード表示 オートまたは切 (→85ページ)

オート	ビデオを操作するたびに動作表示などがテレビ画面に出ます。
切	ビデオを操作しても、テレビ画面に動作表示などは出ません。ただし、画面表示ボタンやメニューボタンを押したとき、またはテープナビ機能やオートカット機能などをお使いのときは、表示が出ます。

OSDカラー設定 灰 または 白透明 または 黒透明 (→85ページ)

灰	OSD画面が灰色になります。後ろの画像は見えません。
白透明	OSD画面が白色になります。半透明になるので後ろの画面が透けて見えます。
黒透明	OSD画面が黒色になります。半透明になるので後ろの画面が透けて見えます。

オート電源OFF 切または2時間または6時間 (→32ページ)

切	オート電源オフ機能は働きません。
2時間	ビデオの電源を入れたまま何も操作しないと、2時間後に自動的に電源が切れます。
6時間	ビデオの電源を入れたまま何も操作しないと、6時間後に自動的に電源が切れます。

ステレオCMスキップ 入または切 (→42ページ)

入	録画したテープを再生すると、ステレオ放送部分を「CM部分」と判断してとばします。
切	ステレオCMスキップを解除します。

入力3設定 入力3またはデコーダ (→52ページ)

入力3	ダビングする機器を外部入力3端子につないで使うときに設定します。
デコーダ	BSデコーダを外部入力3端子につないで使うときに設定します。

操作音 入または切 (→21ページ)

入	電源の入・切や再生などの「ピッ」という操作音が出ます。
切	操作音が消えます。ただし、タイマー予約や時刻の転送時は、音が出ます。

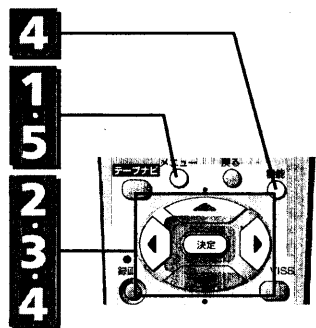
便利な使いかた

D-VHSの映像を調整する.....

Dモニターで見るときとD-VHS方式で録画するときの画質を調整することができます。

重要

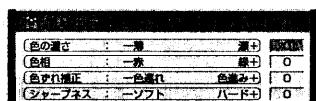
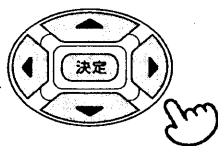
- 調整した後の設定を保存しておきたいときは、必ず4で設定保存を行ってください。設定保存しないまま電源を切ると、調整する前の設定に戻ってしまいます。
- 調整後の映像がD-VHS録画されます。調整は必ず画面を確認しながら行ってください。
- 映像の内容によっては変化がわかりにくい場合があります。
- Aモニターで見るときと、S-VHS、S-VHS ET、VHS方式で録画される映像は変化しません。



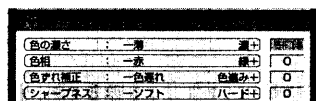
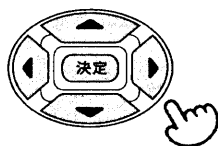
1 メニューボタンを押す



2 「MPEG設定」の「画質調整」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲、▼ボタンを押して調整したい項目を選び、◀、▶ボタンで調整する



例：「色の濃さ」を「+1」に切り換えたとき

• -2~+2の5段階で調整できます。

項目	◀ボタン	▶ボタン
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色相	赤っぽくなる	緑っぽくなる
色ずれ補正	色が遅れる	色が進む
シャープネス	映像がソフトになる	映像がくっきりする

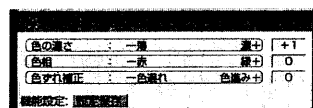
おしらせ

- 色の濃さや色相は肌色が自然に見えるように調整することを、おすすめします。
- 他のVTRからダビングしたときにノイズが気になる場合、シャープネスをソフト側にするとノイズを低減できます。映像の内容によっては効果がわかりにくい場合があります。



- 調整したい項目を選んで決定ボタンを押すと、選んだ項目だけが出る小さな画面になります。

4 機能ボタンを押してから、決定ボタンを押す



- 「設定保存」が選択され、調整した後の設定が保存されます。
- 保存すると、ビデオの電源を切っても設定が保存されます。

おしらせ

- S-VHS、S-VHS ET、VHS テープ再生時でもDモニター選択中は画質調整をすることができます。

5 メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

テープナビを使う.....

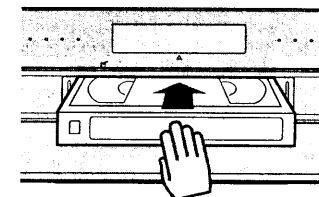
このビデオでは、テープを入れて録画すると、そのテープに整理番号を付け、録画データ(録画日、録画時刻、チャンネル、録画モードなど)を登録してテープごとに管理します。録画データを活用してテープの中身を一目で見たり、番組の頭出しをする機能をテープナビといいます。

重要

- テープの種類を間違えて選ぶと、3分以上録画してもデータを正確に登録できません。
- 他機で録画したテープを初めてこのビデオで録画するときも、テープの種類を正しく選んでから録画やタイマー録画をしてください。
- 本機で録画したテープを入れると、ビデオ前面のテープナビ表示ランプが点滅したあと点灯します。点灯後に操作してください。点滅中に操作すると、同じテープに複数のテープ番号が登録されてしまい、誤動作の原因となります。
- テープに付けられたテープ番号は、忘れないようにメモしておいてください。後でテープナビデータをさがすときに便利です。
- テープナビを「切」にして(95ページ参照)録画すると、テープナビの情報は記録されません。

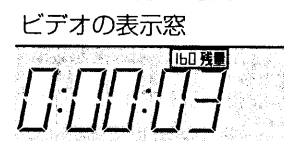
録画データを登録する

1 テープを入れる



このビデオに初めて入れたテープのときは、ビデオ前面のテープナビ表示ランプが数回点滅してから消えます。そのあと、ビデオの表示窓の残量表示が約10秒間点滅します。点滅している間に2の操作をしてください。

2 140分以上のテープのときは、テープの種類を切り換える



テープの種類	画面表示
DF-240*, DF-180*, T-120以下	オート
T-160, T-140	T-160
DF-360*, T-180	T-180
DF-420, T-210	T-210
DF-300	DF-300**

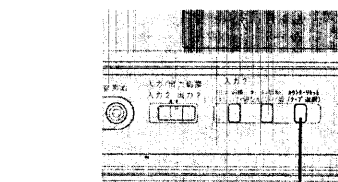
- * DF-180、240、360は平成11年9月現在発売されていません。
- **D-VHSテープを入れたときだけ表示されます。

- テープの種類に合わせて表示を選んでください。これでテープナビが正しく働きます。
- 120分以下のテープでは、切り換える必要ありません。

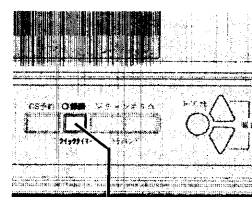
3 録画、またはタイマー録画する



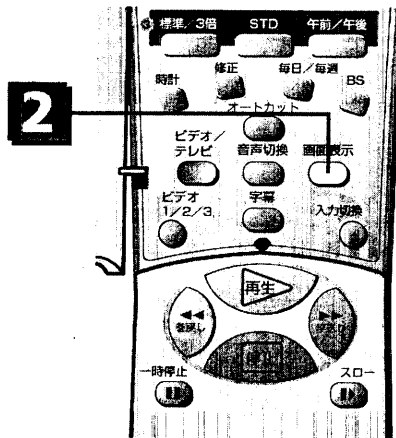
STD/標準/3倍モードで約3分以上録画すると、録画データが自動的に登録されます。



2



3



おしらせ

- 本機で録画データを登録したテープに追加登録するときには本機で録画したテープを入れてもビデオのテープナビ表示ランプが点灯しないまま録画すると、テープに複数のテープ番号が自動的に付けられてしまい、録画データが正しく表示できません。テープナビ表示ランプが点灯しない場合には、以下の手順で追加登録してください。
- ①本機で録画した部分まで巻き戻す。
 - ②テープナビボタンを押して、テープナビ画面を出す。
 - ③録画データの中の録画を始めたい部分を選んで、頭出しをする。
 - ④録画、またはタイマー録画する。(97ページ参照)

便利な使いかた

重要

オートカット機能を使って録画した番組の録画時間は、録画予約した時間よりCMをカットした分だけ短く表示されます。また、CMをカットした分だけ録画時間が短くなるため、30分以内の番組は、録画データが登録されないことがあります。

テープナビ画面の見かた

テープ番号
(本機がテープにつけた整理番号)

テープバー
現在選択されている番組のテープ上の位置と長さを示します。

番組番号
(本機が番組につけた番号)

カラーバー
選択されている番組表示に、色がついています。

見たマーク
番組を続けて半分以上見たとき、表示されます。

録画日*
録画したチャンネルの番号です。

ジャンルマーク
ジャンルマークを設定したときに表示されます。

録画チャンネル
録画したチャンネルの番号です。

ブランク
録画した番組と番組のあき時間

残り
(テープの残り時間)

録画開始時刻*

録画時間(分)

録画モード**

二か国語放送表示
二か国語放送が番組の中で最も長い時間録画されたとき表示されます。

CMカット表示
オートカット機能を使って録画したとき、または録画中に一時停止した番組のとき表示されます。

ステレオ放送表示
ステレオ放送が番組の中で最も長い時間録画されたとき表示されます。

* 時計を設定していないと「-」で表示されます。
** 録画中にモードが変わったときは、「-」と表示されます。このときは、標準モードに置き換えた時間が示されます。

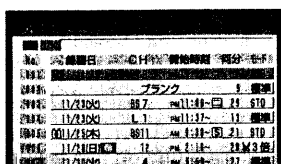
テープナビ画面の表示方法を切り換える

1 テープナビボタンを押して、テープナビ画面を出す

2 リモコンの機能ボタンを押す
画面の下部に機能設定メニューが出ます。

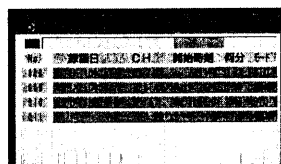
3 ◀、▶ボタンで切り換えたい項目を選び、決定ボタンを押す

前ページ



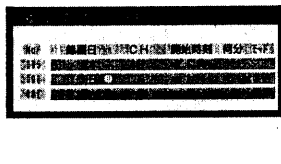
番組一覧の前のページに戻ります。(前のページがあるときだけ)

次ページ



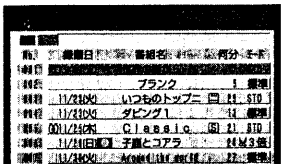
番組一覧の次のページに移ります。(次のページがあるときだけ)

表示切替



画面の大きさが半分小さくなります。もう一度決定ボタンを押すと、元の大きさに戻ります。

タイトル



録画チャンネルと録画開始時刻がタイトルに変わり、タイトルの一覧表示が出ます。

4 機能ボタンを押す

タイムナビ画面の見かた

現在位置
再生中に、その画面が録画された時刻を示します。

録画開始時刻
カーソル(検索位置)
CMの終わるところを選ぶときには「CM」になります。

録画終了時刻

テープバー
現在選択されている番組を示します。

検索位置の時刻
タイムナビで探して再生/停止する場面の録画時刻を示します。

お知らせ

機能
タイムナビ画面が出ているときに機能ボタンを押すと、-5分、+5分、番組先頭、番組最後を選ぶことができます。詳しい説明は116ページを参照してください。

お知らせ

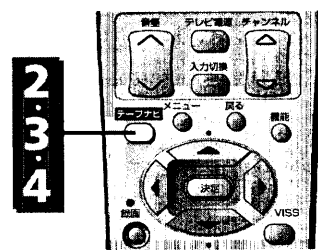
- 番組の録画数について**
 - 「ブランク」、「残り」も含めて最大3000番組を登録できます。ただしタイトルを登録したり、番組の内容によっては、登録できる番組数が少なくなります。
- テープ番号の登録数について**
 - 最大999まで登録できます。ただし、タイトルを登録したり、番組の内容によっては登録数が少なくなります。
- 録画時間の精度について**
 - 表示される録画時間と実際の録画時間には、約3分の誤差があります。
- 録画データの保持について**
 - 登録された録画データは、停電や電源プラグをコンセントから抜いたときも消えません。
 - 本機のメモリーが故障して録画データが消えた場合、データを復元することはできません。
- 見たマークについて**
 - 見たマークは、番組を続けて半分以上見た(再生した)とき表示されます。番組の半分以上で再生をやめたり、テープナビ画面を出すと、見たマークは表示されません。
- CS放送の番組について**
 - AV-BUSⅢで日立製デジタルCSチューナーをつないで予約録画すると、テープナビ画面の録画チャンネルはCS放送のチャンネルになります。また受信した番組により、ジャンルマークが付きます。

便利な使いかた

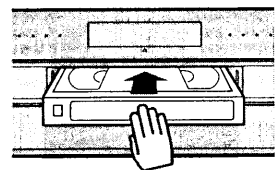
重要

テープナビ画面、タイムナビ画面が出るのは、本機で録画したテープだけです。

テープの録画データを見る

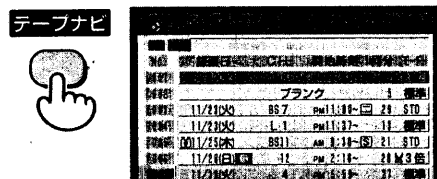


1 本機で録画したテープを入れる



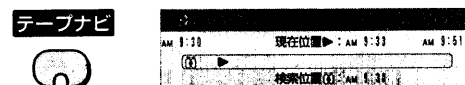
ビデオ前面のテープナビ表示ランプが数回点滅してから点灯します。点灯後に次の操作をしてください。

2 テープナビボタンを押す



- テープナビ画面が出ます。画面の見かたは⑫ページをご覧ください。
- この画面のデータを使って、番組を頭から再生したり、頭出しして停止したりできます。(⑦ページ「録画データを使って番組の頭出しをする」参照)。

3 テープナビボタンを押す



- タイムナビ画面が出ます。
- この画面で、番組中の録画時刻を指定してそこから再生したり、選んだ時刻を探して停止したりできます(⑩ページ「タイムナビで見たい場面を探す」参照)。

4 テープナビボタンを押す



元の画面に戻ります。

おしらせ

本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき

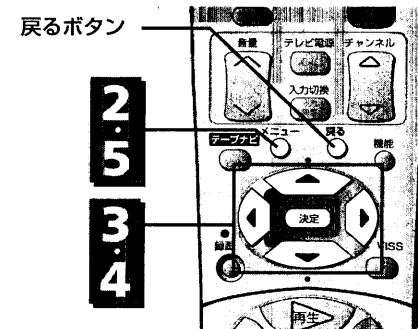
- テープを最初から約2分間再生したあとテープナビボタンを押してください。
- 本機で録画した部分でテープナビボタンを押してください。
- タイムナビ「切」のとき、またはテープナビ画面で「ブランク」、「残り」を選んだときには、③の画面が出ません。

重要

テープナビ機能を入/切するときは、テープを取り出してください。テープが入っていると、切り換えることができません。

テープナビとタイムナビの設定を切り換える

テープナビ機能とタイムナビ機能を入/切したり、テープナビ画面の表示方法を切り換えることができます。



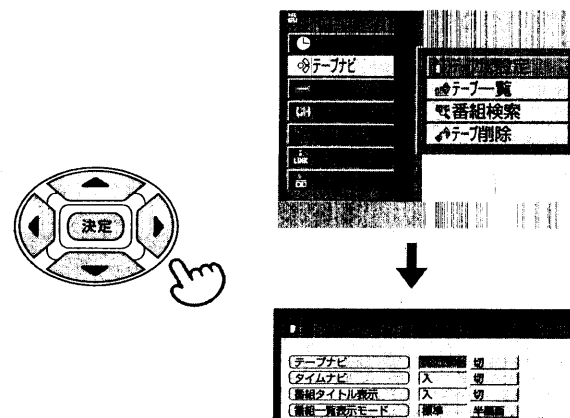
1 テープを取り出す

「番組タイトル表示」と「番組一覧表示モード」の設定は、テープを取り出さなくても切り換えられます。

2 メニューボタンを押す

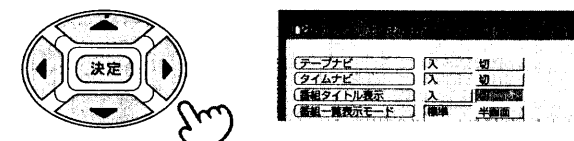


3 カーソルボタンで「テープナビ」の「テープナビ設定」を選び、決定ボタンを押す



- テープナビ設定の画面が出ます。
- 各項目の説明は、⑩ページをご覧ください。

4 ▼、▲ボタンで合わせたい項目を選び、◀、▶ボタンで設定を変えて、決定ボタンを押す



文字が赤く出ている表示が現在の設定を示しています。カーソルボタンで設定を変えて決定ボタンを押すと設定が変わります。

5 メニューボタンを押す



元の画面に戻ります。

おしらせ

• リモコンの戻るボタンを押すと、一つ前の画面に戻ります。

便利な使いかた

テープナビ設定画面の説明

テープナビ **入** または **切**

入	録画すると録画データが登録されます。録画データを活用してテープナビ機能が使えます。
切	テープナビ機能を使わないときに設定してください。 切 にすると、タイムナビは出ません。また、CMオートが動作しません。

*テープが入っているときはメニューに出ません。

タイムナビ **入** または **切**

入	テープナビが 入 のときに、タイムナビ機能が使えます。
切	タイムナビ機能を使わないときに設定してください。

番組タイトル表示 **入** または **切**

入	テープナビ画面に番組名が一覧表示されます。
切	テープナビ画面に録画チャンネルと録画開始時刻が一覧表示されます。

番組一覧表示モード **標準** または **半画面**

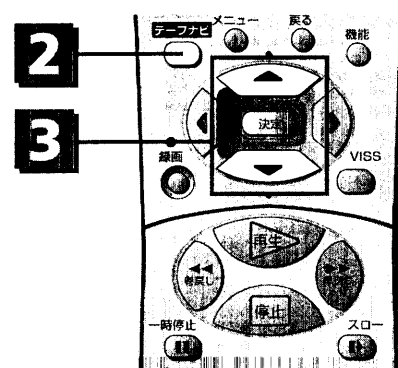
標準	テープナビ画面が画面全体に出ます。
半画面	テープナビ画面の大きさが下半分に小さくなります。 上半分には、受信しているチャンネルや再生画面が出ます。

録画データを使って見たい番組を探したり、テープの録画されていないところ（ブランク）を探すことができます。

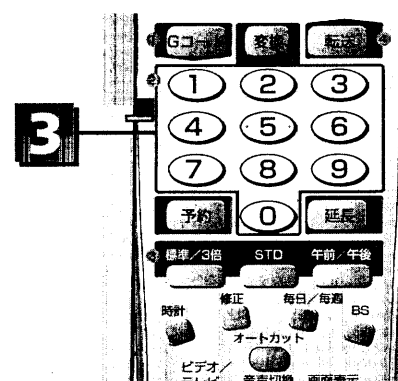
重要

テープを入れてもビデオ前面のテープナビ表示ランプが点滅しないときは、テープナビ機能が「切」になっています。
95ページをご覧ください。「入」に設定してください。

ふたを閉じたところ

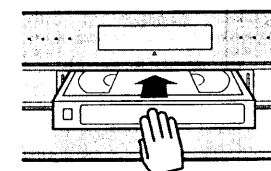


ふたを開けたところ



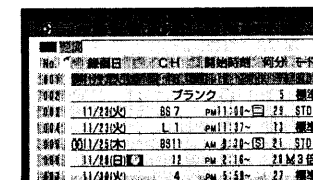
録画データを使って番組の頭出しをする

1 本機で録画したテープを入れる



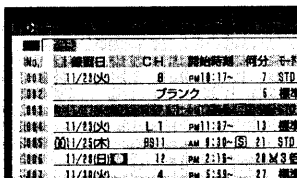
ビデオ前面のテープナビ表示ランプが数回点滅してから点灯します。
点灯後に次の操作をしてください。

2 テープナビボタンを押す



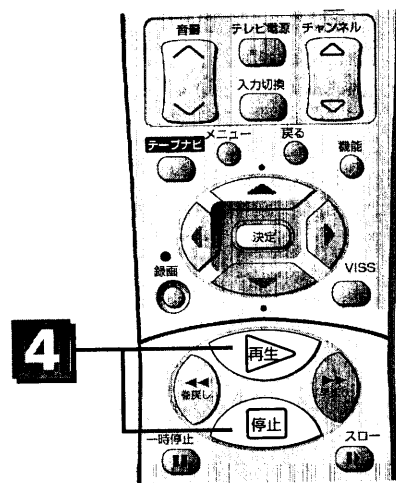
テープナビ画面が出ます。

3 ▼、▲ボタンを押して、見たい番組（またはブランク）を選ぶ



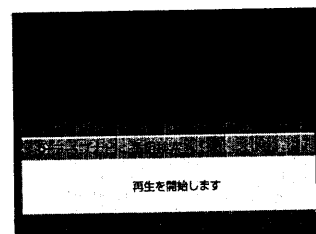
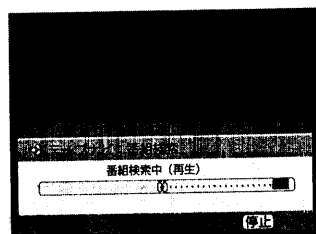
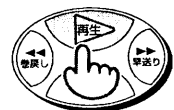
- カラーバーが選んだ番組に移動します。
- テープバーが選んだ番組の位置と長さを示します。
- 7番目以降の番組を選ぶには、▼ボタンを繰り返し押して、表示します。
- 3けたの番組番号を入力して選ぶこともできます。
- 番組の途中を探るときは「タイムナビで見たい場面を探す」(95ページ)をご覧ください。

便利な使いかた



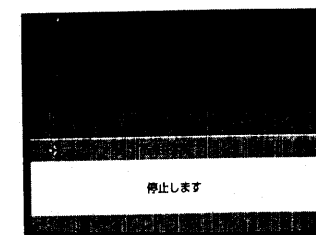
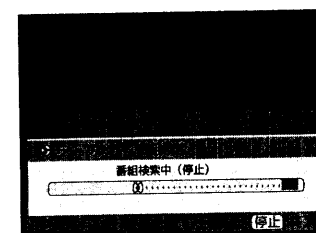
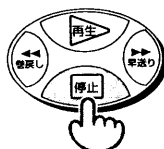
4 番組の頭から再生する、または頭出しして停止する

再生するとき



番組の頭を探して自動的に再生します。

頭出しして停止するとき



番組の頭を探して自動的に停止します。

おしらせ

テープナビ画面で見たい番組を選ぶとき

•ビデオのテープナビボタンと選択ボタンも使えます。

頭出しのあと自動的に電源を切るには
•**3**で見たい番組(または残り)を選んだあと電源ボタンを押すと、番組を頭出ししてから自動的に停止し、電源が切れます。

本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき

•テープを最初から約2分間再生したあと、テープナビボタンを押してください。

•本機で録画した部分でテープナビボタンを押してください。

重要

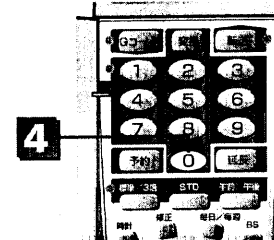
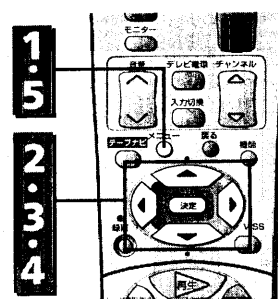
- ビデオの中にテープが入っているときは、入っているテープのデータを取り消すことはできません。テープを取り出してから操作してください。
- データの取り消しをすると、1本のテープに登録されているテープデータ全てが取り消されます。データの一部(番組データ)を取り消すことはできません。

登録内容を取り消す

登録できるデータ数が残り少なくなったときや、いらなくなったテープのデータを取り消したいときに行います。

ふたを閉じたところ

ふたを開けたところ

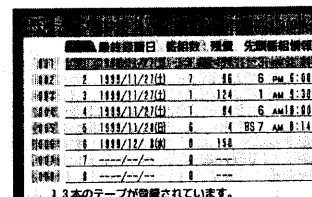
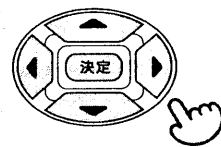


1 メニューボタンを押す

メニュー



2 「テープナビ」の「テープ削除」を選び、決定ボタンを押す

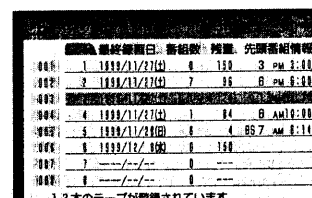
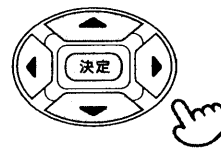


- テープ削除画面が出ます。
- 登録されているテープ番号と最後に録画した年月日、曜日などが表示されます。

おしらせ

テープの録画データの表示順は並べ替えることができます(100ページ参照)。

3 カーソルボタンで取り消したいテープ番号を選ぶ



- 次の画面を見るには、▼ボタンを繰り返し押し表示します。
- 選んだテープの詳しい登録内容を確認するには、決定ボタンを押してください。

おしらせ

前のページ、次のページに移るには

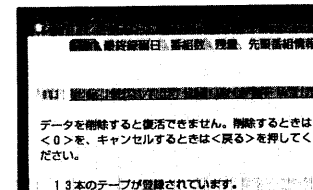
機能



機能設定 前ページ 次ページ

- 1 テープ削除画面が出ているときに機能ボタンを押す
 - 画面の下に「前ページ」「次ページ」が出ます。
- 2 前のページに移るには「前ページ」を、次のページに移るには「次ページ」を◀、▶ボタンで選び、決定ボタンを押す
- 3 機能ボタンを押す
 - 元の画面に戻ります。

4 0ボタンを2回押して取り消す



- 0ボタンを1回押すと、削除確認画面が出ます。取り消したいときは、もう一度0ボタンを押してください。
- 選んだテープの録画データが取り消され、**2**の画面に戻ります。
- 他のテープも取り消したいときは**3**~**4**を繰り返してください。

5 メニューボタンを押す

メニュー



元の画面に戻ります。

おしらせ

一度このビデオで録画したテープに再度録画するとき、登録内容を取り消す必要はありません(録画すると新しいデータが自動的に登録されます)。

登録パーセント表示について

•パーセント表示は、テープ番号の数ではなく、登録されている番組数や内容によって変わります。

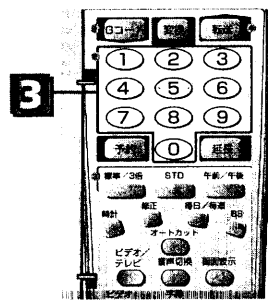
ラスト録画日の表示について

•時計を設定していないときにデータが登録されたり、登録時間(録画時間)が短い(約3分以内)と、ラスト録画日は「- - - - / - - / - -」と表示されます。

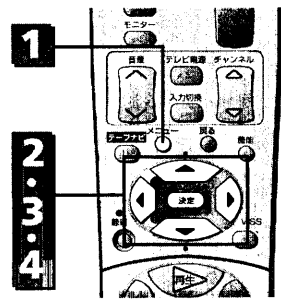
登録内容を確認する

テープを入れずに、このビデオに登録されている全テープの登録内容を確認することができます。お手持ちのテープのラベルに、登録されたテープ番号を付けておくと、テープを探すのに便利です。

ふたを開けたところ



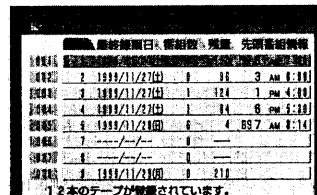
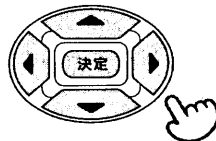
ふたを閉じたところ



1 メニューボタンを押す

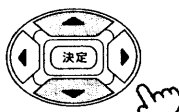


2 「テープナビ」の「テープ一覧」を選び、決定ボタンを押す

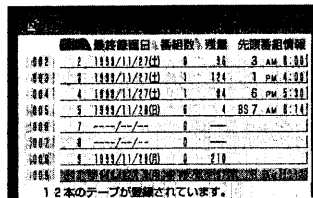


- テープ一覧画面が出ます。
- 登録されているテープ番号と最後に録画した年月日、曜日などが表示されます。

3 カーソルボタンで確認したいテープ番号を選ぶ



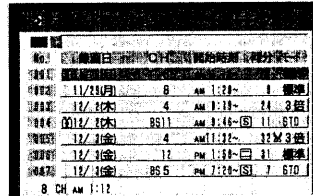
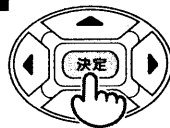
- または
- 1
 - 2
 - 3
 - 4
 - 5
 - 6
 - 7
 - 8
 - 9
 - 0
- 次の画面を見るには、▼ボタンを繰り返し押し表示します。
 - 3けたの番組番号を入力して選ぶこともできます。



おしらせ

機能ボタンを押して前のページ、次のページに移すこともできます(99ページ参照)。

4 決定ボタンを押す



- 選んだテープの詳しい登録内容が出ます。
- 他のテープの内容も確かめたいときは「戻る」ボタンを押してから3、4を繰り返してください。
- 一つ前の画面に戻すには、戻るボタンを押してください。
- 元の画面に戻すには、メニューボタンを押してください。

おしらせ

4の画面で番組を選び決定ボタンを押すと、タイトル、ジャンルを設定する画面に移ります(103、110ページ参照)。

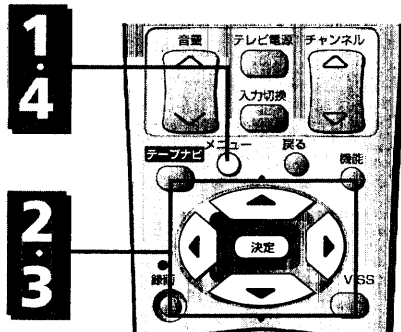
おしらせ

テープナビの「テープ一覧」と「テープ削除」画面の録画データは、順番を以下の4種類に変えることができます。2の画面で◀、▶ボタンを押して、タグを切り換えてください。

- テープNo**
テープ番号の小さい順に並べ替えます。
- 最終録画日**
最後に録画した日にちの新しい順に並べ替えます。
- 番組数**
テープに録画した番組数の多い順に並べ替えます。
- 残量**
テープの残り時間の多い順に並べ替えます。

登録されている録画データを検索する

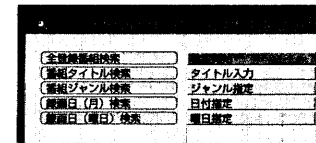
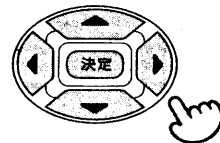
テープを入れずに、このビデオに登録されている全テープの登録内容を検索することができます。お手持ちのテープのラベルに、登録されたテープ番号を付けておくと、テープを検索するのに便利です。



1 メニューボタンを押す

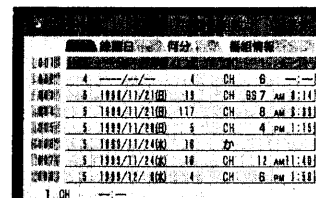
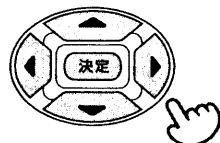


2 「テープナビ」の「番組検索」を選び、決定ボタンを押す



番組検索画面が出ます。

3 カーソルボタンで検索方法を選び、決定ボタンを押す



例：「全登録番組検索」を選んだ画面
検索方法は5種類あります。詳しくは次のページを参照してください。

4 メニューボタンを押す



- 元の画面に戻ります。
- メニュー画面に戻すには、戻るボタンを押してください。

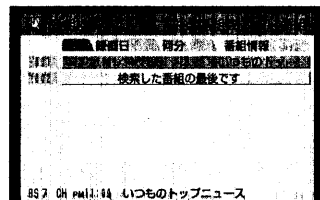
録画データの検索方法

全登録番組検索

登録されているすべてのテープの録画データを、テープ番号の小さい順に並べ替えます。

番組タイトル検索

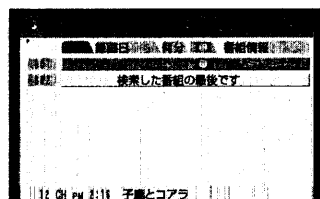
番組名で検索します。タイトル作成画面が出るので、番組名の最初の一字を入力して戻るボタンを2回押すと、同じタイトルの番組を検索します。



タイトルの入力方法は⑩ページを参照してください。

番組ジャンル検索

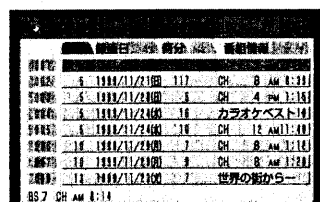
ジャンルマークで検索します。ジャンルマーク設定画面が出るので、ジャンルマークを選んで決定ボタンを押すと、同じジャンルマークの番組を検索します。



ジャンルマークの選択方法は⑪ページを参照してください。

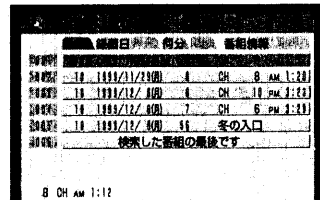
録画日(月)検索

番組を録画した月で検索します。月を選ぶ画面が出るので、番組を録画した月を選んで決定ボタンを押すと、選んだ月の番組を検索します。



録画日(曜日)検索

番組を録画した曜日で検索します。曜日を選ぶ画面が出るので、番組を録画した曜日を選んで決定ボタンを押すと、選んだ曜日の番組を検索します。



おしらせ

検索した画面では、以下のことができます。

- ◀、▶ボタンでタグを切り換えられます。
- 録画データの順番は、以下の4種類に変えられます。

テープ

テープ番号の小さい順に並べ替えます。

録画日

録画した日にちの新しい順に並べ替えます。

何分

録画した番組の時間の長い順に並べ替えます。

(ジャンルマーク)

同じジャンルマークの付いた番組を集めて並べ替えます。

***番組ジャンル検索**で検索した画面では、タグのジャンルマークに関係なく、番組ジャンル検索のときに選んだジャンルマークの付いた番組しか表示しません。

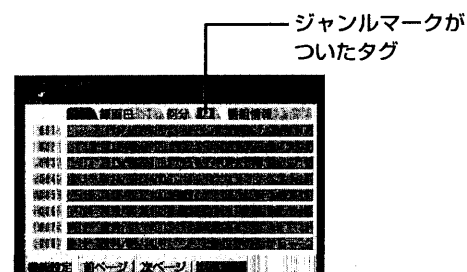
- 機能ボタンを押すと画面の下に**前ページ** **次ページ** **ジャンル**が出ます。

前ページ: 前のページに移ります。

次ページ: 次のページに移ります。

ジャンル: お好みのジャンルマークの付いた番組を集めて並べ替えます。一番右のタグにジャンルマークが追加されます。

- ジャンルマークを追加したり、タグのジャンルマークを変更しても番組が並べ替わらない場合は、一度タグを**何分**に切り換えてから、ジャンルマークが付いたタグに戻してください。



元の画面に戻るには機能ボタンを押してください。

- 番組を選んで決定ボタンを押すと、タイトル、ジャンルを設定する画面に移ります(⑩、⑪ページ参照)。
- 検索した結果何もなかったときに、「検索した番組の最後です」と画面に出ます。

テープナビ画面で、番組に合うお好みのタイトルを設定できます。

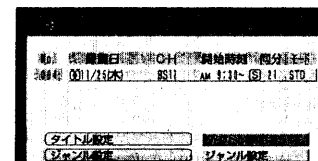
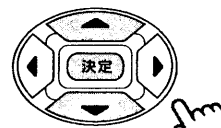
番組のタイトル(番組名)を設定する

- 1 **タイトルを設定したい番組が録画されているテープを入れて、テープナビボタンを押す**

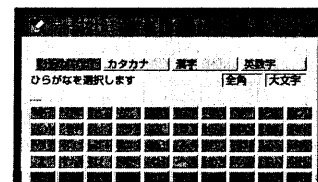
テープナビ



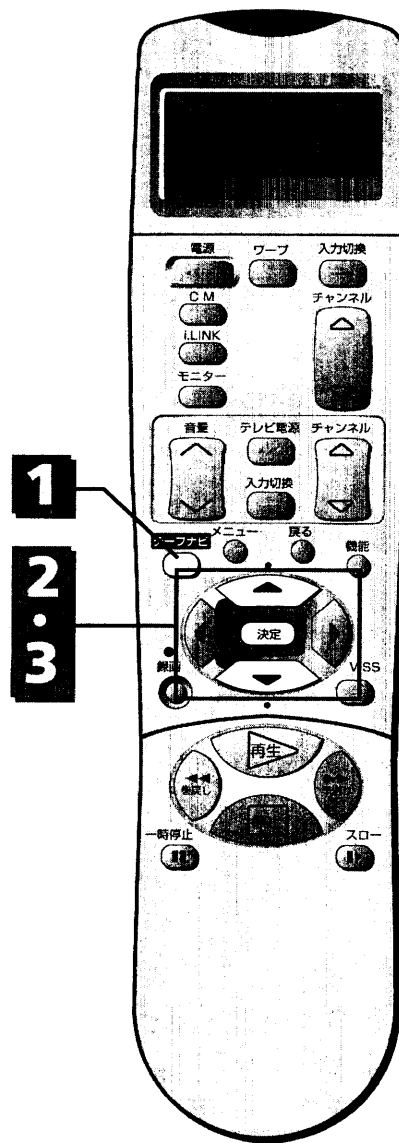
- 2 **▼、▲ボタンを押して、設定したい番組を選び、決定ボタンを押す**



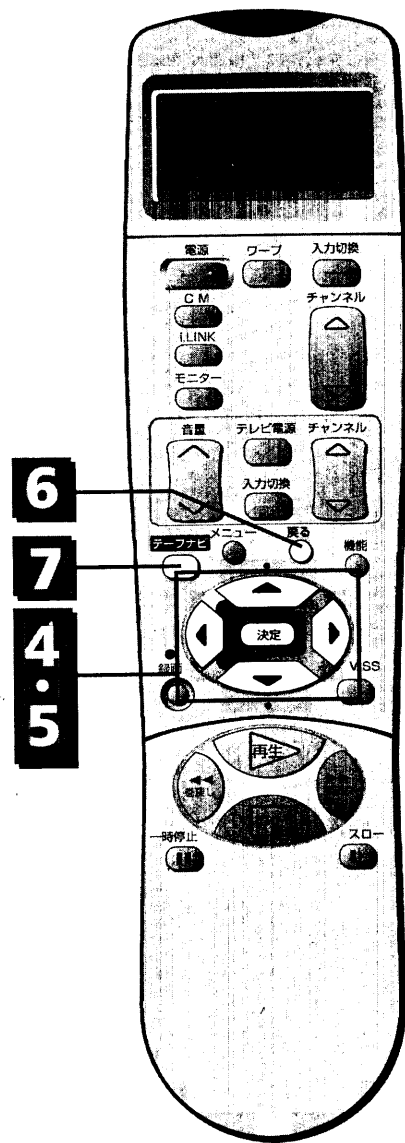
- 3 **「タイトル設定」が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す**



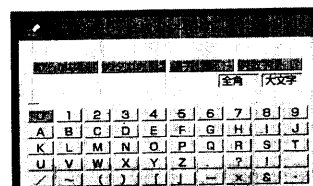
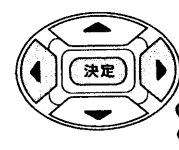
タイトル作成画面が出ます。



便利な使いかた



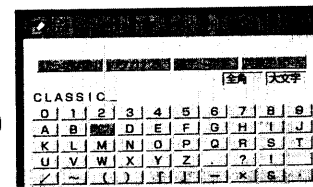
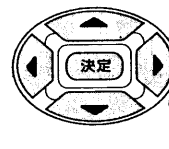
4 カーソルボタンで文字の種類を選び、決定ボタンを押す



例：「英数字」を選んだ画面

- ひらがな、カタカナ、漢字、英数字が選べます。
- 決定ボタンを押すと入力画面が出ます。

5 カーソルボタンで文字を選び、決定ボタンを押す



- 1文字づつ選び、決定ボタンを押します。
- 漢字、英数字の選びかたとひらがな、カタカナの詳しい選びかたについては、105～107ページを参照してください。
- 文字の種類を変えたいときは、戻るボタンを押してから、4の操作で切り換えてください。
- 設定した文字を途中で消したいときは、0ボタンを押してください。

おしらせ

文字を入力した後テープナビボタンを押すと、タイトルが設定されます。

6 すべての文字の選択が終わったら、2の画面が出るまで戻るボタンを繰り返し押す

7 テープナビボタンを押す

テープナビ

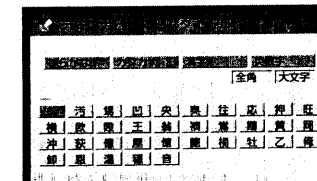


- 元の画面に戻ります。
- 戻るボタンを押すと、テープナビ画面に戻ります。

漢字の入力方法

1 前のページの4で「漢字」を選び、決定ボタンを押す

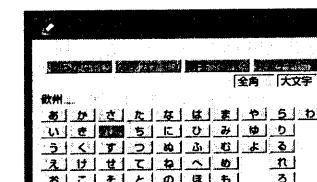
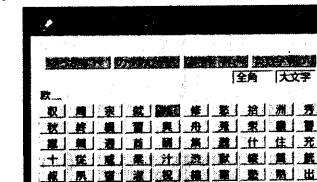
2 音読みの最初の音のひらがなをカーソルボタンで選び、決定ボタンを押す



例：「お」を選んだ画面

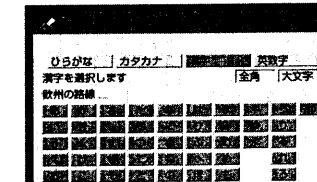
- 変換候補の一覧が出ます。

3 カーソルボタンで漢字を選び、決定ボタンを押す



- 選んだ漢字が入力されます。
- 別の音で始まる漢字を選ぶときは、戻るボタンを押して2、3を繰り返してください。
- 画面に目的の漢字がないときは、機能ボタンを押して「次ページ」を選び、決定ボタンを押してください。次の変換候補の一覧が出ます。
- 次ページで目的の漢字が見つかったら、戻るボタンを押してください。
- 次ページがないときには、決定ボタンを押しても次ページが出ません。

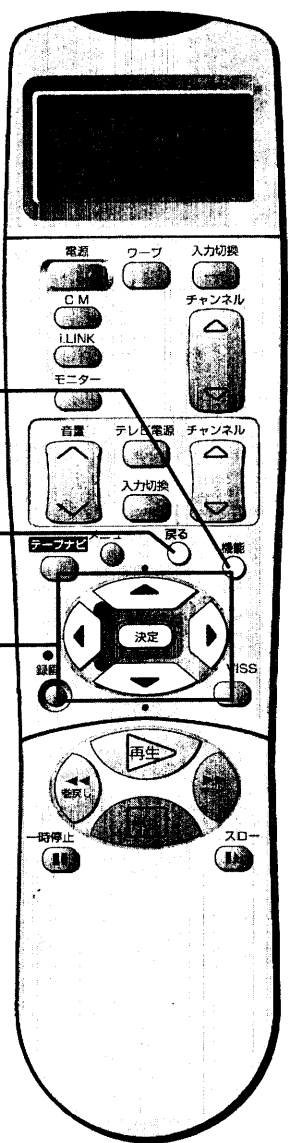
4 入力が終わったら、戻るボタンを押す



タイトル作成画面に戻ります。

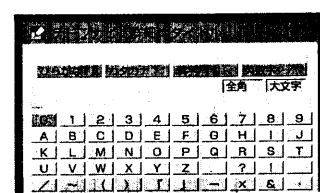
便利な使いかた

2
4
4
6
1
3
5



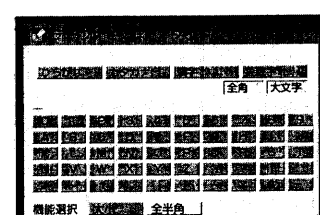
英数字の入力方法

1 104ページの**4**で**英数字**を選び、**決定ボタン**を押す



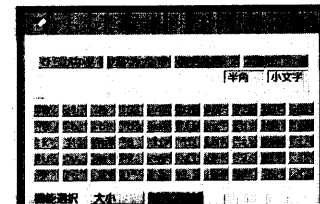
現在の全角/半角、大文字/小文字の設定が画面に出ます。

2 **機能ボタン**を押して、**機能メニュー**を出す



「大小」、「全半角」が出ます。

3 ◀、▶ボタンで切り換えたい項目を選び、**決定ボタン**を押す

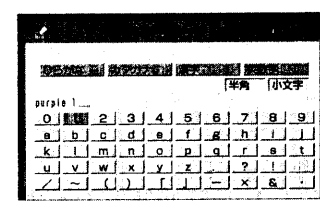


決定ボタンを押すたびに設定が切り換わります。

例：小文字、半角を選んだ画面

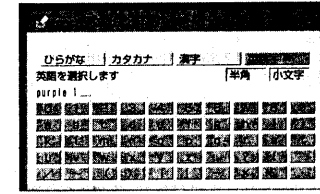
4 **機能ボタン**か**戻るボタン**を押す

5 **カーソルボタン**で文字を選び、**決定ボタン**を押す



- 選んだ文字が入力されます。
- 続けて同じ設定で文字を選ぶときは、**5**を繰り返してください。
- 入力の途中で全角/半角、大文字/小文字を切り換えたいときは、**2**～**4**の操作で切り換えてください。

6 **入力が終わったら、戻るボタン**を押す



タイトル作成画面に戻ります。

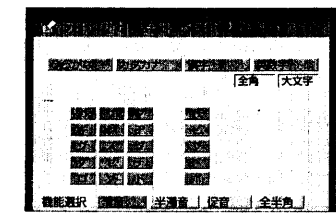
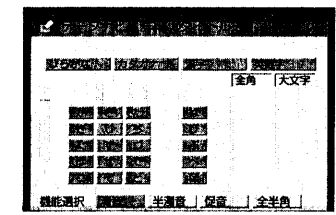
ひらがな、カタカナの特殊な文字の入力方法

ひらがな、カタカナの入力画面(104ページ**3**の画面で「ひらがな」か「カタカナ」を選び、決定ボタンを押して表示される画面)が出ているときに機能ボタンを押すと、機能メニューが画面下部に出ます。「濁音」、「半濁音」、「促音」、「全半角」のいずれかを選んで決定ボタンを押すと、以下の画面が出ます。画面が出ているときに戻るボタンを押してから、文字を選んで決定ボタンを押してください。

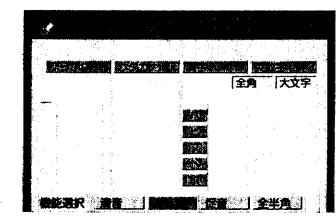
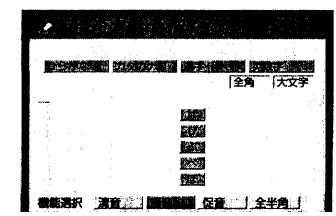
ひらがな

カタカナ

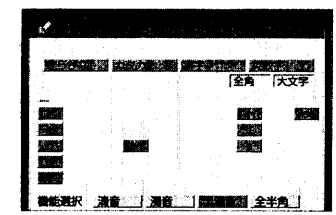
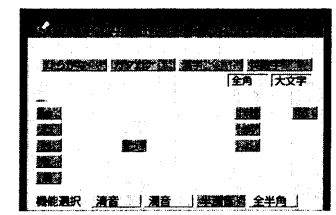
濁音



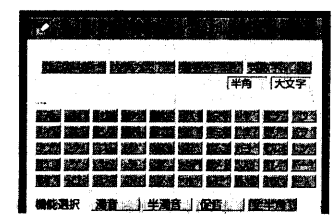
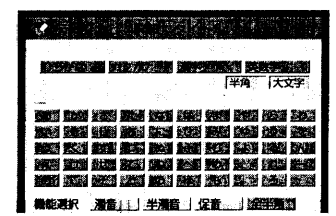
半濁音



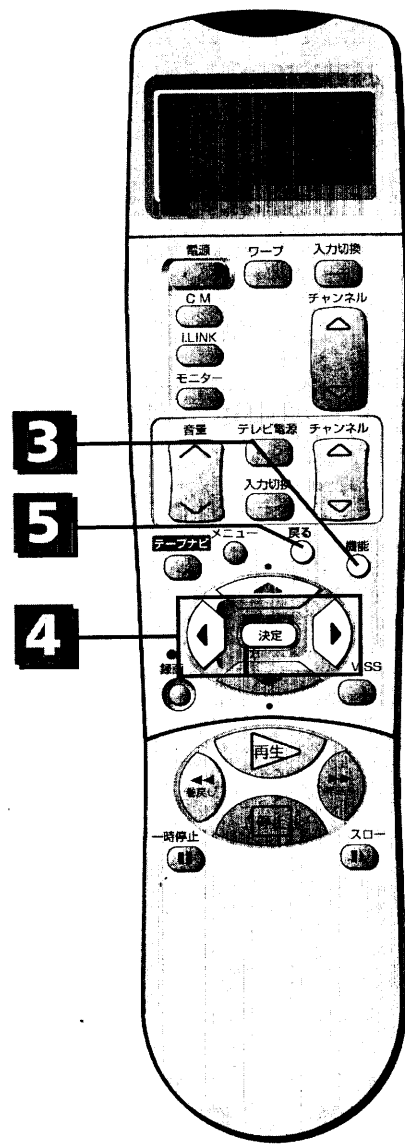
促音



全半角



便利な使いかた

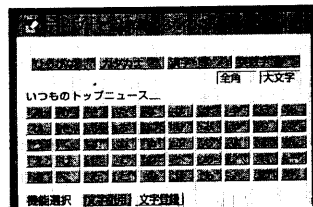


設定したタイトルを登録する

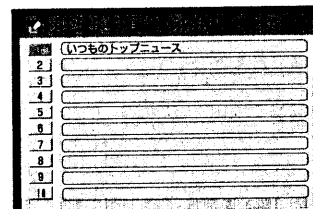
1 テープナビ画面で登録したいタイトルが付いている番組を選び、決定ボタンを押す

2 103ページのEの操作でタイトル作成画面を出す

3 機能ボタンを押す
機能メニューが出ます。



4 ◀、▶ボタンで「文字登録」を選んで、決定ボタンを押す

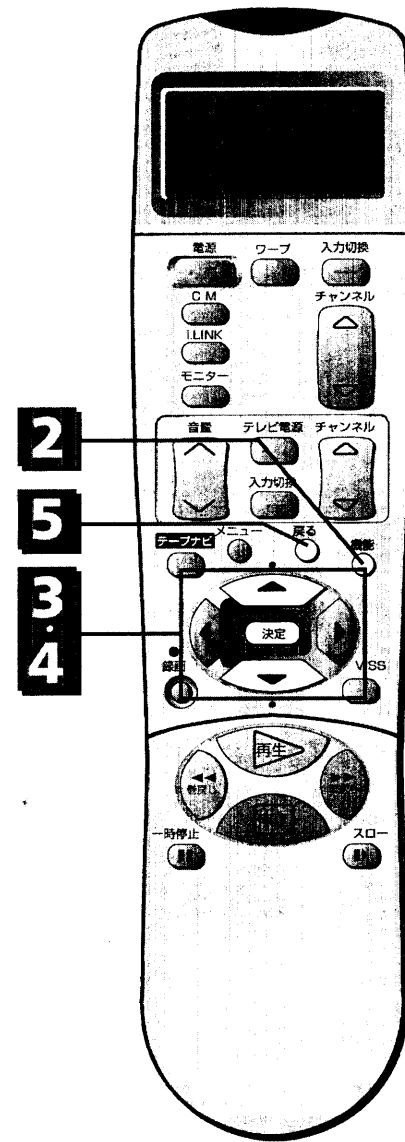


- 文字が登録されます。
- 登録されているタイトルの一覧が出ます。

5 戻るボタンを押す
Eの画面に戻ります。

おしらせ

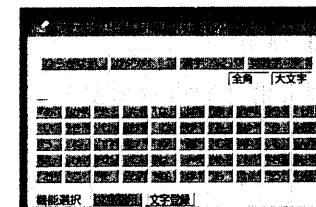
- タイトルは10個まで登録できます。
- 登録されているタイトルを消すときは、▼、▲ボタンで消したいタイトルを選び、0ボタンを押してください。
- 元の画面に戻るには、戻るボタンを数回押してください。



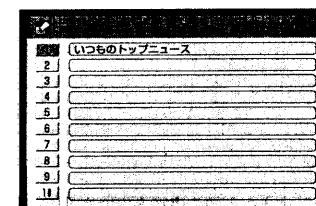
登録してあるタイトルから引用する

1 103ページの1～3の操作でタイトル作成画面を出す

2 機能ボタンを押す
機能メニューが出ます。

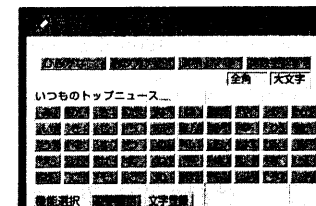


3 「文字引用」が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す



登録されているタイトルの一覧が出ます。

4 ▼、▲ボタンで登録したいタイトルを選び、決定ボタンを押す



タイトルが設定されます。

おしらせ

元の画面に戻るには、戻るボタンを数回押してください。

5 戻るボタンを押す
タイトル作成画面に戻ります。

便利な使いかた

テープナビ画面と予約機能設定画面で、番組に合うお好みのジャンルマークを設定できます。

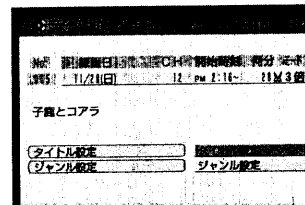
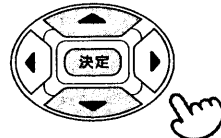
番組のジャンルマークを設定する

1 ジャンルマークを設定したい番組が録画されているテープを入れて、テープナビボタンを押す

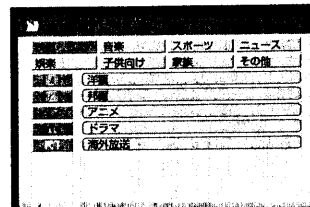
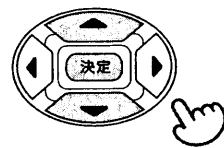
テープナビ



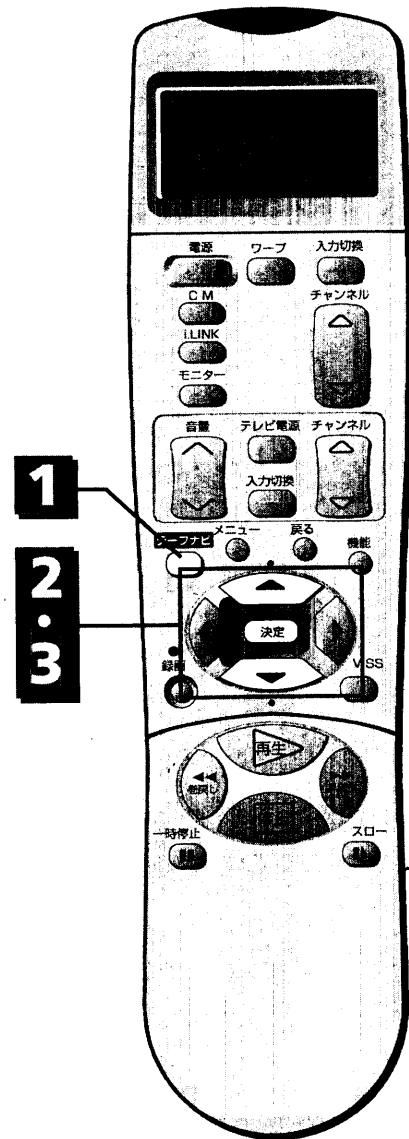
2 ▼、▲ボタンを押して、設定したい番組を選び、決定ボタンを押す



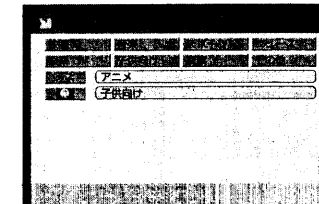
3 ▼、▲ボタンで「ジャンル設定」を選び、決定ボタンを押す



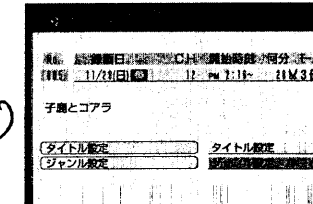
ジャンルマークの分類一覧が出ます。



4 カーソルボタンでジャンルマークの分類を選び、決定ボタンを押す



5 ▼、▲ボタンで設定したいジャンルマークを選び、決定ボタンを押す

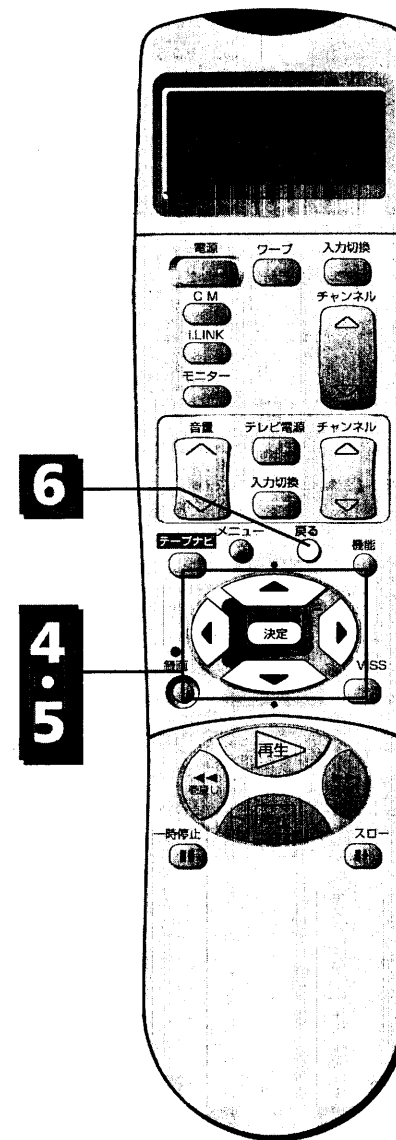


- 決定ボタンを押すとジャンルマークが設定されます。
- 続けて別の番組のジャンルマークも設定したいときは、戻るボタンを押してから**2**～**5**を繰り返してください。

6 戻るボタンを押す



テープナビ画面に戻ります。

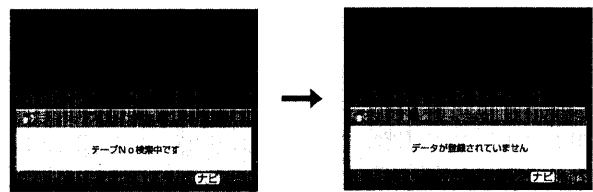


便利な使いかた

テープナビのご注意

■ 次の①～⑤のテープが入っているときテープナビボタンを押すと、下の画面が出ます。

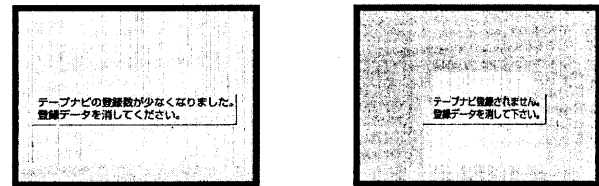
- ①何も録画していないテープ
- ②本機以外のビデオで録画したテープ
- ③テープナビを[切]にして本機で録画したテープ
- ④登録内容を取り消したテープ
- ⑤市販のソフトテープ



- テープナビボタンを押すと、元の画面に戻ります。

■ 登録の数には限りがあります。

- 録画を始めたときに下の画面が出たときは、いらないテープの登録内容を消してください。(99ページ参照)



■ ダビング編集について

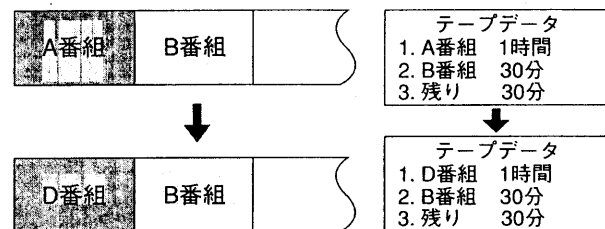
- 音声だけを録音したときやCDV(コンパクトディスクビデオ)から録画したときは、テープナビ機能は動きません。

■ 市販のクリーニングテープをお使いになるときは、誤動作を防ぐため、テープナビ機能を切ってからクリーニングテープを入れてください(95ページ参照)。

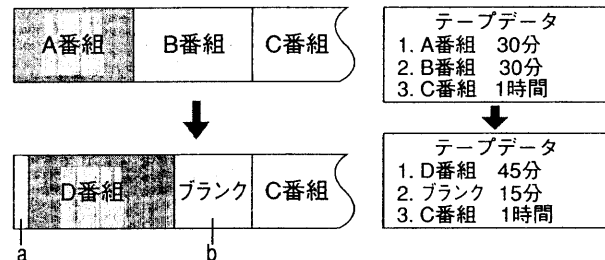
■ 大切な番組の最後に続けて録画をする場合は、一度再生して番組の最後であることを確認してください。

■ 一度録画したテープに再度録画したときのテープデータについて

例1) テープナビを使ってA番組、B番組を録画したテープに、D番組をA番組と同じ時間録画したとき

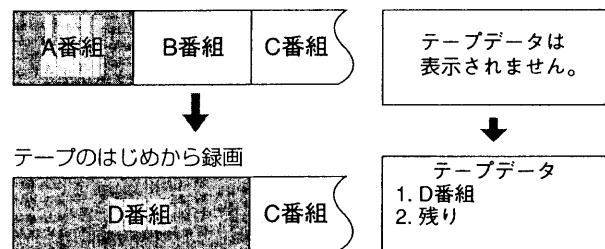


例2) テープナビを使ってA番組、B番組、C番組を録画したテープに、D番組を録画したとき



- aの時間が3分未満のときは何も表示されません。約3分以上のときは、「A番組」と表示され、録画時間はaの時間になります。
- bの時間が約3分以上のときは「ブランク」と表示されます。3分未満のときは、何も表示されません。

例3) 他の機器でA番組、B番組、C番組を録画したテープに、テープナビを使ってD番組を録画したとき



- C番組は「残り」と表示されます。

タイムナビで見たい場面を探す

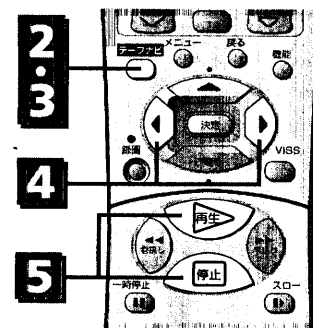
このビデオには、ある番組中の録画時刻を指定してそこから再生したり、その場面で停止したり、CMの終わるところを探せるタイムナビ機能がついています。

テープナビおよびタイムナビ機能が「入」になっているときにお使いください。

重要

- テープを入れてもビデオ前面のテープナビ表示ランプが点滅しないときは、テープナビ機能が「切」になっています。95ページをご覧ください。
- テープナビ画面、タイムナビ画面が出るのは、テープナビが「入」で録画したテープだけです。

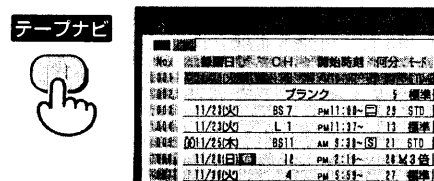
指定した時刻の頭出しをする



1 「テープナビ設定」の「タイムナビ」を「入」にする

操作のしかたは95ページをご覧ください。

2 再生中、テープナビボタンを押す



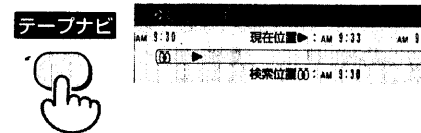
テープナビ画面が出ます。

おしらせ

再生中以外の番組でタイムナビを使うとき

- 2でテープナビ画面を出したとき、▼、▲ボタンを押して番組を選んでからテープナビボタンを押してください。この場合、タイムナビ画面の「現在位置」の時刻は表示されません。
- テープナビ画面で見たい番組を選ぶとき、ビデオのテープナビボタンと選択ボタンも使えます。本機で録画したテープを入れてもテープナビ画面が出ないとき
- テープを最初から約2分間再生したあと、テープナビボタンを押してください。
- 本機で録画した部分でテープナビボタンを押してください。

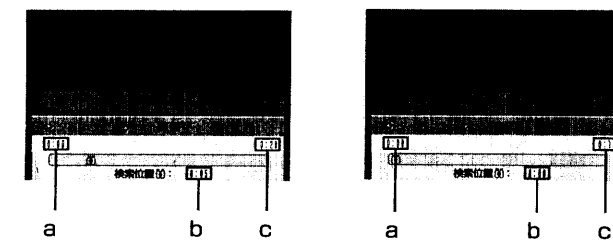
3 もう1回テープナビボタンを押す



- 再生中の番組のタイムナビ画面が出ます。
- もう1回テープナビボタンを押すと、元の画面に戻ります。

オートカット機能を使って録画した番組、または録画中に一時停止した番組のとき

録画モード「オート」でタイム録画した番組または録画中に録画モードを切り換えたとき



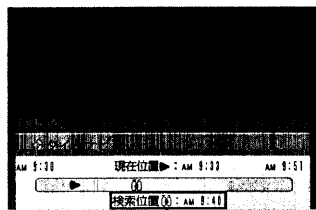
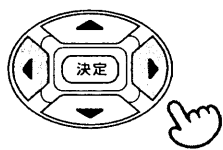
- a. 録画開始時刻の代わりに「0:00」が表示されます。
- b. 「検索位置」には、録画開始からの経過時間が表示されます。
- c. 録画終了時刻の代わりに録画時間が表示されます。
 - [オート録画番組]の場合、3倍モードで録画された部分も、録画時間および経過時間は標準モードに置き換えた時間になります。

おしらせ

- 検索位置表示のⓂがCMのときは115ページを参照してください。
- タイムナビ機能が使えないとき
- テープの現在位置が「残り」または「ブランク」にあるとき、またはテープナビ画面で▼、▲ボタンを押して「残り」または「ブランク」の部分を選んだときは、タイムナビ機能が動きません。

便利な使いかた

4 ◀、▶ボタンで見た場面時刻を選ぶ

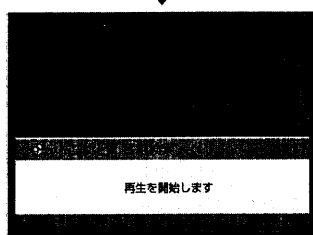
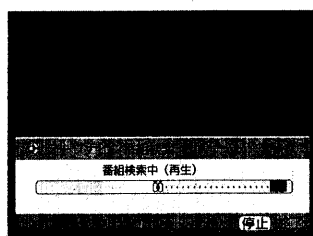
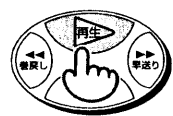


検索位置の時刻

- 「検索位置」の時刻を選びます。
- バーの中の▶が現在のテープ位置を示します。

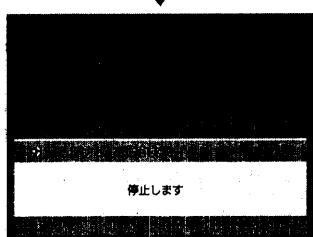
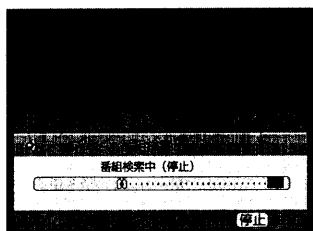
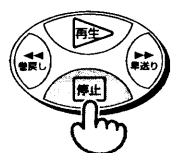
5 選んだ時刻の場面から再生する、またはその時刻を探して停止する

再生するとき



選んだ時刻を探して、そこから自動的に再生します。

選んだ時刻で停止するとき



選んだ時刻を探して自動的に停止します。

おしらせ

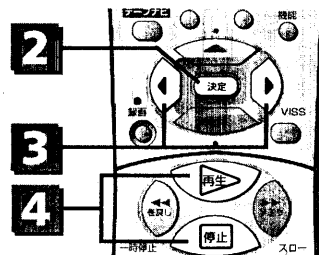
自動的に電源を切るとき

- **4** の操作のあと電源ボタンを押すと、選んだ時刻を探してから自動的に停止し、電源が切れます。

重要

- 録画開始部分や終了部分では、CMおよびCMの終わるところを正しく探せない場合があります。
- 番組やCMの内容によっては、CMの途中で再生を開始したり、停止したりします。
- 番組の予告がCMと判断されることがあります。

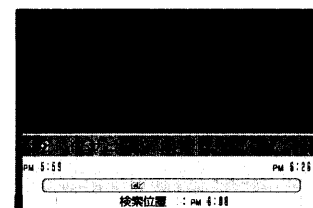
CMの終わるところを探す



1 タイムナビ画面を出す

操作のしかたは10ページの**1**～**3**をご覧ください。

2 決定ボタンを押してカーソルを変える

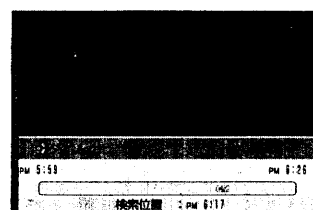
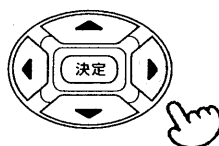


- バーの中の▶がCMに変わります。
- 最初のCMの終わるところにCMがとびます。

おしらせ

CMオートカットした番組やCMのない番組では、決定ボタンを押してもCMに変わりません。

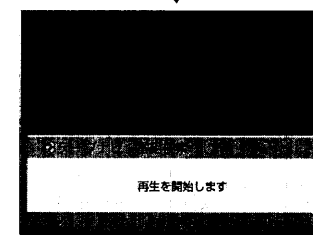
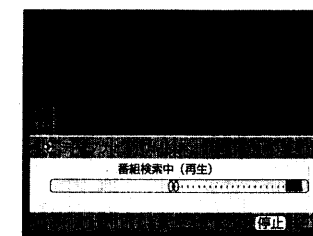
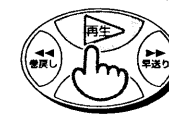
3 ◀、▶ボタンで見たCMの終わるところを選ぶ



- バーの中のCMが、CMの終わる位置を示します。
- 複数のCMがない場合はCMが動きません。

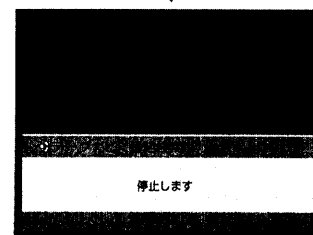
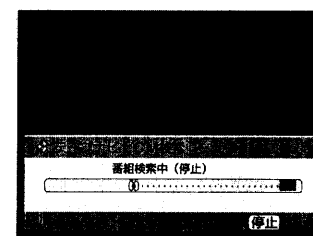
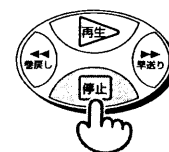
4 選んだCMの終わるところから再生する。または探して停止する

再生するとき



選んだCMの終わるところを探して、そこから自動的に再生します。

選んだ時刻で停止するとき



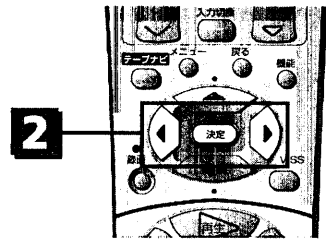
選んだCMの終わるところを探して自動的に停止します。

おしらせ

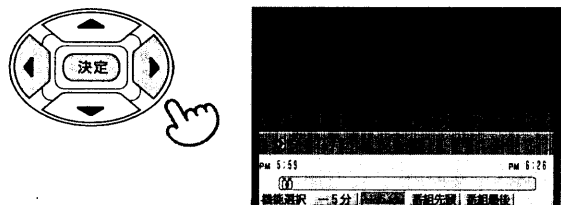
- **3** の操作のあと電源ボタンを押すと、選んだCMの終わるところを探してから自動的に停止し、電源が切れます。

便利な使いかた

5分前、5分後のところを探す

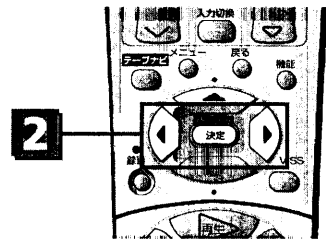


- 1 タイムナビ画面の機能メニューを出す
操作のしかたは⑨ページをご覧ください。
- 2 5分前を探すときは「-5分」を、5分後を探すときは「+5分」を◀、▶ボタンで選び、決定ボタンを押す

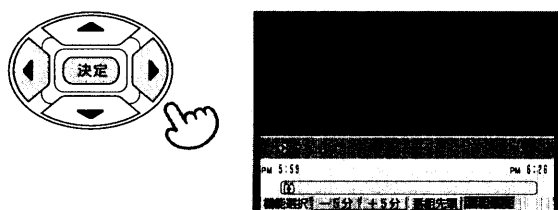


• 決定ボタンを押すたびに、バーの中の00がとびます。

番組の頭と終わるところを探す



- 1 タイムナビ画面の機能メニューを出す
操作のしかたは⑨ページをご覧ください。
- 2 番組の頭を探すときは「番組先頭」を、番組の終わるところを探すときは「番組最後」を◀、▶ボタンで選び、決定ボタンを押す



• 決定ボタンを押すと、バーの中の00がとびます。

お知らせ

大切な番組の最後に、続けて録画をする場合は、一度再生して、番組の最後であることを確認してください。

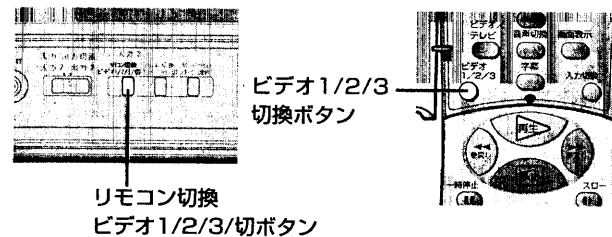
リモコンで2台のビデオを操作する……

付属のリモコンは、日立製のビデオを3台まで、別々に操作できます。ビデオを並べて使っているときなど、1台ずつ操作できるので便利です。

重要

- ビデオのリモコン切換ボタンを「R-OFF」にすると、リモコンをまったく受け付けなくなります。
- ビデオ側のリモコン切換ボタンとリモコン側のビデオ1/2/3切換ボタンの設定が合っていないと、ビデオの表示窓でビデオのリモコンコードが点滅し、リモコンでビデオの操作ができません。

本機を操作するとき



- 1 ビデオ前面のふたを開け、リモコン切換ボタンを押して、表示窓に「R-2」を出す

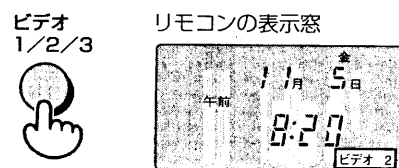


リモコン切換ボタンを押すたびに「R-1」→「R-2」→「R-3」→「R-OFF(切)」の順に切り換わります。

お知らせ

- 3台のビデオを操作するとき
- 本機のリモコン切換ボタンを「R-3」に合わせ、他のビデオを「R-1」または「R-2」にしてください。

- 2 リモコンのビデオ1/2/3切換ボタンを押して、「ビデオ2」を表示させる



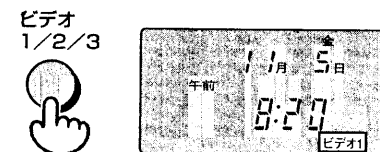
- 3 リモコンを本機に向けて操作する

お知らせ

- 付属のリモコンで操作できるビデオ
- VT-6800/VT-9700/VT-17以外の日立製ワイヤレスリモコン対応のビデオ
 - ビデオによっては、リモコンのタイマー予約や時計合わせができないことがあります。

もう1台のビデオを操作するとき

- 1 リモコンのビデオ1/2/3切換ボタンを押して、「ビデオ1」を表示させる



日立製ビデオは工場出荷時、ビデオ側のリモコン切換スイッチを「R-1」に設定してあるため、「ビデオ1」にします。

- 2 リモコンをもう1台のビデオに向けて操作する

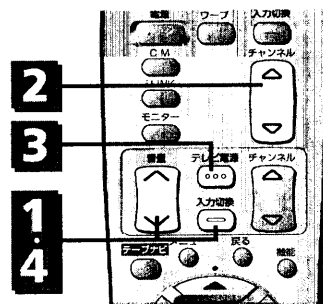
便利な使いかた

リモコンで他社のテレビを操作する……

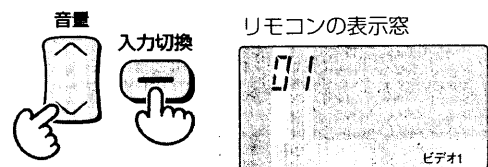
本機のリモコンで、日立製以外にも他社9社のテレビを操作できます。使い始めるとき、次のようにテレビコードを設定してください。
操作するたびに設定し直す必要はありません。

重要

お手持ちのテレビの製造年度や形式により、操作できない、あるいは一部のボタンが働かないことがあります。



1 テレビ入力切換ボタンとテレビ音量ボタンの √ 側を同時に押す



工場出荷時は、リモコンの表示窓にテレビコード「01」が表示されるように設定されています。

2 チャンネルボタンを押して、テレビのメーカーに合ったテレビコードを設定する



メーカー	テレビコード	メーカー	テレビコード
日立	01	サンヨー (2)	08
松下 (1)	02	シャープ (1)	09
ビクター	03	シャープ (2)	10
ソニー	04	富士通ゼネラル	11
東芝	05	NEC	12
三菱	06	松下 (2)	13
サンヨー (1)	07		

おしらせ

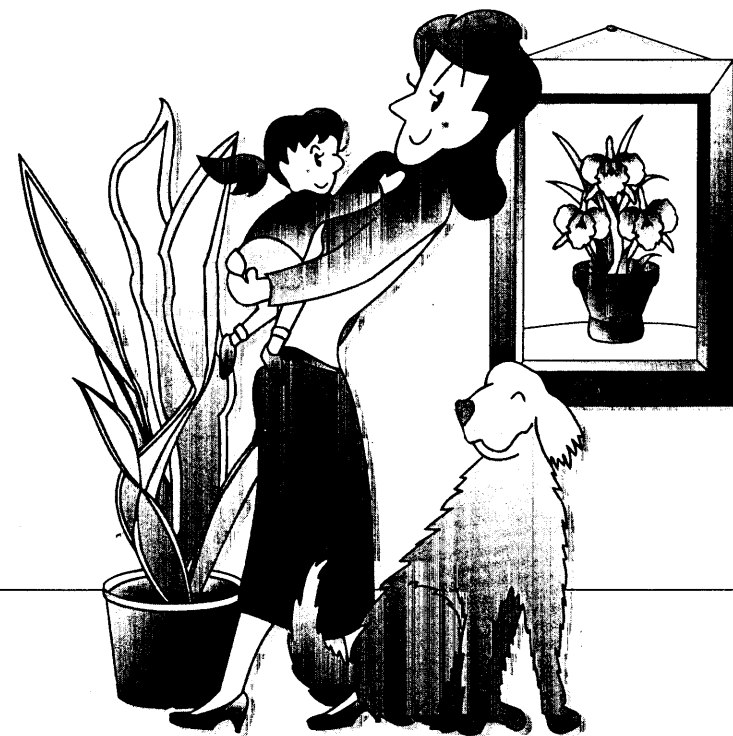
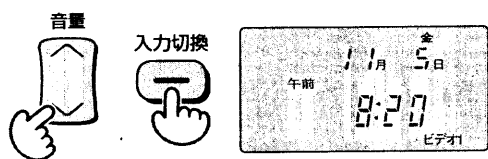
- 松下、サンヨー、シャープはテレビコードが2種類あります。松下、シャープは電源の「入/切」できるコードを選んでください。サンヨーはチャンネルボタンが正しく動くコードを選んでください。
- 数字ボタンでテレビチャンネルを選ぶことはできません。

3 テレビ電源ボタンを押す



テレビ電源ボタンを押してテレビの「入/切」ができれば、このリモコンで操作できます。

4 テレビ入力切換ボタンとテレビ音量ボタンの √ 側を同時に押す



設置・準備編

ご自分で設置するには

設置・準備編のもくじ

最初に基本の接続をしてから、目的に合った接続と準備をしてください。

◆基本の接続◆

- 1 ビデオにアンテナとテレビをつなぐ (120ページ)
- 2 (テレビに映像・音声入力端子があるときは) テレビとビデオを映像・音声コードでつなぐ (120ページ)

◆目的◆

ふつうのテレビ放送 (UHF/VHF放送) を見る・録る

ケーブルテレビを見る

衛星放送を見る

衛星放送とWOWOWを見る

ハイビジョン放送を見る

CS放送を見る

ケーブルテレビのチャンネルを設定する (144ページ)

BSアンテナをつなぐ (125ページ)

BSデコーダをつなぐ (126ページ)

MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビとつなぐ (128ページ)

MUSE-NTSCコンバータをつなぐ (129、130ページ)



1 BSアンテナ電源を切り換える (133ページ)

2 BSアンテナの方向を調節する (135ページ)

WOWOW (BS5チャンネル) を見るための設定をする (134ページ)

ハイビジョン放送を見るための設定をする (136ページ)

接続を確認する (137ページ)

受信チャンネルを合わせる

次の2とおりの方法で受信チャンネルを合わせられます。まず①で合わせてみて、すべてのチャンネルがきれいに受信できていないときは②で合わせ直してください。

①地域受信チャンネル (138ページ) お住まいの地名を選んで設定する方法です。

②オートチャンネル (142ページ) お住まいの地域で受信できるチャンネルを一つずつ設定する方法です。

時計を合わせる (146ページ)

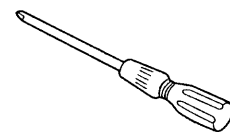


日立製AV-BUSテレビをお持ちのときは
テレビをコントロールすることができます。詳しくは、「AV-BUSⅢ端子を使う」参照 (137ページ)。
日立製AV-BUSⅢ端子付CSチューナーをお持ちのときは
ビデオコントローラーなどを使わずに、デジタルCSチューナーの予約に連動してタイマー録画することができます。詳しくは、「デジタルCSチューナーをつなぐ」参照 (131ページ)。

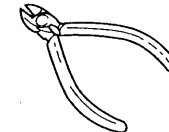
付属品については③ページをご覧ください。

設置するときに必要な工具

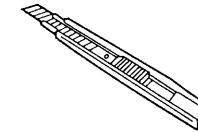
プラスドライバー



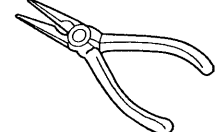
ニッパ



ナイフ



ペンチ



アンテナとテレビをつなぐ

テレビにつながっているアンテナ線ははずし、はずしたアンテナ線とテレビをビデオにつなぎます。アンテナ線やテレビのアンテナ端子の種類によって、つなぎかたが異なります。

重要

このビデオとアンテナとの接続、およびこのビデオとテレビのアンテナ端子との接続には、必ず付属の同軸ケーブルを使ってください。各種妨害の影響を受けにくくなります。

4 電源コードをつなぐ

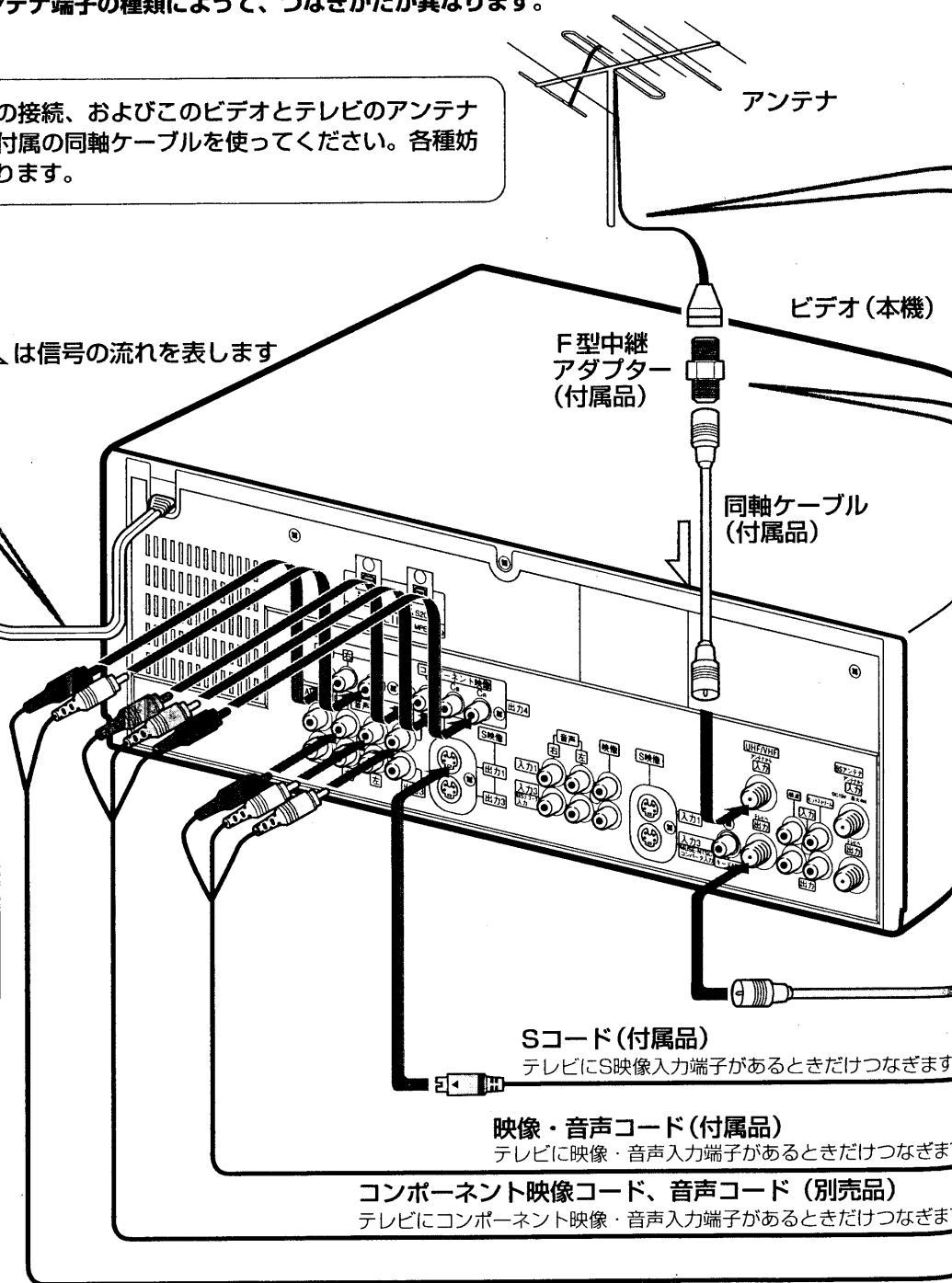
は信号の流れを表します

電源コンセントへ

おしらせ

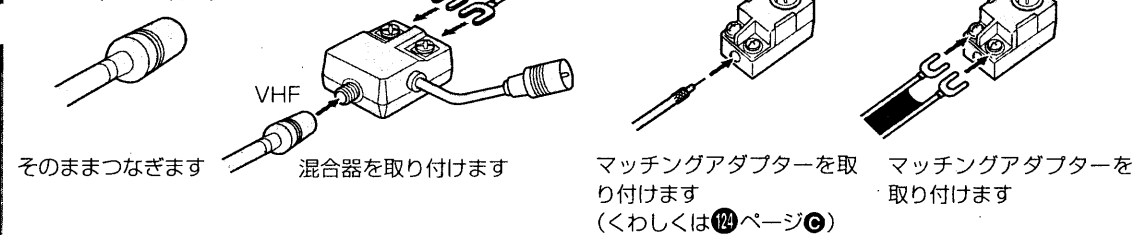
下記の場合に画像が乱れることがあります。

- 本機の上に、テレビを直接置いたとき
- テレビの上に、本機を直接置いたとき
- フィーダー線を使用したとき



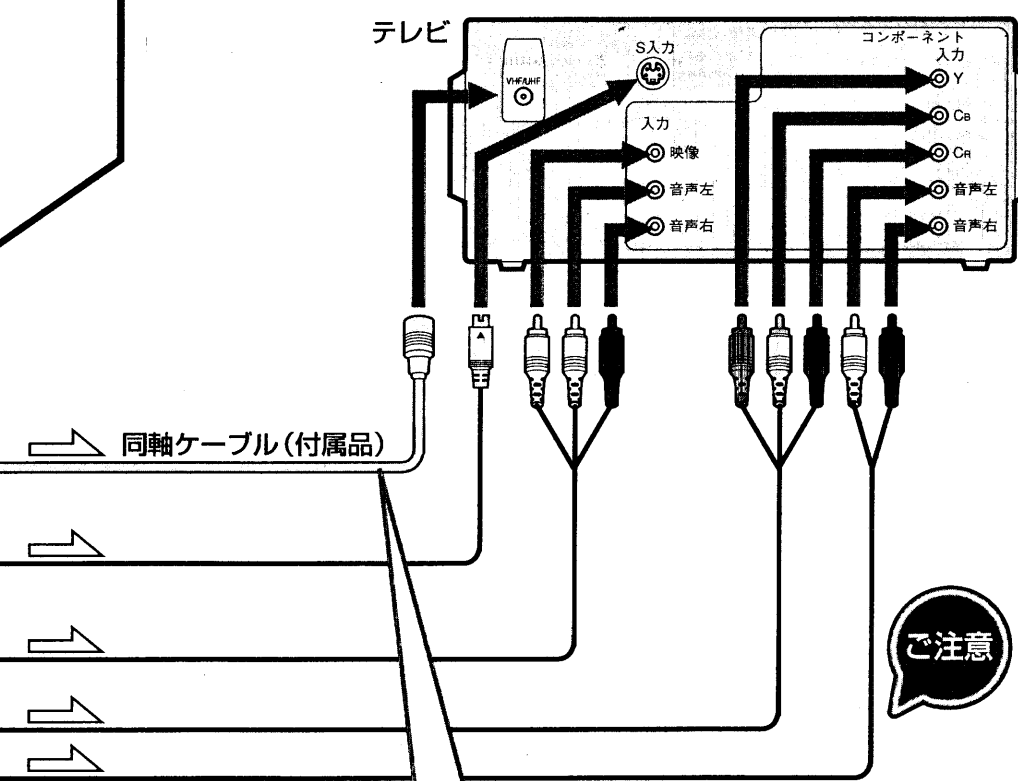
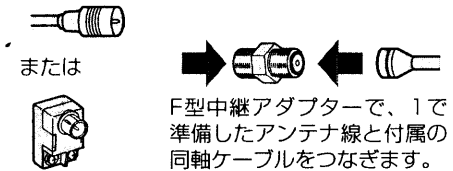
1 アンテナ線を準備する

- UHF/VHF混合 またはVHF単独のアンテナ線 (プラグ付き)
- VHFとUHFが別々のとき
- VHF単独のアンテナ線 (先バラ)
- UHF単独のアンテナ線 (フィーダー線)

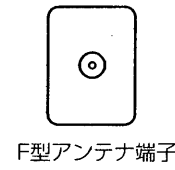


2 アンテナ線とビデオをつなぐ

付属のF型中継アダプターと同軸ケーブルを使ってつなぎます。



差し込むアンテナ端子が、F型アンテナ端子の場合は、付属の中継アダプターを使わずに、そのまま付属の同軸ケーブルをアンテナ端子に接続してください。



ご注意 分波器をお使いの場合は、UHF放送しか受信しない方も必ず、VHF、UHFの両方の端子に接続してください。

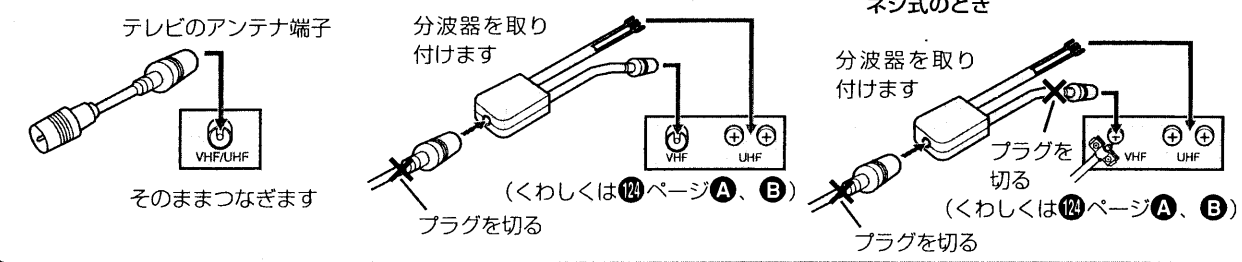
接続に使う部品

- 同軸ケーブル (付属品) 2本
- マッチングアダプター VT-BF11 086 (別売品)
- 混合器 (市販品) *形状はメーカーにより、異なります。
- F型中継アダプター (付属品)
- 分波器VT-BF11 096 (別売品)
- ブースター (別売品) 電波が弱い地域でテレビの映りが悪いときにおすすめします。

3 テレビのアンテナ端子とつなぐ

付属の同軸ケーブルを使ってつなぎます。アンテナ端子の種類によってつなぎかたが異なります。

- UHF/VHF端子のとき
- UHF/VHF端子が別々のとき
- VHFとUHF端子が別々でVHF端子がネジ式のとき



設置・準備

BSアンテナをつなぐ

ケーブル先端の加工の仕方や、分波器やマッチングアダプターに同軸ケーブルを取り付ける方法を説明します。

A 分波器の先端の加工

- 1 黒いビニール線にすじを入れ、切り取る
約12 mm
- 2 網線を折り返す
12 mm
- 3 白いビニール線に切り込みを入れ、切り取る
約8 mm
- 4 芯線を出す
10 mm 4 mm 8 mm

B 分波器(別売品、VT-BF11 096)に同軸ケーブルを取り付ける

- 1 つめを開きながらふたを外す
- 2 同軸ケーブルの芯線を差し込み、しっかりと取り付ける
ベンチでしめる
- 3 ふたを元通りに付ける

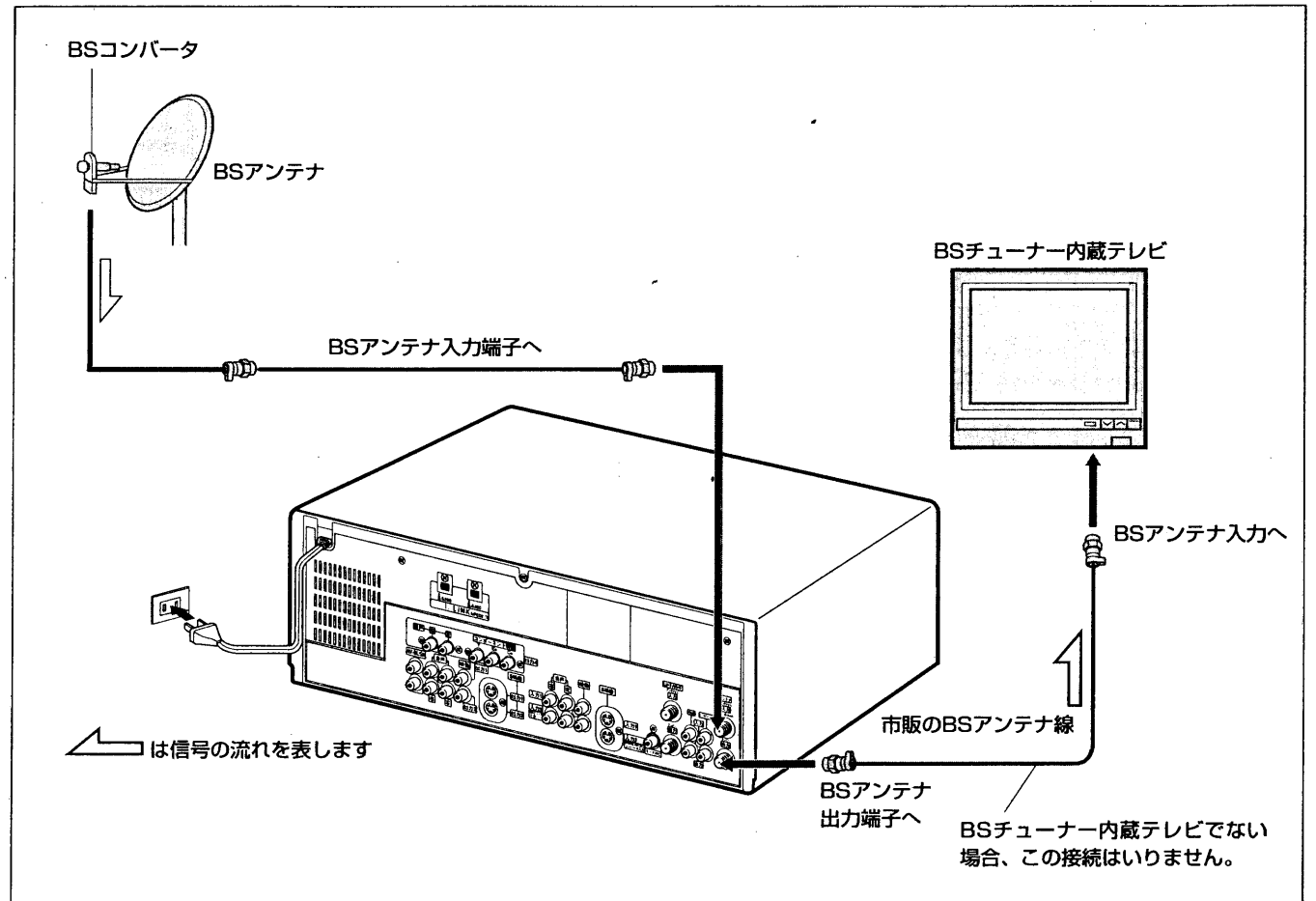
C マッチングアダプター(別売品、VT-BF11 086)に同軸ケーブルを取り付ける

- 1 つめを開きながらふたを外す
- 2 接続線を端子から外し、プラスチックにはさむ
端子から外す 接続線 プラスチック
- 3 同軸ケーブルを差し込み、しっかりと取り付ける
芯線をはさみ込んで巻き付ける
端子
ベンチでしめる
- 4 ふたを元通りに付ける

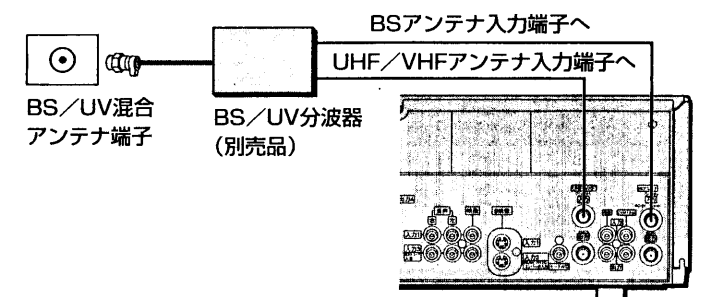
BSアンテナをつないだあと、103ページをご覧ください。BSアンテナ電源を切り換えてください。そのあと、104ページをご覧ください。BSアンテナの方向を調整してください。

重要

- 衛星放送は電波が微弱なため、アンテナやBSコンバータの正確な調整が必要です。できるだけ、販売店へ据付けを依頼することをおすすめします。
- BSアンテナを接続するときは、安全のため必ずビデオの電源を切ってください。



■ マンションなど共聴アンテナを使うとき
衛星放送とUHF/VHF放送が1本の線にまとめて、各部屋に送られていることがあります。この場合は、BS/UV分波器(別売品)が必要です



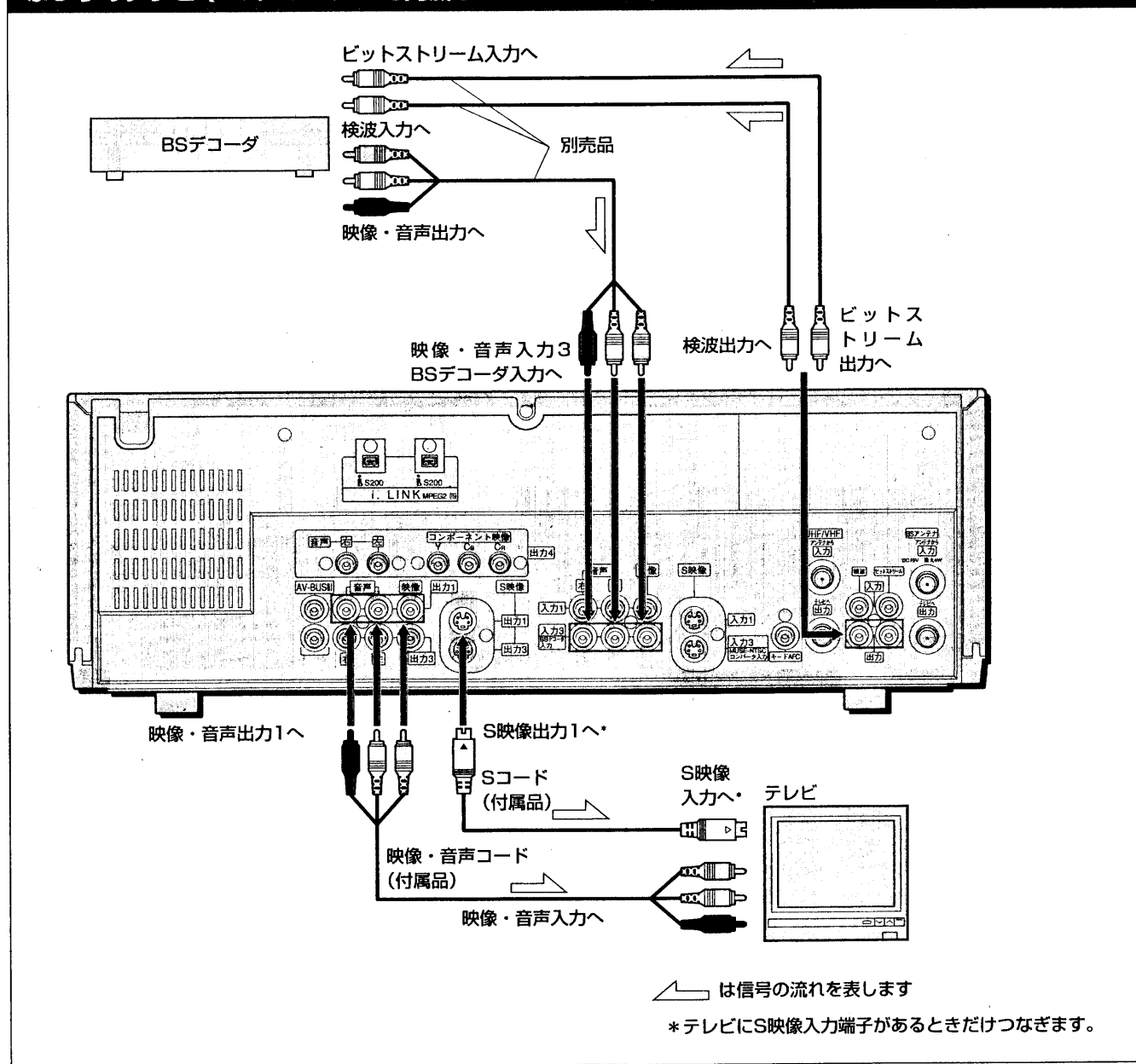
BSデコーダをつなぐ

有料放送のWOWOW (BS5チャンネル)を見るには、JSB (日本衛星放送株式会社)との受信契約と専用のBSデコーダが必要です。

重要

• VHF/UHFアンテナの接続については122～123ページ、BSアンテナの接続については123ページをご覧ください。

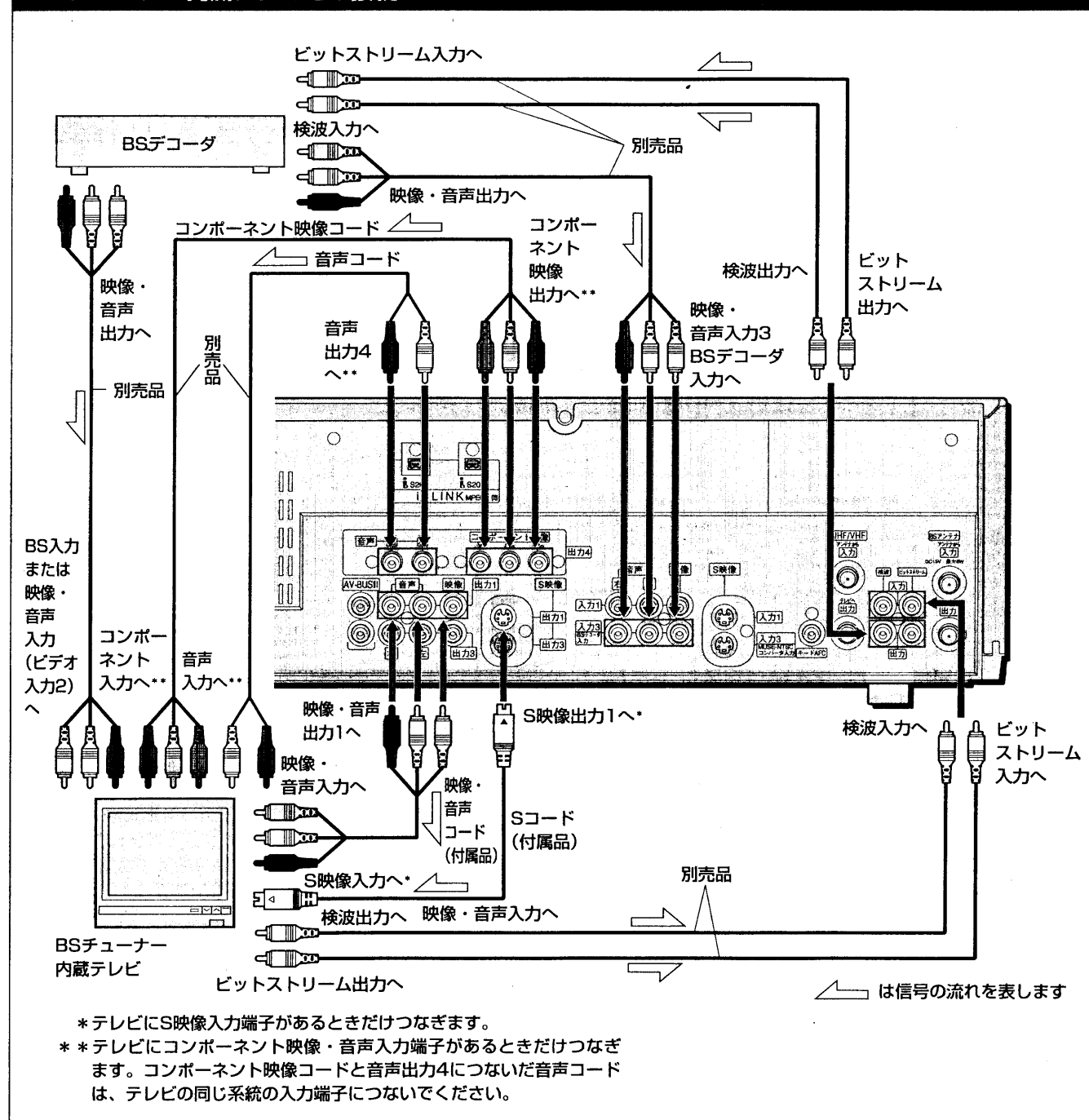
ふつうのテレビ (BSチューナーを内蔵していないテレビ)との接続



重要

• テレビにつないだコンポーネント映像コードと音声コードは、ビデオの同じ系統の出力端子 (出力4) に接続してください。他の系統の端子に接続すると、映像と音声がずれることがあります。
• VHF/UHFアンテナの接続については122～123ページ、BSアンテナの接続については123ページをご覧ください。

BSチューナー内蔵テレビとの接続



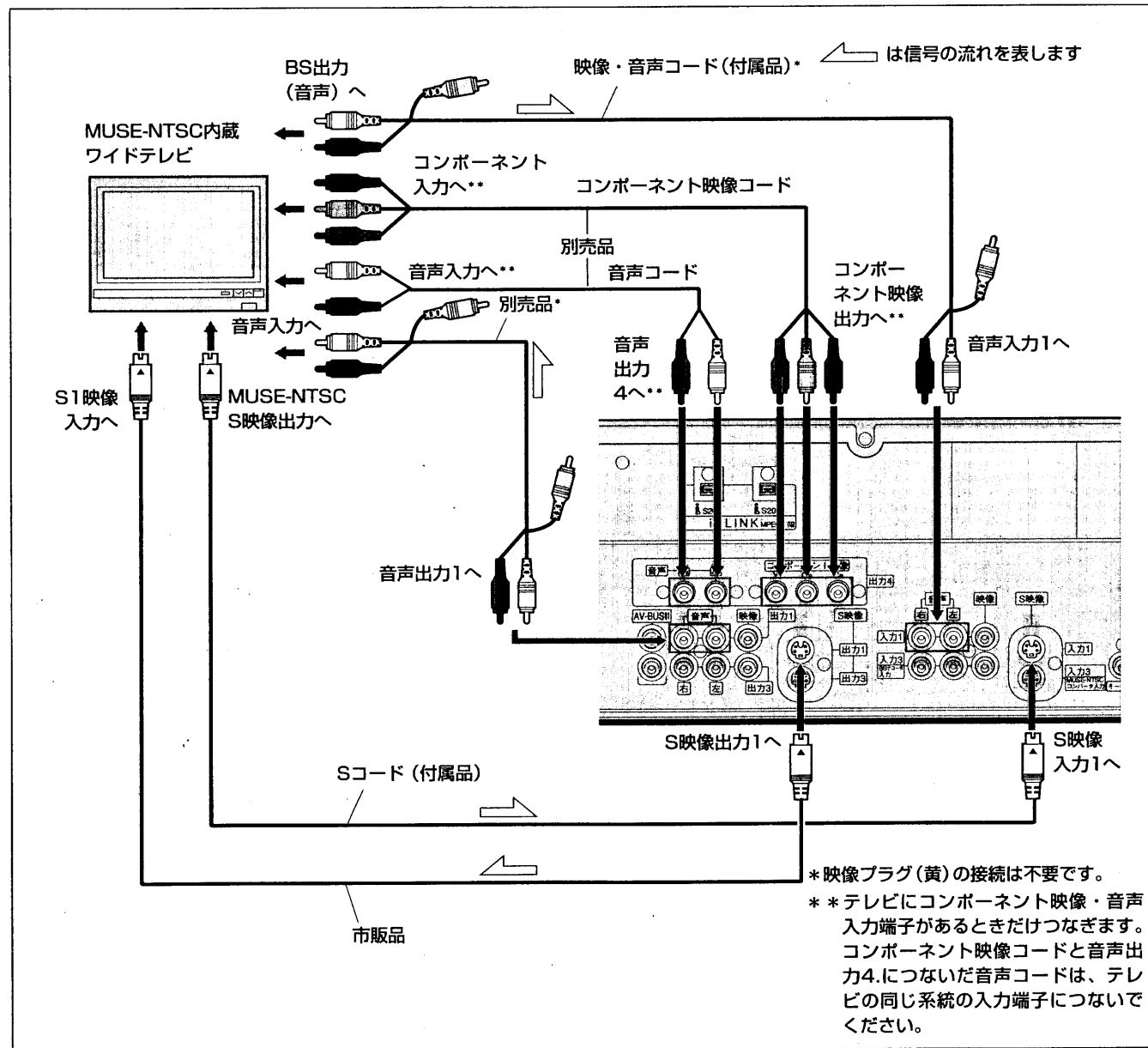
設置・準備

MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビをつなぐ…

このビデオをMUSE-NTSC内蔵ワイドテレビとつなぐと、ハイビジョン放送(BS9チャンネル)を録画・再生できます。

重要

- テレビにつないだコンポーネント映像コードと音声コードは、ビデオの同じ系統の出力端子(出力4)に接続してください。他の系統の端子に接続すると、映像と音声がずれることがあります。
- VHF/UHFアンテナの接続については122~123ページ、BSアンテナの接続については125ページをご覧ください。



おしらせ

ハイビジョン放送について
 • このビデオは、ハイビジョン放送(画面比率16:9)を画面比率4:3に変換してテープに記録します。
 • 記録したテープを再生したとき、テレビで16:9に変換することができます。
 • MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビは、BSチューナーを内蔵しています。テレビの説明書をよくお読みください。

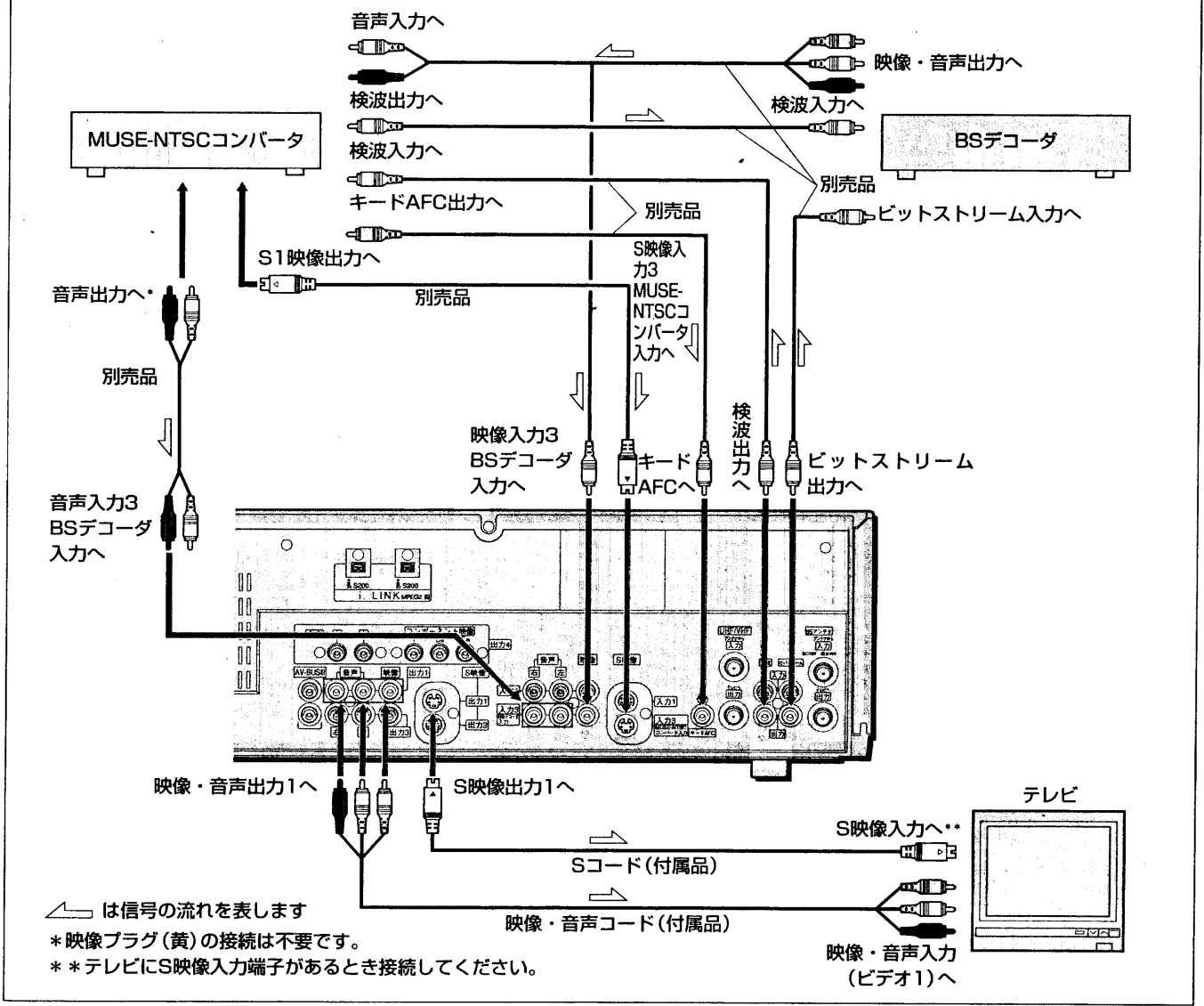
MUSE-NTSCコンバータをつなぐ……

このビデオにMUSE-NTSCコンバータとBSデコーダの両方をつなぐとハイビジョン放送(BS9チャンネル)とWOWOW(BS5チャンネル)の録画・再生ができます。

重要

- VHF/UHFアンテナの接続については122~123ページ、BSアンテナの接続については125ページをご覧ください。
- 130ページをご覧になり、ハイビジョン放送(BS9チャンネル)を見るための設定をしてください。

ふつうのテレビ(BSチューナーを内蔵していないテレビ)との接続



映像の画面比率について

MUSE-NTSCコンバータを使うと、ハイビジョン放送を3つの画面に変換してお持ちのテレビで楽しむことができます。

<p>ハイビジョン放送 (MUSE) [画面比率16:9]</p> <p>ハイビジョン画像がすべて映ります。縦方向にのびた絵になります。</p>	<p>フルモード [画面比率4:3]</p> <p>ハイビジョン画像がすべて映ります。上下に黒い帯ができます。</p>	<p>ワイドモード [画面比率4:3]</p> <p>画像の中央部分が映ります。</p>	<p>ズームモード [画面比率4:3]</p> <p>画像の中央部分が映ります。</p>
--	---	--	--

設置・準備

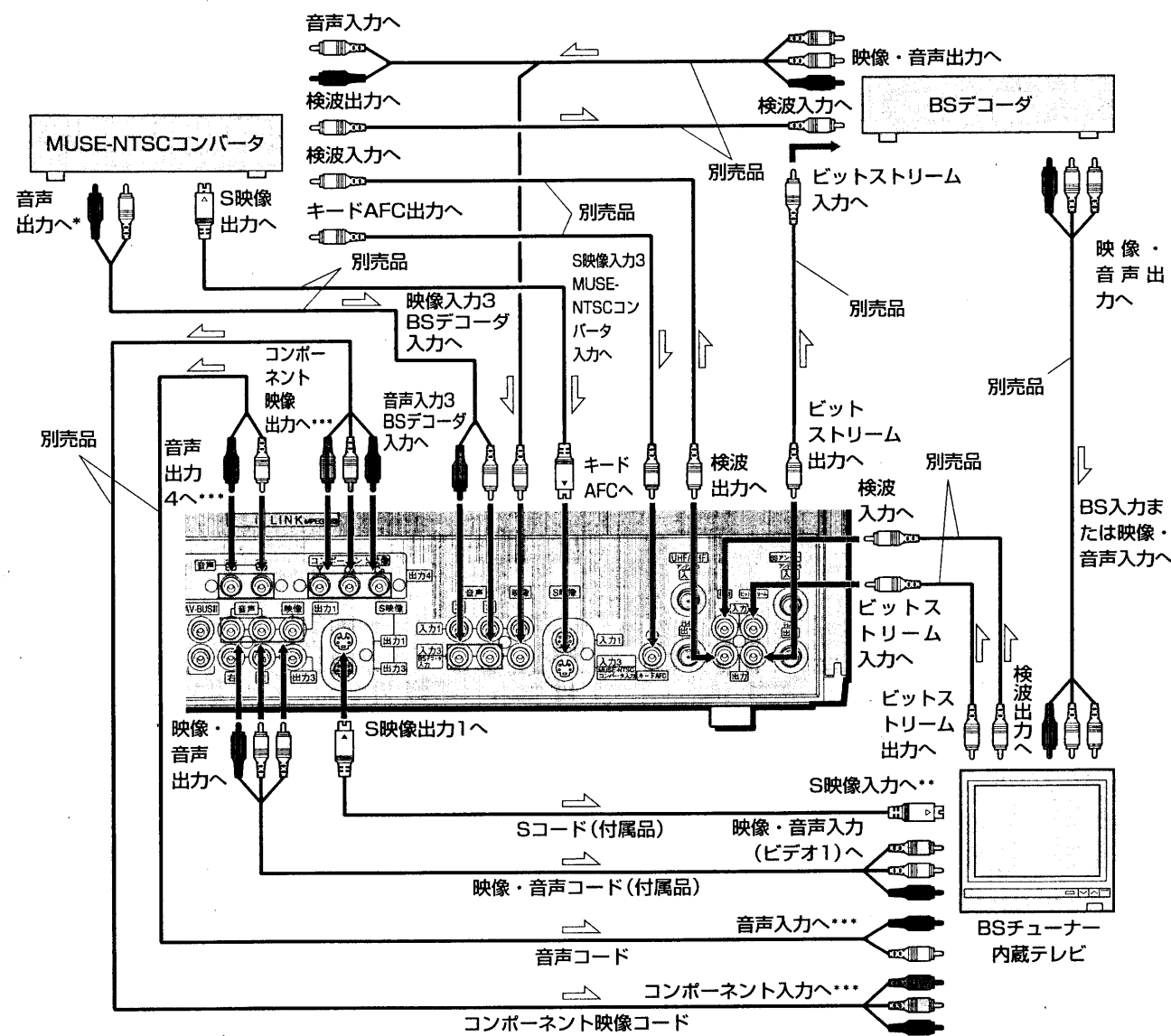
MUSE-NTSCコンバータをつなぐ……

BSチューナー内蔵テレビとつなぐと、BS放送を見ながら他のBS放送を録画することができます。たとえばWOWOW (BS5チャンネル)を見ながらNHKのBS放送を録画することができます。

重要

- テレビにつないだコンポーネント映像コードと音声コードは、ビデオの同じ系統の出力端子(出力4)に接続してください。他の系統の端子に接続すると、映像と音声がずれることがあります。
- VHF/UHFアンテナの接続については122～123ページ、BSアンテナの接続については125ページをご覧ください。

BSチューナー内蔵テレビとの接続



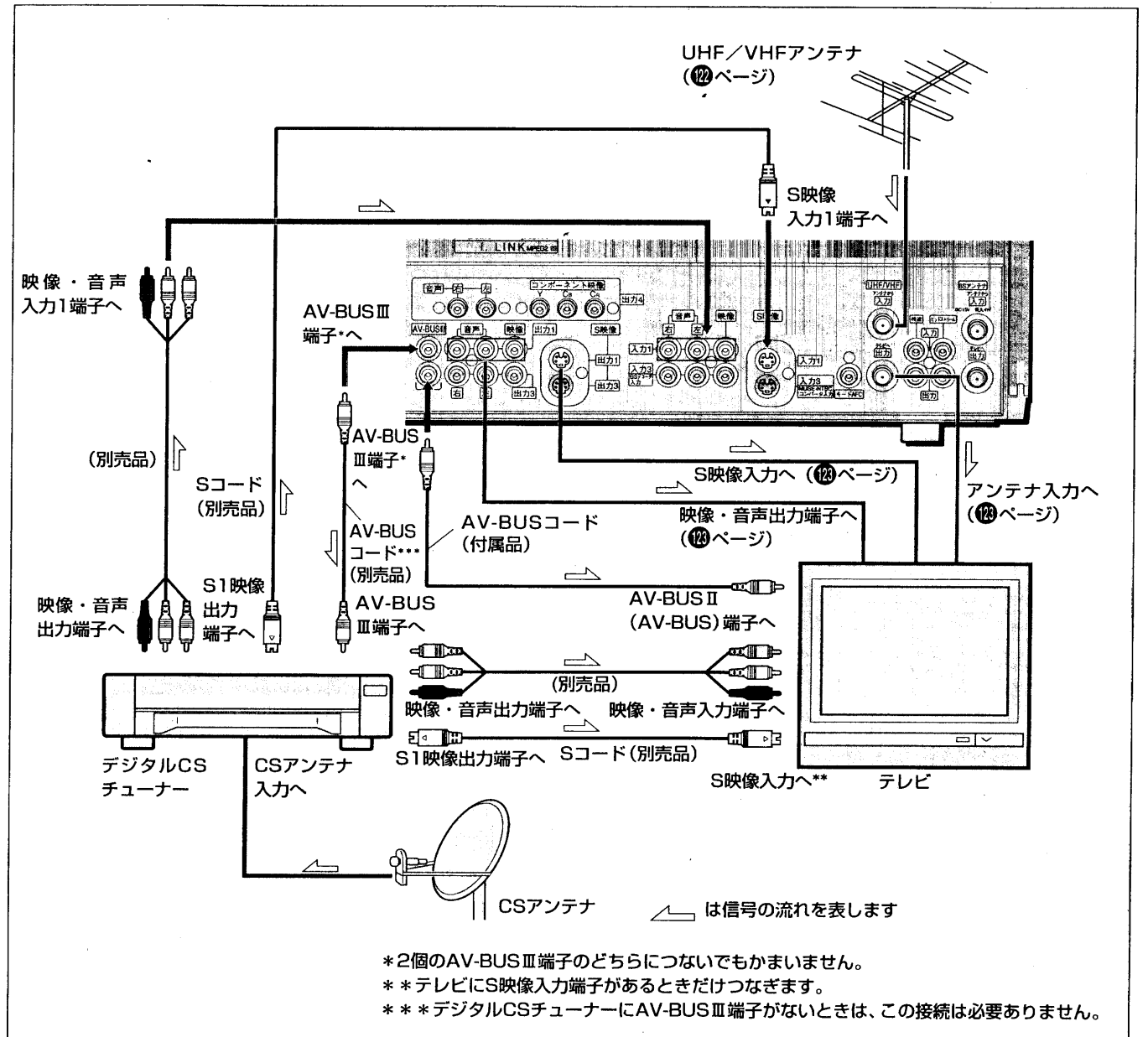
- * 映像プラグ(黄)の接続は不要です。
- ** テレビにS映像入力端子があるとき接続してください。
- *** テレビにコンポーネント映像・音声入力端子があるときだけつなぎます。コンポーネント映像コードと音声出力4につないだ音声コードは、テレビの同じ系統の入力端子につないでください。

デジタルCSチューナーをつなぐ……

デジタルCS放送を録画するときは、デジタルCSチューナーをつないでください。あらかじめデジタルCSチューナーで、このビデオの録画操作の設定をしておいてください。デジタルCSチューナーが日立製で、AV-BUSⅢ端子がついているときは、このビデオのAV-BUSⅢ端子とつなぐと、ビデオコントローラー等を使わずにデジタルCSチューナーの予約に連動してタイマー録画することができます(55ページ参照)。

重要

デジタルCSチューナーをこのビデオにつなぐときは、必ず後面の映像・音声入力1端子につないでください。他の端子につなぐとデジタルCSチューナーの予約に連動してタイマー録画することができません。



- * 2個のAV-BUSⅢ端子のどちらにつないでもかまいません。
- ** テレビにS映像入力端子があるときだけつなぎます。
- *** デジタルCSチューナーにAV-BUSⅢ端子がないときは、この接続は必要ありません。

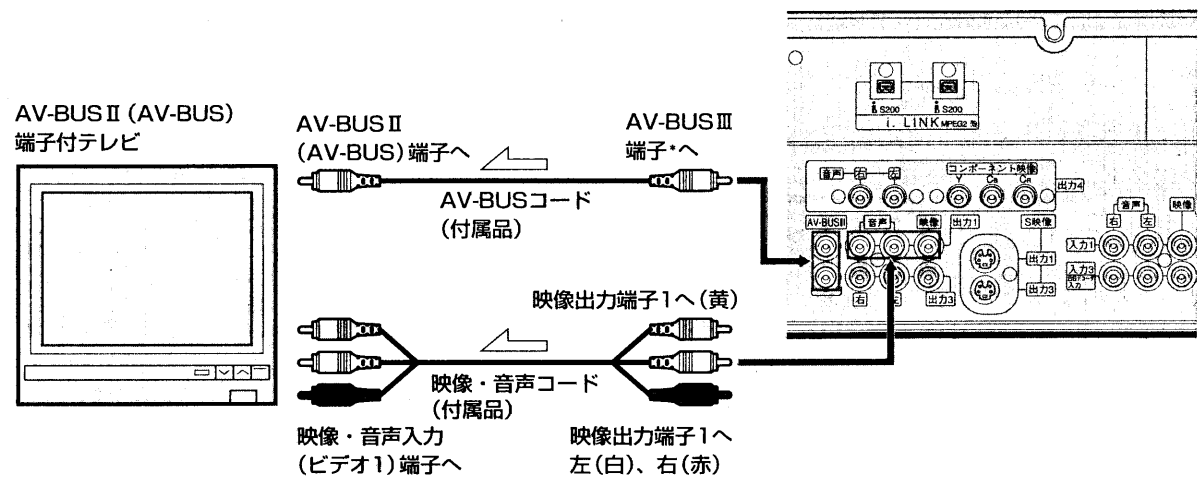
AV-BUSⅢ端子を使う……………

日立製のテレビやデジタルCSチューナーには、AV-BUSⅢ、AV-BUSⅡ (AV-BUS)端子がついているものがあります。これらの端子とビデオのAV-BUSⅢ端子をつなぐと、ビデオの操作に応じてテレビの電源や入力を自動的に切り換えることができます。

重要

- AV-BUSⅢ端子を使うときは、ビデオのチャンネル切換ボタンを必ず「RF-OFF」にしてください(137ページ参照)。
- AV-BUSⅢ端子には、映像・音声コードなどを接続しないでください。
- AV-BUSコードでつないだ機器の主電源は切らないでください。組み合わせの機器により、AV-BUSが正しく動作しない場合があります。

AV-BUSⅡ端子付テレビをつなぐ

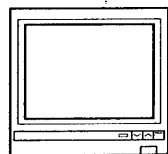


は信号の流れを表します

*2個のAV-BUSⅢ端子のどちらにつないでもかまいません。

テレビをコントロールする

1 テレビの電源を「入」または「スタンバイ」にする



2 ビデオを操作する

ビデオの操作	テレビの動作
再生を始める	テレビの電源が自動的に入り、入力切換が「ビデオ」になる
ビデオ/テレビ切換ボタンで「ビデオ」を選ぶ	
ビデオ/テレビ切換ボタンで「テレビ」を選ぶ	入力切換が自動的に「テレビ」になる
ビデオの電源を切る	(テレビの電源は切れません)

*テレビにビデオ入力端子が複数ある場合は「ビデオ1」になります。

テレビの取扱説明書も合わせてご覧ください。

おしらせ

このビデオには「見テ・録」機能はありませんので、AV-BUS端子付きテレビの見テ・録ボタンを押しても、ビデオは動作しません。

BSチャンネルを見るための設定……………

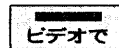
重要

- BSアンテナ、テレビ、ビデオが正しく接続されているか確かめてください。
- BSアンテナをつないでから、BSアンテナ電源を「入」にしてください(138ページ参照)。
- BSアンテナの据付けについては、BSアンテナの取扱説明書をご覧ください。



テレビで

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切換を「ビデオ」にする (またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)



ビデオで

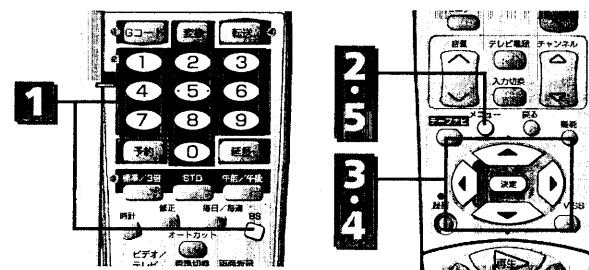
- ビデオの電源を入れる

BSアンテナ電源を切り換える

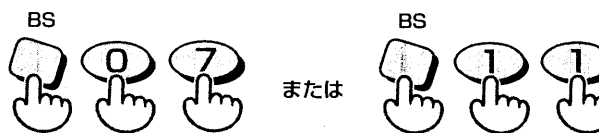
BSアンテナ電源の切換は、BSコンバータへの電源供給(+15V)をコントロールするための設定です。接続に合わせてBSアンテナ電源を切り換えてください。

ふたを開けたところ

ふたを閉じたところ



1 BS7かBS11チャンネルを選ぶ

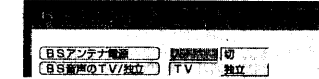
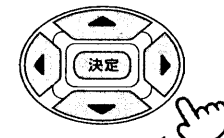


2 メニューボタンを押す

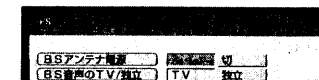
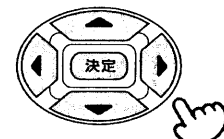
メニュー



3 カーソルボタンで「チャンネル設定」の「BS設定」を選び、決定ボタンを押す



4 ◀、▶ボタンで「BSアンテナ電源」の「入」または「切」を選び、決定ボタンを押す



工場出荷時は、「BSアンテナ電源」は「切」に設定されています。

BSアンテナ電源	BSアンテナの接続	電源供給
入	このビデオ専用のBSアンテナを接続しているとき	ビデオの電源が切れても、常にBSコンバータに電源が供給される
切	テレビ共同受信設備(マンションなど)のアンテナ引き込み線を接続しているとき	このビデオからはBSコンバータに電源を供給しない

おしらせ

1台のBSアンテナを他の機器と共有しているときは、本機のBSアンテナ電源の切り換えを「入」にしたら、他のBS受信機は、「切」に設定してください

5 メニューボタンを押す

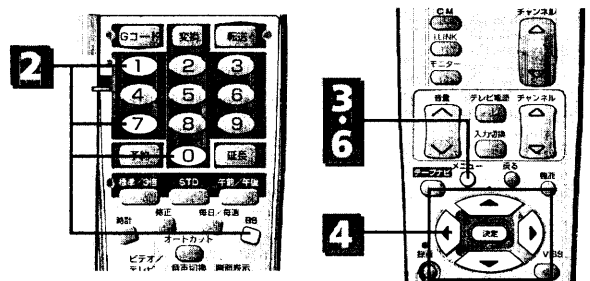
設置・準備

BSアンテナの方向を調整する

BSアンテナの向きは、正確な調整が必要です。できるだけ据付けは販売店に依頼することをおすすめします。ご自分で据付けたときは次のように調整してください。

ふたを開けたところ

ふたを閉じたところ



1 BSアンテナ電源を正しく切り換える (121ページ参照)

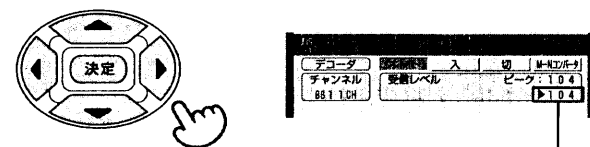
2 BS7かBS11チャンネルを選ぶ



3 メニューボタンを押す



4 カーソルボタンで「チャンネル設定」の「BSデコーダ/レベル」を選び、決定ボタンを押す

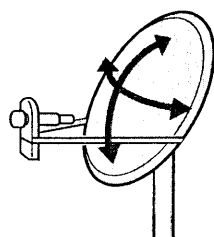


BSアンテナの受信レベルが表示されます。

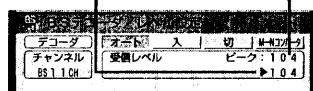
おしらせ

BSチャンネル以外を選んだ状態では、「BSデコーダ/レベル設定」画面が出ません。BSチャンネルを選んでください。

5 アンテナの向きを調整する



この数字がピーク値と同じかそれ以上になるように向きを調節する
それまでのピーク値



- テレビの映りを見ながら、数値が最大になるように調整してください。BS信号を受信すると画像が映ります。一度上下、左右いっぱいアンテナを動かして受信レベルのピーク値を見つけ、その位置に合わせるのがコツです。
- 上のイラストの受信レベルは、説明のための数字です。

おしらせ

アンテナ受信レベルについて

- 受信レベルはアンテナの大きさや種類、また雨や雪などの気象条件に影響を受け、数値は時間によって増えたり、減ったりすることがあります。画面がきれいに映るように調整すれば大丈夫です。
- アンテナによっては、オートチャンネル設定したあと微調節をしないと、映像がきれいに映らないことがあります。121ページを参照のうえ、微調節をしてください。

6 メニューボタンを押す

重要

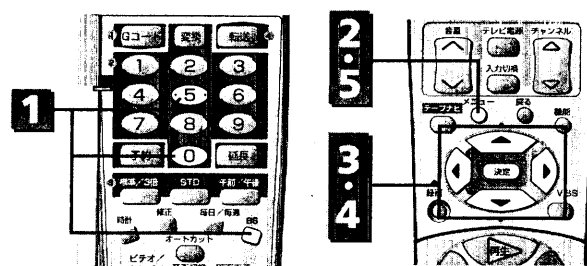
「BSデコーダ」「入」を選んだときは、必ずBSデコーダの電源を入れてください。BSデコーダの電源が切れていると、BSデコーダを「入」に設定したチャンネルを見ることが出来ません。

WOWOW (BS5チャンネル) を見るための設定

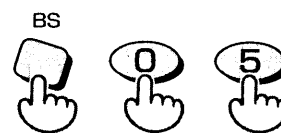
本機にBSデコーダを接続してBSチャンネルを選ぶと、スクランブルが解除された映像を見ることができます。もし、画像が乱れたり、きれいに映らないときは、次の設定をしてください。

ふたを開けたところ

ふたを閉じたところ



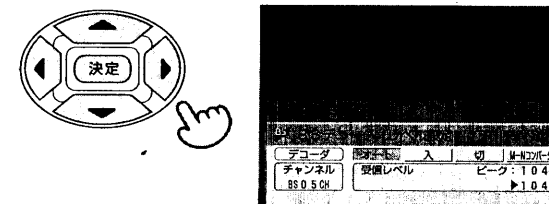
1 BSチャンネルを選ぶ



2 メニューボタンを押す



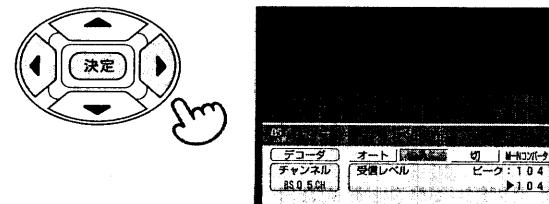
3 カーソルボタンで「チャンネル設定」の「BSデコーダ/レベル」を選び、決定ボタンを押す



おしらせ

BSチャンネル以外を選んだ状態では、「BSデコーダ/レベル設定」画面が出ません。BSチャンネルを選んでください。

4 ◀、▶ ボタンを押して「デコーダ」の「入」を選び、決定ボタンを押す



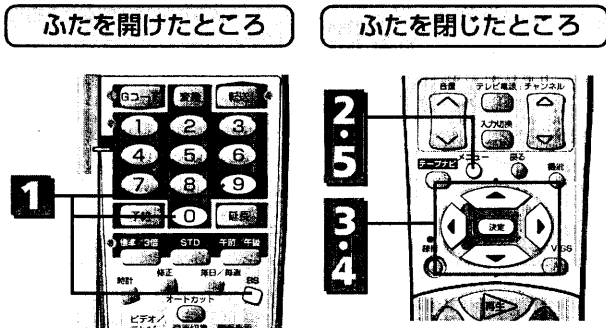
5 メニューボタンを押す

おしらせ

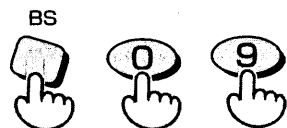
録画するときは63ページを参照してください。

ハイビジョン放送(BS 9チャンネル)を見るための設定

MUSE-NTSCコンバータからの映像・音声は、ビデオのMUSE-NTSCコンバータ入力端子に入ります。BS 9チャンネルを選んだとき、MUSE-NTSCコンバータ入力端子からの映像・音声に切り換えるため、次のように設定してください。



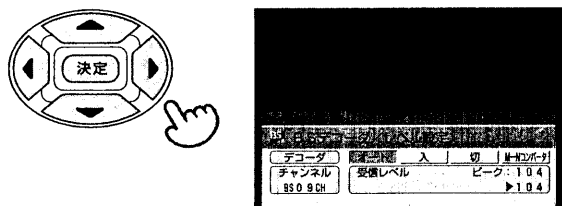
1 BS9チャンネルを選ぶ



2 メニューボタンを押す



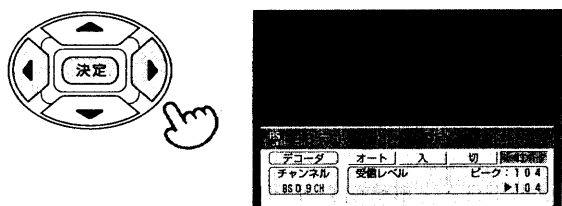
3 カーソルボタンで「チャンネル設定」の「BSデコーダ/レベル」を選び、決定ボタンを押す



おしらせ

BSチャンネル以外を選んだ状態では、「BSデコーダ/レベル設定」画面が出ません。BSチャンネルを選んでください。

4 ◀、▶ボタンを押して「デコーダ」の「M-Nコンバータ」を選び、決定ボタンを押す



5 メニューボタンを押す

おしらせ

録画するときは64ページを参照してください。

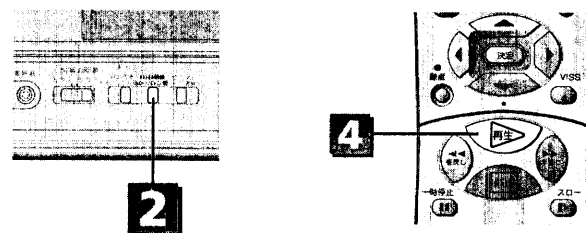
ビデオとテレビの接続を確認する……

接続が終わったら、正しく接続できたか確認してください。

重要

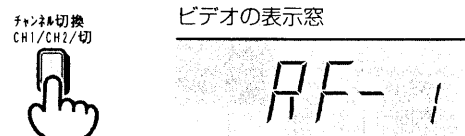
テープが入っていると正しく接続できたか確かめることができません。テープを取り出してから操作を始めてください。

アンテナ線だけでテレビとビデオをつないでいるとき



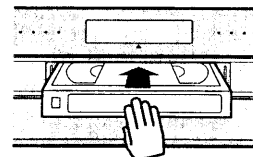
1 テレビの電源を入れ、放送のないチャンネル(1または2)を選ぶ

2 ビデオ前面のふたを開け、チャンネル切換ボタンを押して、テレビで選んだチャンネルを出す



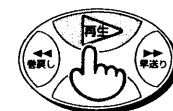
- ボタンを押すたびに「RF-1」(1チャンネル)→「RF-2」(2チャンネル)→「RF-OFF」(切)の順に出ます。
- ここで選んだチャンネルがビデオ専用チャンネル(ビデオチャンネル)です。

3 録画済みのテープを入れる



自動的に電源が入ります。

4 再生ボタンを押す



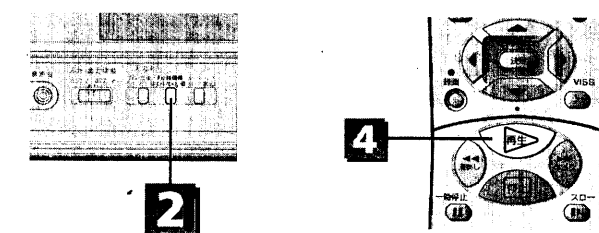
再生が始まります。映像と音声が出れば、正しく接続されています。

おしらせ

ビデオの再生画が映らないとき

- アンテナ線の接続を確かめてください(122ページ)。
- テレビのビデオチャンネルを合わせ直してください。

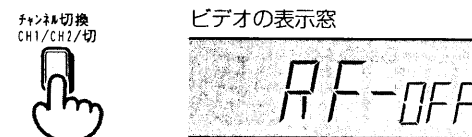
コンポーネント映像コードと音声コードを使ってテレビとビデオをつないでいるとき



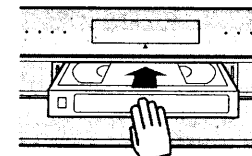
1 ビデオとテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にする

- ビデオで選んだ番組がテレビに映ります。
- コンポーネント映像・音声コードをつないでいるときは、テレビの入力切換を「コンポーネント」にしてください。

2 チャンネル切換ボタンを押して、「RF-OFF(切)」を出す

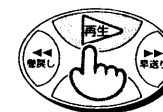


3 録画済みのテープを入れる



自動的に電源が入ります。

4 再生ボタンを押す



再生が始まります。映像と音声が出れば正しく接続されています。

おしらせ

ビデオの再生画が映らないとき

- 映像・音声コードの接続を確かめてください(122ページ参照)。
- 「ビデオ」入力や「コンポーネント」入力が複数ある場合は、ビデオと接続した入力に、テレビの入力を切り換えてください。

2. オートチャンネル設定で受信チャンネルを合わせる

オートチャンネル設定を行うと、お住いの地域で受信できるチャンネルを一つずつ自動的に設定できます。地域受信チャンネルですべてのチャンネルがきれいに受信できていないときに、オートチャンネル設定で合わせ直してください。

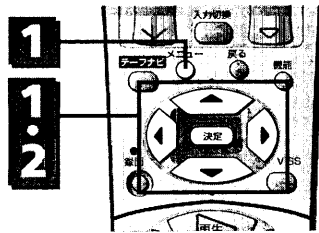
重要

- オートチャンネル設定で受信チャンネルを合わせる前に、アンテナや他の機器との接続とBSチャンネルを見るための設定を確認してください。

テレビで ● テレビの電源を入れる
● テレビの入力切換を「ビデオ」にする(またはビデオチャンネル1または2を選ぶ)

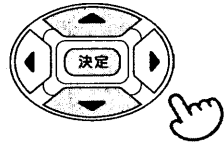
ビデオで ● ビデオの電源を入れる

チャンネルを設定する



1 138ページの**1**、**2**の操作で「受信チャンネル設定」画面を出す

2 ▼、▲ボタンを押して「オートチャンネル開始」を選び、決定ボタンを押す

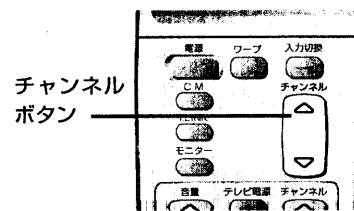


- 受信できたチャンネルを自動的に記憶していきます(約2分かかります)。
- 記憶が終わると、「受信チャンネル設定」画面に戻ります。
- メニューボタンを押すとテレビの受信画面になります。

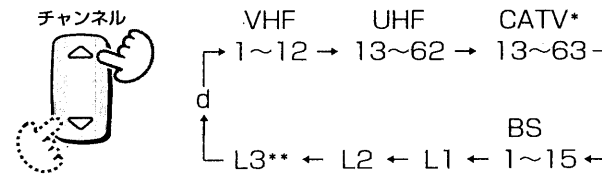
おしらせ

工場出荷時は、VHF放送の1~12チャンネルと衛星放送の1、3、5、7、9、11、13、15チャンネルが受信できるように調整されています。

チャンネルが映るかどうかが確認する



チャンネルボタンを押して、チャンネルを確認する



- * CATVチャンネルを設定したとき表示される(144ページ)
- ** 「入力3設定」を「入力3」に設定したときだけ切り換わります。

チャンネルボタンの△側を押すと上記の矢印の順にチャンネルが出ます。▽側を押すと、逆の順にチャンネルが出ます。

● 放送のないチャンネルが設定されているとき
電波状態によっては、放送のないチャンネルが設定されることがあります。不要なチャンネルは飛ばすことができます(145ページ参照)。

● チャンネルの表示がテレビ番組表の数字と合わないとき
チャンネルの表示を、テレビ番組表と同じ数字に変えることができます(143ページ参照)。

おしらせ

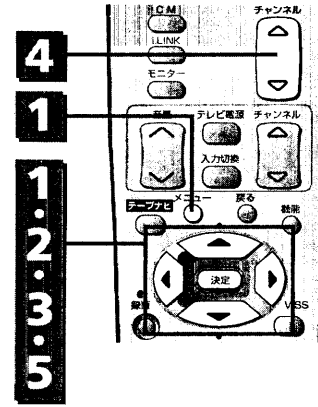
チャンネルが1つも設定されなかったり、画がきれいに映らないときはアンテナ線の接続を確かめてください(142ページ参照)。

重要

- BS放送やケーブルテレビのチャンネル表示を変えることはできません。
- 外部入力(L1、L2、L3またはd)を選んでいるときは、**E**の操作をしても「表示変更」画面を出すことはできません。

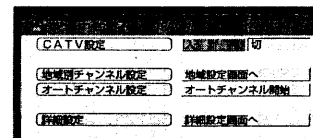
チャンネルの表示を変える

お住いの地域により、チャンネル表示がテレビ番組表の数字と違うことがあります。このとき、次のようにして、数字を合わせることができます。

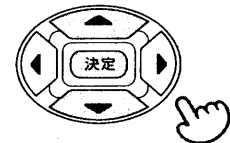


例えば…チャンネル表示「60CH」を「4CH」に変えたいとき

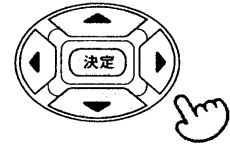
1 138ページの**1**、**2**の操作で「受信チャンネル設定」画面を出す



2 ▼、▲ボタンで「詳細設定画面へ」を選び、決定ボタンを押す



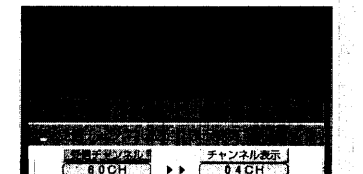
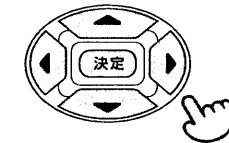
3 ▼、▲ボタンで「表示変更画面へ」を選び、決定ボタンを押す



4 変えたいチャンネルを表示させ、決定ボタンを押す



5 カーソルボタンで表示したい数字を選び、決定ボタンを押す



- ▲を押すと大きい数字になり、▼を押すと小さい数字になります。CH表示の左側の数字を選んだら▶ボタンを押してください。カーソルが右側に移動します。右側の数字も選んで、決定ボタンを押してください。
- 続けて他のチャンネル表示を変えたいときは、**4**、**5**を繰り返してください。
- 修正するときは、◀または▶ボタンで修正したい数字を選び、▲または▼ボタンで正しい数字を選んでください。
- メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

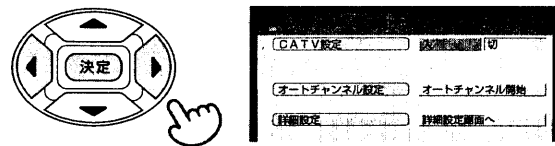
ケーブルテレビをお使いになるとき

ケーブルテレビの受信契約について
ケーブルテレビを受信するには、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との加入手続きが必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、アダプターが必要になります。詳しくは、ケーブルテレビ会社にご相談ください。ケーブルテレビの受信はサービスの行われている地域のみ受信可能です。

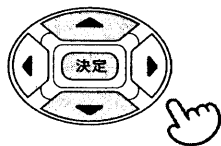
ケーブルテレビのチャンネルを設定する

1 138ページの**1**、**2**の操作で「受信チャンネル設定」画面を出す

2 ◀、▶ボタンで「CATV設定」の「入」を選び、決定ボタンを押す



3 ▼、▲ボタンを押して「オートチャンネル開始」を選び、決定ボタンを押す



- VHFチャンネル(1~12) → UHFチャンネル(13~62) → CATVチャンネル(C13~C63)の順で、CATVも設定されます。
- メニューボタンを押すと、テレビの受信画面に戻ります。

ケーブルテレビチャンネルを設定したときにリモコンの0~9ボタンでUHF放送の13~62チャンネルを選ぶには

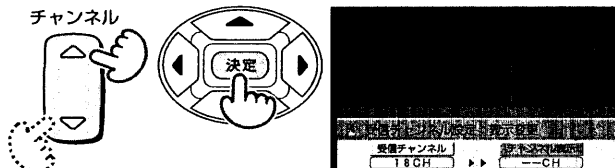
ケーブルテレビチャンネルを設定したとき、チャンネルボタンを使うと全部のチャンネルが選局できますが、リモコンの0~9ボタンで13~63チャンネルを選ぶとケーブルテレビが選局され、UHF放送の13~62チャンネルは選局できなくなります。

リモコンの0~9ボタンで全部のチャンネルを選局するには、前ページの**1**~**5**の操作で、UHF放送のチャンネル表示を、1~12チャンネルの空いているチャンネルの数字に変えてください。

例えば…UHF放送の18チャンネルの表示を、空きチャンネル9に変える

1 143ページの**1**、**2**、**3**の操作で「表示変更」画面を出す

2 チャンネルボタンでUHF18チャンネルを選び、決定ボタンを押す



3 カーソルボタンで9チャンネルを選び、決定ボタンを押す



- ▲を押すと大きい数字になり、▼を押すと小さい数字になります。CH表示の左側の数字を選んだら▶ボタンを押してください。カーソルが右側に移動します。右側の数字も選んで、決定ボタンを押してください。
- 続けて他のチャンネル表示を変えたいときは、**2**、**3**を繰り返してください。
- 修正するときは、◀または▶ボタンで修正したい数字を選び、▲または▼ボタンで正しい数字を選んでください。

4 メニューボタンを押す

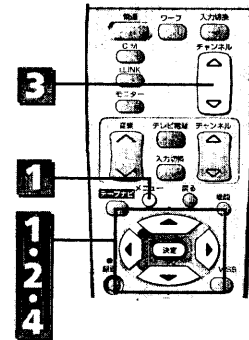
これで、0ボタン、9ボタンと押すと、UHF18チャンネルが選局できます。

おしらせ

- お住いの地域によっては、0~9ボタンで全部のチャンネルを選局できないことがあります。ケーブルテレビを使用しながらUHF放送をタイマー録画するとき
- 「CATV」の設定が「入」になっているとき、UHF放送のタイマー録画はできません。UHF放送の番組をタイマー録画するときは、「ケーブルテレビのチャンネルを設定したときにリモコンの0~9ボタンでUHF放送の13~62チャンネルを選ぶには」で変更したチャンネル番号で予約してください。

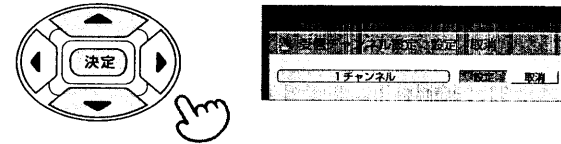
チャンネルを飛ばす/元に戻す

オートチャンネル設定をすると、放送のないチャンネルや、電波が弱いチャンネル、妨害が入るチャンネルも設定されることがあります。これらのチャンネルを飛ばしたり、元に戻したりすることができます。チャンネルを飛ばすときは、あらかじめ不要なチャンネルをメモしておくと、便利です。

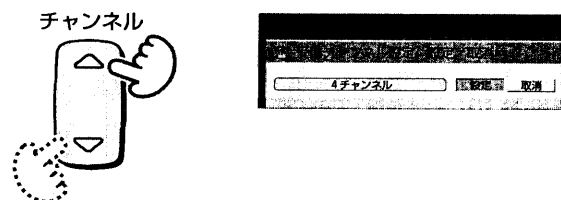


1 143ページの**1**、**2**の操作で詳細設定画面を出す

2 ▼、▲ボタンで「設定/取消し画面へ」が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す

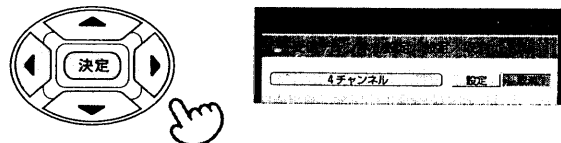


3 飛ばしたいチャンネル、または元に戻したいチャンネルを選ぶ



L1、L2、L3、dチャンネルを飛ばすときまたは元に戻すときは、入力切換ボタンを押して、L1、L2、L3、dを選んでください。

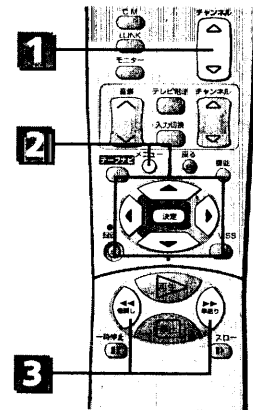
4 ◀、▶ボタンで「設定」か「取消」を選び、決定ボタンを押す



- 飛ばすときは「取消」に、元に戻すときは「設定」に設定してください。
- 続けて他のチャンネルも飛ばすときは、**3**、**4**を繰り返します。
- メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

チャンネルを微調整する

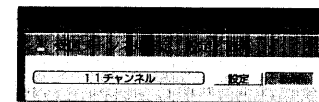
オートチャンネル設定のあとで受信状態を微調整することができます。



1 映りが悪いチャンネルを選ぶ

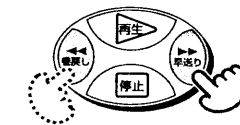


2 「設定/取消」画面を出す



左段の**1**、**2**の操作をしてください。

3 画像を見ながら、早送りまたは巻き戻しボタンで調節する



- 早送りまたは巻き戻しボタンを押して、画像が最もよく映るように調節し、決定ボタンを押してください。
- 続けて他のチャンネルも微調整したいときは、**1**~**3**を繰り返してください。
- メニューボタンを押すと元の画面に戻ります。

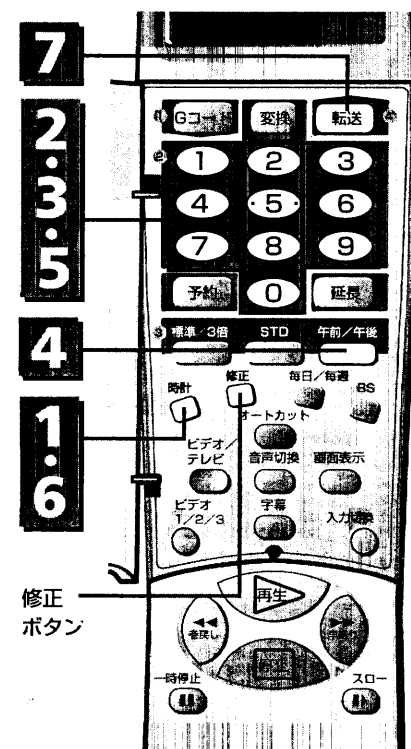
時計を合わせる

はじめにリモコンの時計を合わせたあと、ビデオの時計を合わせてください。

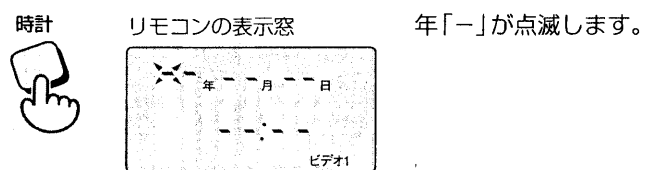
重要

操作を約1分以上中断すると、リモコンの時計設定表示は消えます。このときは、もう一度時計ボタンを押してやり直してください。

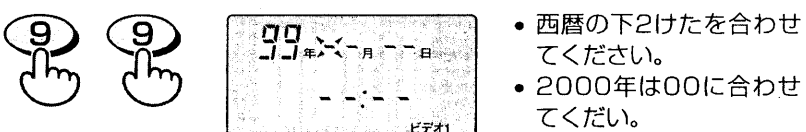
たとえば…西暦1999年11月5日午前8時20分に合わせるとき



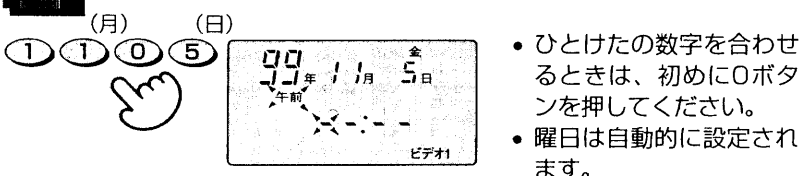
1 時計ボタンを押す



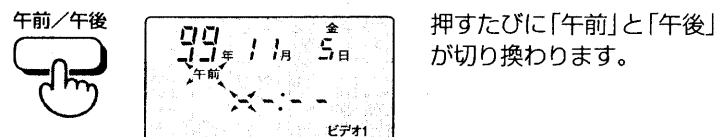
2 年を西暦で合わせる



3 月・日を合わせる



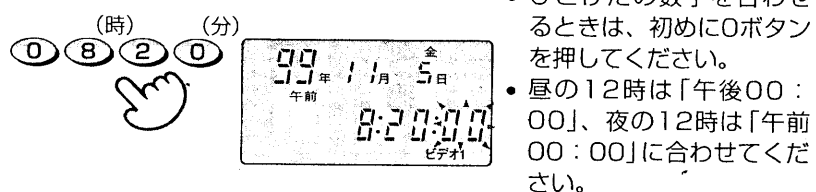
4 午前・午後を合わせる



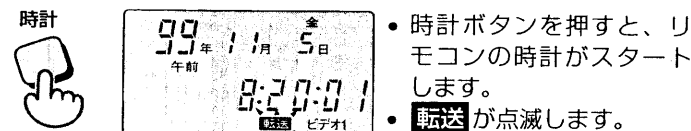
おしらせ

時計を合わせている途中で修正するとき
 ・修正ボタンを繰り返し押して、修正したいところまで点滅を戻してから修正してください。

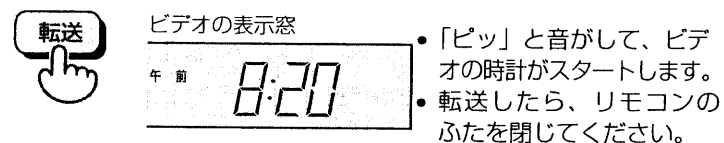
5 時刻を合わせる



6 時報などに合わせて時計ボタンを押す



7 リモコンをビデオに向けて転送ボタンを押す



■ リモコンの時計の修正

電池を換えたときや、一度合わせた時計を修正したいとき、次のようにリモコンの時計を合わせ直してください。
 1 時計ボタンを押して時計を表示させる。
 2 修正ボタンを繰り返し押して、修正したいところを点滅させる。
 3 手順 2 ~ 5 を参考にして、日付または時刻を修正する。
 4 時計ボタンを2回押す。

■ ビデオの時計の修正

60分以上の停電があると、ビデオの時計が「--:--」になります。このときは、次のようにリモコンの時計をビデオに転送してください。
 1 時計ボタンを押して、リモコンの表示窓に「転送」を点滅させる。
 2 転送ボタンを押す。

おしらせ

時計を正確に合わせるには (ジャストクロック)
 このビデオには、時計を正確に合わせるジャストクロック機能が付いています。ジャストクロックは、1日に1回 (午後0時 (正午))、NHK教育テレビの時報を受信して、自動的にビデオの時計を修正します。

次のような場合、ジャストクロックは働きません。

- ・ビデオの時計が現在時刻と3分以上ずれているとき
- ・時報の時刻にビデオの電源が入っているとき
- ・ビデオの受信チャンネルにNHK教育テレビが設定されていないとき
- ・初めてジャストクロック機能が働いたとき、NHK教育テレビを選ぶまで時間がかかり、数回、時計を修正できないことがあります。

受信チャンネルを変えたあとで、ジャストクロックチャンネルを変えるには以下の方法でNHK教育テレビに合わせてください。

1. メニューボタンを押す
2. 「チャンネル設定」の「受信チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す。
3. 「詳細設定画面へ」を選び、決定ボタンを押す。
4. 「ジャストクロック設定」の「設定画面へ」を選び、決定ボタンを押す。
5. チャンネルを選び、決定ボタンを押す。

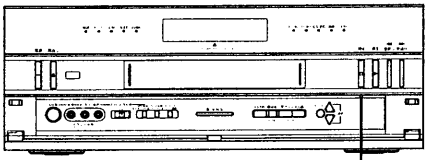
ジャストクロック用のチャンネルを選んでください
 01 | 03 | 04 | 08 | 09 | 10 | 12 |
 オートにすると自動的に見つけます。

6. メニューボタンを押す。

設置・準備

故障かな...と思ったら

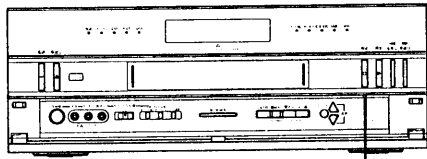
まず下の表でお調べください。それでも具合の悪い場合はご自分で修理せず、お買い上げの販売店にご相談ください。
アフターサービスについては、裏表紙をご覧ください。

症状	処置	参照ページ
電源	ビデオの電源ボタンを押しても電源が入らない(ビデオの操作ができない)。 ●電源コードがコンセントに差し込まれているか確認してください。 ●表示窓の「HELLO」の文字が表示している間は操作できません。 ●電源コードを一度コンセントから抜き、再度コンセントを入れたあと、電源ボタンを押してください。	—
リモコン	リモコンでビデオの操作ができない(リモコンが使えない、リモコンの反応が遅い)。 ●乾電池が消耗している可能性があります。乾電池を交換してください。乾電池を交換するときは、古い乾電池を取り外して電源ボタンを10秒間押してから、新しい乾電池を入れてください(乾電池の寿命は、通常の使用で約半年です)。 ●リモコンのビデオ1/2/3切替ボタンを押して、リモコンの表示窓に「ビデオ1」を表示させてからリモコンを使用してください。	14 20
	●ビデオのリモコン切替ボタンが「R-OFF」になっているか、ビデオのリモコン切替ボタンとリモコンのビデオ1/2/3切替ボタンの設定が合っていないと、リモコンで操作できません。ビデオとリモコンの設定を合わせてください。	117
	●ビデオのリモコン切替ボタンを押して設定を確認してください。リモコンの表示窓に「ビデオ1」と表示されているときは、ビデオの表示窓に「R-1」を、「ビデオ2」のときは「R-2」を、「ビデオ3」のときは「R-3」を表示させてください。	117
	リモコンでテレビの操作ができない。 ●お手持ちのテレビのメーカーに合わせて、テレビコードを設定してください。	118
巻戻し、早送りができない。 テープが最初または最後まで巻取られていないか、確認してください。	34	
テープ	テープが取り出せない。 ●保護回路が働いている場合があります。電源コードをコンセントから抜き、再度コンセントに入れてください。表示窓の「HELLO」表示が消えてから、取出しボタンを押してください。それでも取り出せないときは、リセットスイッチをつまようじなどで押してから同様に操作してください。	—
	 リセットスイッチ	—
録画	●録画中、タイマー録画中はテープを取り出すことができません。必要に応じて録画、タイマー録画を停止してから、ビデオの取出しボタンを押してください。	44 46 58
	テレビ番組が録画できない(何も録画されていない)。 ●アンテナ線を正しく接続してください。 ●受信チャンネルを合わせ直してください。	122 138
	録画ボタンを押すと、テープが出てくる。 ●「つめ」の折れたテープが入っています。穴にセロハンテープを貼ってからテープを使用してください。	21
	タイマー録画ができない 録画予約したが録画が始まらない ●停電があったため、予約が消えました。再度、時計を合わせたあと予約をやり直してください。	146
	電源を切るとテープが出てくる ●「つめ」の折れたテープが入っています。穴にセロハンテープを貼ってからテープを使用してください。	21
録画予約したが何も映ってない ●タイマー録画予約したあとビデオの電源を切りましたか?ビデオの電源を切っておかないと、予約した時間になっても録画されません。	58	
タイマー録画予約ができない(予約の内容を転送できない)<Gコード予約時、リモコン予約時> ●ビデオの時計を合わせてから、予約を転送してください。	146	

症状	処置	参照ページ	
ケーブルテレビを使用しながら、UHF放送をタイマー録画予約できない。	●「CATV」の設定が「入」になっているときは、UHF放送の番組をタイマー録画予約できません。ケーブルテレビチャンネルを設定したときに変更したチャンネル番号で予約してください。	144	
ケーブルテレビのBS番組をGコード予約できない。	●予約のとき、下記の方法でチャンネルを修正してください。 1) Gコード予約番号を入力します。リモコンの表示窓に「BS」表示が出ます。 2) 修正ボタンを押してチャンネルの10の位を点滅させます。 3) BSボタンを押して「BS」表示を消します。 4) ケーブルテレビのチャンネルを入力します。	71	
リモコンを使ってタイマー予約をしていたら、途中で時計表示に戻ってしまった。	●操作を約1分中断したためです。もう一度Gコードボタンか予約ボタンを押して予約をやり直してください。	56 61	
タイマー録画したが、録画内容が違っている。<Gコード予約時>	●Gコード予約番号を間違えて入力していませんか? Gコード予約番号を正しく入力してください。	56	
	●予約を転送する前に、必ず内容を確認してください。特にチャンネルは、ビデオ本体で設定したチャンネル番号と同じになっていることを確認し、違っていたら修正してください。	57	
タイマー録画の途中でビデオの電源が切れ、テープが出てきた。	●タイマー録画の途中でテープがなくなると、自動的にテープが出てきます。	71	
タイマー録画を途中でやめることができない。	●電源ボタンを押したあと、10秒以内に停止ボタンを押してください。	58 60 62	
クイックタイマー録画ができない。	●ビデオの時計を合わせてください。	146	
ビデオと接続している機器から録画できない。	●後面端子に接続した機器から録画するときは、入力切替ボタンを押して「L1」(外部入力1)か「L3*」(外部入力3)を選んでください。 *「機能設定」の「入力3設定」を「入力3」に設定しているときのみ	52	
	●前面端子に接続した機器から録画するときは、入力切替ボタンを押して「L2」(外部入力2)を選んでください。 ●ビデオ前面の入力/出力切替スイッチを「入力2」に合わせてください。	50	
ビデオを操作したときの画面表示が流れる。	●放送がないチャンネルを選んだときや、外部入力機器から映像の入力がない場合流れることがありますが、故障ではありません。	50 52	
D-VHS録画	D-VHSテープを入れて録画しても、ビデオ前面のD-VHS表示インジケータが青色に点灯しない。	●「ビデオ設定」メニューの「映像設定」で「D-VHS」を「オート」に設定し、録画モードを「STD」に変えてください。	23
	STDにならない。	●VHSテープがビデオに入っていると「STD」になりません。D-VHSテープを入れてください。	—
	STDで録画ができない 録画モードSTDのクイックタイマーが途中で止まる。	●コピーガード処理された映像は、D-VHS方式(STDモード)で録画できません。	43
	録画モードSTDのタイマー予約をしたら、一時停止になり録画できない。	—	—
D-VHS録画した番組をダビングできない。	番組によってはデジタル録画を1回のみ許可している番組があります。このような番組はダビングできません。	—	

	症 状	処 置	参 照 ページ
再 生	再生画像に帯状のノイズが出たり、画像がモヤモヤする。	●古いテープや、他のビデオで録画したテープを再生するとき起こることがあります。チャンネル(トラッキング)ボタンを押して最良に映るように調整してください。	35
	再生画像がきれいに映らない、または音は出るが画像が出ない。	●ヘッドの清掃が必要です。別売りのヘッドクリーニングテープをご使用になり、ヘッドの清掃をしてください。それでも直らないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。	8
	音が途切れる。	●ヘッドの清掃が必要です。別売りのヘッドクリーニングテープをご使用になり、ヘッドの清掃をしてください。それでも直らないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。	8
	ヨーロッパなどで買って来たテープが再生できない。	●日本とヨーロッパなどでは信号方式が異なるためこのビデオでは再生できません。	156
	日本語と英語が同時に聞こえる。	●音声切換ボタンを押してビデオの表示窓に L または R を出し、聞きたい音を選んでください。	35
D-VHS再生	再生画像にブロックノイズが出たり、静止画および灰色の画面になる。	●D-VHSテープをご使用しているか確認してください。	23
		●トラッキング(チャンネル▲、▼)ボタンで、ビデオ前面表示窓に出る数値が最大になるように設定してください。	24
		●ビデオ本体のリセットスイッチをつまようじなどで押してください。	148
		●ヘッドの清掃が必要です。別売りのヘッドクリーニングテープをご使用になり、ヘッドの清掃をしてください。それでも直らないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。	8
		●再生中につなぎ撮り部分(録画を停止(一時停止)し、再び録画をはじめた部分)および、VHS再生(標準/3倍)からD-VHS再生に切り換わる部分を再生すると、画面が出るまで少し時間がかかります。	24
テープナビ	録画時のデータが登録されない。	●テープデータの登録数がいっぱいになっています。いらぬテープの登録内容を消してください。	99
		●「テープナビ設定」の「テープナビ」を「入」にしてください。	95
		●録画時間が3分以内のときは、登録されません。	91
		●140分以上のテープのときは、テープの種類を切り換えてください。	91
		●オートカット機能を使って30分以内の番組を録画したときは、録画時のデータが登録されない場合があります。	92
テープナビ	テープナビボタンを押していないのに、テープナビの画面やタイムナビの画面が勝手に表示される。	●テープナビデモモードになっています。リモコンをビデオに向けて、リモコンのテープナビボタンを押し続けながら、ビデオのテープナビボタンを押してください。	—
	テープを入れていないのに、テープナビ表示ランプが点滅する。	●テープナビデモモードになっています。リモコンをビデオに向けて、リモコンのテープナビボタンを押し続けながら、ビデオのテープナビボタンを押してください。	—
	1本のテープに複数のテープ番号が付けられている。	●テープ番号が複数付けられているテープを入れると、テープナビボタンを押したときのテープの位置によって、表示される録画データが変わります。テープ番号を1つにしたいときには、いらぬテープ番号の録画データを消してください。	91
	録画時に「登録データを消してください」という表示がテレビ画面に出る。	●テープデータの登録数がいっぱいになっています。いらぬテープの登録内容を消してください。	99
	タイムナビ画面で◎Mが出ない。	●CMオートカットした番組やCMのない番組では、決定ボタンを押しても◎Mがでません。	115

	症 状	処 置	参 照 ページ
テープナビ	見たい番組が探せない。	●本機以外のビデオで録画したテープを使用しているときは、見たい番組を探すことはできません。	—
		●本機で録画したところまでテープを巻戻しまたは早送りしてから、テープナビボタンを押してください。	97
CMとばしワザ	録画予約したときの録画時間と実際の録画時間がちがう。	●オートカット機能を使って録画すると、CMをカットした分だけ録画時間が短くなります。故障ではありません。	92
	CMとばしワザでCMをとばさない。	●他のビデオで録画したテープを再生しています。本機、日立製CMオート機能付きビデオまたは日立製ステレオ(オート)CMスキップ機能付きビデオ以外で録画したテープでは動作しません。	41
		●テープナビ「切」で録画したテープを再生しています。テープナビ「入」で録画したテープを再生してください。	41
		●1本で60秒以上のCMや1本が15秒以内のCM、また2本以上続いて60秒未満のCM部分は正しくとばされません。故障ではありません。	40
		●録画開始部分や終了部分では正しくとばせないことがあります。	42
オートカット機能	録画(予約も含む)したのにテープには何も録画されていない。	●ステレオ放送の番組を録画していませんか? オートカット機能はステレオ放送をカットするので、ステレオ放送の番組を録画することはできません。ステレオ放送の番組を録画するときは、オートカット機能を解除してください。	47
	見ている番組をオートカット機能を使って録画しているが、オートカットを解除できない。	●停止ボタンを押して録画を終了するとオートカットが解除されます。	48
	録画中に番組を切り換えられない(一時停止ボタンを押しても録画一時停止にならない)。	●停止ボタンを押して録画を終了させてから、チャンネルを切り換えてください。	48
	オートカット機能を使って録画を始めたが、すぐに一時停止になった。	●ステレオ放送のCMまたは番組をカットしています。ステレオ放送以外の番組になると自動的に録画を開始します。	48
	受信チャンネルの表示を変えたら、テレビ番組の内容とチャンネル表示が合わなくなった。	●チャンネルの表示と番組の内容を確認し、もう一度設定をやり直してください。	138
チャンネル設定	チャンネルが出ない。	●チャンネルを飛ばして設定しています。飛ばしたチャンネルを元に戻してください。	145
		●チャンネル設定をしたあとでアンテナなどの接続を変えたときや、引っ越しなどで放送局が変わったときは、チャンネル設定をやり直してください。	138
	「L1」「L2」「L3*」「d」が出ない。	●「L1」「L2」「L3*」「d」を飛ばして設定しています。飛ばした「L1」「L2」「L3*」「d」を元に戻してください。 *「機能設定」の「入力3設定」を「入力3」に設定しているときのみ ●「機能設定」の「入力3設定」を「デコーダ」に設定していると、「L3」は出ません。	145

症状	処置	参照ページ		
BS放送	映像も音声も出ない。	<ul style="list-style-type: none"> BSアンテナを正しく接続しているか確認してください。 正しく接続されているのに映らないときは、アンテナ線を本機のBSアンテナ入力端子から抜き、もう一度正しく接続してから、ビデオの電源を入/切してください。それでも映らないときは、BSアンテナ側の接続を確認してください。 BSアンテナ電源の切り換えを正しく設定してください。 	125 125 133	
	テレビ画面に「独立」が表示され、BSチャンネルの音声がでない。	BS設定画面の「BS音声のTV/独立」を「TV」にしてください。	87	
	BSチャンネルが映らない。	<ul style="list-style-type: none"> BSチャンネルを飛ばして設定しています。飛ばしたBSチャンネルを元に戻してください。 BS以外のチャンネルを設定したあとで、BSアンテナを接続したときは、もう一度チャンネル設定をやり直してください。 	145 138	
	BSチャンネルの映りが悪い。または変な音が出る。	<ul style="list-style-type: none"> BSアンテナの向きを調節してください。 BSアンテナに雪が付着しているときは、雪を取り除いてください。 豪雪や豪雨で電波が地球に届きにくくなっています。気象条件によるもので、故障ではありません。 	134 10 10	
	BS5チャンネルの映りが悪い(画面にザーツというノイズが入る)。	<ul style="list-style-type: none"> JSBと契約し、BSデコーダを接続してください。 BS5チャンネルの設定をします。デコーダ設定画面で「BSデコーダ」を「入」にしてください。 	126 135	
	BSチャンネルをタイマー録画したら、音が全く録音されていない。	タイマー録画の前に、チャンネル設定画面で「TV/独立」のBS音声を正しく合わせてください。	87	
	ダビング編集ができない。	<ul style="list-style-type: none"> 本機を録画側のビデオとして使うのか、再生側として使うのかを確認し、正しく接続してください。 録画側ビデオで「外部入力」を選んでください。 	50 51 51	
	ビデオの表示窓が誤表示したり、ボタンを押しても操作できない。	リセットスイッチをつまようじなどで押してください。表示部がリセットされます。そのあと、時計合わせやタイマー予約など必要な設定をやり直してください。	—	
	その他	テープが動いているのに、経過時間表示が動かない。	経過時間表示は、テープに何も録画されていないと動きません。	86
		ビデオを操作しても画面表示(動作表示)が出ない。	機能設定の「OSDモード表示」を「オート」にしてください。	85
ビデオの時刻を自動的に修正(ジャストクロック)できない。		ビデオの時刻と現在時刻が3分以上ずれているときは、時刻を修正することはできません。	147	
英語の字幕が出ない。		字幕ボタンを何回か押してください。	37	
		早送り再生、巻戻し再生、スロー再生中は字幕が出ません。また、傷がついたテープや録画状態の悪いテープは字幕を正しく表示できないことがあります。	37	
		 <p>リセットスイッチ</p>	—	

症状	処置	参照ページ	
その他	録画した番組を再生していたら、自動的に早送り再生になった。	再生中にCMボタンを押してテレビ画面の[CMオート]を消してください。	41
	MUSE-NTSCコンバータを接続しても、ハイビジョン放送が見られない。	<ul style="list-style-type: none"> 接続を確認し、正しく接続してください。 BS9チャンネルの設定をします。BSデコーダ/レベル設定画面で「デコーダ」を「M-Nコンバータ」にしてください。 	129 130 136
	テープを停止後、しばらくして音がした。	停止状態で約1分たつと内部のテープ保護メカが動作し、多少音がします。故障ではありません。	—
	ビデオの電源を入れたまま、テレビのチャンネルボタンでチャンネルを選んだときに、テレビの映りが悪い。	リモコンのビデオ/テレビ切替ボタンを押して、ビデオの表示窓の「ビデオ」を消してください。	34 46
i-LINK	入力切替で「d」入力を選んでも、画面に「映像も音声もありません」と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> i.LINK対応機器とLINCしていますか。映像や音声を入力したい機器とLINCしてください。 i.LINKケーブルが正しく接続されていることを確認してから、映像や音声を入力したい機器とLINCしてください。 相手の機器がMPEG2(TS)を取り扱う機器以外(DV方式のビデオなど)の場合は、本機では映像や音声を出すことができません。 	77 73 77 25
	ブロードキャスト入力を選択しても、「ブロードキャスト出力している機器がありません。」と表示される。	他の機器でブロードキャスト出力している機器がありません。映像や音声を入力したい機器をブロードキャスト出力するに切り換えてください。他の機器の取扱説明書もよくお読みください。	77
	本機メニューの「ブロードキャスト出力」の項目を「する」に選んだのに、他の機器でブロードキャスト入力を選択しても、本機の映像が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 他の機器ですでにブロードキャスト出力している機器があります。他の機器のブロードキャスト出力を止めてから、本機で「ブロードキャスト出力」を「する」に切り換えてください。 本機の入力切替が「d」になっていると、ブロードキャスト出力しません。「d」以外に切り換えてください。 本機が他の機器からLINCされているとブロードキャスト出力しません。他の機器からのLINCを解除してください。 	74
	「編集ダビング」「オートダビング」しようとする、「i.LINKで接続されている機器がありません」と出てくる。	i.LINKケーブルが正しく接続されていることを確認してから、ダビングを開始してください。	73
	i.LINK入力切替画面に、信号を入力したい機器が出てこない。	i.LINKケーブルが正しく接続されていることを確認してください。	73
	操作パネルの操作ボタンを押しても、相手の機器が動作しない。	相手の機器の仕様によっては、本機の手操作を受けつけない場合がありますが、故障ではありません。	26
	「編集ダビング」や「オートダビング」で録画したテープが途中で終わってしまった。	「編集ダビング」や「オートダビング」のときの相手機器の録画モードは、ダビング開始時に設定されている相手機器の録画モードになります。ダビングしたい番組の時間に合わせて、テープの種類(時間)や録画モードを選んでください。	81 82
	「編集ダビング」や「オートダビング」したが、全く録画できなかった。	相手の機器がMPEG2(TS)を取り扱う機器以外(DV方式のビデオなど)の場合は、本機の映像や音声を録画することができません。	26
	「d」入力にしてタイマー録画したが、希望の番組が録画できていなかった。	<ul style="list-style-type: none"> タイマー録画が始まる前に、映像や音声を録画したい機器とLINCしてください。 コピーガードがかかった番組は録画できません。タイマー予約実行結果を確認してください。 	77 65 72
	D-VHS録画した番組をダビングできない。	番組によってはデジタル録画を1回のみ許可している番組があります。このような番組はダビングできません。	84

仕様

症状	処置	参照ページ
「LINCできません。」と表示される。	• LINCしたい機器が、すでに他の機器からLINCされています。他の機器からのLINCを解除したあと、本機からLINCしてください。	77
オートダビングの操作で「接続確認画面へ」を選んで決定ボタンを押しても、「LINCできません。」を表示されて、オートダビングが実行されない。	• LINCしたい機器が、すでに他の機器からLINCされています。他の機器からのLINCを解除したあと、ダビングの操作を行ってください。	77 80 82
編集ダビングの操作で「開始」を選んで決定ボタンを押しても、「LINCできません。」を表示されて、編集ダビングが実行されない。		

形名	DT-DR5000		
電源	AC 100V、50/60Hz共用		
消費電力	動作時消費電力40W、待機時消費電力9W		
方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン DVHS 方式(MTP) SVHS 方式(NTSC準拠)		
使用カセット	DVHS 、 SVHS 、 VHS タイプビデオカセット		
テープ幅	12.7mm		
テープ速度	標準モード 33.4mm/秒、3倍モード 11.1mm/秒、STDモード 16.67mm/秒		
録画再生時間	標準モード 3時間30分(T-210使用時) 3倍モード 10時間30分(T-210使用時) STDモード 7時間(DF-420使用時)		
巻戻し時間	高速巻戻しモード約83秒、通常巻戻しモード約130秒(T-120使用時)		
ヘッド数	6(4:映像用アモルファス、2:Hi-Fi音声/デジタル用アモルファス)		
VHF出力	1、2チャンネル切り換え可能		
受信チャンネル	VHF 1~12チャンネル UHF 13~62チャンネル BS 1~15チャンネル CATV 13~63チャンネル		
i.LINK端子	4ピン S200(2系統)		
映像入力	S映像端子:輝度信号1.0Vp-p、75Ω不平衡/色信号0.286Vp-p、75Ω不平衡 映像端子:1.0Vp-p、75Ω不平衡		
映像出力	コンポーネント映像端子:Y信号1.0Vp-p、75Ω不平衡/Cr信号0.7Vp-p、75Ω不平衡/Cb信号0.7Vp-p、75Ω不平衡 S映像端子:輝度信号1.0Vp-p、75Ω不平衡/色信号0.286Vp-p、75Ω不平衡 映像端子:1.0Vp-p、75Ω不平衡		
音声入力	-7.8dBs(316mVrms)、ハイインピーダンス		
音声出力	-7.8dBs(316mVrms)、ローインピーダンス		
音声トラック	3トラック Hi-Fi VHS音声2トラック:ステレオ録音/ステレオ再生 ノーマル音声 1トラック:モノラル録音/モノラル再生		
Hi-Fi VHS音声特性	ダイナミックレンジ:90dB以上 周波数特性:20Hz~20kHz ワウ・フラッター:0.005%		
許容動作温度	5℃~40℃		
許容相対湿度	35%~80%以下		
外形寸法	(幅)43.5×(高さ)15.4×(奥行)31.0cm		
質量	本体 7.4kg		
付属品	ワイヤレスリモコン(VT-RM3000) 1個	Sコード 1本	F型中継アダプター 1個
	同軸ケーブル 2本	AV-BUSコード 1本	i.LINKケーブル 1本
	映像・音声コード 1本	単3形乾電池 2個	

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
 ●このビデオカセットレコーダーは、日本国内専用です。電源・電圧・放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
 <This video cassette recorder cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.>

別売品のご紹介

液晶Hi8ビデオカメラ

VM-H200L
VM-H845L

ミニビデオカメラ

VK-C32

カラービデオプリンタ

VY-VP20

カセットアダプタ

TA-3C

ブースター

- HD-WB2A (VHF・UHF・FM兼用)
- HVTR-W26A (VHF・UHF兼用)
- HVTR-U26A (UHF専用)
- BS-B30(BS用)

ヘッドクリーニングテープ

- 乾式ビデオヘッドクリーナー T-CLO1
- 湿式ビデオヘッドクリーナー AV-210

ビデオカセットテープ

- VHS** テープ
- T-160SX •T-120SX
 - T-160HG •T-120HG
 - T-180HG
- SVHS** テープ
- ST-180SR •ST-120SR
 - ST-160SR •ST-60SR
- DVHS** テープ
- DF-300

接続コード

- HPU-131AV(映像用)
- HPU-121(音声用)
- HPU-200AV(映像・音声用)
- HPU-100(AV-BUSII用)

その他

- マッチングアダプター VT-BF11 086
- U/V分波器 VT-BF11 096
- BS/U/V分波器 BS-S30(電流通過端子付)
- HBS-S30A(電流通過端子付)
- BS/U/V混合器 BS-UV1A(電流通過端子付)
- BS-UV2(電流通過端子付)
- BS分配器 BS772A(電流通過端子付)
- BS773A(電流通過端子付)
- BS774A(電流通過端子付)

BS(衛星)放送

赤道上空約36,000キロの静止衛星軌道に打ち上げられた放送衛星を中継として、テレビ電波を受信するシステムです。衛星放送にはBS、CSの2種類あります。BSがもともと放送を目的とした人口衛星である「放送衛星」(Broadcasting Satellite)を使用しており、CSは通信を目的とした人口衛星である「通信衛星」(Communications Satellite)を使っています。BS、CSというのはそれぞれの衛星の頭文字をとったものです。

- ・BS7、BS11は、NHK衛星第1と第2です。
- ・BS5は、WOWOW(JSB:日本衛星放送(株))です。また、セント・ギガ(SDAB:衛星デジタル音楽放送(株))が独立音声を放送しています。これらは、受信契約と専用のデコーダの接続が必要です。受信契約と専用のデコーダについては、代理店(主に電器店)にご相談ください。
- ・BS9は、ハイビジョン実用化試験放送です。専用のMUSE-NTSCコンバータが必要です。

スクランブル(135ページ)

BS5チャンネルを見るには、受信契約と専用のデコーダが必要です。このデコーダとビデオを接続し、BS5チャンネルを見るための設定を行わないと、BS5チャンネルにしたとき、ザーツという画面(音)が現れます。このザーツという状態をスクランブルといいます。

デジタルCS放送(55、131ページ)

通信衛星(CS)を利用したデジタル衛星放送の一種で、いくつかの放送サービスがあります。映像や音声をデジタル化して、多チャンネルの放送を高画質、高音質で放送します。

トラッキング調節(35ページ)

再生時、画面に出たノイズを少なくし、きれいな再生画になるように調節することをトラッキング調節といいます。

入力切替(62ページ)

他の機器から録画・録音するときに必要な切替です。入力切替ボタンで「L1」、「L2」、「L3*」を選ぶと、映像入力端子、音声入力端子に接続された機器から録画・録音ができます。

*「機能設定」の「入力3設定」を「入力3」に設定しているときだけ、切り換わります。

ビデオ専用チャンネル(ビデオチャンネル)(17ページ)

1または2いずれかのチャンネルです。映像・音声入力端子のついていないテレビをご使用のときは、テレビを1または2チャンネルに合わせてビデオを楽しみます。これが、ビデオの専用チャンネルです。

BSデコーダ(126ページ)

JSB(日本衛星放送株式会社)の有料放送、WOWOW(BS5チャンネル)を見るためにスクランブル画像を正常な画像に戻す装置です。

ブースター(電波増幅器)(12、155ページ)

名前のとおり、電波を増幅します。電波の弱い地域の場合、ビデオを接続すると、テレビの映りが悪くなります。これは電波がテレビとビデオの両方に分けられるためです。電波を増幅することにより、今までと同じ程度にテレビを見ることができます。増幅度の大きいブースターほど、映りがよくなります。

録画モード(STD/標準/3倍)(23、27、43ページ)

ビデオには、「STD」、「標準」、「3倍」の録画モードがあり、録画時に使用するテープによって切り換えられます。STD: D-VHSテープで画質や音質を重視するときには「STD」で録画することをおすすめします。標準: S-VHS、VHSテープで画質や音質を重視するときには「標準」で録画することをおすすめします。3倍: テープスピードが「標準」の1/3の速さです。「標準」に比べて3倍長く録画できます。再生のときは、録画時のスピードに自動的に切り換わります。

クローズドキャプション Closed Caption(37ページ)

クローズド・キャプションシステムは、アメリカで聴覚障害者用に開発されたテレビの字幕放送です。アメリカではテレビ番組のみではなく、ソフトテープ、ビデオディスクなどにもクローズド・キャプション信号が入っています。日本国内でも、クローズド・キャプション対応のソフトテープが増えており、英語学習に利用することができます。

D-VHS(23ページ)

D-VHS(D-Video Home System)は、高画質なデジタル信号の記録方式として開発されたフォーマットです。D-VHSではS-VHSテープをベースにしたD-VHSテープを使用し、デジタル信号をそのまま記録するビットストリーム記録方式を採用しています。ビットストリーム記録では、デジタル衛星放送などで採用されているMPEG2などの圧縮信号をそのままD-VHSテープ上に記録し、入力された信号と同じ形で再生します。また、これまでのVHSテープも、録画/再生できます。

Gコード予約番号(56ページ)

ジェムスターコード予約番号の略で、番組予約を簡単にするために、各番組に付けた最大8桁の数字です。

Gコード・インフォ(56ページ)

従来の「Gコードシステム」を応用・展開した予約録画システムのことで、次のような利点があります。

- ① 1つの番組には全国どこでも同じコードが与えられるので、効率がよい。
- ② 録画時間の長さの精度が高いため、短時間番組の予約録画に適している。

「Gコード・インフォ」に使用するIコードは、Info plus codeの略です。IコードはGコード予約番号が「0」で始まります。

Hi-Fiサウンド(35ページ)

ビデオにはふつうのビデオとHi-Fiビデオがあります。ふつうのビデオは音声を録音/再生するのに固定ヘッドで録音/再生します。一方、Hi-Fiビデオは固定ヘッド以外に回転ヘッドでも音声を録音/再生します。そのため、テープとの相対速度が非常に早くなり、よりよい音で録音/再生できます。固定ヘッドで録音した音がノーマルサウンド、回転ヘッドで録音した音がHi-Fiサウンドです。

MPEG2(25、156ページ)

MPEG2とは、Moving Picture Experts Group(メディア統合系動画画像圧縮の国際標準)Phase2の略称です。MPEG2は、デジタル衛星放送やDVDにも採用されており、今後、全世界でデジタル機器を中心に採用されると予想されます。

NTSC方式(155ページ)

日本やアメリカなどで使われているテレビの信号方式です。ヨーロッパなどで使われているPALやSECAM方式とは互換性がないので、PAL方式やSECAM方式で録画されたテープはNTSC方式のビデオでは再生できません。

OSD表示(85ページ)

OSDとは、On-Screen Displayの略です。OSD表示とは、画面表示やビデオを操作したときにテレビに現れる動作表示です。

VHFとUHF放送(123ページ)

テレビ放送にはVHFとUHF放送、BS(衛星)放送があります。VHF放送は1~12チャンネル、UHF放送は13~62チャンネルでご覧になれます。※一部の地域(関東地域など)ではVHF放送をUHF放送に変換していることもあります。

VISS(33ページ)

VHS Index Search Systemの略で、テープに記録された頭出し用の信号(VISS信号)を使って頭出しをする方式です。本機は録画を始めると、自動的にVISS信号を記録します。

ハイビジョン放送(128、136ページ)

走査線の本数が現行テレビの2倍以上の1125本(現行525本)、縦横比9:16(現行3:4)の放送です。

MUSE-NTSCコンバータ(129ページ)

ハイビジョン放送を現行テレビ(NTSC方式)で見られるように変換する装置です。ただし、走査線の本数は525本です。

S映像信号

従来の映像信号を輝度(Y)信号とカラー(C)信号に分離した信号です。2つの信号がお互いに影響を受けないため、鮮明な映像が楽しめます。*S映像信号の「S」はセパレート(SEPARATE)YCの「S」です。

コピーガード(34、43ページ)

著作権保護のための技術で、ソフトテープの再生やテレビ放送の番組などについて視聴に限って許可し、コピー(ダビング録画)を制限するものです。

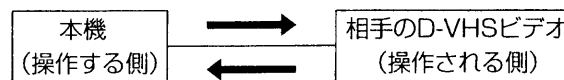
i.LINK(25ページ)

i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。i.LINKは、IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ「i」はソニー株式会社の商標です。

LINC(26ページ)

本機は、i.LINKケーブルで接続されている機器のうち一台と映像や音声のデータのやりとりができます。「LINCする」とは、相手の機器を一台選ぶことを意味します。本機と相手の機器との間で次のようなやりとりが行われます。

- (例) D-VHSビデオをLINCするとき
- ① 「これから操作してもいいですか?」と本機が相手のD-VHSビデオに信号を送る



- ② 「了解です」と相手のD-VHSビデオが本機に信号を送る

この呼びかけ・返答のやりとりが行われ、i.LINK対応機器のLINCが完了して、初めてi.LINK対応機器を操作することができます。LINCとは、Logical Interface Connection(ロジカル・インターフェース・コネクション:「論理的な接続を行う」の意)の略です。

あいうえお

頭出し 38,91,113,116
アモルファスヘッド 2
アンテナ線 122,123
一時停止
テープを止めて見る 36
録画を一時停止する 45
衛星放送 10,156
映像・音声コード 31
延長 58
オーディオ録音 52
オート
録画モード「オート」を選ぶ 57,59,62
録画モードを「オート」に合わせると 71
オートカット 47,62
オートダビング 80,81
オート電源オフ 32
オートトラッキング 35
オートリワインド 34
オートリワインドシャットオフ 34
音声切換
オーディオ録音の音声切換 52
二重音声・ステレオ音声の音声切換 35
録画中の音声切換 46
音量ボタン 20,118

かきくけこ

画面表示 85
カラーバー 92,97
キードAFC端子 129,130
機能ボタン 92,93
共聴(共同)アンテナ 125,134
クイックタイマー 46
クローズド・キャプション 37
経過時間 85,86
結露 9
ケーブルテレビ 143,144
検波入・出力端子 126,127
誤消去防止 21
コピーガード 156
混合器 122
~を使ってアンテナ線をつなぐ 123
BS/UV混合器 154
コンポーネント映像出力 30,122
午前・午後ボタン 61,146

さしすせそ

再生
ある場面を止めて見る 36
映像をクッキリさせる 39
画像を見ながら探す 36
テープを見る 34

ゆっくりした速さで見る 36
CMをとばして見る 40
再生オート 35
サーチ 36
3次元デジタルNR 39
3次元Y/C分離 39
3倍
3倍モードでの録画時間 21
録画モード「3倍」を選ぶ 44
残り時間 85,86
ジャストクロック 147
ジャンルマーク 69,110
主音声 35
受信チャンネル
オートチャンネルで合わせる 142
地域受信チャンネルで合わせる 138
~の表示を変える 143
~を合わせる 138
スクランブル 135,156
ステレオ
~音声を選ぶ 35
~から音声を録音する 52
~放送の録音 44
~をつなぐ 52
ステレオCMスキップ 42
スロー再生 36
静止画 8
静止画再生 36
操作音 21
操作パネル 78,79

た

タイマー録画・予約
タイマー録画を途中でやめる 58,60,62
次の日、次の週に同じ予約を設定する 65
デジタルCS放送をタイマー録画する 55
~の実行結果を確認する 64
~番号のジャンルマークを設定する 69
~番組のタイトルを設定する 67
予約内容を確認する 64
予約のしかた 56~63
予約を取り消す 64
タイムナビ 113
タイムナビ画面 93
CMの終わるところを探す 115
5分前、5分後のところを探す 116
番組の終わるところを探す 116
ダビング
本機を再生側にしてダビングする 51
本機を録画側にしてダビングする 50
チャンネル設定
オートチャンネル設定 142
地域受信チャンネル設定 138
表示変更 143
設定/取消 145
CATVのチャンネル設定 144

チャンネル
映りの悪いチャンネルをとばす 145
映るチャンネルを確認する 142
~の選ばれる順序 142
~の表示を変える 143
~を微調節する 145
録画したいチャンネルを選ぶ 43

つめ
~を折る 21
~を折ったテープに録画する 21
~を折ったテープに録画すると 44
~を折ったテープを再生すると 34
~を折ったテープでタイマー予約すると 21,58,60,62

停止
再生を停止する 34
タイマー録画を停止する 46,58,60,62
録画を停止する 44
デコーダ設定 135
デジタルCSチューナー 131
デジタルTBC 39
テープナビ 91
テープナビ画面 92
機能設定メニュー 92
テープナビ設定 95
登録内容を取り消す 99
登録内容を確認する 100
録画データを検索する 101
タイトルを設定する 103
ジャンルマークを設定する 110

テレビ
映像・音声入力端子つき~ 123
コンポーネント映像入力端子つき~ 123
AV-BUS II 端子つき~ 132
~でチャンネルを選ぶ 46
~をつなぐ 122
MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビ 128
リモコンで~を操作する 118
テレビ専用ボタン 20,118
音量ボタン 118
入力切換ボタン 118
チャンネルボタン 118
テレビ電源ボタン 118
テレビコード 118

電源
~が自動的に入る 21
録画モード「標準」を選ぶ 44
副音声 35
ブースター 122,155
フルモード 129
ブロックノイズ 8
ブロードキャスト 74,77
分波器 122,155
~に同軸ケーブルを取り付ける 123
~を使ってテレビをつなぐ 122
ヘッドクリーニングテープ 155
~でヘッドを清掃する 8
編集ダビング 82,83

時計
~の合わせかた 146
~を修正する 147
~を表示する 85

同軸ケーブル 120,122
~を使ってテレビをつなぐ 122
分波器に同軸ケーブルを取り付ける 123

な

二重音声
~放送を録画する 44
~を選ぶ 35
入力切換 155
~ボタン 50,52
テレビの入力切換を「ビデオ」にする 137
入力3設定 52
ノーマルサウンド 35
ノイズ
スロー再生中にノイズが出るとき 36
静止画が上下に揺れるとき 36
字幕が上下に揺れるとき 37

は

ハイビジョン放送
~の画面比率 129
~を見る 54
~を録画する 54
MUSE-NTSCコンバータ 129,130
MUSE-NTSC内蔵ワイドテレビ 54,128

早送り
テープを高速(260倍速)で早送りする 35
テープを早送りする 34
早送りしながら見たい場面を探す 36
ビットストリーム入・出力端子 126,127
ビデオチャンネル 137
ビデオ1/2/3切換 117
ビデオ/テレビ切換 31
「ビデオ」表示
~を消す 46
~を出す 31

ビデオヘッド
~の清掃 8
~の磨耗 8

標準
標準モードでの録画時間 21
録画モード「標準」を選ぶ 44
副音声 35
ブースター 122,155
フルモード 129
ブロックノイズ 8
ブロードキャスト 74,77
分波器 122,155
~に同軸ケーブルを取り付ける 123
~を使ってテレビをつなぐ 122
ヘッドクリーニングテープ 155
~でヘッドを清掃する 8
編集ダビング 82,83

索引の見かた

見出し語と同じ形のもの「~」で代用してあります。
ただし、活用形や複合語、文の途中に出てくる場合は、文字で示してあります。

まみむめも

毎日/毎週
~録画 58,63
巻戻し
テープを高速(260倍速)で巻戻しする 35
テープを巻戻す 34
巻戻しながら見たい場面を探す 36
メニュー
メニュー画面 22,88
戻るボタン 22
モニターボタン 29
モノラル 35
~ビデオをつなぐ 50,51

やゆよ

予約
Gコード予約 56
リモコン予約 61
->「タイマー録画・予約」も参照

らりるれろわ

リセット 148
リモコン
~受光部 15
~の電池の入れかた 14
~でビデオ、テレビを操作する 20
リモコン切換ボタン 117
録画
クイックタイマー 46
見ている番組を録画する 43
タイマー録画 56
デジタルCS放送を録画する 55
~しながら別の番組を見る 46
録画時間 21
録画モード 156
~によるテープの録画時間 21
~を選ぶ 44,57,62
ワープボタン 43

A B C

Aモニター 29
AV-BUS III 端子 131,132
BSアンテナ
~の方向を調整する 134
~をつなぐ 125
~電源の切り換え 133
BSコンバータ 133
BSデコーダ 126,127
BSチューナー内蔵テレビ 127,130
BSワープボタン 43

CATVをご使用のとき 144,145
CL 19
Closed Caption 37
CMオート 40
CMカット 47
CMとばしワザ 40
CS予約 55
Dモニター 29
D-VHS 23,156
~インジケータ 23,34,44
~テープ 21
~方式で録画する 44
~録画 24,44
~再生 34
~のいろいろな再生 24
Err 19,71
Error 56
F型中継アダプター 123
FULL 19,71
Gコード 56,156
Gコード・インフォ 56,157
~予約 56
~予約番号を入力する 56
Hi-Fiサウンド 157
~を選ぶ 35
i.LINK 25,26
~対応機器の接続 73
~端子 73
~ボタン 77
JSB 126
LINC 26,77
MPEG画質調整 88
MPEG2 25,157
OSD表示 51,157
PROG 19,57,60,62
R-2 19
RF-1/2/OFF 137
S映像信号 157
Sコード 31,122
SDAB 53
SQPB 23,27
STD 23,44,156
STDモードでの録画時間 21
録画モード「STD」を選ぶ 44
S-VHS 27,43
S-VHS ETモード 27,28
TAB 19,44
TAPE 19
VISS 156
~を使う 38
UHF/VHF放送 123,157
WOWOW 53,126

そ 1
 贈 塑 岨 措 曾 曾 楚 狙 疏 疎
 礎 袒 租 粗 素 組 蘇 訴 阻 溯
 鼠 僧 創 雙 叢 倉 喪 壯 奏 爽
 宋 層 匠 忽 想 搜 掃 挿 搔 操
 早 曹 棠 槍 槽 漕 燥 争 瘦 相

た 1
 他 多 太 汰 記 唾 墮 妥 情 打
 舵 舵 椅 陀 駮 駢 體 堆 對 耐
 岱 帶 待 怠 態 戴 替 泰 滯 胎
 腿 苔 袋 貸 退 逮 隊 黛 鯛 代
 大 第 醒 題 鷹 滄 瀧 瀧 卓 啄

3
 団 壇 彈 斷 暖 檀 段 男 談

ち 1
 值 知 地 弛 恥 智 池 痴 稚 置
 致 蜘 遲 馳 築 畜 竹 筑 蓄 逐
 秩 窠 茶 嬌 着 中 仲 冏 忠 抽
 昼 窟 柱 注 虫 衷 註 耐 鑄 駐
 瀦 猪 芋 菩 貯 丁 兆 凋 喋 龍

つ 1
 津 墜 椎 槌 追 鎚 痛 通 塚 柸
 掴 槻 佃 漬 柁 柁 爪 吊 釣 鶴

て 1
 亭 低 停 偵 剝 貞 呈 堤 定 帝
 底 庭 廷 弟 悌 抵 挺 提 梯 汀
 礎 禎 程 締 艇 訂 諦 蹄 通 邛
 鄭 釘 鼎 泥 摘 擢 敵 滴 的 笛
 適 鑄 溺 哲 徹 撤 敵 滴 的 典

と 1
 兎 吐 堵 塗 妬 屠 徒 斗 杜 渡
 登 菟 賭 途 都 鍍 砥 斫 努 度
 土 奴 怒 倒 党 冬 凍 刀 唐 塔
 塘 套 宕 島 嶋 悼 投 燈 東 桃
 枋 棟 盜 淘 湯 滂 燈 燈 當 痘

3
 凸 突 椽 屈 薦 苦 寅 西 瀨 順
 屯 悖 敦 沌 豚 遁 頓 吞 曇 鈍

な 1
 奈 那 內 乍 胤 雍 謎 灘 捺 鍋
 柁 馴 繩 暈 胤 南 楠 軟 難 汝

に 1
 二 尼 弍 迄 匂 賑 肉 虹 廿 日
 乳 入 如 尿 菲 任 妊 忍 認

ぬ 1
 濡

ね 1
 襦 祢 寧 葱 猫 熱 年 念 捻 撚
 襦 粘

の 1
 乃 迺 之 埜 囊 惱 濃 納 能 腦

は 1
 巴 把 播 霸 杷 波 派 琶 破 婆
 罵 芭 馬 排 疲 排 排 排 杯 孟
 牌 背 肺 排 配 倍 培 培 梅 模
 煤 狼 買 輩 配 陪 陪 這 蠅 秤 矧
 萩 伯 剝 博 拍 柏 泊 白 箔 粕

3
 班 畔 繁 般 藩 販 範 采 煩 煩
 飯 挽 晚 番 盤 譬 蕃 蚤

ひ 1
 匪 卑 否 妃 庇 彼 悲 扉 批 披
 斐 比 泌 疲 皮 碑 秘 緋 罷 肥
 被 誹 費 避 非 飛 穢 緋 備 尾
 微 枇 毘 琵 眉 美 鼻 終 稗 匹
 疋 髭 彦 膝 菱 肘 弼 必 畢 筆

2
 窓 槽 総 綜 聡 草 莊 葬 蒼 藻
 装 走 送 遭 鎗 霜 騷 像 增 憎
 臧 葳 贈 造 鎗 側 則 即 息 捉
 束 葳 測 足 俗 屬 賊 族 統 卒
 袖 其 揄 存 孫 尊 損 村 遜

2
 宅 托 扞 拓 沢 濯 琢 託 鐸 濁
 諾 苴 夙 蚘 只 叩 但 達 辰 奪
 脫 巽 豎 蚘 只 叩 但 達 辰 奪
 丹 單 嘆 坦 担 探 狸 鱈 樽 誰
 炭 短 端 筆 綻 耽 胆 蛋 誕 鍛

2
 帖 帳 庁 帛 張 彫 徵 懲 挑 暢
 朝 潮 牒 町 眺 眺 脹 腸 蝶 調
 謀 超 跳 眺 長 頂 鳥 勅 抄 直
 朕 沈 珍 賃 鎮 陳

2
 填 天 展 店 添 纏 甜 貼 軫 顛
 点 伝 殿 澱 田 電

2
 禱 等 答 筒 糖 統 到 董 蕩 藤
 討 騰 動 動 同 迷 透 鏡 陶 頭 騰
 闕 勳 動 動 同 迷 透 鏡 陶 頭 騰
 童 胴 苟 道 銅 峠 鴉 獨 得 德
 洗 特 督 禿 篤 篤 毒 獨 獨 檫 橡

2
 船 薄 迫 曝 漠 爆 縛 莫 駁 麥
 函 箱 裕 箸 聲 筍 櫺 肌 肌 烟
 畠 八 鉢 澆 発 醜 髮 伐 罰 拔
 筏 閱 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 判 半
 反 叛 帆 搬 斑 板 汜 汎 版 犯

2
 遍 桧 姫 媛 紐 百 謬 依 彪 標
 水 漂 飄 票 表 評 豹 廟 描 病
 秒 苗 鈎 鈎 蒜 蒜 蒜 蒜 蒜 蒜
 浜 瀨 貧 寶 頻 頻 頻 頻 頻 頻

2
 薄 迫 曝 漠 爆 縛 莫 駁 麥
 函 箱 裕 箸 聲 筍 櫺 肌 肌 烟
 畠 八 鉢 澆 発 醜 髮 伐 罰 拔
 筏 閱 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 判 半
 反 叛 帆 搬 斑 板 汜 汎 版 犯

2
 薄 迫 曝 漠 爆 縛 莫 駁 麥
 函 箱 裕 箸 聲 筍 櫺 肌 肌 烟
 畠 八 鉢 澆 発 醜 髮 伐 罰 拔
 筏 閱 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 判 半
 反 叛 帆 搬 斑 板 汜 汎 版 犯

2
 薄 迫 曝 漠 爆 縛 莫 駁 麥
 函 箱 裕 箸 聲 筍 櫺 肌 肌 烟
 畠 八 鉢 澆 発 醜 髮 伐 罰 拔
 筏 閱 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 鳩 判 半
 反 叛 帆 搬 斑 板 汜 汎 版 犯

2
 遍 桧 姫 媛 紐 百 謬 依 彪 標
 水 漂 飄 票 表 評 豹 廟 描 病
 秒 苗 鈎 鈎 蒜 蒜 蒜 蒜 蒜 蒜
 浜 瀨 貧 寶 頻 頻 頻 頻 頻 頻

ふ 1
 不 付 埠 夫 婦 富 富 布 府 佈
 扶 敷 斧 普 浮 父 符 腐 膚 芙
 譜 負 賦 赴 阜 附 侮 撫 武 舞
 葡 蕪 部 封 楓 風 葺 蕪 伏 副
 復 幅 服 福 腹 復 覆 淵 弗 払

へ 1
 丙 併 兵 屏 幣 平 弊 柄 並 蔽
 閉 陛 米 貞 僻 壁 癖 碧 別 警
 蔑 篋 偏 變 片 篇 編 刃 返 遍
 便 勉 婉 弁 鞭

ほ 1
 保 舖 鋪 圃 捕 步 甫 補 輔 穗
 募 墓 慕 戊 暮 暮 簿 菩 倣 俸
 包 呆 報 奉 奉 峰 峯 崩 庖 抱
 捧 放 方 朋 法 泡 烹 砲 縫 胞
 芳 萌 蓬 蜂 褒 褒 訪 訪 豐 邦 飽

ま 1
 摩 磨 魔 麻 埋 妹 昧 枚 每 哩
 模 幕 膜 枕 鮑 枉 鱗 樹 亦 侯
 又 滿 漫 末 沫 迄 俛 爾 磨 万 慢

み 1
 味 未 魅 巳 箕 岬 密 蜜 湊 蓑
 稔 脈 妙 耗 民 眠

む 1
 務 夢 無 牟 矛 霧 鷓 棕 婿 娘

め 1
 冥 名 命 明 盟 迷 銘 鳴 姪 牝
 滅 免 棉 綿 緬 緬 緬 緬 麵

も 1
 摸 模 茂 妄 孟 毛 猛 盲 網 耗
 蒙 儲 木 默 目 李 勿 餅 尤 戾
 粉 賁 問 悶 紋 門 門 門 門 戾

や 1
 也 冶 夜 爺 耶 野 弥 矢 厄 役
 約 業 詛 躍 靖 柳 柳 數 鐘

ゆ 1
 愉 愈 油 癒 諭 輸 唯 佑 優 勇
 猶 宥 幽 悠 憂 損 有 柚 湧 涌
 融 夕 由 祐 裕 誘 遊 邑 郵 雄

よ 1
 予 余 与 譽 輿 預 備 幼 妖 容
 庸 揚 搖 擁 躍 楊 樣 洋 浴 溶
 用 窯 羊 耀 葉 蓉 要 謠 踊 遙
 陽 養 慾 抑 欲 沃 浴 翌 翼 淀

5
 羅 螺 裸 來 萊 賴 雷 洛 絡 落
 酪 亂 卵 嵐 欄 蓋 藍 蘭 覽

り 1
 利 吏 履 李 梨 理 璃 痢 裏 裡
 里 離 陸 律 率 立 律 掠 略 劉
 流 溜 琉 留 疏 粒 隆 龍 龍 侶
 慮 旅 虜 了 亮 僚 兩 凌 寮 料
 梁 涼 獺 療 瞭 稜 糧 良 諒 遼

る 1
 瑠 罌 淚 累 類

れ 1
 令 伶 例 冷 勵 嶺 恰 玲 礼 苓
 鈴 隸 零 靈 麗 齡 曆 歷 列 劣
 烈 裂 廉 恋 憐 漣 煉 煉 練 聯
 連 連 鍊

ろ 1
 呂 魯 櫓 炬 賂 路 露 勞 婁 廊
 弄 朗 樓 榔 浪 漏 牢 狼 籠 老
 聾 聾 郎 六 麓 祿 肋 錄 論

わ 1
 倭 和 話 歪 賄 脇 惑 杵 鷲 互
 巨 鰐 訛 囊 蕨 腕 灣 碗 腕

2
 沸 仏 物 鮒 分 吻 噴 墳 憤 扮
 焚 奮 粉 糞 紛 雰 文 聞

2
 鳳 鵬 乏 亡 傍 剖 坊 妨 帽 忘
 忙 房 暴 望 某 棒 冒 紡 紡 肪 膨
 謀 貌 買 鉞 防 吠 類 北 僕 卜
 墨 撲 朴 牧 睦 穆 鉤 勃 沒 殆
 堀 幌 奔 本 翻 凡 盆

2
 量 陵 領 力 綠 倫 厘 林 淋 熾
 琳 臨 輪 隣 鱗 麟

心参考